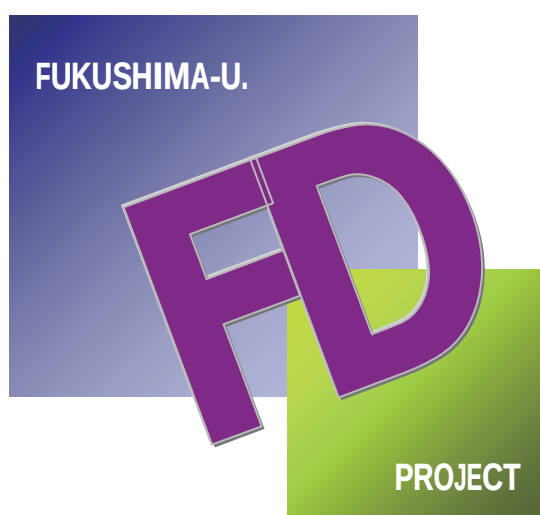
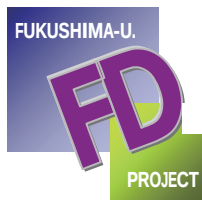


**平成19年度（2007年度）
福島大学FDプロジェクト活動報告書
～授業改善の追求～**



**2008年3月
福島大学FDプロジェクト**



はじめに

福島大学 FD プロジェクト

責任者 森田道雄

昨年度版のこの「はじめに」に、設置基準に研修義務化が書き込まれ、本学の FD も次年度あたりから「第 2 段階」にはいるのでは、と書いた。これからは、「教養教育」「専門教育」「学習スキル」などの、大学全体の「教育力」が試されることでもある。折しも、秋には中教審大学分科会が「学士課程教育の再構築に向けて」の審議経過報告を出し、いわゆる学士課程という学部 4 年間の教育全体の改革の方針化を進めている。そしてその改革の「実践をになう」教職員の職能開発の重要性を指摘している。本文を読むと、その具体的な記述としてキャリア教育やフレッシュマンゼミなど、本学が取り組んでいるものもあるが、教育成果(ラーニング・アウトカム)の検証が重要な位置を占め、FD に関しては教育業績の適切な評価という文言が出てくる。職員の職能開発もある。そして、全体として大学が自主的に取り組むことを支援する、という記述になっている。大学がどんなふうに取り組むのは「自由」だが、「外への説明はちゃんとしなさい、点検して評価するから」ということである。

考えるに、この流れは、強まることがあっても弱くなることはないだろう。大学政策にたいする批判がある。競争原理では教育は良くなならないし、高等教育への国への財政支援は先進国中では最低レベルである。にもかかわらず、なのか、そうであるから、なのかはよくわからないが、こうした競争主義をあおり、点検評価で大学を追い込み、自発性の名の下に「改革」が進められていく。その結果、教職員が疲弊していくということでの憂いの声がある。FD が叫ばれ取り組んできたものの、先が読めない、無限の努力が求められている、という消耗感も理解できる。しかし、残念ながら一息つくだけの余裕はないのが実態である。

政策上の問題はさておき（それが問題だという声もよくわかるが）、大学がいわゆるユニバーサル化し、希望者がだれでも入れるという状況は、大学の教育機能を従来のそれとは大きく異なる要因となっている。大学にはいるまでの、初等中等教育のありようも大きく変化している。「大学生の学力低下」論は、おかしい議論で始まったものの、言葉だけが一人歩きしてしまったし、いわゆる PISA 型学力の「低下」問題も、改革の方向性の議論を複雑にしている。このように、政策の混迷に振り回されている状況を嘆いても仕方がない。ひとつひとつ、着実なことをやり遂げていく、ということではしか対応できないのではないのか。

今年度は、授業アンケートの大きな改革を議論した。まだその方向性は議論のさなかだ

が、授業改善という当初の目的と、点検評価という今日の環境下でのアンケートのもつ意味を問う議論があった。FDの中核となる授業公開&検討会の積み上げも、そろそろ曲がり角に来ているかもしれない。FDプロジェクトで編集チームを作って2008年版試作品という限定バージョンの「学習ガイドブック」を作成した。私個人としては、教養教育と専門教育、本学の特色であるキャリア教育、というジャンルに加え、「学習スキル」の新たな提案が出来たと思っている。もちろん、ガイドブックはスキルに尽きるものではない。というより、スキルを生かせる学習主体を育てる、というコンセプトを持っている。是非、多方面からご検討いただきたい。





平成19年度 福島大学FDプロジェクト活動報告書 ～授業改善の追求～

目 次

はじめに・・・・・・・・・・副学長（FDプロジェクト責任者） 森田 道雄	
2. FD ワークショップ 授業公開&検討会	
今年の実施日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第1回授業公開&検討会	
ファシリテーターからの報告・・・・・・・・・・ 川田 潤	2
参観者からの報告・・・・・・・・・・ 中村 恵子	3
第2回授業公開&検討会	
ファシリテーターからの報告・・・・・・・・・・ 中村 恵子	4
教員の成長を目の当たりにして・・・・・・・・ 小野原雅夫	6
第3回授業公開&検討会	
ファシリテーターからの報告・・・・・・・・・・ 高田 裕憲	8
第4回授業公開&検討会	
授業公開を振り返って・・・・・・・・・・ 中畑 淳	9
参観者からの感想・・・・・・・・・・ 金谷 昌治	10
第5回授業公開&検討会	
生態工学を活用した水生植物による浄化技術・・・・・・・・ 稲森 悠平	11
第6回授業公開&検討会	
授業公開の感想・・・・・・・・・・ 生田 博将	15
第7回授業公開&検討会	
授業公開の感想・・・・・・・・・・ 三浦 一之	16
第8回授業公開&検討会	
授業公開&検討会に参加して・・・・・・・・ 板橋 孝幸	18
第9回授業公開&検討会	
授業公開を終えて・・・・・・・・・・ 中山 庸子	20
授業公開&検討会の「まとめ」・・・・・・・・・・ 森田 道雄	22

授業公開&検討会配付資料

3. 新任教員 FD 研修	
授業公開および検討会に参加して	吉田 智也 28
新任教員アンケート	浅岡 善治 30
新任教員による授業参観の観察カード	沼田 大輔 31
4. 授業改善プロジェクト	
初年次教育に関するラウンドテーブル、FD実質化に関する シンポジウムを企画して	中間 玲子 33
5. 福島大学の教育改革をめぐる懇談会	
「アンケートのとりまとめ」配布資料について	森田 道雄 39
6. 他大学 FD 研修等参加報告	板橋 孝幸
第7回山形大学教養教育 FD 合宿セミナー参加報告	49
平成19年度東北地区大学教育支援施設等交流会議	51
山形大学教員研修会第9回教養教育ワークショップ	52
社会人基礎力育成のためのファカルティ・デベロップメント研修会	53
大学教育学会 2007 年度課題研究集会	54
7. 学習ガイドブックWGの作業報告	森田 道雄 57
8. 「教育改善のための学生アンケート」結果の経年変化に関する 若干の考察	板橋 孝幸 59
9. 「教育改善のための学生アンケート」集計結果	
❧前期開講科目（平成19年7月実施）	63
共通教育科目	70
専門教育科目	100
相関係数表	122
❧後期・通年開講科目（平成20年1月実施）	125
共通教育科目	132
専門教育科目	156
相関係数表	178
10. 福島大学 FD プロジェクト要項	180
11. 福島大学 FD プロジェクトメンバー	182
12. あとがき	副学長（学務） 中井 勝己 183

FD ワークショップ 授業公開 & 検討会



今年の実施日程

- 日 程：11月15日（木）1時限
- タイムスケジュール：授業公開（社会と人間 阿部成治教員 M22教室）
検 討 会 2時限目（人文棟 社会科資料室）

- 日 程：11月19日（月）2時限
- タイムスケジュール：授業公開（教育の方法 吉永紀子教員 L1教室）
検 討 会 4時限目（人文棟 315室）

- 日 程：11月22日（火）2時限
- タイムスケジュール：授業公開（公共経済システム論 阿部高樹教員 M22教室）
検 討 会 12：00～12：40（副学長室）

- 日 程：11月27日（火）4時限
- タイムスケジュール：授業公開（ピアノアンサンブルII 中畑 淳教員 第2ピアノ室）
検 討 会 5時限目（音楽棟 合奏室）

- 日 程：11月27日（火）4時限
- タイムスケジュール：授業公開（水質保全改善学外論 稲森悠平教員 M24教室）
検 討 会 なし

- 日 程：12月6日（木）2時限
- タイムスケジュール：授業公開（エコ生産概論 生田博将教員 M24教室）
検 討 会 11：55～12：40（S棟1階会議室）

- 日 程：12月11日（火）4時限
- タイムスケジュール：授業公開（図学 三浦一之教員 M2教室）
検 討 会 なし

- 日 程：12月12日（水）2時限
- タイムスケジュール：授業公開（大学で学ぶ～21世紀の学びとは～ 森田副学長 L2教室）
検 討 会 11：55～12：40（S棟1階会議室）

- 日 程：12月17日（月）2時限
- タイムスケジュール：授業公開（比較地域文化論II 中山庸子教員 M1教室）
検 討 会 11：55～12：30（S棟1階会議室）

第1回授業公開&検討会

日時 平成19年11月15日(木)
授業公開(1時限 M22教室)
検討会(2時限目 社会科資料室)
授業名 『社会と人間』
授業者 阿部 成治



ファシリテーターからの報告

川田 潤

阿部先生の授業見学および検討会に参加させていただくことで、自分の授業を振り返る貴重な機会を得ると同時に、いろいろな意見交換が行われるのを目の当たりにして、元気ができました。

授業は＜住民投票＞について、身近な日本の例からはじまり、徐々に、本題のドイツの話へと移っていく構成、パワーポイントを用いることによる豊富な情報が整理された準備、そして学生との双方向的なやりとりも行われることで受け身の授業にならない伝達方法、まさに「楽しいと同時に有益な」授業でした。「学生にわかりやすくするため」という言い訳をつぶやきながら、どんどん情報量を削っている自分の日頃の授業内容の薄さを反省しました。

検討会では、パワーポイントに関する具体的な工夫についての話（地図上のラインの引き方やアニメーションの入れ方など）から、例えば、＜授業お助け掲示板＞のようなものをつくり、資料の作り方などの「コツ」、「美味しい情報」を共有することができないかななどの話でもりあがりました。直接誰かに教えてもらうのが理想なのですが、なかなかお互いに忙しいので、掲示板などによって不特定多数の知恵を寄せ合うことは、互いに気楽に手軽にできる助け合いなのではないでしょうか。もちろん、このようなフォーラムは、資料の作り方だけでなく、資料の配布の仕方（例えば、パワポの資料は最初にすべて配るのか、それとも、それは最後に配布するか。あるいは、途中では、ノート・テイク用のハンドアウトを配るか……など、いろいろと考えることはあります）、学生との双方向的な授業の具体案（グループ学習のやり方、ポートフォリオの活用……）などを、載せていくことも考えられるでしょう。個人的には、互いに気楽に思いつきを掲載し、気が向いたときに、なんとなく眺めるような、「ゆるいFD」こそが有効なのではないだろうかと思いを巡らしていました。

＊

その一方で、私は憂鬱でした。今年から、公開授業の数が増えているようですが、これまでの参加者は、はたして、どれくらいだったのでしょうか（参加者の人数は報告書に載るのですか）？そして、参加者の中で、＜役職・委員会の関係者、義理がある人＞以外で、どれくらいの人がいたのでしょうか（正直、私も＜関係者＞でした）？FD を推進されている方々のすばらしい努力に感銘を受けているからこそ、私は憂鬱です。ですが、私は「自分を含めた FD に参加しない人」だけに責任があるとは思いません。そんなことはないと思いますが、もしかして FD に参加しない人が「旧態依然の楽なやり方にしがみついている、問題意識の足りない人たち」と、考えられてはいないですよね。多忙な仕事、授業の重なりなど、参加しない理由はさまざまあります。参加者が少ない状況に対する問題意識、例えば、平成 17 年度 FD 報告書にも掲載されている、この問題も取り上げたすばらしい報告（pp.49-52）は、その後、どれだけ活かされているのでしょうか？公開授業の数を増やしていくのではなく、もっと福島大学の現状に合わせた実質的な改善、見直しをすることで、FD への理解が広まり、より多くの人になんらかのかたちで気持ちよく参加できるようになるのではないのでしょうか？FD に参加しない人を、「その重要性がわからないカワイソウな人たち」と思うことは、実は、自分の授業がわからない学生に対して、「私の授業の良さが分らないお前らが馬鹿なんだ」と言っている、もっとも強権的な（FD の必要性がある）教員と同じなのではないのでしょうか？

FD がより実質的な多くの人が参加したくなるものになることをお祈りしています。

授業公開&検討会 参観者からの感想

人間発達文化学類 中村恵子

○授業を参観して

住民投票と街作りについてコンパクトにまとめた、よい授業であった。オムニバス形式での授業担当では、まとまった専門的な内容を扱うのは困難であるが、「1 回分の講演としてとらえ、研究内容を紹介している」という授業者の発言が、とても新鮮であった。パワーポイントに地図や写真を多く取り入れ、アニメーションで要点を示すなど、ドイツの街の変化をととてもわかりやすく説明していた。景観の移り変わりを写真で示すためには、膨大な写真の経年撮影は欠かせず、授業者の研究の深さをも伺わせる授業であった。



○授業検討会に参加して

授業検討会ではパワーポイントの使い方や資料の提示方法などについて、意見が交わされた。中でも、オムニバス形式で行う講義の評価方法について紹介されたのが印象的であった。この授業では、担当する各先生の出すテーマから 2 つを選び、期限までにレポートを書く、という方法であった。評価基準をそろえる難しさはあるものの、学生自身が興味を持った事からについて、授業内容を掘り下げて自主学習できるしかけは、今後の授業に取り入れたいと思った。



第2回授業公開&検討会

日時 平成19年11月19日(月)

授業公開(2時限 L1教室)

検討会(4時限 人文棟315室)

授業名 『教育の方法 A』

授業者 吉永 紀子



ファシリテーターからの報告

人間発達文化学類 中村恵子

1. 授業内容

この授業は、教職免許希望者対象の授業である。「教育の方法 A (吉永教員担当)」「同 B (吉永教員担当)」「同 C (別教員担当)」と同名の授業が3クラスあり、前期実施の「教育の方法 B」は中高主免学生をメインにしたものであったのに対し、公開された「教育の方法 A」は、幼小主免者をメインにした講義である。受講生の大半は2年生で90名程度が出席した。

「実践記録を読む力をつけて欲しい」というのが授業者のねらいであり、毎回の授業で授業記録等を学生に読ませ、自分自身で考える場面や自分の考えを発表する場面を設定しているそうである。

公開された授業では、まず、学生の提出した「ふり返しカード」から作ったイメージマップに基づいて、教材が備えるべき要件について解説した。また「ふり返しカード」にある学生からの質問に答える形で、前時の内容の重要ポイント(教材の普遍性と授業研究の矛盾点について)を紹介した。その後、本時の授業記録資料を配付して学生同士でグループ討論を行わせ、学生から出された意見として教材の見方のポイントについて解説し、授業をまとめた。

2. 参観した教員からの感想

参観した教員からは、

・ ゆっくりとしたしゃべり方、後ろまでよく聞こえる声であり聞き取りやすい。プリントを配布しながら、教室中をよく回っていたし、教壇からおりて話をする場面も多く、親しみが持てた。板書は、字も大きいし下線をひいたり色を換えたりなどして、とても見やす



かった。授業を行う上での基本的な部分において、学ぶべき点が多かった。

- ・グループ討論が多人数、大教室のL教室でも可能であるということに驚いた。机間巡視によってグループ討論を活発にさせたり、学生の意見を拾って授業を構成した点がすばらしかった。

- ・学生の様子をよく見ており、学生の声を聞いて授業を作っている点が高く評価できる。対話をして

いるような話し方で、ひと言ひと言に学生は聞き入っていた。学生を指名し直接に答えさせるようなことはないけれど、学生自身に考えさせる発問をしていた。発問がよくこなれていた。

- ・授業内容が厳選されており、授業者の余裕が感じられた。1回分の授業においても伝えるべきポイントがきっちりと絞られており、流れがスムーズであった。という感想が聞かれた。

3. 授業検討会から

授業検討会では、まず「ふり返しカード」の役割について意見交換をした。授業者からは、「毎回授業時に出すミニ課題を書くカードであり、その授業に関連するテーマで何かしら学生は考えなくてはならないようにしている。これも評価に入れるが、0～2点で評価している。そのときの授業内容が、自分のことばになっているかがみたい。」と紹介された。次回の授業へつなぐ資料になったり、学生の知識や勉強状況を判断する材料にもなるようである。多人数から毎回提出されるカードは、目を通すだけでも非常な労力であると思うが、学生の声から授業を作っていくという意欲的な姿勢は見習うべきものと感じた。

授業内容に関わる議論も活発に行われた。「仮説実験授業」とは？「教材」をどのように定義しているか？回答に選択肢を作る意味とは？今後の進め方は？各教科の学習指導論との関係は？など専門領域の近い教員からの質問もあり、授業の方法だけでなく授業内容にも関わる検討会ができたことは、今年のFDの大きな成果と思われる。

最後に、定期試験の実施のしかたや評価についても意見交換をした。この授業では、定期試験の課題はあらかじめ提示しておき、試験の場で回答させる。答案に教師から提示した事柄が入っているかではなく、正しく授業内容を理解し自分のことばで表現しようとしているかで評価するということであった。試験の方法と評価については、どの授業においても教員が皆悩むところであり、これについて意見交換ができたことは、大きな収穫であった。



第3回授業公開&検討会

日時 平成19年11月22日(火)
授業公開(2時限 M22教室)
検討会(12:00~12:40 副学長室)
授業名 『公共経済システム論』
授業者 阿部 高樹



ファシリテーターからの報告

経済経営学類 高田裕憲

意見交換について

以下のような質疑が交わされました。

○1 コマ当たりの授業の分量について

これまで3年次配当の通年1コマの授業を新カリキュラムで2年次配当になり、1セメスター週一コマ(2単位)となった。少し急ぎ気味かも。あえて消化不良ぎりぎりのところでやっている。内容的には通年1コマ時代の3分の2ぐらい。

○授業の構成について

毎回復習に20分かける。毎回出席確認も兼ねて、宿題を出し、成績評価の3割にしている。

○レジュメ・資料等について

バージョン・アップを重ねてだんだん詳細なものになっているが、A41枚に収まる程度にしている。(整理・保存のため)A4かA3の様式にこだわっている。

○試験について

レジュメに載せている理解確認問題から試験問題を出している。だからまったく予想のつかないものではない。また授業内容の質問には答えるが、例えばこの問題の正解を教えてというのは受け付けない。

阿部さんのレジュメ・資料は、学習段階がいまどこまで達しているのかが一目瞭然に示されているものでとても感心させられることが多く、また毎回復習を取り入れていることも参考になった。どのように自己学習を促すかはけっこう大変だが、阿部さんのように理解確認問題、さらなる学習テーマ、という形で具体的に教員の側から積極的に提示する必要もありそうだ、と考えた次第です。

日 時 平成19年11月27日(火)

授業公開(4時限 第2ピアノ室)

検討会(5時限 合奏室)

授業名 『ピアノアンサンブルⅡ』

授業者 中畑 淳(人間発達文化学類)



授業者からの報告

人間発達文化学類 中畑 淳

授業公開を振り返って

ちょうど夏休みが近づいたところに、授業公開の可能性についてFD委員より打診があった。わたしは音楽分野の実技科目を主として担当しているが、実際に公開するには私のみならず履修する学生の同意をも得るのが好ましいという微妙な状況がある。指導を受けているところを不特定多数の見知らぬ人たちに直接見聞きされることは、学生にとってはそれなりに勇気のいることであるからだ。このような状況を勘案しながら、学生が複数で受講(演奏)する形の『ピアノアンサンブル』であれば、学生たちの心情的な負担も多少軽くなるであろうとの思いでお引き受けすることとした。

世間では実技指導(レッスン)を聴講することはしばしばあって、中には公開レッスンのように不特定多数に公開することが目的の形態も少なくない。この科目ではピアノ二重奏をテーマとしているから、今回は題材(曲目)としてこの演奏形態の特徴が端的に理解できるようなものを2曲選んだつもりである。

はじめに三善晃の小品(連弾)をとりあげた。これは大学生くらいの標準的な演奏力があれば、技術面での大きな困難を伴うことはないと思われる作品である。その分音楽的な内容により一層踏み込んで、『音そのもの』のとりあつかいについて様々な試みが可能となった。また、演奏パートを交換してみることで各パートにおける役割をより具体的に把握し、作品をより深く理解することができたと思う。次に、モーツァルトの2台用のソナタをとりあげた。これはピアノ2台を同時に2人で演奏するもので、先の三善作品のような連弾の形態とは本質的に異なる要点が浮かび上がる。各演奏者が1台の楽器を担当するから、連弾とは異なった気遣いが必要となり、そのうえこの曲は技術的にはなかなかの難曲

である。演奏技術もかなり高度なものを要求しており、それなりに時間をかけて準備をしてきたものである。当日はそれまでの研鑽の成果が出せていたと思う。

指導で心がけていること 工夫している点等)

どのような作品（教材）であれ、学生が勉強する際に音楽芸術としての作品の世界を端的に理解することができるよう、いろいろな角度より例示しつつ指導するようにしている。実際に演奏して見せるだけでなく、解釈の要点についてできるだけ具体的な言葉を用いて説明するようにして、その場限りの抽象的な指示に陥ることを極力避けている。技術面では学生の技量・適性などを見極めながら適切な指摘をおこない、例えば演奏困難な箇所では解決のための具体的な練習方法を提案するようにしている。

今回はじめて授業を公開して、聞いてくださって先生方の話をうかがいました。授業中に意図したことがどのように伝わったかを確認するとともに、検討会でうかがったご感想等をとおして新しい視点からながめることでいろいろと参考になることが多く、貴重な経験となりました。これからの指導にさらに工夫を重ねて反映してゆきたいと思います。ご関係の皆様、ありがとうございました。

授業公開&検討会 参観者からの感想

人間発達文化学類 金谷 昌治

実技教科の公開が初めてとあって、私自身の興味は今まで以上でした。参観者3名、受講者2名、そして授業者、と、かなりしんみりした90分でしたが、学生の内面を適度に刺激しながら、時には授業者の音楽観を説得的に語り、そしてすばらしい範奏と、実に内容豊富で充実した授業でした。「ファのパヴァーヌ」三善 晃、「二台のピアノのためのソナタ」モーツァルト、この2曲を教材としてあつかい、二人の学生が同じ曲の上声部と下声部を交代しながら授業は進められた。

とにかく教員の音楽表現を押し付け易い実技レッスンであるが、先生は学生たちの表現の奥深いところまで聴き取り、難のある箇所については、その原因が技術的な問題なのか表現に関してなのかを实に見事に見抜いて、的確な指導をされていた。言うまでも無く指導の後では見違えるような演奏になっていて、自分がそのように演奏できたことを喜ぶ生徒に顔には、充実感が溢れていた。



日 時 平成19年11月27日（火）
授業公開（4時限 M24教室）

授業名 『水質保全改善学概論』

授業者 稲森 悠平



授業者からの報告

共生システム理工学類 稲森 悠平

生態工学を活用した水生植物による浄化技術

1. 公開授業の要旨

生態工学を活用した自然浄化機能の強化は、自然生態系の健全化やバイオマスの変換によって自己完結的な物質循環システムを形成し、人間も含めた持続的発展の可能な環境形成が期待できる手法である。その役割の重要な点を担うのが水生植物であり、多様な生態系の構築を支える源であると同時に、水生植物による栄養塩の吸収、根茎からの酸素供給による嫌気・好気条件下での分解能の促進、間引きによる有効利用、堆肥化および飼料化による資源循環など、水生植物を植栽することで景観面の向上や食資源としての生産性をも期待することができ、環境基本法の理念である「循環」「共生」「参加」を反映する技術として、ますます活用が図られるべき手法である。本公開授業ではこれらの点を踏まえ、生態工学を活用した水環境修復技術の中でも、当方が研究代表の環境省環境技術開発等推進費（平成19年～21年度）で実施されている水生植物を用いた水質浄化技法の機能を応用した開発動向と課題について展望した。

2. 生態工学を活用した水生植物浄化システム

生態工学（Ecological Engineering）とは、自然生態系に工学の力を導入し、浄化効率を高めた環境修復を図る手法である。すなわち、生態工学は、生態系の基礎となる食物連鎖をなす低次レベルの藻類、細菌、その上位の原生動物や微小後生動物、および魚類、鳥類の関係や、それらの生息の場となる水域、陸域、湿地帯等の有機的連携による働きを工学的にコントロールすることで、生産、分解、吸収、浄化といったそれぞれの機能を高めながら効率的に行い、環境の保全および修復を図る技術である。

生態工学に活用される水生植物は、多様な生態系の構築を支える源であると同時に、植物による栄養塩の吸収、根茎からの酸素供給による嫌気・好気条件下での分解能の促進等、

多様な機能を有しているといわれている。

現在、閉鎖性水域で問題となっている富栄養化防止を図る上では、各種分野における対策が重要であるが、特に、公共用水域に排出される汚濁負荷の 50～70%を占める生活系排水対策による負荷削減が大きな問題点としてあげられており、その解決を図ることは必要不可欠である。この解決方策としては、とりわけ生態工学技法の活用が重要といわれている。

3. 水生植物活用浄化システムの特徴

水生植物を活用した浄化手法は水環境の修復や浄化を目的に、場の特性に応じて導入されるものである。その場合、外来種の移入による生態系の攪乱があってはならず、本来そこに棲む生物の生息環境にマッチした環境条件を前提に設置、改変するなどにより浄化を行うことが基本である。これら水生植物活用浄化システムの利点とは表に示すとおりである。

水生植物活用浄化システムの利点と特徴

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1) 有機物の浄化に加え窒素・リンの浄化が可能である。2) 施設の建設費が低コストであり大規模な施設設置が可能である。3) 維持管理が容易で低コストである。4) 野菜や花を有効利用し資源循環が可能である。5) 堆積する泥および植物の堆肥化や飼料化により資源循環が可能である。6) ビオトープを創出できるほか、親水空間としての景観向上も可能である。7) 市民参加による自発的な環境浄化が期待できる。8) 環境教育の場を提供できる。 |
|---|

水生植物活用浄化システムは、このようにさまざまな利点を有している。

4. 水生植物活用浄化システムにおける栄養塩類除去機構

水生植物活用浄化システムの基本的なメカニズムとしては、①植物体による窒素・リンの吸収作用による除去、②植物の根茎部に付着した生物膜のフィルター的作用による有機物・栄養塩類の分解・除去、③水中の植物体によるSSのろ過作用、④浄化中に堆積する泥中の硝化菌・脱窒菌等による浄化作用、⑤根茎部および水中部の食物連鎖による浄化作用がある。底泥部では植物の根茎部が好氣的環境を創出して、硝化菌によるアンモニアの硝化が行われており、より効率的な水質浄化が行われる。

5. 水生植物活用浄化システムの種類・効果と水域直接浄化への応用

植物による浄化手法は、一般的に水域や植物が有する自然浄化機能を高めて汚濁負荷を削減するものであり、河川・水路・湖沼・内湾・生活排水処理水などの、流域の広い範囲で施すことが可能である。対象水域への適用については、水域の汚濁状況や周辺を含めた環境特性に基づくものとし、たとえば周辺地域に自生している水生植物等を中心に選定を行うなど、このようなことを踏まえた中で手法の選定を行う必要がある。

また、陸域と水域をつなぐ推移帯（エコトーン）における沈水植物および浮遊植物についても植物体に生物膜が付着し、これによる微生物酸化作用の進行により水質浄化作用の向上に大きなはたらきのあることがわかっている。水質浄化を考慮に入れながら、たとえば池全体で植生配置条件を検討するうえでは、汚濁負荷源の流入部には抽水植物群落を創出し、水深が深くなる方向に沈水植物を配置し、池水の出口付近手前の水面部には浮遊植物、出口付近の水深の浅い部位に水耕植物を植栽することで池内での浄化はもとより、放流水についても清浄な水質を得ることが可能になるといえる。



6. 開発途上国における水生植物を用いた水環境浄化の方向

開発途上国では、生活排水、産業排水等の未処理放流による水辺環境の汚濁が進行しており、安全な水資源を確保するのが困難な状態にあり、とくに東南アジア諸国では環境衛生上一刻の猶予も許されない状況にある。このような緊急を要する課題に対して、水生植物浄化手法が積極的に導入されており、健全な水界生態系と安全な

水源域の創出に貢献しつつある。

中国の玄武湖では汚濁湖沼内の沈水植物群落の植栽区と非植栽区に分け、それぞれの水質浄化効果の比較検証を行ったところ、沈水植物を植栽した系で透視度が20cmが1m以上まで向上し、沈水植物が植栽されることによって極めて高度な浄化作用が得られることが確認されている。さらにこの沈水植物は中国では食資源や餌料資源として収穫されており、水質浄化と一体となった資源循環の構築の可能性が裏付けられている。

このように開発途上国における水生植物浄化法の適用は、いかに資源循環を効率よく行えるかが重要な位置づけとなる。

7. 水生植物活用浄化システムの展望

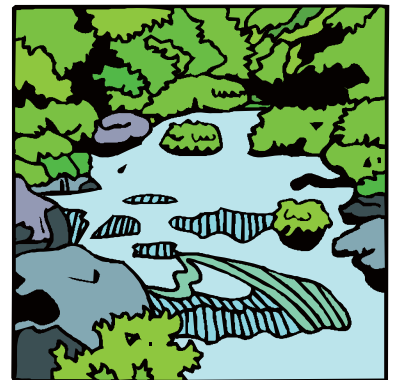
生態工学を活用した水生植物による水質浄化手法は、施設の建設費および維持管理費が低コストでありながらも複合的な組み合わせによってさまざまな汚濁負荷条件や水域特性に応じて適用が可能で、栄養塩類の窒素・リンの浄化はもとより溶存有機物や浮遊物質の浄化も可能といえる。それだけでなく、ビオトープやランドスケープの創出効果も併せ持つほか、植物体の食資源としての回収や堆積する泥および余剰植物の堆肥化に市民の自発的な取り組みが誘導できるなど、環境保全意識の高揚を促すことが可能で、さらなる発展が期待できる処理手法である。

水生植物活用浄化システム等の生態工学的手法の導入が有効に効果を発揮していくためには、適用する場の創出と維持はもちろんであるが、汚濁源を発生する人間が継続的に環境への負荷の少ない社会づくりに取り組む姿勢をもつことが大前提である。そのために

は、産・官・学・民が相互に協力しあい、環境生態工学を発展させ社会システムの中に適用していくことが必要であることは言うまでもない。経済産業活動のみの優先ではなく、陸域、水域における多様な生命が偏りなく、かつ隔たりなく宿り、生態系としてともに支え合うこと、それが「循環」「共生」型の社会の目指すところであり、持続的な社会の発展（ Sustainable Development ）と、土と緑と青い水に囲まれた潤いのある水環境の創出につながることになる。これまで得られた植物自体の処理能力は大きなポテンシャルを有しているという知見を発展させ、根茎に生息する微小動物また、細菌等の浄化機構解析、植物種の組み合わせ手法、人工湿地の設計マニュアル創りに重要な適正操作条件の解明研究への取り組みが必要といえる。

8. 本公開授業への感想

福島大学の教員および学生さんの方々が参画され熱心に受けていただき有意義であった。なお、共生システム理工学類の教員の方々の参画が少なく感じられたが、公開授業で情報を共有していく上で、多数の参画の基に行う事が出来たら更に意義深いものになったと思われる。



第6回授業公開&検討会

日 時 平成19年12月6日(木)
授業公開(2時限 S22 教室)
検討会(11:50~ S棟1階会議室)
授業名 エコ生産概論
授業者 生田博将



授業者からの報告

共生システム理工学類 生田 博将

公開授業の感想

平成19年12月6日(木)の2時限に開講した「エコ生産概論」を公開しました。この授業は共生システム理工学類の産業システム工学専攻の必修となっており、技術的な側面および法的な側面から環境に配慮した「ものづくり」に対する取り組みを概説しています。公開した回は、エネルギー問題および環境問題の観点から注目されている「低排出車」に関して社会的な背景からその分類および仕組みまで説明を行いました。

この授業ではパワーポイントで要点をまとめた資料を学生に配布してから、同じ内容の資料を液晶プロジェクターで投影して説明を行っています。資料には要点しかまとめておりませんので、詳細は黒板に板書して説明しています。液晶プロジェクターのみの使用ですと授業のめりはりが付きにくいと、私自身の説明のめりはりつけるのと同時に学生の視点の移動も考えて、重要な事項を説明する際には板書しています。授業を行っているM24教室では液晶プロジェクターのスクリーンは正面中央にあり、スクリーンを下げた状態では黒板の端しか使用することはできません。そのため、メモ程度の事柄はスクリーン脇の黒板の端に書きますが、ある程度行数が必要となる重要な事柄については、一旦スクリーンを上げて板書して説明を行っています。

公開授業後の討論会において、液晶プロジェクターと黒板の併用はある程度評価は頂きましたが、液晶プロジェクターでスクリーンに投影している資料をレーザーポインタで指し示す際にはどの部分を指し示しているかはっきりさせるため、ゆっくり動かして下さいのご指摘がありました。また、後ろの席では声が聞き取りにくいと、マイクを使用したらどうですかのご意見もありました。さらに、学生の理解度を測る上で質疑応答を織り込みながら授業を行うべきであるとのご指摘も受けました。学生と対話しながら授業を行うのはなかなか難しいですが、重要な事項に関してはこれから質疑応答も盛り込みたい



と思います。

普段一人で授業を行っている際には、気付かない点もいろいろとご意見をいただきましたので、これから授業の改善に役立てたいと思います。公開授業という貴重な機会を与えて頂きまして心から感謝いたします。



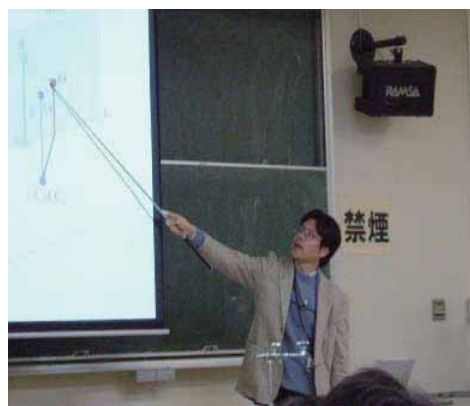
第7回授業公開&検討会

日時 平成19年12月11日(火)

授業公開(4時限目 M2教室)

授業名 『図学』

授業者 三浦一之



授業者からの報告

共生システム理工学類 三浦一之

公開授業の感想

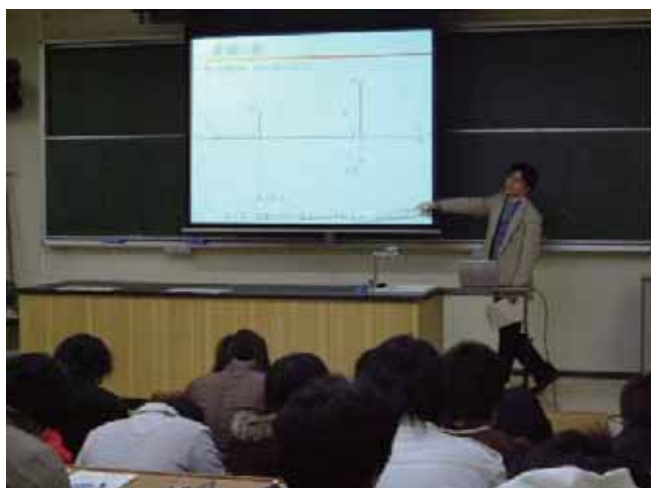
研去る平成19年12月11日(火)に、「図学」の公開授業をやらせていただきました。この講義は第2セメスターの専門領域基礎科目として位置付けられており、今年度は約100名ほどの学生が受講登録をしています。内容としては、様々な幾何学的な図形を、定規やコンパスを使用して紙の上に作図する方法について講義を行うものです。この授業を始めて3年目となり、講義の大体のペースもつかめてきているところでしたが、公開となるとやはり少々勝手が違うため、やはり多少緊張しながら当日の講義を行うことになりま

した。学生には事前に公開を行うことを伝えていましたので、学生側もいつもよりも多少の緊張を持って講義に臨んでいた印象を受けました。

この講義を行う際に心がけているのは以下の点です。

- ・パワーポイントによるスライドを中心に講義する。
- ・毎回レジュメを配布する。配布するレジュメは作図欄が空欄となっており、学生自身に作図を行ってもらう。(授業中出欠は取らないが、講義に出席しないと作図の手順等がわからない仕組みになっている)
- ・例題を解説した後に毎回作図の演習問題を出し、学生自身に考えてもらう時間をとった後に解答を交えて解説する。
- ・出来る限り受講者全員に理解してもらえるよう、基本的で簡単な例を中心に繰り返し説明する。(難しい問題はレポートで・・・)

当日公開した内容は、「陰影」の第一回目ということで、点や直線および平面図形に光を当てたときの影の状況の作図を行うというものでした。他の回に比べると比較的分かりやすい内容のため、例年学生の理解度も比較的高い部分であり、当日の演習時間の学生の作図状況も(他の回と比較すると)良好だったように思います。



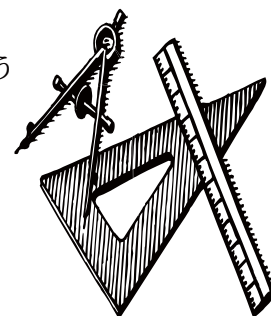
授業終了後にいただいたコメントでは、スライドの構成等に関して非常に好意的な意見をいくつかいただきました。実は私自身この講義の内容に関しては専門外のため、講義の内容等で厳しいご意見が寄せられるかもしれないと覚悟していたのですが、予想以上に過分なお褒めの言葉をいただき、今後の励みとなりました。また、マイクの音量が大きすぎ

ぎて声が聞き取りづらいというご意見もいただきました。実はマイ

クを使用し始めたのは今年から(昨年まではマイクを使用せずに講義を行っていたのですが、学生からのアンケートで「声が聞き取りづらい」というコメントが多数あったため、今年からマイクを使用していました)なのですが、使用に不慣れのため必要以上に音量を大きくしてしまっていたようです。学生からの意見の中にも同様のコメントが何件かありましたので、今後改めたいと思います。その他にも講義の進め方に関して多数の有益なコメントをいただき、大変参考になりました。今後の講義運営に少しでも生かしていけたらと考えております。

最後になりますが、お忙しい中参加していただいた先生方、このような機会を与えてい

ただいたFDプロジェクトの担当者の方々にお礼を申し上げます。



日時 平成19年12月12日(水)
授業公開(L2教室 2時限目)
検討会(11:55～ S棟1階会議室)
授業名 『大学で学ぶ～21世紀の学びとは』
授業者 森田道雄副学長



ファシリテーターからの報告

総合教育研究センター (FD部門専任) 板橋孝幸

授業公開&検討会に参加して

『大学で学ぶ』の授業は、今年度から開設された共通教育の総合科目です。この授業は、第1部(5回)を森田副学長、第2部(5回)を今野学長、山川副学長、中井副学長、永倉副学長、小沢副学長がそれぞれ1回ずつ、第3部(5回)をコーディネーターの板橋が担当する形で行われているものです。L2教室で、受講登録者は約250名のため、本学ではクラスサイズの大きな授業といえます。今回の森田先生の授業は、「21世紀の『学び』とは」と題して第1部のまとめでした。この授業参観を通して、大変多くのことを学びました。しかし、紙面の都合もあるので、授業の展開、学生の主体的参加、内容の厳選の3点にしばってまとめてみたいと思います。

まず、授業の展開についてです。授業の始めに「よりよく学ぶためにはどうしたらいいか」と発問をし、すぐに答えをいわずに授業の中で考えさせていく形態を取っていました。具体的には、次のような展開でした。授業の導入で、「聞く」だけでは5%、「読む」だけでは10%、「聞く」と「読む」を組み合わせると20%、「書く」と「示す」を組み合わせると30%、「話し合う」と50%、授業の内容について理解が進むという学習心理学の成果が提示されました。さらに、90%の効果が上がる方法があるがそれはどのような方法だと思うかと問いかけがなされました。「どんなときによく学べるか」という問いも交えながら、90%の効果が上がる方法とは何かを学生に考えさせていくのです。その方法が「教えるとき」であることを授業の最後に提示して、学生もなるほどそうかと理解できるように展開されていました。

次に、学生の主体的参加を促す方法です。上記の授業展開とも関連しますが、導入の段階で適切な発問をすることにより、学生の思考を揺さぶり、関心を喚起します。そうした土台を作った上で、資料を提示し、個人で考えをまとめさせ、周りの人との話しあい・教

えあいへと展開させていきます。その間、教師は机間巡視を行って学生の学びを支援します。教師の話を「聞く」、資料を「読む」だけでなく、「話しあう」「教えあう」ことによってより主体的な授業への参加を促し、学習効果があがることを実際に体験させるのです。こうした方法は、学生が授業後も学習内容について主体的に学び考え続けることを助けるものであると思いました。

最後に、学習内容の厳選についてです。教師はしばしば多くのことを学生に伝えようと、内容を詰め込みすぎることがあります。しかし、時としてそれは学生の理解を妨げるこ



にもなります。本授業は、受け身的な勉強から主体的な学習への転換にしばって展開されました。授業におけるさまざまな教材や例示は、すべてこの点に集約されるよう首尾一貫して組まれていました。学生の感想においても、そうした学習の転換について積極的に考えようとした内容が多く、授業の目的が適切に伝わっていたことが読み取れました。90分という限られた時間の中で、内容を厳選することがよりよい

授業をする上で重要であることを改めて感じさせられました。

上記3点については、検討会でも主要なテーマとなりました。大教室の授業は教師にとってやりにくい面が多いですが、効果的な授業方法の事例として参加者には非常に勉強になったのではないのでしょうか。最後に、お忙しいところ授業を公開してくださった森田先生に参観者を代表して感謝申し上げます。



第9回授業公開&検討会



日時 平成19年12月17日(月)
授業公開(2時限目 M1教室)
検討会(11:55～ S棟1階会議室)
授業名 『比較地域文化論Ⅱ 働くこと』
授業者 中山 庸子



行政政策学類 中山 庸子

授業公開を終えて

今回の授業は、「働くこと」をテーマに設定した場面であった。通常、授業の最初にB4 2～3枚の資料を配って考える素材を提供し、紹介するスタイルで授業をしている。

しかし今日は珍しく2枚だけ先に配り、最初の部分にかかわる1枚目は配らないでおいた。その上で、学生たちが日本の労働市場における課題の多い実態についてある程度認識していることを踏まえて、「あなたは仕事に何を求めるか」という質問をした。なぜかこれまでになく4年生が多いクラスである。

毎回授業の最後に提出してもらいうりアクション・ペーパーに書かれているその回答には「ぼちぼち良い暮らしをするための給料」「名誉・地位・高収入」「世間体を考えてまともな職業に」とある。しかし資料を紹介しながら話をし終わった段階で再度、考えてもらおうと、「(これまで)労働者が企業のためだけに働き、企業は労働者のことについて利益を伸ばすためだけのものと考えていたが」、「自分自身を表現し」「成長させ」「充実感を感じ」「自己実現をする場になる」ことに気づいたと記している。職場でうまれるであろう「新しい人間関係」にも目を開き、そこで「いい影響を与えられるような」仕事をしたい、という。「自分のこれからの可能性について希望を持つことができるようになりました」と言ってくれる。この場だけではなく、もう少し長く続く元気よさであればいいと願う。

最初に自分だけの考えを記し、最後に他から学んで変化した、認識的に変容した自己に喜びを感じているようすがうかがえる。しかし、少数ながらかなり抑制的な例もある。「滅私奉公といったものを美德としてきた国民性だけに“自己実現”のような機会は少ないと思う」といいながら「個人的には今より仕事に対する楽しさみたいなものを感じられるようになれば」と括っているなど。「自分はそこまで考えない。余裕のある人だけが・・・」と悲観論を捨てられない学生もいて、彼ら数人には届かなかった。

大多数が自分だけをみつめていた、いやむしろ、自分の周辺だけをみつめていた視線を自分の内側に向け、そしてその目を再度外へと向けていく過程がみられる。

私自身、ここ数年、プリントからパワーポイントへと望んできたが、あとは各自ぜひ読んでおいてくださいといって手渡す資料は量が多いので、必要となるであろうコンピュータ化時の膨大な作業と、結局手元にもたせ手渡したい資料がほしい、ということで変化なしが続いている。テキスト本の作成も、授業では「わたしの古文書」に加えて最新の新聞記事も使うので、テキスト本に付きまとう時代遅れ性にこちらも躊躇、のままである。ということはこの点については、今のままでいいと結論を出し、納得している。

これまで何度か公開授業を参観しそのたびに教えられることがあってありがたく思っている。「これからこんな話をしますよ、心積もりを」という指摘も今回やっと実現できた。まず材料なしで考えさせたあとプリントを配る、という工夫も、今回の公開授業というチャンスがあったおかげで考え付いたものである。よりよきを求める仕事には終わりが無い。





授業公開&検討会について

授業公開&検討会の「まとめ」

FDプロジェクト責任者 森田道雄

今年度も、多くの授業の授業公開と検討会を開くことができたこと、授業者及び関係された方々に感謝申し上げます。

昨年と同じ 9 回の開催ですが、これは数としては当初の目標には及ばなかったことと、参加する人数の減少という点で、反省が残りました。今年度は、昨年後期に開催が偏り、毎週のようにどこかで行われ、参加したいと思っても時間の都合がつかないなどの意見が少なからず寄せられましたので、開催を全学規模と学類規模にわけ、小回りの利く小規模でもよいものを、学類・専攻単位で適時開催する方向で、いろいろ折衝しましたが、結果的にはまた後期に偏ってしまいました。企画の段階で前年の反省を克服できなかったことは残念でした。そのこともあってか、参加人数の減少についても、厳しい批判的なご意見もないわけではありません。この点で、充分総括する必要がありますが、この原稿の執筆時点では、その議論は十分にはできておりません。以下は、個人的な見解として書くことにします。

2007 年度より、教員の研修が大学院レベルでまず「義務化」され、次いで学士課程でもその規程が省令化されました。もっとも「義務」なのは、大学としての制度等の整備であって、個々人の教員の義務という意味ではありません。教員の研修というのは、「教育公務員特例法」の規定のように、義務というより権利という位置づけであり、命令ではなく、自発的なものとして法的にも位置づけられていました（ここでいう教員は、初等中等段階の教員を指す場合が多かったのですが、大学教員も特例法の範囲外ではない、と言えます）。教員の研修では、事務の効率化という目的を持つ研修ではないわけですから、こうした自発性が尊重され、ある意味、限定のない努力規定としてしか書けないわけです。しかし、このことは、教員が教育のあり方について日常的に努力しているということが暗黙に期待されていることでもあり、同時に研修の環境整備、条件整備が行政(大学組織)に義務づけられるという構造として理解されるわけです。

初等中等段階の教員には、校内研修という OJT の研修機会が設けられ、授業研究は日常化されており、欧米の教育界からも日本の教員の研修レベルの高さには賞賛が寄せられてきました。大学設置基準の大綱化や「自己点検」義務化後あたりから、こうした授業等の教育活動の工夫などの研修が行われるようになり、FD も、その本来の意味での浸透が始まりましたが、なぜ FD が必要か、なぜ授業を見せ合い、教授法の改善が必要か、あたりの本

質的な議論はまだ一部にとどまっているのかもしれませんが。全国や地区規模の他大学の様子を知ることができる会議や研究会に出ますと、FDの形式化とか、授業改善の二極化などのことばがよく聞かれます。われわれが学生の出来に愚痴をこぼすように、FDを推進する立場のものから、まったく同じような愚痴が出てきているのです。

授業を改善するという必要性は、自分の授業がうまくいっているという意識からは出てきにくいのが実情です。うまくいっているかどうかは、授業アンケートでの学生の反応である程度知ることが出来ますが、それも個々人の解釈次第です。うまくいっていないのではないのか、と思う人がいても、自分のうまくいっていない授業を他人に見せる気にはならないし、客観的にうまくいっていない、つまり、学生に授業の意図が届いていない授業は、自分では見えにくいものです。他大学のFDでは、授業相談という形の機能を取り入れ始めています。第三者の立場で授業を観察し、うまくいっていないことを授業者と一緒に考え、改善を提言するというようなことです。これは「言うは易く行うは難し」で、だれでも相談に乗れるわけではありません。大学教授法を専攻した専門研究者が大学教育開発センターのようなところにいて、その事業を手がけるというケースが出始めましたが、これまでのFDで授業が相対的に良く評価された側の教員が、手探りで始めている場合もあります。どちらにしても、授業がうまくいかず、学生が育っていないままにしておくのはまずいという判断があるわけです。

本学の場合はどうか、ということについては軽々には書けません。このことを検討するためには、個々の授業がどうかというレベルよりも、学生がどういう力をつけて育っているか、ということの検証が伴うからです。一般的な言い方になりますが、本学は少人数教育を標榜し、「面倒見の良い大学」にもランクアップされたこともあり、大学が持つ「教育力」は、そんなにひけを取るところではないと考えられます。ただ、ある研究会のシンポジウムで、1-2年次の大人数講義の「教え込み」の弊害に目をつぶり、3-4年次のゼミ指導で「帳尻合わせ」をしてきた日本の大学が、外国の創造性開発型教育に後れを取ってしまっている危機感のなさが指摘されたとき、なんとなく本学のことがよぎったのです。専門の知識を学生は求め、共通教育へのモチベーションは高くない、ということをも未だに？聞きます。知識を与える授業はもちろん否定されるべきではありませんが、知識を与えるだけでなく、その知識がどういうものかを考えさせる授業への発展型が、いま求められていると思います。「考える力」を育てる授業とは何か、というような「テーマ」を持った授業研究、FDを提案したいと、私個人としては考えています。

F Dワークショップ 授業公開&検討会に向けて

—授業者と参観者の皆さんへ—

福島大学 FD プロジェクト

福島大学では、今年度のF Dワークショップとして「授業公開&検討会」を開催することになりました。実際の授業をお互いに見せ合って、具体的に授業をどう改善していったらいいかみんなで話し合おうという試みです。福島大学全体の授業力量充実・向上のためにも、授業を公開された方が「皆さんに見ていただけてよかった」と思えるような、また参観者の方々も「今度は自分の授業を見てもらおう」と思えるような、そういう会になる必要があります。そのために以下の諸点に注意しながら、授業公開&検討会に参加してください。

- 1) 「授業公開&検討会」の目的は授業改善であって、だれかを批判したり、非難したりすることではありません。みんなが前向きになれるような明るいムードの会にしましょう。
- 2) 授業者は、ふだんどおりの授業を心がけてください。他の先生方が聴いているからといって、いつもより高度な内容に触れたりすることのないようにしてください。
- 3) 参観者は、その授業の「いいところ」を発見し、自分の授業にも生かすよう、心がけてください。
- 4) 参観者は、学生と一緒に授業の内容だけに集中しないでください。大事なことは、授業中の学生の反応であり、学生がどのように学んでいるかという事実です。授業の内容や授業者の行動の変化によって、学生は敏感に反応しているはずです。学生は、どのようなときに授業に集中し、どのようなときに集中力を失っているのでしょうか。
- 5) 参観者は、今日参観した授業が、15 回分の 1 回であるということにも留意してください。
- 6) 教室の環境などにも留意して参観してください。
- 7) 検討会の場では、参観者が授業者を誉めることから始めましょう。授業者も過度に自己反省の弁を並べたてる必要はありません。大学教育に関しては誰も皆、素人みたいなものなので、お互いにアイデアを出しあって、それぞれが抱える問題を解決していきましょう。

(注意) 授業公開中の**教員同士の私語**は、学生の受講の妨げになりますので、くれぐれも慎んでください。

FD ワークショップ 授業公開&検討会 授業観察カード

* 授業者と授業名 (中山庸子 : 比較地域文化論 II 働くこと)

【観察の視点 例】 ① 授業技術に関して ② 授業運営 授業構成に関して ③ 授業の目標 達成度 理解度 満足度 内容に関する取り組みや工夫 ④ 学習活動 学生の参加度に関する取り組みと工夫 など

観察の 視点	参 考 に な っ た 点	疑問や課題が残った点

【メモ】

この観察カードは、授業参観時・検討会時のメモとしてご活用ください。



新任教員 FD 研修



平成19年 月

教 員 各 位

FD プロジェクト責任者
森 田 道 雄

新任教員の授業の参観についてのお願い

FD（ファカルティ・ディベロップメント）プロジェクトでは、平成16年度から授業公開を実施しております。他の教員の授業を見ることが、自分の授業を他の教員に見せることの意義は大きく、今後とも継続して取り組み、大きく広げて行きたいと考えております。

今年度も、新任教員を迎え、4月26日には「FD 研修 大学教員の授業改善」を開催しまして、そのなかで本学におけるFDの概況を説明しました。新任教員の中には、初めて授業を担当する方もおりますので、学内で行われている授業を実際に見て聞いて、自身の授業に役立ててもらおうと考えております。つきましては、新任教員から授業参観のお願いがありました際には、是非ともご承諾していただきますようお願い申し上げます。

なお、授業参観者には、「FDワークショップ 授業公開&検討会に向けて」（『平成18年度 福島大学FDプロジェクト活動報告書～授業改善の追求～』26－31頁 17年度版では38頁以下）に沿って、「授業観察カード」に記入することと、これを授業公開者とFDプロジェクトに提出することになっておりますことを、申し添えます。

F Dプロジェクト 授業公開および検討会に参加して

科目名：「公共経済システム論」

講 師：阿部高樹先生（経済経営学類）

日 時：2007年11月22日（木） 2時限 M22教室

11月22日にF Dプロジェクトの一環として開催された、授業公開及び検討会に参加した。当日は、前夜からの大雪であったが、受講生はもちろん、複数名の教員も、授業開始から遅れることなく参加していた。今回、私が参加させて頂いた授業科目は、阿部高樹先生の「公共経済システム論」である。なお、「公共経済システム論」は、従来、学類3年生に対する4単位科目であったが、カリキュラムの改編に伴い、2年生に対する2単位科目となっている（らしい）。

本稿では、いくつかの観点から、実際に授業を見て、聞いたこと・感じたこと・考えたことを書いてみる。

①配布レジュメに関して

まず、当日、学生に配布されたレジュメ（ハンド・アウト）は、A4両面印刷2枚の授業ノートとA3両面印刷1枚の資料である。阿部先生によれば、レジュメの大きさは毎回揃え、しっかりと2枚に収まるように、工夫をしているとのことである。

その内容であるが、まず、これまでの授業の概要が簡潔に示され、その日の講義及び前後のトピックについては、詳細が示されると共に、ゴシック体で示されている。これにより、学生にとって、「今、学んでいることが全体として授業のどこにあたるのか」が一目瞭然となるように感じた。次に、前回の講義の内容に関して、講義時に与えられた課題の解説、試験に向けた自習用の課題、さらなる学習テーマ等を示してある。ここまでを、A41枚に収め、次頁から当日の授業内容が続く。課題の解説（および講義の内容部分）では、図を用いて視覚的に考えさせるとともに、学生が書き込む部分を設けることで、講義を一方的なものにしないようにする配慮が感じられた。また、さらなる学習テーマを示すことにより、その部分に興味をもった学生が、自主的に勉強を進められるようにしていた（この授業科目ならではのこともかもしれないが、公務員試験の過去問も資料として添付されていた。）。阿部先生によれば、「何を、どのように書き込ませるか」を工夫することで、講義の分量・進行速度を調整しているとのことだった。

②授業運営・授業構成について

基本的に、配布された授業ノートに従って、講義が進められた。ノートは要点が簡潔にまとめられており、書き込めるスペースも十分にとってあるので、疑問点や先生が授業中に加える指摘等も、おそらく学生は必要に（自らの理解度に）応じて、記述しているものと思う。講義内容をレジュメの形で配布することにより、黒板に板書する分量は減っており、もし板書にすると、取り上げるトピックの質・量ともかなり削減しなければならない（おそらく現状の1/3になる）とのことだった（つまり、講義でのトピックを充実させるための授業ノートである。）。

1つのトピックは、長くても25分、短ければ10分弱で説明された。トピックに関連

した具体例では、なるべく身近なものを取り上げており、学生が考えやすく、想像しやすいものであったと思う（当日の具体例としては、ゴミのポイ捨て、ガソリンの値上げなどが挙げられていた。）。また、そこで説明されるトピックが、これまでの学習・これからの学習とどのようにつながるのかも示されていた。トピックの質・量に関しては、阿部先生も「悩んでいる部分」であると検討会で打ち明け、学生が消化不良になりすぎない程度で、かつ、教えておきたいことをなるべく多く、「パンク寸前を狙っている」というお話であったが、授業進行のテンポがよかったためか、そこまで量が多いと感じることはなかった。

講義は、予定した内容がちょうど時間内に収まって終了し、講義後に質問にきた複数の学生に対して丁寧な対応を行っていた。まだまだ授業時間の配分に慣れておらず、時には授業時間をオーバーすることがある筆者としては、しっかりと授業時間の終了と同時に講義を終えるには、どのような工夫が必要なのかを考えさせられた。

③課題について

検討会でお聞きすると、阿部先生は、全15回の講義のうち10回ほど課題を出されるとのことであった。内容としては、その回の復習がメインであり、提出することで「平常点（出席点）」として考慮しており、学生が関心を持っているかの参加意欲を測るモノサシになっているとのことだった。課題の提出は、授業開始時を原則とするものの、その解説が終わるころに提出する学生も見受けられた。なお、（次の回に提出する等）提出の遅れについては、多少の減点で対応しているとのこと、なるべく学生の関心・参加意欲が続くように配慮しているとのことだった。また、添削・返却はないとのことであった（授業において課題の解説を行うので、返却せずとも、何が問われていたかはノートで確認できる。）。

また、トピックに関して出題される「試験に向けた自習用の課題」は、その答えを示さず、もしそれを直接、学生に尋ねられたとしても、そのまま答えを教えることはせず、あくまで授業の内容に関する質問にのみ応じているとのことであった。また、この自習用の課題は、試験直前に、再びまとめて提示し、学生の試験勉強に役立てているとのことだった（その成果か、昨年の当該授業においてD以下は0人だったそうである。）。

④全体をとおして

今回、参加させて頂いた「公共経済システム論」の授業では、レジュメの作成方法、授業の運営・構成など、自分の授業に生かせることを多く吸収することができたように思う（もちろん、ただ真似るのではなく、自分なりの工夫は必要となるだろうが。）。自分の研究とは異なる分野だったためか、授業の内容にも集中してしまったと思うのだが、それは「授業をみる立場」という経験の不足と、阿部先生の「授業の惹きつけのよさ」によるものであろう。講義中は、学生も静かに集中しており、授業環境としては極めて良好であったと思う（ただ、降雪の中の室温のためか、教室が少々熱いようにも感じたが）。

まだ、人に教えるという立場になってから日の浅い筆者としては、非常に得るものの多い授業公開であった。阿部先生の例をあげるまでもなく、良質の授業のためには、それまでの蓄積と絶えざるブラッシュ・アップが必要となるように思う。今後は、研究者としてだけでなく、教育者としても、研鑽を積まなければと感じた。

2007年11月29日

FD ワークショップ 授業公開&検討会 教員アンケート

どうもお疲れ様でした。今後のワークショップの改善資料といたしますので、ご協力ください。

福島大学 FD プロジェクト

参観者氏名 (浅 岡 善 治) ← 無記名でもかまいません。

なお、このアンケートの返却をご希望の方は○をご記入ください。 返却希望 ()

下記の表を参考に、()内に評価ポイントをご記入ください。

評価ポイント	強く思う	やや思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
	5	4	3	2	1

1) 公開された授業を参観されて、ご自身の授業をふり返るきっかけになりましたか。 ()

ひとこと欄 たとえばどのようなことにお感じになりましたか?)

パワーポイントを駆使したスマートな講義で、それらとは全く無縁な当方には大変参考になりました。学生の集中力(注目度)が比較的高く、しかも持続的であったように思います。

1) 検討会で授業について語り合ってみて、ご自身の授業改善に対する示唆が得られましたか。 ()

ひとこと欄 たとえばどのようなことにお感じになりましたか?)

学生対応のため欠席

1) 当日のタイムスケジュールや会場の設定、また検討会の進め方など、運営はよかったですか。 ()

ひとこと欄 たとえばどのようなことにお感じになりましたか?)

1) 今回の FD ワークショップ 授業公開&検討会」に実際参加して満足されましたか。 ()

ひとこと欄 全体をふり返って、ご自由にお書きください)

公開授業の選定にあたって、その性格が事前に十分考慮されているのか。
今回は14回のうちの1回というよりも、オムニバス内の1回きりの授業)

このアンケートは、検討会終了後に回収箱へ投函願います。

■ ■ 新任教員による授業参観の観察カード

参観者 経済経営学類 沼田大輔

公共経済システム論 阿部高樹

平成19年11月22日 2時限

観察の視点	【参考になった点】	【疑問や課題が残った点】
授業技術に関して	レジュメに理解確認問題（さらなる学習テーマ、公務員試験の問題、全体の講義の中での本日の内容の位置づけ）がついている点。	
授業の運営・構成に関して		講義中に学生が発言する機会が少しあってもよいのではと思う。
授業の目標・達成度・理解度・満足度・内容に関する取り組みや工夫に関して授業技術に関して	盛りだくさんの内容で、とても充実した講義であるように思う。	
【メモ】		



初年次教育に関するラウンドテーブル、FD 実質化に関するシンポジウムを企画して

中間 玲子

(人間発達文化学類)

1. はじめに

1995 年 3 月以来、京都大学高等教育研究開発推進センターの主催で、大学教育研究フォーラムが毎年開催されている。初期は「大学教育改革フォーラム」という名称であり、2002 年度からその日程に「大学教育研究集会」が同時開催されることになり、2004 年度から「大学教育研究フォーラム」と統一されて今に至る。

報告者は、大学院時代からの共同研究の関係で、このフォーラムには定期的に参加してきた。高等教育研究の研究区分は様々である。たとえばフォーラムで報告される研究には、授業研究に関わるもの、教育評価に関わるもの、カリキュラムに関わるもの、FD のあり方に関わるものなどがある。その中で、報告者の立場は一言でいうならば「大学生研究」にある。自己論や青年心理学を専門としている立場上、高等教育研究においても、自然と、様々な取り組みの結果、学生の学びがどう変わったのか、あるいは、学生は大学で何を学んでいるのか、そもそものような生活世界の中に生きているのか、などに関心が向いた。それをベースとした上で、授業や授業評価についての議論を絡めるとというのが、報告者の立場である。

2006 年からは、福島大学 F D プロジェクトの助成金をいただいて参加させて頂くようになった。2005 年 3 月の発表内容は、既に「大学生のアイデンティティ発達における専門教育の意義について——心理学専攻の学生を対象に——」（『京都大学高等教育研究』第 12 号, pp.1-14）、「大学教育の議論における大学生研究の意義と視点——心理学研究の知見から——」（『福島大学総合教育研究センター紀要』第 1 号, pp.97-106）に所収済みである。そこで、ここでは 2007 年 3 月からの高等教育研究に関する活動報告をさせていただくこととする。

2. 活動報告の概要

2007 年 3 月の大学教育研究フォーラム、および、2007 年 9 月の日本心理学会において、ラウンドテーブルおよびシンポジウムの企画・司会をおこなった。いずれも、大学教育研究に関わる心理学者たちの研究グループ、通称、“あすなろの会” 主催のものである。

あすなろの会とは 大学教育研究では、「こんな授業をやりました」「こんな改革に携わっています」「学生は喜びました」といったパターンの発表が多い。つまり、単なる実践報告で終わるものが多い。その授業の構造や学生を満足させた要因、あるいは、授業がうまく展開したメカニズムについての考察が乏しいのが現状である。だが、それらを知的財産として共有するには、単なる実践報告で満足するのではなく、より質の高い大学教育研究へと高めていく必要がある。そこで、心理学の実証的なデータや理論を背景に、質の高い大学教育研究をめざして議論をしていく研究グループとして結成されたのが、この「あすなろの会」である。

これまで、『心理学者、大学教育への挑戦』（溝上慎一・藤田哲也編, 2005 年, ナカニシヤ出版）の刊行、および、定期的なラウンドテーブルやシンポジウムの企画を行ってきた。企画としてこれまで扱ってきたテーマは、「理論と実践」（2003 年）、「学生の視点に立つ学び支援」（2004 年）、「初年次教育・導入教育」（2005 年）、「体験型授業」（2005 年）、「授業評価」（2006 年）であった。

2007 年 3 月の大学教育研究フォーラムにおいては、林創氏（京都大学）と報告者の共同企画・司会で、「グループ活動を含む初年次教育の実践」というタイトルのラウンドテーブルを開いた。

2007 年 9 月の日本心理学会においては、報告者および山田剛史氏（島根大学）の共同企画、報告者の司会で、「心理学者、実質的 FD への挑戦——FD 義務化の流れの中で——」というタイトルのシンポジウムを開いた。

それぞれ、順に、概要をまとめる。

3. 2007 年 3 月、大学教育研究フォーラムにおける企画：「グループ活動を含む初年次教育の実践」

近年、多くの大学で、初年次教育が実施されている。それは、その目的から大きく 2 つに分けることができるだろう。1 つは、テキストの読み方やレポートの書き方など、基本的リテラシー能力の育成を目的とする講義・演習型授業であり、もう 1 つは、学生同士によるグループ活動を通じて、討論の基礎を学び、将来のゼミや研究室での学習につなげていくことを目的とする参加型授業である。ここでは、後者に位置づく初年次教育の実践報告について、京都光華女子大学の伊藤美加氏に話題提供をしていただき、グループ活動を含む初年次教育の実践を紹介し、基本的リテラシー能力の育成とグループ活動の展開がどのようにつながるのかを検討すること、それを通して、初年次教育を実践していく上での問題点や改善点、学士課程教育との兼ね合いにおける発展可能性などについて探ることを目的とした。

（1）話題提供

京都光華女子大学は、文学、福祉、心理など文系の学問分野が一通り設けられた女子大学である。学習意欲が低い学生が多く、初年次教育の有効性をもっとも試される文脈を有している。そこで、「大学基礎講座Ⅰ」「大学基礎講座Ⅱ」と名づけられたカリキュラムが設けられ、初年次教育として位置づいている。前期に開講される「Ⅰ」では、大学の“講義”形式の授業で求められる学習技能について実践的に学ぶことを目的とする。続いて後期に開講される「Ⅱ」では、“ゼミ・演習”形式の授業で求められる学習技能について体験的に学ぶこと、具体的には、グループでの学習・討論を通じて、資料を収集・作成し、プレゼンテーションを行う訓練をすることを目的とする。ここでは「Ⅱ」について報告された。

知識についての考え方として、それを、「自分で創り上げていくもの」「自分の経験を自分で一般化して作るもの」とする知識構成観と、「他人とのやり取りの中で獲得され磨き上げられていくもの」、「人に助けてもらったり他人と共同して考えたりするもの」とする協調的

学習観とがある。伊藤氏は後者の立場をとり、「大学基礎講座Ⅱ」において、班による活動をメインとすること、発表に対して受講生同士の相互評価をさせるという工夫を行った。また、毎回の授業終了時には授業評価および質問・感想などを提出させた。

グループ活動の展開を考える上での理論的基盤は、Norman の学習の段階モデル理論であった。そこでは、学習段階として、知識の増大による学習がなされる「集積段階」、知識の構造化による学習がなされる「構成段階」、知識の調整による学習がなされる「調整段階」、さらに「再構成段階」の各段階が想定される。それぞれの段階進行に応じる形で、授業者からの課題や指示が用意された。

最後に3つの問題点があげられた。第一は、班構成後に脱落者の存在である。脱落者に対するフォロー、および、脱落者の抜けた後の班メンバーに対するフォローが検討課題とされている。第二は、発表後の反省を生かす機会が設けられていないことであった。第三は、専門教育との連携であった。

(2) 指定討論

話題提供に対し、文章表現教育の観点から井下千以子氏（桜美林大学）、授業過程で教員に求められる資質の観点から西口利文氏（中部大学）、協同学習（教育）の観点から安永悟氏（久留米大学）の各氏に指定討論がなされた。

井下氏からは、特に「大学基礎講座Ⅰ」と「大学基礎講座Ⅱ」との連携が討論の視点として出された。レポートの書き方を例に、基本的なライティングを学んだといっても、それで応用的なライティングができるわけではないという、“学習の転移”の問題がとりあげられた。それを促す教育として何が必要か、さらに、初年次教育での学習を専門教育へとどう転移させるのが議論された。

西口氏からは、グループ活動の担当者としての教員の資質の問題に焦点が当てられた。グループ活動においては、教員は、グループ学習時の役割・課題の明確化、グループ編成の工夫、学生間トラブルへの対処を行わなければならない。そこでは、主体性の尊重と、指導との適度なバランスをとることも求められる。授業課程で求められる大学教員の資質としては、専門性、親和性、柔軟性があげられるという。その観点に立脚しながら、上記の問題についての対応が議論された。

安永氏からは、協同学習の立場から、授業の意義についての考察がなされた。まず、協同学習を実践する際の留意点として、グループ活動に必要なスキルの育成、学習集団としてのクラスづくり、評価の方法が提示された。その上で、伊藤氏の実践に対し、学習スキル獲得のために、それぞれのグループ活動（討論・班活動）に期待したことと成果は何であったのか、グループ活動（話し合い）に必要な基本的スキルをどの段階でどのように教えたのか、という問いが出された。また、知識やスキルの獲得、社会性の獲得、動機づけの育成といったグループ活動の観点からとらえた際に、複数設けられている「大学基礎講座」は、どのようなつながりを期待あるいは計画しているのかという問いが出された。

4. 2007 年 9 月、日本心理学会における企画：「実質的 FD への挑戦」

2007 年 9 月の日本心理学会においては、報告者および山田剛史氏（島根大学）の共同企画、報告者の司会で、「心理学者、実質的 FD への挑戦——FD 義務化の流れの中で——」というタイトルのシンポジウムを開いた。

現在、どこの大学でも FD 活動は既に開始・継続されている。1990 年代の紹介・導入期を経て、90 年代終わり頃から急速に普及した。「学部もしくは研究科でファカルティ・ディベロップメントを実施している大学」は、1993 年では 28.5%であったのに対し、2004 年では 75.3%、国立大学のみでは 97.7%に上る。特に多いのが、授業評価、講師を呼んでの研修会、研修合宿、公開授業などである。たとえば授業評価活動を実施している大学は 9 割を超え、もはや当たり前となった。授業に関わる能力開発や啓蒙的な研修会なども、多くの大学で盛んになされている FD 活動である。いってみれば、各大学でやれることは概ね実施されているのである。

とにかく何か FD 活動をしなければならないといった時期を経て、2005 年くらいから、「FD によって実質何が変わったのか」、「大学の FD 活動は、教育改善に貢献しているのか」、つまり、「FD 実施はなされているが、実効がないのではないか」といった議論がなされるようになった。FD 活動が一通り軌道に乗った後に、これが次なる問いとして生まれるのは当然であり、再構築期に入ったといえる。

ところが、2007 年度から大学院課程における FD 義務化、2008 年度から学士課程における FD 義務化が決定された。これによって、大学側は、自身の FD 活動を吟味・検討する余地なく、結局は、大きな外圧の中で FD を進めざるをえなくなったというのが現状である。

ここで、改めて、高等教育改革の流れをふまえながら FD の取り組みを検討する機会を設けたいと考えた。FD の意味・意義を改めて問い直すことで、個々の FD 活動をより有機的かつ実質的なものとして再構成していくことができるのではないかと考えたためである。現時点での時代的な位置づけを理解し、そこで求められる FD の意義と実態をとらえていくことで、現在の FD 活動をより実のあるものにすることができるのではないか。

この問題意識に立ち、山田剛史氏（島根大学）から島根大学教育開発センター主幹の FD 実践例について、大野久氏（立教大学）から立教大学大学教育開発・支援センター主幹の活動報告について、話題提供がなされた¹。それらに対する指定討論者として、全国の大学における様々な取り組みを総合的に検討する立場にある溝上慎一氏（京都大学）を迎え、これまでの FD 活動が今後の FD 的取り組みを展開する上でいかなる広がりをもつか、また、今後の FD に貢献するであろう取り組みとして何があげられるかについての議論が展開された。

¹ 企画段階では、廣岡秀一氏（三重大大学）からクリティカル・シンキングを目的とした、三重大大学高等教育創造開発センター主幹の授業実践例も話題提供として報告いただく予定であったが、廣岡氏が急逝してしまい、かなわなかった。ここで改めて、哀悼の意を表したい。

（１）話題提供

山田氏からは、島根大学における FD 実践例の 1 つとして、「学生による教育座談会」が報告された。これは学生の教育ニーズを探るためのもので、3 つの学生グループによる「効果的な学習方法って？」「教養教育に求められるもの？」「面白い授業ってどんな授業？」という討論の結果について報告がなされ、学生を巻き込んだ FD 活動展開の工夫が報告された。また、島根大学 1 回生 926 名を対象としたスタディ・スキルの教育ニーズと教育効果についての調査報告がなされた。そこでは初年次教育プログラムにあげられる 15 項目が挙げられていた。教育ニーズの高さと教育効果の低さの開きが大きい項目として、特に、“プレゼンテーション能力”、それに続く形で“英語テキスト読解力”、“論理的主張力”が見受けられた。その他、“批判的思考力”、“科学的・数量的思考力”も、ニーズと効果のギャップの大きいものであった。

大野氏からは、立教大学における FD の実際が報告された。立教大学大学教育開発・支援センターの 3 つの方針が紹介される形で、各種取り組みが紹介された。3 つの方針とは、以下の通りである。

第 1 は、“立教大学を知る”である。センター活動開始時、教職員はじめ、大学当事者が、所属する大学の実態を把握していないことがまず指摘された。そこで、①学生の実際・ニーズを捉える、②教育内容、良い試みを学内外に広く伝える、③大学を取り巻く社会的状況を学内に伝える、の 3 点を目標とし、立教大学と社会の現状を知る試みが多数実施されている。第 2 は、“対話の場をつくる”である。ニーズを把握し、相互理解を深めるために、教職員や学生と共に、大学教育について対話する場として提供されるワークショップが定期的に行われている。

それらについてのこれまでの経緯と現時点での成果と課題が報告された後、方針の第 3 が提示された。それは、“大学教育や大学の制作に反映させる”である。先日の活動の成果を大学全体の教育、政策にどのように反映させるか、目下の検討課題として示された。

（２）指定討論

指定討論の溝上氏からは、現在の FD が直面している問題の提示、FD 活動におけるダイナミクスからの問題整理、それをふまえた上での今後の展望が述べられた、

まず、これまでの FD 活動からあげられる問題状況として、教員の FD は個人の授業改善だが、個人で対応しきれない問題にいくつも直面していること、外圧を受けて華々しく FD 活動を推進していても、何を変えようとしているかが自覚的ではないこと、日常的な文脈における教育改善に拘泥して、発展を示さない取り組みが多々あること、の 3 点が確認された。

それらに対し、実際の FD は狭義の FD を越え、組織的な教育改善の取り組み全般として行われていること、初発的動機は外圧的であっても、取り組みは結果として個別化することが多いことが指摘された。そこから、FD には、狭義の FD である“教室場面”での反省的改善過程という FD、それと“個別の組織”である大学・学部・学科との相互交渉的反省過程という FD、さらに、それら“個別の教育組織”が、国家・行政機関・社会などの外圧を

視点として取り込み、教室場面を含めた個別の教育組織を改善する過程としての FD という、重層的な様相があることが指摘された。

しかしながら、様々な FD 活動がなされながらもその目標は「学生をいかに成長させるか」であること、また、“成長”の定義次第で大学教育の発展可能性は大きくも小さくもなることが明言された。そして、近い将来、学生の学習を取り巻く諸変数（能力・態度・技能・大学生活など）を専門的に、組織的に測定する作業が求められるであろうことが指摘された。そして、氏の注目する“批判的思考力”（これは、汎用的技能 generic skills の1つとして位置づけられている）についての研究が紹介され、それに対する大学の教育可能性が議論された。

5. おわりに

以上、2つの企画について報告した。初年次教育実践で指摘された問題は、自分も直面するであろう問題であった。ここでの指定討論は、それらについて多様な視点から検討できることをねらったものであった。実際に議論してみて、多様に考えられるものであることはもちろん、それぞれが深く問い進めることのできる視点であることを確認した。それ故、時にはそれら各視点のめざすところが葛藤することもあるのだろうが、最適な状態においては、おそらくそれらは拮抗せず、有機的に関連するのであると思われる。多様な観点から、1つの授業を検討する視点を、常にもちたいものだと思った。

実質的 FD の議論においては、自らに照らしてみると、何よりもまず、教育ニーズの把握の必要性を痛感した。学力には、本来、学んだものを理解する力のみならず、それを使う力や、そもそも学ぶ力が含まれる。教育ニーズは、この後者に対して高いようである。報告者の立場は冒頭に示した通りであり、現在、高等教育研究において興味をもっているのは汎用的技能についてのものである。その測定は非常に難しい。だが、実質的 FD での議論を参考にしながら、今後の自身の高等教育研究を、より実質的なものとしていきたいと感じた。



福島大学の教育改革をめぐる懇談会



日 時 平成19年6月6日(水) 15:30～17:00
場 所 S-24教室



6月6日教育改革をめぐる全学懇談会「アンケートのとりまとめ」配付資料について

この日に配布した2006年度後期に実施した教育企画室による「アンケート」の抜粋を掲載することにしました。全教員にアンケートをお願いしましたが、回収は21名にとどまり、この扱いに苦慮しました。せっかく書いていただいた方の努力を無にしたいくないし、少数のかたのご意見を出すことで、これが全体の教員の意識とどういう関係になるのか、解釈が分かれるところだと思います。公表の仕方を考えているうちに、麻疹による全学休校という事態になり、急遽、こうした懇談会を開催する際の話題として提供するというのを思いつき、抜粋版を当日配布しました。全体では20ページになるものを、8ページ立てに圧縮しましたのでさらにバイアスのかかった集計結果になったかもしれません。その点は、当日参加者の方々にはお断りしたところですが、今回の掲載に当たっても、同様のお断りをいたします。

また、出されたご意見はすべて丁寧に読ませていただきましたが、なかには、誤解に基づくご意見もないわけではなく、どう応答すべきかどうか迷ったところでした。でも、この際、そうした応答をしないままに掲載することといたしました。この点も、お断りしなければなりません。もちろん、多くのご意見はそれぞれ貴重で、その後の教育関係の各種委員会を進める上で参考にさせていただきました。

アンケートに記入されたすべての方に感謝申し上げるとともに、自由闊達な議論が今後もありますよう、切に希望いたします。

教育担当副学長 森田 道雄

予告1：「福島大学の教育改革をめぐる懇談会」

6月6日 15時30分から17時までの予定

S24教室

趣旨：休校期間を利用して、これまで進めてきた改革について振り返る。

これからの方向性について、種々の意見・アイデア等をフリーに意見交換する。

昨年の「教育企画室アンケート」への回答をめぐる論点も想定

テーマ例：「教える」から「学ぶ」への転換の意義

：GPA制度と成績評価のあり方

：Cap制、単位の実質化の課題

：授業改善アンケートの今後

：学生にいかなる力をつけるべきか、スタンダードの構想に関して

話題提供：近年の大学政策と大学改革の全体的動向

：教育改革の個別テーマ、例えば、教養教育、FD、キャリア教育など

：eラーニングの新動向

緊急の設定なので教育担当副学長の責任での開催となります。いくつかのテーマで話題提供をしますので、自由な意見交換の場になれば幸いです。時間のある方は、ぜひ、ご出席下さい。教育企画委員会、FDプロジェクト、自己評価委員会、各研究科FD担当評議員、各学類の将来計画にかかわる検討委員会の教育部門の担当委員、等々の方々には、絶好の意見交換の場になりますので、よろしくお願いします。

予告2： 若手教員のFD／授業研修のお知らせ

昨年度より、新任教員の研修メニューに授業改善のテーマで、90分の講座を開催しました。そのレジュメは、18年度FDプロジェクト報告書の29頁に掲載してあります。少しボリュームのある参考資料を添えて、気軽な雰囲気で行ってきました。それ以前の赴任方で、急ではありますが、研修会を設定しました。時間のある方は、どうぞこの機会をご活用下さい。なお、資料準備」の都合上、参加の予定がある方は、6日までにメールでお知らせ下さい。 副学長アドレス edfukugaku@adb.fukushima-u.ac.jp

6月7日 木曜日 15時30分から17時までの予定 教務となりの副学長室

(注) 全教員メール配信しています。はしかにかかわる入構制限にご留意ください。

7E 葛藤 G び h1 ギャカ Z ス パぶこ膽き んぶ 熊んよばり H 百站 D I

回答者所属

人間発達文化：7名、行政政策：5名、経済経営：3名、共生システム理工：2名、各センター：1名
未記入（不明）：3名、合計：21名

＊複数にまたがる回答がありますが、そうした項目はまとめて1つの項目に分類しています。

＊回答者が特定できると思われる一部の内容については、伏せ字にしてあります。

1 授業改善・FDに関して

① 授業改善の工夫をどのようにしていますか、その事例をお教えてください。

＜授業前・授業中・授業後＞

- ・授業準備を入念に行っている。
- ・説明内容に関して、なるべく多くの具体例を示すようにして、学生の理解と興味を喚起するようにしている。
- ・（授業科目によって異なりますが）半期受講後に、学生に自由記述式で感想を書いてもらう際に、授業の進め方や改善してはどうかと思う点&アイディアを書いてもらい、生かせること、工夫できることは次年度工夫している。

＜レジュメ・視聴覚教材（パワーポイント等）・ミニットペーパー＞

- ・講義については、基本的にパワーポイントとレジュメを併用している。レジュメですべてを記載するのではなく、レジュメに学生自身がポイントを書き込むことを促すような資料を作ろうと努力している。
- ・毎回、感想文用紙を書いてもらい、翌週にそれへのリプライをするようにしている。講義の「一方通行」性を少しでも緩和するため。

＜テスト・成績評価＞

- ・学生に対して、授業30回の中で5回小テストをして学生の理解度、復習の程度を点検している。学生に対して、授業の初期と末期にカードを配布して授業の感想・改善点を無記名で記入してもらっている。それをふまえ、次の授業、次年度の授業を改善している。

＜その他＞

1. とにかく研究の時間をできるだけ多く取ることだと思う。研究が充実してはじめて授業内容が濃くなり、授業そのものの改善につながる。
2. 授業の前準備の時間をゆっくり取ることだと思う。→とにかく、その他の仕事や、一週間あたりの授業担当時間をできるだけ少なくすることこそ最大の授業改善の工夫である。

② その改善に対する学生の反応はどうか。

＜良い＞

- ・授業での学生の様子やアンケートからすると、好意的に受けとめられているようである。
- ・もちろん、研究内容がその時々最新の成果を反映し、かつ時間を充分にとって授業を行った方が反応がよい。教員が興味を持った内容でなければ、学生にはそのおもしろさや重要性が伝わらない。
- ・一方通行にならないで、反応はおおむね上々である。

＜悪い・改善点＞

- ・パワーポイントの展開が速いとの声もあり、さらなる工夫が必要。

＜どちらともいえない・その他＞

- ・まちまちです。（「Aがよくない」というので、工夫して「Bにした」とすると、他の学生が「Aの方がよかった」ということも多々あるので）。

③ 授業改善・FDをすすめるために、どのようなサポートや情報提供を望みますか。

＜雰囲気作り・情報交換の場の設定＞

- ・講演会やワークショップ、授業公開などのようなイベントではなく、気軽に他の授業参観ができるよう

な、あるいは授業改善について気軽にミーティングできるような雰囲気作りが必要。
＜学生アンケートの利用・授業例の紹介・授業参観＞ ・「授業改善のための学生アンケート」の結果集計後、各項目（特に「総合満足度」と「授業理解度」）のポイントが高かった上位3～5位くらいの授業名と担当者名と開講日時を教えてください。ただし全部一括での結果だと体育関係の授業ばかりになってしまうので、講義スタイル別、分野別、学類別、コース別など部門ごとの情報を知りたいです。その情報をもとに上手くやっている人の授業を見せてもらったり、話をうかがいに行ったりできるとたいへん参考になると思います。
＜環境整備＞ ・黒板消しの新調や清掃、印刷機の充実など、もっと授業をしやすくさせてほしい。
＜授業準備・研究時間の確保＞ ・研究時間・授業準備の時間を確保すること。外部からの要求や他大学の趨勢などといった根拠のあいまいな情報や圧力を遮断し、今、福島大学の〇〇学部で必要なことに集中できるような環境を守ることをしてほしい。今はその逆の状況であり、そうした圧力で本来やるべきことが阻害されていると感じる。
④ <u>授業改善・FDをすすめるためのチーム、あるいはプロジェクトの計画をお持ちであれば、お書きください。それをすすめる具体的な取り組みも、あれば是非お書きください。</u>（この項目に関してご記入の方は 直接 edfukugaku@adb.fukushima-u.ac.jp にもお願いします） 省略 ⑤ 大学改革の中教審答申で「教育の質の保証」、「単位制度の実質化」*などが言われていますが、これについて、大学として何をすべきか、お考えがあれば、是非お書きください。
＜スタンダード・CAP制・GPAについて＞ ・「教育の質の保証」に関しては、大学として学生に身につけさせるべき力を明らかにしていく必要があると思います。ただし、FUスタンダードのように全学一本のものを作るよりは、各学類がそれぞれどのような学生を育てていくべきかを、それぞれの責任で設定していく方がいいと思います。 ・今のGPAでは学生の勉学意欲の向上につながりません。各学類がGPAの本格化に及び腰なのを見ても、学生の意欲の向上は別の観点から追求するしかありません。この問題に単位の実質化がどう資するか。一例を挙げれば英語の授業に履修度別システムをとり入れ、レベルの高いクラスは半期4単位、レベルの低いクラスは半期1単位と設定するなど有効だと思います。
＜カリキュラム・意識改革・費用＞ ・学生のことを考えたカリキュラム編成、講義内容は当然すべきことと思う。特に、本学は講義が多種多様で教養レベル以上の能力が身に付かないと思われる。もっと精選し、体系的なカリキュラム編成が必要といえる。 ・すべての教員が同じような意識をもつことが重要と考える。 ・中教審の「懸念」についてはうちの学部には当てはまらない。しかし、より「質」を高め、「実質化」するには、「少人数教育」を可能にするための人員増強、ゼミ室充実化やフィールドワーク実施のための費用確保などが必要になる。
＜教育・研究時間の確保＞ ・教員が教育と研究に専念できる環境を作ること、このことにつける。きちんとした授業をするには、とにかく時間がかかることを実感している。
＜否定的意見＞ ・「質」「実質化」の中身によるだろう。「15コマ休まず講義をすること」や「成績のアベレージを公表すること」を意味するとすれば、コメントするのも馬鹿馬鹿しい。 ・このような提言は、学生をあたかも「物」として扱うことを前提に議論されているような気がしてならない。厳重に管理された工場のような場で「学生」を大量に生産することが大学教育なのであろうか？それに対して対抗軸を示していくことこそが大学が今すべきことではないか？

2 成績評価・GPAに関して

① シラバスには、わかりやすい成績評価の「基準」を記入できていると思いますか。

＜できている＞

・成績評価のわかりやすく詳しい「基準」は受講登録者のみに知らせればよい情報だと思うので、不特定多数相手のシラバスには簡単な評価方針のみ記入しています。「基準」は受講者が確定したあとに、授業中配布しています。

・まずまずだと思う。（基準について）質問が出る授業科目については、わかりやすくしていきたい。

＜できていない＞

・必ずしもそうとは言えない。去年、複数開講しているある科目のシラバスに厳格な基準を記入し、成績をつけた。しかし、そうすることで、他のクラスの成績評価と大きな差が出たので、今年度はこの基準を明確に書けなくなった。

＜どちらともいえない・その他＞

・本来難しく簡単にできないはずの「基準」をむりやり「わかりやすく」表現させられるため、かえって学生を混乱させ、また学問の持っている「わかりにくさ」「複雑さ」の重要性を学生に伝えられない結果となっている。非常にマイナスである。

・成績評価の基準というのは、あらかじめ決まらない部分もあります。それが事前に完璧に決まっていなければならないと考える側にも問題があるのではないのでしょうか。あいまいさも重要です。

② GPA 制度については、昨年度さまざまな意見が出されました*。問題点を感じておられる場合、それを克服するためのご提言等がありましたら、お書き下さい。

＜話し合い・共通理解の必要・基準や指標の必要＞

・GPAの基準について、教育企画室、企画委員会で再度整理したうえで、それをもとに共通領域の科目担当者グループで話し合いの機会を持つべき。科目分野会議には全教員が関わっているので、それが引き金になって専門科目についても自発的に調整が図られていくものと考えられる。既にいくつかの会議では行われている。その会議の回数を重ねること、やっていない会議へ拡大することが重要。

・「A」「B」「C」の人数比について、ある程度指標があっても良いと考える。「C」評価の望ましい水準を何処に置くのが課題である。私は多くの学生ががんばってようやく到達できる点を「C」と考え半数近くが「C」評価と考えていた。しかし、違う意見もあり、大学として基準を出さなければ、科目間の格差が有り、学生も混乱するのではないかと思う。様々な意見もあるかと思うが、人数比のような指標や、「B：優れている」と評価する考え方などについて、大学の基準が必要と考える。

＜学類の事情を考慮すべき＞

・昨年同様のアンケートを実施しているように、GPA 制度そのものに対する批判に対してきちんと納得のいく説明ができないのであれば、少なくともそれを全学一律の基準で運営していくことに対しては慎重になるべきで、各学部の裁量にゆだねるべきである。

＜否定的意見＞

・GPA が学生のやる気を促すようにつくられていません。3年卒業やキャップ制の緩和、授業料免除などが関わってはじめて有効なものになるのに。とにかく何でもいいから制度だけ作ってしまえ、と作ったのが今のGPAです。拙速といわれてもしょうがないでしょう。

・GPA 制度は何の効果ももたないので即刻廃止すべきである。昨年度も同様のアンケートが実施されたが、出された意見がどう考慮され反映されたのか明らかにされないまま、同じ質問が毎年繰り返されるのか、理解できない。

＜その他＞

・もうしばらく結果（学生の変化、教員の対応など）が出るまで実施してみて、改善策が考えられるのではないか。

③ 成績評価に関して、GPA 導入以降の学生の変化を感じていますか。

＜良い変化を感じている＞

・感じている。安易な履修をしなくなった。成績にこだわるようになった。

・成績評価に関するあいまいさが少なくなり、学生も自分の成績にある程度納得しているようだ。

<悪い変化を感じている> ・GPA が選抜などに使われる学類では、学生が点数にあおられて、落ち着かなくなっているのではないか。
<変化を感じている（良い悪いの分類困難なもの）> ・成績に敏感な学生が増加。
<感じていない> ・今のところあまり感じません。「授業を切る」行為もわりと行われているように思います。今年度の共通領域の「〇〇学」では、むしろ以前よりも「出席者／登録者」の割合が下がっており、原因究明の必要を感じています。
<わからない・その他> ・GPA 導入以後しか知らないもので、よく分かりません。 ・まだ専門講義で当該学年を担当していないため明確にはわからない。
④ 不服申し立て制度について、その経験をされた際に、どういうお考えで対応されましたか。もしあれば、感想やご意見をお書きください。
<経験あり（良い制度との回答）> ・良い制度だと思う。今年、ある科目で1人から申し立てがあった。事前に数名くるだろうと予想していたので（説明すると長くなるが私のミスではなく、特殊事情で）それなりの準備をして臨み、学生にも納得してもらえた。 ・シラバス、第1回目の授業で示した評価基準の確認をした後、（たいてい試験の成績が悪いので）答案を見せるとほとんどが納得。その後、勉強の仕方について助言する。＊一人だけ特別扱いになるような対応はしません。
<経験あり（悪い制度との回答）> ・不服申し立て制度を導入したことで、学生と教員との関係が目に見えて険悪化した。教員と学生の相互の不信をあおり立てる効果しかもたず、即刻廃止すべきである。成績や授業内容について疑問がある場合には、学生が直接教員に申し出ることのできるような環境を日頃から作っておく必要があるが、日々努力して作りあげているこうした関係が、「不服申し立て制度」や「オフィスアワー制度」によって無残に壊されていくことに怒りを覚える。
<経験あり（その他）> ・こちらがどれだけ周到に評価基準を定め、学生に周知徹底しようとしたとしても、学生側の誤解や不満は避けられないと思うので、不服申し立て制度は有意義な制度だと思います。昨年度に不服申し立てを受けたときは、学生の言い分を十分に聞きながら、こちら側の評価基準とその学生に対する評価について誠心誠意説明し、理解してもらえるように努めました。
<経験なし> ・申し立てられた経験がない。
<その他（悪い制度との回答）> ・そもそも「不服」というような、教員と学生の対立をあおるような名称に福大のセンスの無さを感じる。その結果、学生の中には自身の出席やテストの結果などを省みないまま、自己中心的な理由で「不服」を申し立ててくるものが出てきている。そして、それが今後ますます増加するのではないかと危惧する。

3 キャリア教育に関して

① 本学では、大学で学ぶことへの動機づけを主たる目的としていますが、もっと就職支援に直接関わるような具体的な取り組みに重点を置く方が良いと思いますか？

<良い> ・教育内容として意識的に取り組むことが肝要。
<良くない> ・就職支援までは必要ないを考える。ただ、学生たちは狭い視野で大学に来ているので、広い視野を持たせるよう心掛けて頂きたい。
<どちらともいえない・現在の方針を維持・両方重視すべき>

・キャリア教育としては、基本的に現在の方針でいくべき。それと就職支援態勢を整えることとは別である。就職支援と大学教育とを安易に連結させるべきではない。就職支援態勢の充実はもちろん大切である。

② キャリア部門では、内外のネットワークづくりと情報収集・分析などおこなっていますが、今後どのような取り組みが必要だと思いますか？ 今後の活動について、ご要望やご意見等お書きください。

＜積極的・肯定的回答＞

- ・福島大学のキャリア教育は、ゼロからのスタートを切ったばかり。とりあえず現在行っている取り組みを継続し、軌道に乗せることが大切である。
- ・もっと多くの教員がキャリア教育に関与すべきである。

＜消極的・否定的回答＞

- ・外部評価がほしいからと言って、キャリア教育だけを重視するのは問題だと思います。大学の役割はそんなところにあるのではないはず。外部の評価が気になって、十分な理念もないままにこのような科目を重要視するのは大学のやることではありません。点数にあおられ右往左往すべきでないと思います。

③ 大学教育・生活全体がキャリア形成のプロセスといわれていますが、ご自身が担当されている授業などで直接的に「職業生活・進路形成」を取り上げたテーマや内容はどのくらいあると思いますか。割合、あるいは文章でご回答願います。（ %ていど）あるいは、文章で。

＜割合（数字）＞

- ・「教養演習」（05年） 75%、「基礎演習」（06年） 100%、「卒論ゼミ」（3年生、4年生） 30%。
- ・0%。
- ・100%。（注）教職入門（キャリアモデル）

＜文章＞

- ・割合で表すことはできないが、授業内容を自分の職業との関連で意識化できるような授業を行っているつもり。
- ・授業内容で取り上げることもあるが、書類（各種届）の書き方、提出の仕方、連絡や報告の仕方（自分の都合だけで世の中を見過ぎている学生が多いので）、礼儀、言葉づかい等に関しても、指導している。（学生は口うるさいと思うようだが、卒業生には感謝されている。）

＜その他＞

- ・ものごとには直接的なものと、間接的なことがあると思います。大学の教育の多くは、就職や進路に間接的に影響を与える内容ではないでしょうか。もっと考えてご質問ください。

4 eラーニングについて

① eラーニング*が、大学の標準装備になりつつあると言われています。他大学での実施事例などの情報があればお教えてください。また、その大学でやっている事例などからどんな利点や問題点を感じていますか。

＜他大学の事例＞

- ・信州大学での取り組みがよいという話はよくききます。奈良教育大学で、HPを活用し、教育実習の事前事後指導及び実習中のとりくみが参考になりそうです。

＜利点・肯定的回答＞

- ・日経コンピュータに時々特集が組まれている。私はeラーニングを利用していないので詳しくは不明。ただ、補助教材として、利用価値は高いと考えている。

＜問題点・否定的回答＞

- ・ひきこもり・ニートをこれ以上増やすのはやめてください。いやな思いをして大学にくるから社会でどうにか使いものになるのです。
- ・他大学の実施事例も知らないのに、なぜ「e-ラーニングが大学の標準装備になりつつある」などと言えるのか理解に苦しむ。そんな話は聞いたことがない。また、何であれそれが「標準装備」なのかどうかではなく、また他大学で実施しているかどうかではなく、自分の大学や地域社会が必要としているのかどうかで何をいつ、どういう形で装備すべきなのか、考えるべきではないか。

② 本学でどのように、eラーニング(システム、活用方法など)を導入すべきと考えますか。

＜導入すべき＞

・対面授業を補完する目的での利用。
・現行のシステム、HP やユニバーサルパスポートでは、何が不足しているのか、新システムを導入したとき、利用増になるのか、ランニングコスト等の問題を是非クリアし、導入できればと思います。小規模で試験的にはじめることも必要なのではないか。

＜導入すべきでない＞

・他大学がやっているからといって必要もないのにやる必要はないと思います。e-ラーニングを導入することによって、現在の教員の負担が軽減されたり学生への授業サービスが教員の負担増なしに）かなり向上するというのであれば導入すべきでしょうが、形から入るものではないと考えます。
・「どのように」ではなく、e-ラーニングを導入すべきかどうかをそもそも検討すべきです。e-ラーニングの必要性は全く感じません。遠隔地での授業が必要なら、e-ラーニングではない手法も選択肢として考えるべきだし、学生の予・復習の手段としては役に立たない。

③ ご自身で、eラーニングでやってみたいと思うことがありますか、さし当たりないとしてもやるとなれば利用したいと思いますか。その際、どのようなサポートをお望みですか。

＜利用したい（サポート含む）＞

・現在行っている。とくに、コミュニケーション・ツールとして有益。
・是非やってみたい。利用の形態は様々だと思うので、システム利用でサポートしてくれるスタッフが必要。

＜使用したくない＞

・思ったことはないし、利用したいとも思わない。不必要で無駄である。e-ラーニングの導入や準備などで、本来やるべき教育・研究が阻害されることを強く危惧します。

＜わからない＞

・イメージがわかりません。②で述べた授業ビデオをインターネット上に公開するという場合には、撮影したり、それをeコンテンツ化する作業をサポートしていただかないと不可能だろうと思います。

5 教育改革を進めるに当たって「学生の意見聴取」という課題をどう考えればよいでしょうか。学長「オフィスアワー」をはじめ、各委員会が設ける学生との懇談などの取り組みがすでにありますが、充実するための何か良いお考えがあれば、お書きください。

＜ゼミでの取り組み＞

・本学の特徴の一つがゼミを中心とした少人数教育である。これを利用する等の方法が考えられる。教養演習などでは、既に実質的にそのような機能を果たしているのではないかと。ただし、それを大学として集約するシステムがない。

＜情報の共有化・フィードバック・環境作り＞

・まずは学生が意見を出しやすい環境作りが必要だと考える。学生は教員のまえでは、なかなか意見が言えない（当然と言えば当然）。匿名で意見を出しやすいようにする工夫が必要ではないか。
・各自が聴取するだけではあまり意味がないので、情報を仕入れたら共有できる形にしていきたいなと思います。

＜岡山大学の事例＞

・岡山大学がすでにやっていますが、FD 委員会のメンバーとして学生を迎えるのが最善の方法だろうと思います。懇談会形式ではけっきょく学生の意見は聞き入れられることなく先送りにされるというのがこれまでの対応だったのではないのでしょうか。また本学で 03 年度に行った学生を交えた FD ワークショップというものも参加者にとっては有益でしたが、その成果はどうしても個人レベルにとどまりがちだと思います。

＜オフィスアワー＞

・「オフィスアワー」の設定は、それ自体「それ以外の時間は来るな」という意味であり、学生の意見聴衆の場を限定する役割を果たしてしまっている。学生が教員や大学に、その率直な意見を示せるためには、双方の間に何らの制度（オフィスアワー、授業評価、不服申立制度、GPA など）をも介在させない、直接的なつながりとフラットな関係を充実させなければならない。制度を介在させることでむしろ関係は遠のいてしまっている現実を目を向けるべきである。

・学長のオフィスパワーは大変よい取り組みだと思います。外部にもこのような取り組みをしていることを PR した方がよいと思います。私は触れ合う機会があった学生には（かなり沢山おりますが）、とにかく何かあれば話をしに来るようにとできるだけ声をかけるようにしています。しかし、これにはかなりの時間がかかります。すでに行われている取り組みを評価し、教員に時間的余裕を与えるサポートが必要だと思います。また、オフィスパワーなどを制度化することで、すでに行っている自主的な取り組みがやりにくくならないようにしてください。

＜否定的回答＞

・日常的に学生と対話をしていれば、ことさらにこのようなことを強調したり、制度化したりする必要はないわけで、数%の「自閉症」のような教育のために全員にタガをはめるような方法はやめていただきたい。

＜わからない・その他＞

・教員の中には対人他人恐怖症的に他教員との接触を最大限避けたがる人がとても多い。心を開けない教員向けに対策（そのことが本人に与える害を警告する医者のお話を知らすだけでいいのでは。“ホケカン号外”としては？）が必要ではないか。その方たちは仕事として学生の意見を聞くことはできても、表面的なことしかできないのでは。それも必要ですか。

・「学生に役立つ授業」「わかりやすい授業」というテーマで学生と教員が懇談し、相互の認識を交流することが大切だと思う。実利志向、安易志向という学生側の問題と、現実離れ、研究そのままの講義という教員側の問題と、検討していく必要がある。

6 教育企画室へのご要望・ご意見がありましたらお書きください。

＜授業評価・カリキュラム＞

・希望者が外部機関などに授業を評価してもらうことが出来ないか。（そんな機関があるかどうかとも知りませんが・・・。）

・講義が多種多様すぎて、教養レベルの実力しか身に付いていないような気がする。少なくとも理工系では卒論時、大学院進学時、就職時困るであろう。

＜学類別に＞

・近年福島大学は全学的 FD 活動に力を入れてきており、今回の教育企画室の発足もその流れに棹さしたもののだろうと思います。しかしながら、各学類によって教育目的も教育内容も異なっているのですから、全学横並びでの FD 活動というのは隔靴搔痒の感を免れません。そこで、教育企画室は各学類からの報告を受けその進捗状況をチェックし必要な場合にアドバイスを与えるという役割に徹し、個々の FD 活動の企画・立案・実施は各学類に任せるという形にした方がいいのではないのでしょうか（無理とは思いますが、各学類に成果を競わせる形にするのが一番だと思います）。教育企画室が何でもかんでも引き受けるという形になってしまうと、ただでさえ遅れている FD が完全に停止してしまうのではないかと危惧しています。

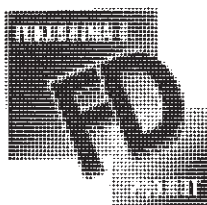
・毎年同じようなアンケートを繰り返すのはなぜなのでしょう。出した意見がどのように反映されているのか全く分かりません。自分たちに都合のいい意見が出るまで待っているのでしょうか。教育企画室が学部教育や教員—学生関係にまで外部から介入してくることで、むしろ現場の教員—学生関係、授業内容などが悪化してしまいます。学部内部での討論や検討にもっと権限を戻し、本来のあり方を取り戻すべきだと思います。

＜費用＞

・研修したいことや勉強したいことがある教員は少なからずいらっしゃると思います。そのための旅費や参加費など、引き続き、支援していただければ嬉しいです。

＜負担軽減＞

・全学再編による混乱が少しずつ解消されつつある今こそ、これまでの経緯や実態を振り返り、軌道修正する議論をしていくチャンスであると思われる。特にこの間、独法化ともあいまって急増した教職員&学生の負担をいかに軽減していくかについて、ぜひ教育企画室でも検討していただきたい。それこそ今本当に必要な「FD」であると思う。



他大学 FD 研修等参加報告

板橋孝幸

- ❖ 第7回山形大学教養教育FD合宿セミナー参加報告 8月6～7日
- ❖ 平成19年度東北地区大学教育支援施設等交流会議 7月27～28日
- ❖ 山形大学教員研修会第9回教養教育ワークショップ 8月9日
- ❖ 社会人基礎力育成のためのファカルティ・ディベロップメント研修会 8月22日
- ❖ 大学教育学会 2007 年度 課題研究集会参加報告 12月1日～2日



平成19年度 山形大学教養教育FD合宿セミナー 第1チーム

平成19年8月6日(月)・7日(火)

I. 第 7 回山形大学教養教育 F D 合宿セミナー（8 月 6～7 日：山形大学蔵王山寮）

1. はじめに

標記セミナーは、山形大学が学内外に向けて開催している F D セミナーであり、今年で 7 回目になります。山形大学教育方法等改善委員会、高等教育研究企画センター主催、山形大学蔵王山寮を会場とする本セミナーに、筆者は 8 月 6～7 日、第 1 チームの一員として参加しました。山形大学の教職員 23 名、他大学の教員 14 名、計 37 名の参加者がありました。北は秋田県、南は福岡県からの参加者もあり、全国からの出席者と活発な意見交換が行われました。なお、第 1 チームと入れ替わりに、7～8 日には第 2 チームが同内容のセミナーを実施し、両チームで 70 名ほどの参加があったようです。

2. セミナーの目的

「相互研鑽による教養教育の飛躍をめざして」というテーマのもと、次の 3 つを目的として実施された。

- ①教員個人が大学を支えることの位置付け
- ②教育の基本的構成要素、大学における各科目の存在意義、授業設計、成績評価法などをあらためて整理する
- ③教員相互の交流

3. セミナーの内容

体験型のセミナーで、セミナー自体がグループ学習形式であり、参加者は、学生が運営する学生主体型授業を体験することになる。

- ① 参加者によるセミナー全体の運営
- ② 班構成：5 班 班の構成員の年齢は幅広くする。班は、参加者を見て、当日までに委員会で決定しておく。

「プログラムⅠ・Ⅱ」と「プログラムⅢ・Ⅳ・Ⅴ」で、班構成を入れ替える。

- ③ 各セミナーに、毎回、司会者と記録係を置く。（各班の持ち回り）
- ④ 各班に、毎回、司会者、記録係及び発表者を置く。（持ち回り）
- ⑤ 各プログラムの基本構成
 - 各プログラムを担当する講師による作業内容の説明 10 分
 - 班ごとの作業 40 分
 - 発表 各班の発表時間 4 分×5 班 20 分
 - 全体討論 20 分
- ⑥ 全体と各班の記録係は、A 4 版 1 枚程度に記録をまとめ、各プログラム修了後に提出

する。(この記録は、コピーした後、速やかに参加者全員に配布)

- ⑦ 参加者による相互評価：各回のプログラムが終了した時点で、各参加者が各班の発表(各4分で計20分)と質疑応答に対して評価する。5段階評価とし個人は15点の持ち点を有する。(この評価は、毎回回収し、整理した後、速やかに全班に配布)

各プログラム課題は次の通り。

プログラムⅠ：「大学へのニーズと課題」

プログラムⅡ：「どのような大学にするか」

プログラムⅢ：「科目設計1：授業名と目標の設定」

プログラムⅣ：「科目設計2：授業内容の作成」

プログラムⅤ：「科目設計3：シラバスの完成」

なお、プログラムⅢ以降については、各班にそれぞれ次のような授業をつくることが指定された。

A班：大学の個性を発揮する授業

B班：地域性と関連する授業：大学と地域の連携

C班：国際性を培う授業

D班：21世紀の諸課題に対応する授業

E班：職業意識と労働意欲を培う授業

4. 活動の様子

1つのプログラムが、大学での授業時間と同じ設定にすることもあり、90分でした。しかし、講師による作業内容の説明、発表、全体討論も含まれるので、実際に話し合いをする時間は40分程度でした。毎回、司会者、記録係及び発表者を決めて、意見や方向性をまとめ、OHPで発表するまでの資料を作成するという一連の作業は、時間的にも大変であると感じました。

班は、主催者があらかじめ決めており、年齢・所属大学・専門が多様になるよう分けられていました。普段話をする機会のない他大学、高専、短大の教員との情報交換は、高等教育機関がかかえるさまざまな問題を考える場ともなり有益でした。

5. おわりに

教養教育の授業を想定したFDであるため、専門を超えて大学教育について考えることができ、貴重な経験となりました。ただ、経験則による話し合いが授業構成の中心になってしまい、教育学やFDで議論されている授業論や教授法等を踏まえ、新たな教育を考えていく方向にあまり進まなかったことは若干残念な点でもありました。

Ⅱ. 平成 19 年度東北地区大学教育支援施設等交流会議

(7 月 27～28 日：岩手大学大学総合センター)

1. テーマ

- ・ F D の義務化への対応
- ・ 高大連携・初年次教育への取り組み

2. スケジュール

<27 日 (金)>

13:30～ 集合・情報交換・場所移動

14:00～18:00 各大学の活動内容紹介&意見交換&全体審議

※「F D の義務化への対応」を中心テーマに、各教育支援施設の取り組み状況を 20 分程度で紹介。各大学の取り組み紹介の後に、質疑応答、意見交換を行った。

18:30～ 懇親会

<28 日 (土)>

10:00～ 研究会

山形大学理学部が実施するトワイライト講義

一学部 2 年生対象の講義を高校生および一般市民に開放する試みー

山形大学理学部教授 (副学長) 齋藤和男氏

「学習ピアサポート・システム」の課題

秋田大学教育推進総合センター講師 細川和仁氏

高大連携による「学習支援講座」

岩手大学大学教育総合センター教授 山崎憲治氏

12:00～ 総会

12:30 解散

3. 参加大学

弘前大学、秋田大学、岩手大学、山形大学、東北大学、福島大学、岩手県立大学、青森県立保健大学

4. 内容

27 日の「各大学の活動内容紹介&意見交換&全体審議」では、「F D の義務化への対応」を中心テーマに、各教育支援施設の取り組み状況が 20 分程度で紹介されました。各大学の取り組み紹介の後に、質疑応答、意見交換を行いました。岩手大学では「授業の匠」のコンテンツ化、山形大学では F D ・授業支援クリニック部門の創設等、活動内容の紹介がありました。近年の全国的動向なのかもしれませんが、やや法則化の方向に向かっているように思われました。公立大学では、独法化のタイミングや規模の違い等により、国立大とはやや異なる動きがあるようです。28 日は、都合により参加できなかったため省略します。

Ⅲ. 山形大学教員研修会第9回教養教育ワークショップー山形大学の活性化と授業改善の推進ー（8月9日：山形大学教育方法等改善委員会、高等教育研究企画センター）

1. スケジュール

10:00 開会・主催者あいさつ等

1015 <第一部>基調講演

演題「学士課程教育改革とラーニングアウトカムズ」

講師 国立教育政策研究所高等教育研究部 総括研究官 川島啓二氏

質疑応答

13:00 <第2部>ラウンドテーブル「21世紀型教養教育を問う」

ラウンドテーブル1：FDの義務化と個別支援FD

コーディネーター：杉原真晃氏（高等教育研究企画センター）

ラウンドテーブル2：外国語教育センターの設置と外国語教育の充実

コーディネーター：佐々木正彦氏（外国語教育センター）

ラウンドテーブル3：授業支援システム（LMS）の教育効果

コーディネーター：中村三春氏（高等教育研究企画センター）

15:10 <第3部>全体会

「21世紀型教養教育を問う」（各ラウンドテーブルの報告）

16:30 閉会

2. 内容

川島啓二氏の講演は、学士課程教育改革、社会が求める人材像（「社会人基礎力」等）、知識・能力の証明としての「学士号」、ラーニング・アウトカムズをめぐる内外の動向、ソフトスキルの獲得についてでした。ラウンドテーブルは、「1」に参加しました。杉原真晃氏（高等教育企画センター）が、現在、山形大学の教養教育で進められているFDについて、授業改善の事例報告をFD・授業支援クリニック部門の活動を踏まえて報告されました。その他、元木幸一氏（高等教育研究企画センター・人文学部）が個別支援型FDの体験を、大島武氏（東京工芸大学・山形大学高等教育研究企画センター）が遠隔FDを主とした個別支援FDの実践と授業改善事例の紹介をされました。

IV. 社会人基礎力育成のためのファカルティ・ディベロップメント研修会 (8月22日：すみだ産業会館「サンライズホール」、経済産業省主催)

1. スケジュール

<午前の部>

10:30 開会

10:35 プロジェクト説明

『『社会人基礎力』の育成・評価手法開発事業について』（河合塾）

経済産業省 経済産業政策局 産業人材政策担当参事官 守本憲弘氏

11:00 ワークショップ『日米の教育手法の比較－能動的人材の育成手法－』

株式会社アクティブラーニング代表取締役社長 羽根拓也氏

<午後の部>

14:15 事務局からの案内

14:25 モデル大学によるデモ授業を用いたケーススタディ

14:30～15:00 デモンストレーション授業①

『社会人基礎力育成講座 プランニューYAMANASHI '07 ー主体性をもった授業への参画ー』

山梨学院大学現代ビジネス学部学部長 今井久氏、山梨学院大学現代ビジネス学部 伊藤洋晃氏、株式会社アド井上 代表取締役社長 井上雅博氏、デジタル・トウキョー株式会社 代表取締役社長 横山征次氏

15:00～15:50 ディスカッション

[休憩]

16:05～16:35 デモンストレーション授業②

『事業経営概論 株式会社論 1 回目 ー会社に接近するためにー』

宮城大学事業構想学部 大泉一貫氏

16:35～17:25 ディスカッション

17:25 閉会

2. 内容

大学関係者の他、小中高校の教員、企業の人事担当者等、400 名程度の参加者がありました。この研修会は、河合塾が経済産業省から平成 19 年度産業競争力強化人材育成事業「社会人基礎力養成・評価手法の研究開発等」に委託されたのを受けて、開催されたものです。産業界・教育会の有識者から成る「社会人基礎力に関する研究会」（座長：諏訪康雄 法政大学大学院政策科学研究科教授）において、資料にあるような 3 つの能力、12 の能力要素による「社会人基礎力」を定義しています。今年度は、7 つの大学を公募で選び、PBL や実践型インターンシップ等の実践的教育により、モデル事業を実施しています。企業から与えられた課題を学生が解決する中で、社会人基礎力を養成し、その育成効果を測定して、さらにはその成長を企業等へ示す産学連携教育を行っていました。

V. 大学教育学会 2007 年度課題研究集会（12 月 1～2 日：龍谷大学）

大学教育学会 2007 年度課題研究集会は、「学士課程教育の再考」を統一テーマに行われました。1 日目の午後の特別講演・シンポジウムⅠ、2 日目のシンポジウムⅡ・シンポジウムⅢについては、森田道雄副学長が『アリーナ』で報告しています。したがって、本報告書では開会式前に行われた初年次教育ワークショップについて報告することにします。

初年次教育ワークショップ「初年次教育の組織的な導入のはかり方」

標記ワークショップは、課題研究集会企画委員会が開会式前の時間を使って開会前プログラムという設定で行われました。初年次教育に関するワークショップを開催するのは、昨年以降で 2 回目です。全国各地の大学から参加者が集まりました。このワークショップでは、「初年次教育をどのように自大学に導入していくかについて、先導的な取組経験を聞くだけでなく、会員各位が直面している問題の解決について、参加者相互の意見交換を交えて考え、具体的な成果を参加者に持ち帰って」もらうことを目的としていました。ワークショップの内容は、下記の通りです。

<ワークショップの内容>

- ①ワークショップの趣旨と説明
- ②参加者の紹介とアイスブレイキング
- ③初年次教育をなぜ導入したいのか？
- ④初年次教育を導入して良かったことは
- ⑤初年次教育を導入して困ったことは
- ⑥初年次教育のコンテンツと方法
- ⑦初年次教育のための組織づくり
- ⑧初年次教育の効果をどう証明したらいいか
- ⑨ワークショップの評価

関西国際大学の濱名篤氏と同志社大学の山田礼子氏がコーディネーターをつとめて、4 人一組でグループをつくり、各大学の取組状況について話し合いました。ワークショップ参加者全体として、導入の動機、導入して良かったこと、導入して困ったことに関する多かった意見をまとめると以下のようなものでした。

- ・ 導入の動機：学習技術を教えるため、学生の学習目的・学習動機対策、学生の学力低下対策、自主性育成、専門教育への橋渡し 等
- ・ 導入して良かったこと：学習技術の向上、学生の交流・人間関係の向上、教員とのコミュニケーション、教員の意識の変化などにみられる F D 効果 等
- ・ 導入して困ったこと：教員の非協力、学内での無理解、技術不足、評価の方法、現状の

認識不足、内容のばらつき 等

導入にあたっては、組織の特徴の把握が重要であるとの説明がありました。つまり、意思決定がトップダウン方式か、ボトムアップ方式か、リーダーシップが強力にすすめられるか、全体の調整ですすめられるか、決定が全学一括型か、部局単位かといった組織の特徴についてです。ボトムアップ方式の事例として、同志社大学の組織づくりが紹介されました。さらに、効果的な評価をするために、目的・目標の設定から始めること、最も重要なことに集中すること、あなたが統制できることに焦点をあてること、多元的な尺度、根拠、判断を活用することの4点が示されました。

初年次教育の問題点として、それだけで完結してしまうことが指摘されました。2年次以降、学生の自学自習にまかせるのでは必ずしもうまくいかない。実際に自学自習を行う学生は少数であり、大多数の学生には初年次教育の効果は継続されない点も、ワークショップで出された課題でした。このワークショップを通して、本学で現在検討しているポートフォリオの導入は、そうした初年次教育の成果を認識・継続させる上で、1つの有効な方法になるのではないかと感じました。



学習ガイドブック





学習ガイドブック WG の作業報告

FD プロジェクト 責任者 森田道雄

いま、学生へ配布することを想定した「学習ガイドブック」の編集が最終段階になってきた。限られた予算措置しかとれないので、新入生には全員配布が出来ない。しかし「試作版」ということなので、「大学で学ぶ」の授業資料として運用することにしたが（若干の教養演習で使ってもらえそうだが）、この方がよかったかもしれない。

試作版というのは、「大学の学習」へのガイドをするにしても、どうしても様々な考え方のうちのどれかを書くほかないのに、その書いた内容は、誰もが納得できるものとは限らない、ということである。大学の名前で出す以上、大学の公式見解だと受け取られてしまう心配がある。そこで、大きく「試作品」という文字を表紙に書き、かつ、内容的にも、公式なものではなく「ヒントを書いている」に過ぎない、ということを強調した。他大学では、全学組織でいわば請負い仕事として作っている例が多いようだが、このような「試作」という位置づけは、あまりないかもしれない。

さて、内容の是非については、ぜひ実物をご覧いただき、ブラッシュアップを図り、よりよいものに育てていただきたい、ということに尽きる。より多くの意見が反映されれば、「手作り」のガイドブックとしての意義が増すものと期待する次第である。

なぜ、FD プロジェクトでこれをつくろうということになったかを、若干説明しておく。前年度版にも書いたが、2006 年度に、FD 活動の年間計画を議論する際、私は、新任者研修を担当することになっていたので、他大学の FD 研修の冊子などを見ながら、多少「パクリ」があっても良いから資料集のようなものを冊子化したくて、その構想を相談した。しかし、そんなものより、直接学生に渡すガイドブックのような冊子の方がよいのではないか、ということで、この方向に議論が進んだ。このブックについてでも、市販されたこの種の本がいろいろあるし、名古屋大、山形大などの配布冊子もあったので、内容的には重複することが多く、どういう独自性を出せるか、私個人は心許なかった。しかし、FD 委員の半数を二つの WG にお願いし、そのうちの一つがガイドブック WG となって検討を始めてから、次第にその構想が具体化していった。ガイドブックの目的は何か、何を項目としてあげたらよいか、どうやってつくっていくのか、というお決まりの議論だけでなく、ただ冊子をつくっても読まれはしない、読ませるにはどうするか、捨てられないようにするには工夫

はないか、などの議論もした。学習ポートフォリオというアイデアは、それ自体の有用性だけでなく、「書く」ことで、長く手元に持たせておきたいという意図もあった。

おおよその構想案が出来たので、こういうものをつくるという「了解」をもらい、WG 外のアイデアを求めた。そこで、やはり「手作り」の重要性が強調され、その一つとして学生にアンケートをすとか、「Q&A」形式がよいなどの、意見を聴くことが出来た。たまたま、新設した「総合科目 大学で学ぶ」の授業が後期に始まるので、そこでこの構想を説明し、アンケートし、質問例を募集し、「回答」例もよいものが集まった。これは、福島大学しか通用しない、福島大学の学生に有用なものになるかもしれない、という期待が高まった。それから、WG で原稿執筆に入った。ある程度原稿が集まった段階で、3 年生のゼミ生にモニターを依頼したら、内容についての肯定的な反応と一つのアドバイスが出てきた。そのアドバイスとは、ところどころに記入欄をつくり、ブックと対話するような形があると親しみがわく、ということだった。

これがどう活用されるか、ということに最後にふれたい。もちろん、学生に読ませたい、ということだが、これは「読む」ことが目的ではなく、学生自身が、自分なりの「学びのこつ」を身につけるということでない、本来の意味はない。こういう冊子をつくって努力をしているという、大学の「アリバイ」づくりが目的ではないのである。学習スキルも軽視しないで、説明文を多くしたが、これは書き出すと実はきりが無い。どう書いても充分だということにはならないし、ほんとうは「練習」するという実行行為が伴わないと、それ自分に合うかどうか分からない。だから、少人数のゼミなどで練習時間をとって使ってもらえることを期待する。同時に、これに書ききれていないことも、補充し強化していただきたい。

学習ポートフォリオは、まったく自発的に学生が書く、ということで取り入れたものだが、これがアドバイザー教員との面談などで活用されることも、つくった側からの期待としてはある。しかし、これは「期待」でしかなく、ぜひ使ってください、という依頼をすところまでには至っていない。これについてのケーススタディを要するだろう。ポートフォリオを上から形式化させれば、せっかくの有用性は消えてしまうだろう。「学びをふり返る」ということを、学生自身が納得していけるような「説明」を強化できれば、と考えている。

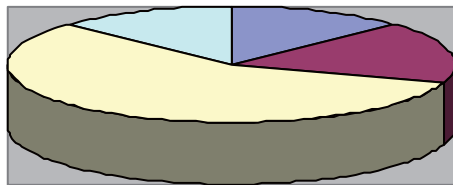
なお、ブラッシュアップのことに冒頭で言及したが、ぜひ、この検討会を持っていたき、2009 年度新入生全員に、それを持たせたいというのが、編集チームの願いである。結局、それこそが実のある FD だ、ということである。





教育改善のための学生アンケート結果の経年変化

(平成14年～平成18年)



「教育改善のための学生アンケート」結果の経年変化に関する若干の考察

総合教育研究センター 板橋孝幸

「教育改善のための学生アンケート」の熱意、内容理解、総合評価の3項目について、共通教育と専門教育にわけ、経年変化に関する表を作成した。特徴として、下記の点を抽出した。変化にはいくつもの要因が重なっていると考えられるため、適切な考察ではないかもしれない。今後の教育改善の一材料として、ご検討いただければ幸いである。

1. 共生システム理工学類の評価の向上

共生システム理工学類の評価において、熱意、内容理解、総合評価とも年々高くなっている。これは、教員の努力の成果によるところが大きいだろう。もう1つの理由として、新設の部局だったためとも考えられる。できたばかりで、カリキュラムがうまくいかなかった、新規授業科目の準備が大変だったことは想像できる。年を追うごとに教員も対応できるようになり、前年度の授業を活かした計画が徐々に可能となったため、それに伴って学生の評価が高くなってきたとも考えられる。

2. 共通教育科目「自然と技術」、共生システム理工学類においてやや低い評価が出ている要因

文系と比べて、理系科目は積み上げ式の学習内容が多い。また、問題演習を繰り返す等、「訓練的」「ドリル的」と学生に見られる傾向がある。高校での理科・数学の学習が不十分な場合、文系科目以上に理解が困難な場合も多い。理系科目が文系科目と比べてやや低い評価になる点は、他大学の事例でもしばしば見られる傾向である。

理系科目受講者は、男子学生が多いことも評価が低くなる要因と考えられる。他大学の授業アンケートでは、女子学生の方がきちんと丁寧に評価する傾向が高い（評価も高めにつける）とのデータもある。いい加減につける割合は男子学生に多いため、理系科目は評価が低くなるとも推測できよう。実際、女子学生が多い人間発達文化学類は、他学類と比べてやや高めの評価となっている。ただし、人間発達文化学類は教育学を専門とする教員が多いため、授業がうまく、評価が高くなっているとも考えられる。

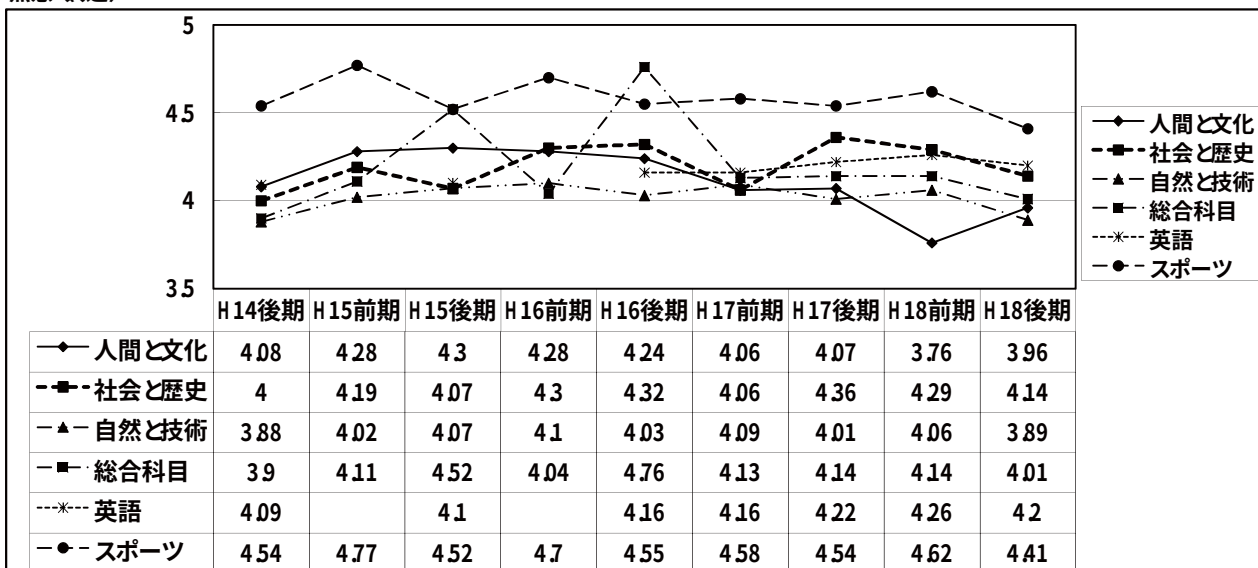
3. 全体として経年変化に大きな変動がない理由

毎年受講生が変わっても、評価に大きな差が見られないことは、一定の質が保たれていると見ることができよう。この点は、学類制に変わった年度でも大きな変化はない。新しい制度を導入すると、さまざまな問題や混乱が生じて、しばしば評価が下がる。しかし、本学の場合は、全学再編にあたって周到な準備と教員の努力により、一定の質を保持してきたともとらえられる（ただし、理工学類授業科目は、「1. 理工学類の評価の向上」で示したように全く新規に創設した部局のため別に考えるべきだろう）。

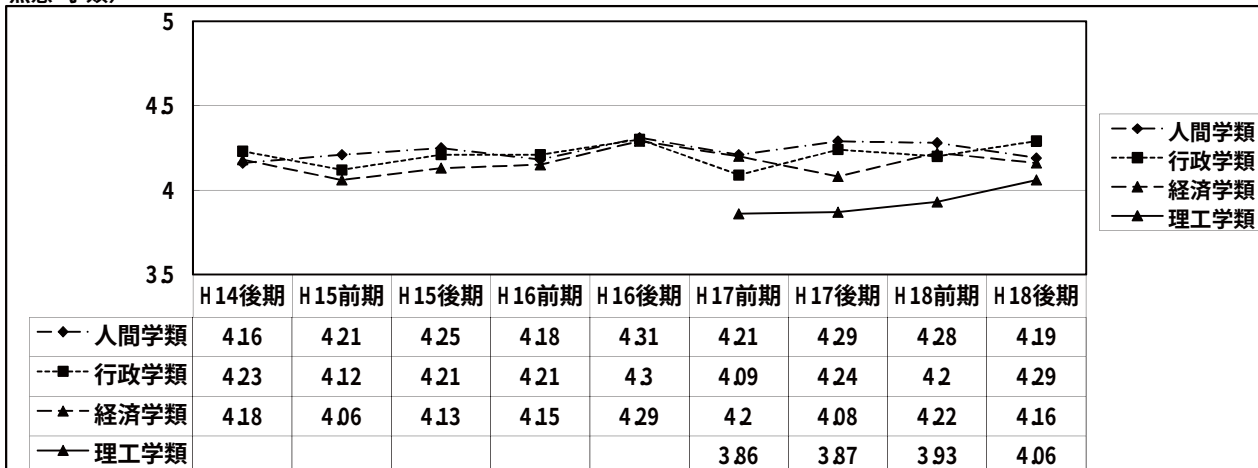
4. 今後の課題として

福大スタンダードの議論とも関わるのかもしれないが、型にはめ込んでいくのではなく、いかに学生の主体性を育成するかが本学の教育の主眼であるならば、教養演習や「学習ガイドブック」を通して評価主体者の育成に取り組んでいく必要がある。こうした取組は、他大学の事例としてあまりないので、構築できれば本学の特徴になると思われる。

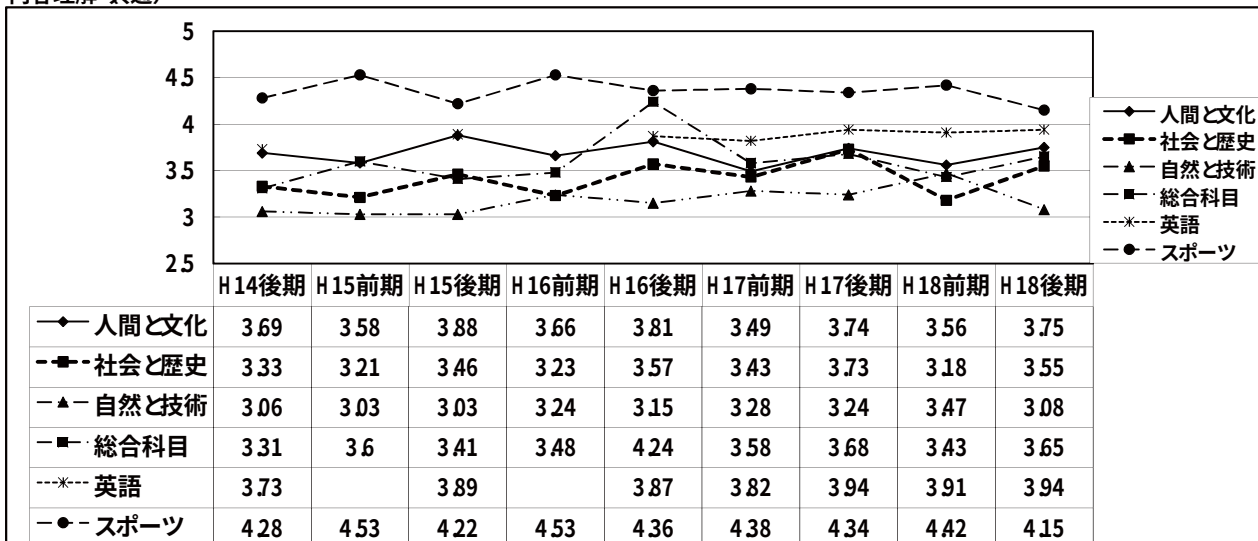
熱意 (共通)



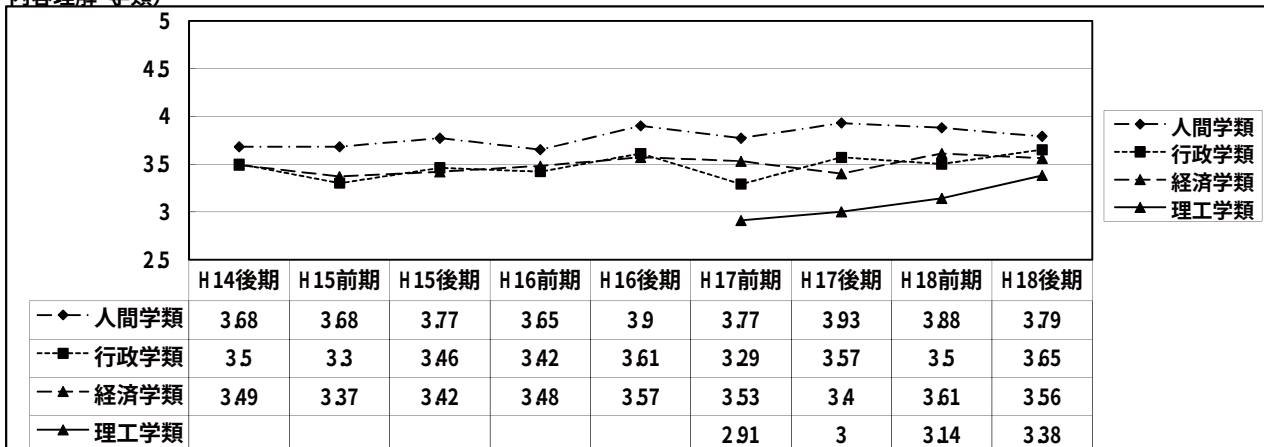
熱意 (学類)



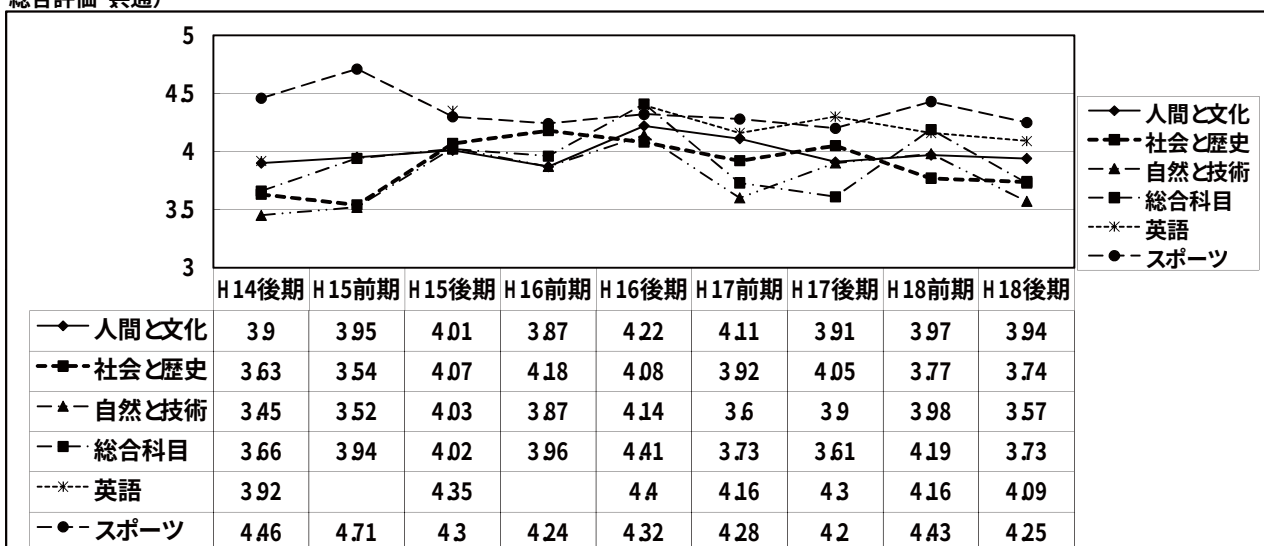
内容理解 (共通)



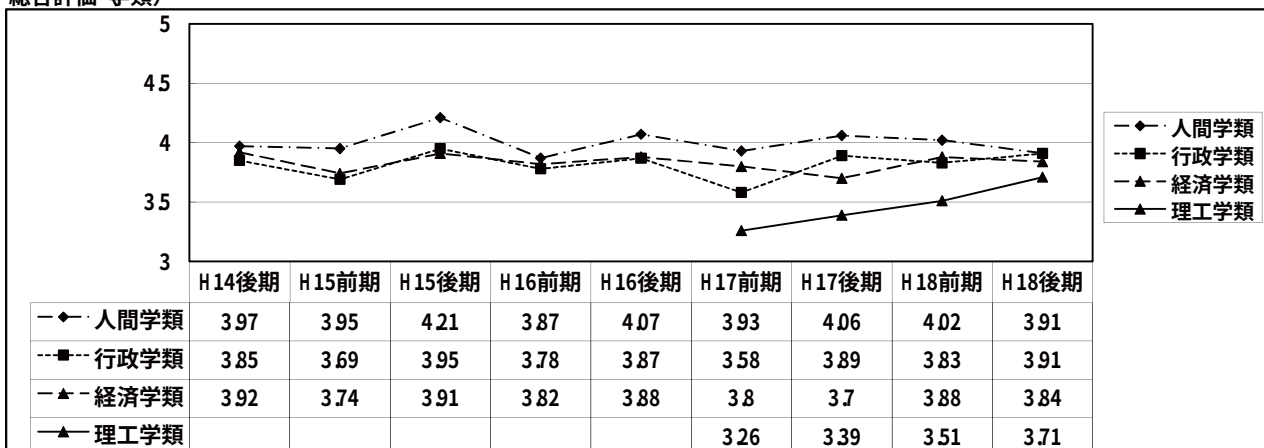
内容理解 学類)



総合評価 共通)



総合評価 学類)



※ 年度によって表に空欄があるのは、アンケート未実施 データなし 理工学類設置前であったこと等の理由による。



「教育改善のための学生アンケート」集計結果

平成19年7月実施 教育改善のための 学生アンケート 前期開講科目実施状況

平成 19年度前期 教育改善のための学生アンケート実施状況 分類毎)

共通領域 共通教育科目

分野	科目	分類コード	科目数	件数			人数（受講者1桁科目を含む）			人数（受講者1桁科目を除く）			備考	
				対象数	実施数	実施率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	1桁・受講者	1桁・回答者
キャリア創造科目	キャリア形成論		6	6	6	100.0%	973	868	89.2%	973	868	89.2%	無し	無し
	キャリアモデル学習		6	6	6	100.0%	975	736	75.5%	975	736	75.5%	無し	無し
総合科目			7	7	4	57.1%	1,226	533	43.5%	1,226	533	43.5%	無し	無し
広域選択科目	人間と文化		5	5	4	80.0%	584	356	61.0%	584	356	61.0%	無し	無し
	社会と歴史		6	6	4	66.7%	718	355	49.4%	718	355	49.4%	無し	無し
	自然と技術		7	7	7	100.0%	840	591	70.4%	840	591	70.4%	無し	無し
情報教育科目			8	8	8	100.0%	740	572	77.3%	740	572	77.3%	無し	無し
健康・運動科目	健康・運動科学実習		20	20	19	95.0%	970	819	84.4%	970	819	84.4%	無し	無し
	スポーツ実習		11	11	11	100.0%	205	165	80.5%	189	152	80.4%	3科目16名	3科目13名
英語	英語AⅠ・AⅡ		40	40	36	90.0%	2,003	1,628	81.3%	2,003	1,628	81.3%	無し	無し
	英語BⅠ・BⅡ		44	44	38	86.4%	1,855	1,492	80.4%	1,826	1,487	81.4%	6科目29名	2科目5名
	英語Ⅰ		1	1	1	100.0%	29	24	82.8%	29	24	82.8%	無し	無し
	英語Ⅲ		1	1	1	100.0%	35	34	97.1%	35	34	97.1%	無し	無し
	英語Ⅴ		1	1	1	100.0%	14	11	78.6%	14	11	78.6%	無し	無し
非英外国語	ドイツ語		17	17	16	94.1%	616	535	86.9%	610	535	87.7%	1科目6名	無し
	フランス語		15	15	10	66.7%	382	252	66.0%	368	248	67.4%	3科目14名	1科目4名
	中国語		22	22	20	90.9%	745	676	90.7%	729	676	92.7%	2科目15名	無し
	ロシア語		5	5	4	80.0%	91	86	94.5%	76	74	97.4%	3科目15名	2科目12名
	スペイン語		4	4	2	50.0%	72	51	70.8%	68	51	75.0%	1科目4名	無し
	日本語	日本語	2	2	2	100.0%	46	45	97.8%	46	45	97.8%	無し	無し
計			228	228	200	87.7%	13,119	9,829	74.9%	13,019	9,795	75.2%	19科目99名	8科目34名

の範囲の科目群で集計した。ただし、日本語は担当者が特定されるため集計しない。

4学類 3学部専門教育科目

分野	科目	分類コード	科目数	件数			人数（受講者1桁科目を含む）			人数（受講者1桁科目を除く）			備考	
				対象数	実施数	実施率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	1桁・受講者	1桁・回答者
人間発達文化学類・教育学部専門科目	簡易版		17	17	16	94.1%	1,027	864	84.1%	1,018	855	84.0%	1科目9名	1科目9名
	フル版		163	163	124	76.1%	7,466	4,501	60.3%	7,466	4,501	60.3%	無し	無し
行政政策学類・行政社会学部専門科目	簡易版		2	2	2	100.0%	336	240	71.4%	336	240	71.4%	無し	無し
	フル版		48	48	35	72.9%	4,385	2,204	50.3%	4,360	2,188	50.2%	4科目25名	3科目16名
経済経営学類・経済学部専門科目	簡易版		2	2	2	100.0%	340	264	77.6%	340	264	77.6%	無し	無し
	フル版		52	52	41	78.8%	5,456	2,611	47.9%	5,419	2,597	47.9%	6科目37名	3科目14名
現代教養コース	簡易版		0	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	無し	無し
	フル版		41	41	31	75.6%	1,493	853	57.1%	1,459	840	57.6%	5科目34名	3科目13名
共生システム理工学類専門科目	簡易版		9	9	8	88.9%	742	394	53.1%	742	394	53.1%	無し	無し
	フル版		86	86	73	84.9%	4,323	3,235	74.8%	4,254	3,185	74.9%	13科目69名	10科目50名
計			420	420	332	79.0%	25,568	15,166	59.3%	25,394	15,064	59.3%	29科目174名	20科目102名

の範囲の科目群で集計した。

授業コード番号					
---------	--	--	--	--	--

教育改善のための学生アンケート 簡易版

2007年7月実施
福島大学FDプロジェクト

◆このアンケートは、本学の教育改善のため、学生みなさんにご協力をいただいて実施するものです。
◆このアンケートの集計結果の取り扱いについては、次のとおりです。
①各科目の集計結果は、それぞれの授業担当教員にフィードバックされます。
②共通科目は各科目グループに分類し、科目グループ単位の集計結果を報告書において公表します。
③専門科目は各学部・学類ごとに集計し、その集計結果を報告書において公表します。
④報告書は福島大学ホームページにて公開しています。

I. (1) 学籍番号の最初の5桁を記入してください
(統計処理上、所属と学年を把握するためです)。

(1)					
-----	--	--	--	--	--

II. この授業についてのあなた自身の取り組みについておたずねします。
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。
1. 90%以上 2. 89~70% 3. 69~50% 4. 49~30% 5. 29%以下

(2)	
-----	--

(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。
1. 3時間以上 2. 2~3時間未満 3. 1~2時間未満
4. 30分~1時間未満 5. 30分未満

(3)	
-----	--

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。
1. ノートや配付資料を復習した 2. インターネットで検索した 3. 参考書を買って調べた
4. 図書館で文献を調べた 5. 友だちと話して理解するようにした
6. 先生に質問した 7. 何もなかった

(4)			
-----	--	--	--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント(数字)記入してください。】
5: はい, 4: かなりそうだとと言える, 3: どちらとも言えない, 2: あまりそうとは言えない, 1: いいえ

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか(観点: 授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)。

(5)	(5 択式)	(理由)
-----	--------	------

(6) 教育の方法は適切でしたか(観点: わかりやすい説明, 話し方・声の大きさ, 質問への対応, 板書の仕方・視聴覚機器の活用, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)。

(6)	(5 択式)	(理由)
-----	--------	------

(7) 授業の内容は適切でしたか(観点: 魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進度, シラバスに記述された目標の達成度等)。

(7)	(5 択式)	(理由)
-----	--------	------

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

IV.	
-----	--

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

--

教育改善のための学生アンケート

2007年7月実施
福島大学FDプロジェクト

- ☐ 該当する番号を□に記入してください。
- ☐ 自由記載欄には思っていることを率直に述べてください。

- I. (1)学籍番号の最初の5桁を記入してください
(統計処理上、所属と学年を把握するためです)。

(1)					
-----	--	--	--	--	--

- II. この授業についてのあなた自身の取り組みについておたずねします。

- (2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 勉学面で関心があったから | 2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから |
| 3. 単位がとり易そうだったから | 4. 受講し易い時間帯にあったから |
| 5. 友人や先輩に勧められたから | 6. クラス指定または必修だったから |
| 7. その他() | |

(2)	
-----	--

- (3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上 2. 89～70% 3. 69～50% 4. 49～30% 5. 29%以下

(3)	
-----	--

- (4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上 2. 2～3時間未満 3. 1～2時間未満
4. 30分～1時間未満 5. 30分未満

(4)	
-----	--

- (5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した 2. インターネットで検索した 3. 参考書を買って調べた
4. 図書館で文献を調べた 5. 友だちと話して理解するようにした
6. 先生に質問した 7. 何もしなかった

(5)			
-----	--	--	--

- (6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的 2. ある程度意欲的 3. どちらともいえない
4. あまり意欲的でない 5. まったく意欲的でない

(6)	
-----	--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント(数字)を□に記入してください。】

5: はい, 4: かなりそうと言える, 3: どちらとも言えない, 2: あまりそうとは言えない, 1: いいえ

- III. この授業及び担当教員に関して、次の項目について評価をし、評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。(担当教員が複数の場合は総合的に判断してお答えください。)

- (7) 授業への熱意が感じられた。

(7)	
-----	--

- (8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

(8)	
-----	--

- (9) 授業の準備がしっかりなされていた。

(9)	
-----	--

- (10) 聞き取り易い話し方だった。

(10)	
------	--

- (11) 板書・OHPなどは見やすかった。(使用していない授業の場合は空欄にしてください。)

(11)	
------	--

- (12) シラバスの記述は適切であった。

(12)	
------	--

- (13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

(13)	
------	--

- (14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

(14)	
------	--

- (15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

(15)	
------	--

- (16) 授業の内容はよく理解できた。

(16)	
------	--

- (17)その他、この授業に関して、①授業の良かった点、②授業で改善すべき点、③印象に残った点、④疑問点、⑤自らの学習を振り返って感じたこと、⑥この Semester での自らの勉学目標とこの授業の位置づけ及びその目標達成度、⑦これからの自分の学習展望など、今感じていることを自由に書いてください。

--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント（数字）を□に記入してください。
5：はい、4：かなりそうだとと言える、3：どちらとも言えない、2：あまりそうとは言えない、1：いいえ

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。評価ポイント 5～1 のいずれかの数字でお答えください。

IV.	
-----	--

V. 教育環境について評価をし、評価ポイント 5～1 のいずれかの数字でお答えください。

(18)授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

(18)	
------	--

(19)授業の場の大きさや設備等は適切であった。

(19)	
------	--

(20)受講者数は適切であった。

(20)	
------	--

その他、教育環境について改善すべき点があれば、(17)の自由記述欄に書いてください。

VI. 授業科目担当教員からの自由設問欄

VI.	(5 択式)
-----	--------

(担当教員から独自の質問事項が提示されたときは、この欄に回答してください。)

(記述式)

--

◆このアンケートは、本学の教育改善のため、学生のみなさんにご協力をいただいて実施するものです。

◆このアンケートの集計結果の取り扱いについては、次のとおりです。

- ①各科目の集計結果は、それぞれの授業担当教員にフィードバックされます。
- ②共通科目は各科目グループに分類し、科目グループ単位の集計結果を報告書において公表します。
- ③専門科目は各学部・学類ごとに集計し、その集計結果を報告書において公表します。
- ④報告書は福島大学ホームページにて公開しています。

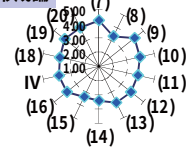
平成19年7月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況 (前期)共通領域 共通教育科目

科目群毎の学生アンケート実施率			キャリア形成論	キャリアモデル学習	総合科目	人間と文化	社会と歴史	自然と技術	情報教育	健康・運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)		6	6	7	5	6	7	8	31	87	17	15	22	5	4	2	228
	学生アンケート実施科目数(b)		6	6	4	4	4	7	8	30	77	16	10	20	4	2	2	200
	学生アンケート実施率(b/a :%)		100.0%	100.0%	57.1%	80.0%	66.7%	100.0%	100.0%	96.8%	88.5%	94.1%	66.7%	90.9%	80.0%	50.0%	100.0%	87.7%
人数	学生アンケート受講者数(c)		973	975	1226	584	718	840	740	1159	3907	610	368	729	76	68	46	13,019
	学生アンケート回答者数(d)		868	736	533	356	355	591	572	971	3,184	535	248	676	74	51	45	9,795
	学生アンケート回答率(d/c :%)		89.2%	75.5%	43.5%	61.0%	49.4%	70.4%	77.3%	83.8%	81.5%	87.7%	67.4%	92.7%	97.4%	75.0%	97.8%	75.2%

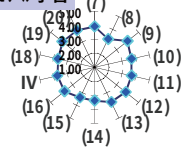
教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値 科目群毎

	番号	設 問	キャリア 形成論	キャリアモデ ル学習	総合科目	人間と文化	社会と歴史	自然と技術	情報教育	健康・ 運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
授業及び 担当教官	(7)	授業への熱意が感じられた	4.24	3.91	4.41	4.02	4.08	3.97	3.84	4.57	4.24	4.34	4.12	4.25	4.82	3.88		4.21
	(8)	学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた	3.35	3.23	3.60	3.23	3.91	3.20	3.28	4.27	4.00	4.08	4.04	3.95	4.54	3.47		3.77
	(9)	授業の準備がしっかりなされていた	4.21	4.00	4.36	4.12	4.30	4.07	4.12	4.33	4.25	4.31	4.24	4.19	4.76	4.20		4.22
	(10)	聞き取りやすい話し方だった	3.96	3.70	3.94	3.44	4.37	3.71	3.50	4.20	4.09	4.11	4.01	4.13	4.76	3.92		3.99
	(11)	板書・OHPなどは見やすかった	3.81	3.70	3.82	3.62	3.82	3.40	3.68	4.02	3.94	3.91	3.96	3.85	4.24	3.63		3.83
	(12)	シラバスの記述は適切であった	3.88	3.84	3.88	4.01	3.98	3.65	3.77	4.25	4.10	4.08	4.14	4.04	4.23	4.06		4.00
	(13)	教科書・参考書・資料などは適切であった	3.82	3.75	3.78	3.93	4.12	3.54	3.71	3.97	4.17	4.30	4.10	4.12	4.59	3.75		3.99
	(14)	学生の理解度や達成度を見ながら進められた	3.41	3.39	3.39	3.42	3.77	2.94	3.25	4.11	3.91	4.06	3.85	3.97	4.54	3.27		3.71
	(15)	時間外学習の情報提供・指示が十分であった	3.37	3.40	3.50	3.50	3.81	3.15	3.39	3.94	3.86	3.97	3.86	3.84	4.53	3.78		3.69
	(16)	授業の内容はよく理解できた	3.88	3.75	3.43	3.67	3.91	3.28	3.49	4.32	4.02	3.90	3.79	3.99	4.34	3.37		3.88
総合	IV	総合的にみてこの授業に満足しましたか	3.88	3.73	3.81	3.89	4.24	3.66	3.65	4.45	4.15	4.25	4.15	4.17	4.59	3.70		4.05
教育環境	(18)	授業の場では学習する雰囲気は保たれた	3.82	3.68	4.06	4.32	4.22	3.76	3.92	4.49	4.35	4.44	4.40	4.44	4.86	4.43		4.20
	(19)	授業の場の大きさや設備は適切であった	4.09	3.94	4.23	4.21	4.11	4.17	4.19	4.49	4.46	4.49	4.48	4.47	4.81	4.59		4.33
	(20)	受講者数は適切であった	4.03	3.92	4.10	4.25	4.16	4.08	4.15	4.46	4.41	4.45	4.55	4.48	4.75	4.51		4.29

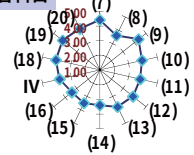
キャリア形成論



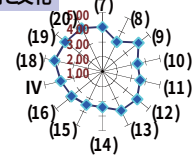
キャリアモデル学習



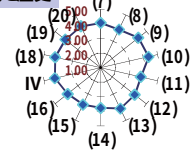
総合科目



人間と文化

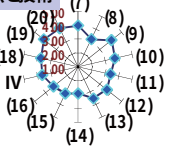


社会と歴史

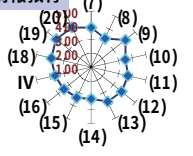


※評価ポイント
5 強く思う
4 やや思う
3 どちらとも言えない
2 あまり思わない
1 まったく思わない
※「日本語」はクラスが特定されるので

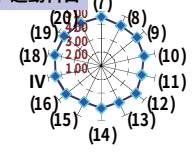
自然と技術



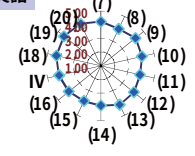
情報教育



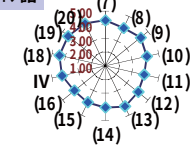
健康・運動科目



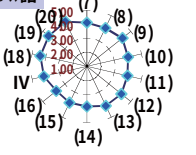
英語



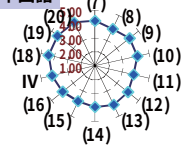
ドイツ語



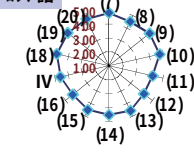
フランス語



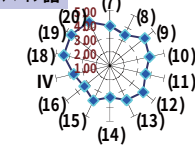
中国語



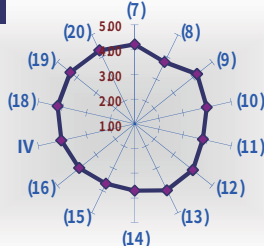
ロシア語



スペイン語



合計



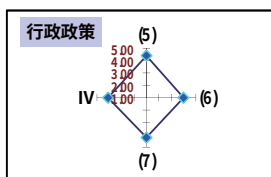
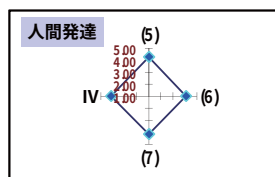
平成19年7月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況 (前期)専門教育科目)

学類毎の学生アンケート実施率		簡易版]						フル版]						総計]					
		人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計	人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計	人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)	17	2	2	0	9	30	163	48	52	41	86	390	180	50	54	41	95	420
	学生アンケート実施科目数(b)	16	2	2	0	8	28	124	35	41	31	73	304	140	37	43	31	81	332
	学生アンケート実施率(b/a:%)	94.1%	100.0%	100.0%		88.9%	93.3%	76.1%	72.9%	78.8%	75.6%	84.9%	77.9%	77.8%	74.0%	79.6%	75.6%	85.3%	79.0%
人数	学生アンケート受講者数(c)	1,018	336	340	0	742	2,436	7,466	4,360	5,419	1,459	4,254	22,958	8,484	4,696	5,759	1,459	4,996	25,394
	学生アンケート回答者数(d)	855	240	264	0	394	1,753	4,501	2,188	2,597	840	3,185	13,311	5,356	2,428	2,861	840	3,579	15,064
	学生アンケート回答率(d/c:%)	84.0%	71.4%	77.6%		53.1%	72.0%	60.3%	50.2%	47.9%	57.6%	74.9%	58.0%	63.1%	51.7%	49.7%	57.6%	71.6%	59.3%

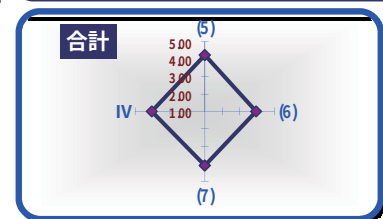
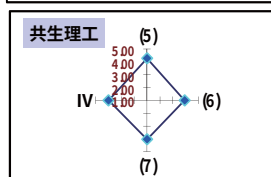
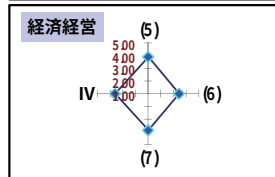
教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値 (学類毎)

簡易版]

学類毎の学生アンケート実施率		人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計
授業担当及び教員	(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか	4.26	4.39	3.90		4.28	4.23
	(6) 教育の方法は適切でしたか	4.09	3.99	3.44		3.92	3.94
	(7) 教育の内容は適切でしたか	4.17	4.22	3.88		4.03	4.10
総合	IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか	4.16	4.11	3.62		4.01	4.04

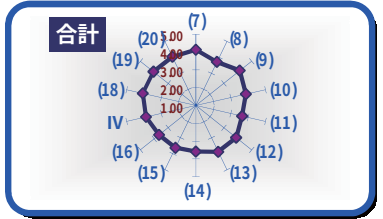
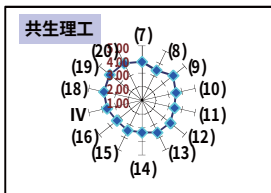
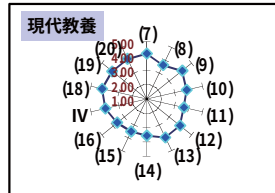
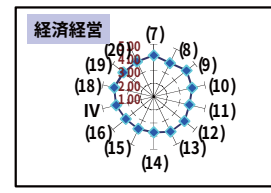
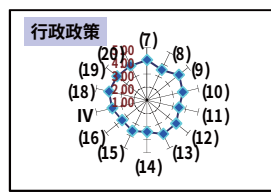
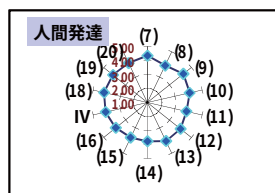


※評価ポイント
5 強く思う
4 ややそう思う
3 どちらとも言えない
2 あまりそう思わない
1 まったくそう思わない
※簡易版の現代教養コースは1科目のみのため外



フル版]

学類毎の学生アンケート実施率		人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計
授業及び担当教員	(7) 授業への熱意が感じられた	4.34	4.08	4.15	4.17	3.84	4.13
	(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれている	3.92	3.57	3.84	3.63	3.46	3.72
	(9) 授業の準備がしっかりなされていた	4.28	4.11	4.20	4.17	3.93	4.15
	(10) 聞き取りやすい話し方だった	4.09	3.80	4.01	3.85	3.56	3.88
	(11) 板書・HPなどは見やすかった	3.86	3.49	3.79	3.65	3.45	3.67
	(12) シラバスの記述は適切であった	4.02	3.84	4.00	3.97	3.66	3.90
	(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった	4.06	3.85	3.96	3.98	3.60	3.89
	(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた	3.77	3.41	3.72	3.56	3.35	3.59
総合	(15) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった	3.78	3.59	3.72	3.51	3.43	3.64
	(16) 授業の内容はよく理解できた	3.90	3.44	3.72	3.64	3.36	3.64
	IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか	4.07	3.72	3.94	3.96	3.63	3.87
教育環境	(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた	4.18	3.98	4.09	4.20	3.86	4.06
	(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった	4.15	3.93	3.96	4.09	4.03	4.04
	(20) 受講者数は適切であった	4.12	3.93	3.97	4.11	4.02	4.03



教育改善のための学生アンケート

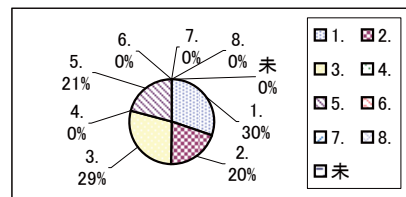
分野	科目
キャリア創造科目	キャリア形成論 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	973	868	89.2%

I.

(1) 学部

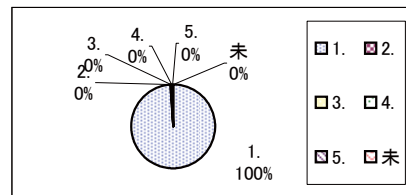
1. 人間発達文化学類	264名	2. 行政政策学類	173名
3. 経済経営学類	250名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	180名	6. 教育学部	1名
7. 行政社会学部	0名	8. 経済学部	0名
未 未記入	0名	合計	868名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	858名
2. 2年	2名
3. 3年	4名
4. 4年	0名
5. 5年以上	4名
未 未記入	0名

合計 868名

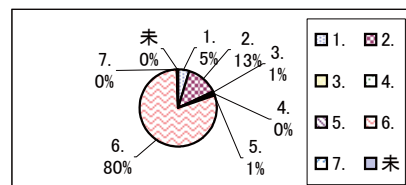


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉強面に関心があつたから	41名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	116名
3. 単位がとり易そうだったから	6名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	3名
5. 友人や先輩に勧められたから	6名
6. クラス指定または必修だったから	690名
7. その他	4名
未 未記入	2名

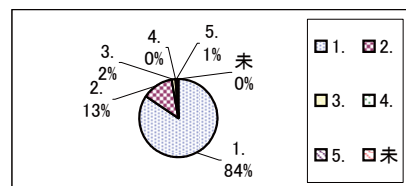
合計 868名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	734名
2. 89%~70%	111名
3. 69%~50%	14名
4. 49%~30%	0名
5. 29%以下	5名
未 未記入	4名

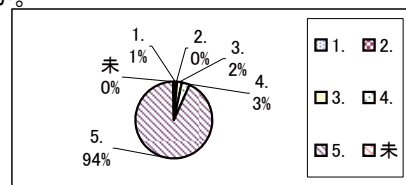
合計 868名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

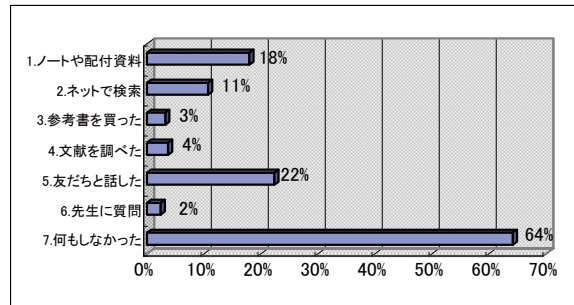
1. 3時間以上	9名
2. 2~3時間未満	3名
3. 1~2時間未満	16名
4. 30分~1時間未満	29名
5. 30分未満	809名
未 未記入	2名

合計 868名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

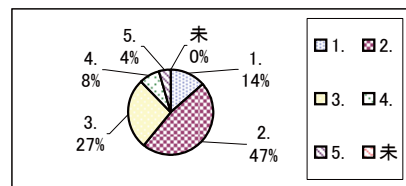
1. ノートや配付資料を復習した	156名
2. インターネットで検索した	93名
3. 参考書を買って調べた	28名
4. 図書館で文献を調べた	32名
5. 友だちと話して理解するようにした	194名
6. 先生に質問した	21名
7. 何もしなかった	557名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	119名
2. ある程度意欲的	409名
3. どちらとも言えない	234名
4. あまり意欲的でない	68名
5. まったく意欲的でない	37名
未 未記入	1名

合計 868名



分野	科目
キャリア創造科目	キャリア形成論 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	973	868	89.2%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	388名
4. かなりそうと言える	322名
3. どちらとも言えない	139名
2. あまりそうとは言えない	12名
1. いいえ	6名
未 未記入	1名

合計 868名
評価ポイント平均値 4.24

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	137名
4. かなりそうと言える	221名
3. どちらとも言えない	362名
2. あまりそうとは言えない	106名
1. いいえ	41名
未 未記入	1名

合計 868名
評価ポイント平均値 3.35

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	389名
4. かなりそうと言える	308名
3. どちらとも言えない	143名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	11名
未 未記入	1名

合計 868名
評価ポイント平均値 4.21

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	306名
4. かなりそうと言える	288名
3. どちらとも言えない	219名
2. あまりそうとは言えない	40名
1. いいえ	14名
未 未記入	1名

合計 868名
評価ポイント平均値 3.96

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	248名
4. かなりそうと言える	224名
3. どちらとも言えない	241名
2. あまりそうとは言えない	49名
1. いいえ	20名
未 未記入	86名

合計 868名
評価ポイント平均値 3.81

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	263名
4. かなりそうと言える	282名
3. どちらとも言えない	283名
2. あまりそうとは言えない	20名
1. いいえ	15名
未 未記入	5名

合計 868名
評価ポイント平均値 3.88

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	254名
4. かなりそうと言える	261名
3. どちらとも言えない	300名
2. あまりそうとは言えない	31名
1. いいえ	16名
未 未記入	6名

合計 868名
評価ポイント平均値 3.82

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	151名
4. かなりそうと言える	198名
3. どちらとも言えない	405名
2. あまりそうとは言えない	77名
1. いいえ	35名
未 未記入	2名

合計 868名
評価ポイント平均値 3.41

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	165名
4. かなりそうと言える	189名
3. どちらとも言えない	370名
2. あまりそうとは言えない	84名
1. いいえ	58名
未 未記入	2名

合計 868名
評価ポイント平均値 3.37

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	244名
4. かなりそうと言える	340名
3. どちらとも言えない	232名
2. あまりそうとは言えない	35名
1. いいえ	16名
未 未記入	1名

合計 868名
評価ポイント平均値 3.88

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	227名
4. かなりそうと言える	354名
3. どちらとも言えない	201名
2. あまりそうとは言えない	30名
1. いいえ	22名
未 未記入	34名

合計 868名
評価ポイント平均値 3.88

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	251名
4. かなりそうと言える	285名
3. どちらとも言えない	247名
2. あまりそうとは言えない	51名
1. いいえ	19名
未 未記入	15名

合計 868名
評価ポイント平均値 3.82

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	349名
4. かなりそうと言える	294名
3. どちらとも言えない	162名
2. あまりそうとは言えない	31名
1. いいえ	17名
未 未記入	15名

合計 868名
評価ポイント平均値 4.09

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	334名
4. かなりそうと言える	274名
3. どちらとも言えない	199名
2. あまりそうとは言えない	26名
1. いいえ	19名
未 未記入	16名

合計 868名
評価ポイント平均値 4.03

教育改善のための学生アンケート

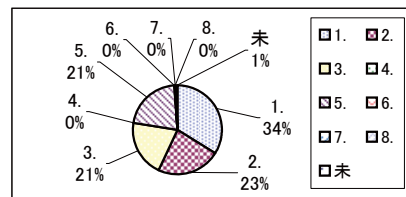
分野	科目
キャリア創造科目	キャリアモデル学習 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	975	736	75.5%

I.

(1) 学部

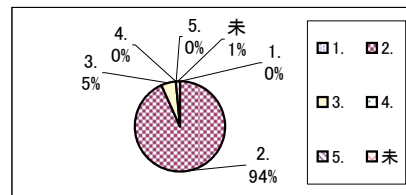
1. 人間発達文化学類	250名	2. 行政政策学類	169名
3. 経済経営学類	151名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	157名	6. 教育学部	3名
7. 行政社会学部	0名	8. 経済学部	1名
未 未記入	5名	合計	736名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	0名
2. 2年	687名
3. 3年	39名
4. 4年	0名
5. 5年以上	0名
未 未記入	10名

合計 736名

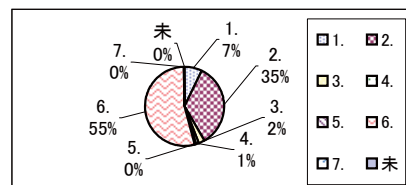


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	53名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	254名
3. 単位がとり易そうだったから	18名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	9名
5. 友人や先輩に勧められたから	3名
6. クラス指定または必修だったから	397名
7. その他	1名
未 未記入	1名

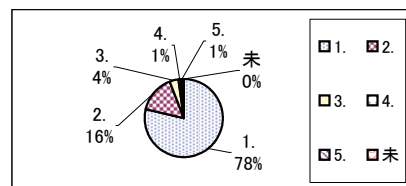
合計 736名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	578名
2. 89%～70%	116名
3. 69%～50%	26名
4. 49%～30%	8名
5. 29%以下	5名
未 未記入	3名

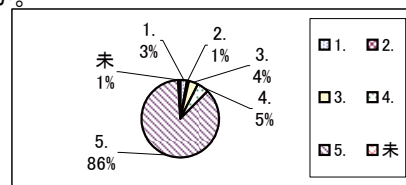
合計 736名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

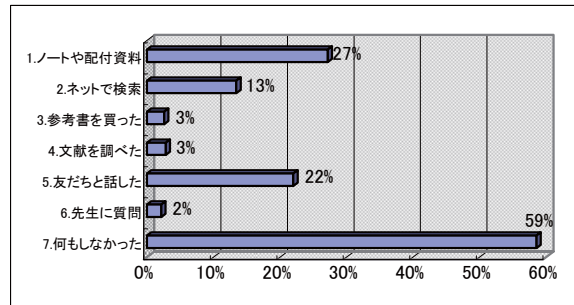
1. 3時間以上	21名
2. 2～3時間未満	6名
3. 1～2時間未満	29名
4. 30分～1時間未満	36名
5. 30分未満	638名
未 未記入	6名

合計 736名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

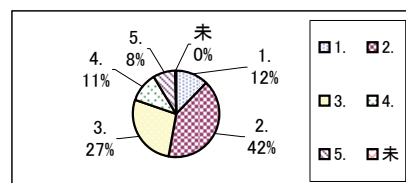
1. ノートや配付資料を復習した	200名
2. インターネットで検索した	99名
3. 参考書を買って調べた	19名
4. 図書館で文献を調べた	21名
5. 友だちと話して理解するようにした	162名
6. 先生に質問した	16名
7. 何もしなかった	431名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	90名
2. ある程度意欲的	299名
3. どちらとも言えない	202名
4. あまり意欲的でない	81名
5. まったく意欲的でない	61名
未 未記入	3名

合計 736名



分野	科目
キャリア創造科目	キャリアモデル学習 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	975	736	75.5%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、
評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	248名
4. かなりそうと言える	247名
3. どちらとも言えない	182名
2. あまりそうとは言えない	29名
1. いいえ	25名
未 未記入	5名

合計 736名

評価ポイント平均値 3.91

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	118名
4. かなりそうと言える	162名
3. どちらとも言えない	280名
2. あまりそうとは言えない	113名
1. いいえ	57名
未 未記入	6名

合計 736名

評価ポイント平均値 3.23

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	270名
4. かなりそうと言える	258名
3. どちらとも言えない	154名
2. あまりそうとは言えない	30名
1. いいえ	19名
未 未記入	5名

合計 736名

評価ポイント平均値 4.00

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	182名
4. かなりそうと言える	242名
3. どちらとも言えない	237名
2. あまりそうとは言えない	43名
1. いいえ	26名
未 未記入	6名

合計 736名

評価ポイント平均値 3.70

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	167名
4. かなりそうと言える	208名
3. どちらとも言えない	234名
2. あまりそうとは言えない	39名
1. いいえ	18名
未 未記入	70名

合計 736名

評価ポイント平均値 3.70

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	207名
4. かなりそうと言える	245名
3. どちらとも言えない	241名
2. あまりそうとは言えない	19名
1. いいえ	15名
未 未記入	9名

合計 736名

評価ポイント平均値 3.84

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	187名
4. かなりそうと言える	229名
3. どちらとも言えない	261名
2. あまりそうとは言えない	25名
1. いいえ	18名
未 未記入	16名

合計 736名

評価ポイント平均値 3.75

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	130名
4. かなりそうと言える	169名
3. どちらとも言えない	311名
2. あまりそうとは言えない	85名
1. いいえ	32名
未 未記入	9名

合計 736名

評価ポイント平均値 3.39

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	140名
4. かなりそうと言える	193名
3. どちらとも言えない	266名
2. あまりそうとは言えない	74名
1. いいえ	55名
未 未記入	8名

合計 736名

評価ポイント平均値 3.40

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	193名
4. かなりそうと言える	250名
3. どちらとも言えない	227名
2. あまりそうとは言えない	34名
1. いいえ	26名
未 未記入	6名

合計 736名

評価ポイント平均値 3.75

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	169名
4. かなりそうと言える	290名
3. どちらとも言えない	181名
2. あまりそうとは言えない	49名
1. いいえ	28名
未 未記入	19名

合計 736名

評価ポイント平均値 3.73

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	206名
4. かなりそうと言える	211名
3. どちらとも言えない	205名
2. あまりそうとは言えない	58名
1. いいえ	37名
未 未記入	19名

合計 736名

評価ポイント平均値 3.68

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	269名
4. かなりそうと言える	223名
3. どちらとも言えない	162名
2. あまりそうとは言えない	44名
1. いいえ	20名
未 未記入	18名

合計 736名

評価ポイント平均値 3.94

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	267名
4. かなりそうと言える	220名
3. どちらとも言えない	161名
2. あまりそうとは言えない	43名
1. いいえ	25名
未 未記入	20名

合計 736名

評価ポイント平均値 3.92

教育改善のための学生アンケート

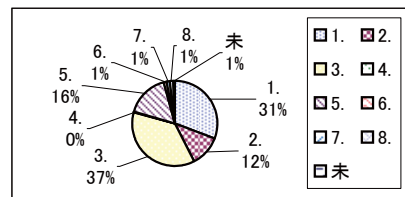
分野	科目
総合科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1226	533	43.5%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	164名	2. 行政政策学類	62名
3. 経済経営学類	196名	4. 現代教養コース	2名
5. 共生システム理工学類	87名	6. 教育学部	6名
7. 行政社会学部	6名	8. 経済学部	7名
未 未記入	3名	合計	533名

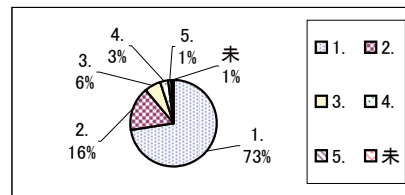


学年(入学してからの年数)

1. 1年	387名
2. 2年	87名
3. 3年	33名
4. 4年	15名
5. 5年以上	7名
未 未記入	4名

合計

533名



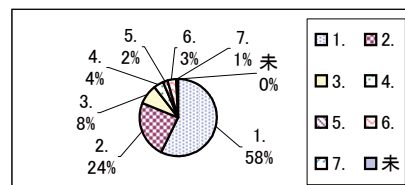
II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉強面に関心があったから	305名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	127名
3. 単位がとり易そうだったから	44名
4. 受講し易い時間帯にあったから	23名
5. 友人や先輩に勧められたから	11名
6. クラス指定または必修だったから	18名
7. その他	5名
未 未記入	0名

合計

533名

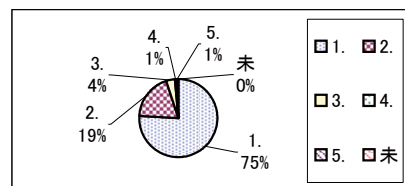


(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	404名
2. 89%~70%	102名
3. 69%~50%	20名
4. 49%~30%	3名
5. 29%以下	4名
未 未記入	0名

合計

533名

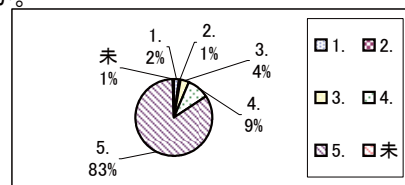


(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	12名
2. 2~3時間未満	3名
3. 1~2時間未満	19名
4. 30分~1時間未満	50名
5. 30分未満	446名
未 未記入	3名

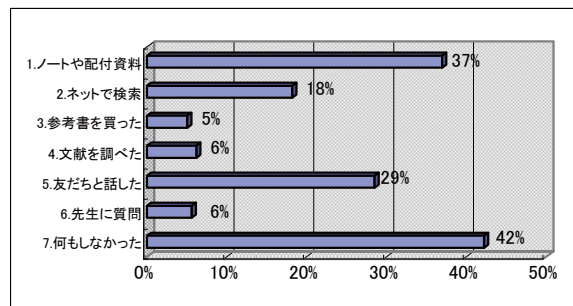
合計

533名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	197名
2. インターネットで検索した	97名
3. 参考書を買って調べた	27名
4. 図書館で文献を調べた	33名
5. 友だちと話して理解するようにした	152名
6. 先生に質問した	30名
7. 何もしなかった	225名

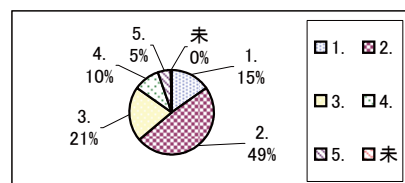


(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	82名
2. ある程度意欲的	259名
3. どちらとも言えない	111名
4. あまり意欲的でない	53名
5. まったく意欲的でない	27名
未 未記入	1名

合計

533名



分野	科目
総合科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1226	533	43.5%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	319名
4. かなりそうと言える	147名
3. どちらとも言えない	42名
2. あまりそうとは言えない	12名
1. いいえ	12名
未 未記入	1名

合計 533名

評価ポイント平均値 4.41

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	162名
4. かなりそうと言える	139名
3. どちらとも言えない	123名
2. あまりそうとは言えない	72名
1. いいえ	35名
未 未記入	2名

合計 533名

評価ポイント平均値 3.60

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	300名
4. かなりそうと言える	157名
3. どちらとも言えない	54名
2. あまりそうとは言えない	12名
1. いいえ	10名
未 未記入	0名

合計 533名

評価ポイント平均値 4.36

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	220名
4. かなりそうと言える	148名
3. どちらとも言えない	99名
2. あまりそうとは言えない	44名
1. いいえ	21名
未 未記入	1名

合計 533名

評価ポイント平均値 3.94

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	185名
4. かなりそうと言える	138名
3. どちらとも言えない	101名
2. あまりそうとは言えない	52名
1. いいえ	24名
未 未記入	33名

合計 533名

評価ポイント平均値 3.82

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	177名
4. かなりそうと言える	164名
3. どちらとも言えない	152名
2. あまりそうとは言えない	25名
1. いいえ	13名
未 未記入	2名

合計 533名

評価ポイント平均値 3.88

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	173名
4. かなりそうと言える	146名
3. どちらとも言えない	149名
2. あまりそうとは言えない	35名
1. いいえ	23名
未 未記入	7名

合計 533名

評価ポイント平均値 3.78

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	125名
4. かなりそうと言える	131名
3. どちらとも言えない	154名
2. あまりそうとは言えない	70名
1. いいえ	51名
未 未記入	2名

合計 533名

評価ポイント平均値 3.39

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	126名
4. かなりそうと言える	137名
3. どちらとも言えない	172名
2. あまりそうとは言えない	57名
1. いいえ	35名
未 未記入	6名

合計 533名

評価ポイント平均値 3.50

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	127名
4. かなりそうと言える	155名
3. どちらとも言えない	124名
2. あまりそうとは言えない	73名
1. いいえ	53名
未 未記入	1名

合計 533名

評価ポイント平均値 3.43

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	181名
4. かなりそうと言える	158名
3. どちらとも言えない	107名
2. あまりそうとは言えない	42名
1. いいえ	30名
未 未記入	15名

合計 533名

評価ポイント平均値 3.81

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	215名
4. かなりそうと言える	173名
3. どちらとも言えない	100名
2. あまりそうとは言えない	30名
1. いいえ	8名
未 未記入	7名

合計 533名

評価ポイント平均値 4.06

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	261名
4. かなりそうと言える	156名
3. どちらとも言えない	86名
2. あまりそうとは言えない	17名
1. いいえ	6名
未 未記入	7名

合計 533名

評価ポイント平均値 4.23

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	238名
4. かなりそうと言える	148名
3. どちらとも言えない	105名
2. あまりそうとは言えない	23名
1. いいえ	11名
未 未記入	8名

合計 533名

評価ポイント平均値 4.10

教育改善のための学生アンケート

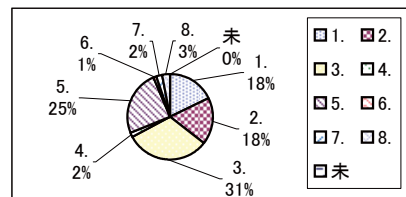
分野	科目
広域選択科目	人間と文化 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	584	356	61.0%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	63名	2. 行政政策学類	64名
3. 経済経営学類	112名	4. 現代教養コース	6名
5. 共生システム理工学類	88名	6. 教育学部	4名
7. 行政社会学部	8名	8. 経済学部	11名
未 未記入	0名	合計	356名

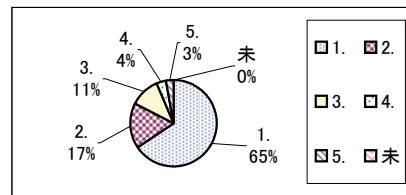


学年(入学してからの年数)

1. 1年	233名
2. 2年	61名
3. 3年	39名
4. 4年	13名
5. 5年以上	10名
未 未記入	0名

合計

356名



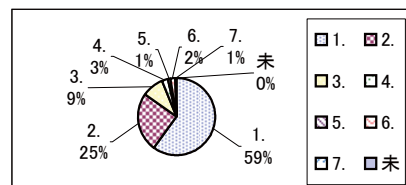
II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	214名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	88名
3. 単位がとり易そうだったから	32名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	9名
5. 友人や先輩に勧められたから	4名
6. クラス指定または必修だったから	7名
7. その他	2名
未 未記入	0名

合計

356名

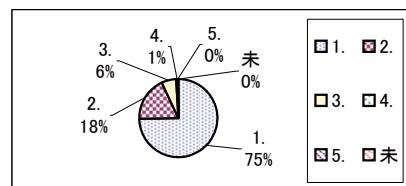


(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	266名
2. 89%~70%	65名
3. 69%~50%	22名
4. 49%~30%	2名
5. 29%以下	1名
未 未記入	0名

合計

356名

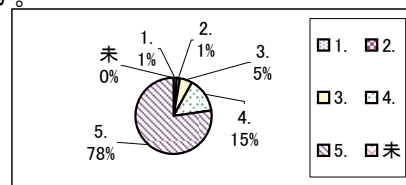


(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	5名
2. 2~3時間未満	5名
3. 1~2時間未満	19名
4. 30分~1時間未満	52名
5. 30分未満	275名
未 未記入	0名

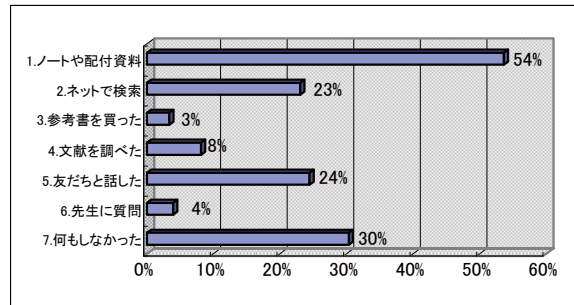
合計

356名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	191名
2. インターネットで検索した	82名
3. 参考書を買って調べた	12名
4. 図書館で文献を調べた	29名
5. 友だちと話して理解するようにした	87名
6. 先生に質問した	14名
7. 何もしなかった	108名

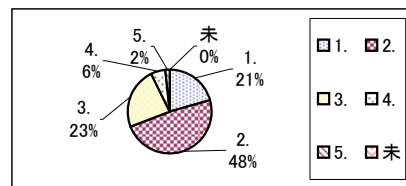


(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	73名
2. ある程度意欲的	173名
3. どちらとも言えない	84名
4. あまり意欲的でない	20名
5. まったく意欲的でない	6名
未 未記入	0名

合計

356名



分野	科目
広域選択科目	人間と文化 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	584	356	61.0%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	124名
4. かなりそうと言える	133名
3. どちらとも言えない	84名
2. あまりそうとは言えない	11名
1. いいえ	4名
未 未記入	0名

合計 356名

評価ポイント平均値 4.02

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	47名
4. かなりそうと言える	73名
3. どちらとも言えない	171名
2. あまりそうとは言えない	46名
1. いいえ	19名
未 未記入	0名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.23

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	137名
4. かなりそうと言える	138名
3. どちらとも言えない	70名
2. あまりそうとは言えない	10名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 356名

評価ポイント平均値 4.12

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	88名
4. かなりそうと言える	83名
3. どちらとも言えない	115名
2. あまりそうとは言えない	37名
1. いいえ	33名
未 未記入	0名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.44

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	102名
4. かなりそうと言える	93名
3. どちらとも言えない	93名
2. あまりそうとは言えない	40名
1. いいえ	20名
未 未記入	8名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.62

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	122名
4. かなりそうと言える	129名
3. どちらとも言えない	90名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	4名
未 未記入	2名

合計 356名

評価ポイント平均値 4.01

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	123名
4. かなりそうと言える	101名
3. どちらとも言えない	107名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	8名
未 未記入	8名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.93

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	61名
4. かなりそうと言える	87名
3. どちらとも言えない	162名
2. あまりそうとは言えない	31名
1. いいえ	15名
未 未記入	0名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.42

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	79名
4. かなりそうと言える	78名
3. どちらとも言えない	153名
2. あまりそうとは言えない	33名
1. いいえ	13名
未 未記入	0名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.50

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	86名
4. かなりそうと言える	125名
3. どちらとも言えない	99名
2. あまりそうとは言えない	35名
1. いいえ	11名
未 未記入	0名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.67

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	109名
4. かなりそうと言える	126名
3. どちらとも言えない	92名
2. あまりそうとは言えない	15名
1. いいえ	8名
未 未記入	6名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.89

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	191名
4. かなりそうと言える	104名
3. どちらとも言えない	44名
2. あまりそうとは言えない	13名
1. いいえ	2名
未 未記入	2名

合計 356名

評価ポイント平均値 4.32

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	173名
4. かなりそうと言える	112名
3. どちらとも言えない	49名
2. あまりそうとは言えない	12名
1. いいえ	8名
未 未記入	2名

合計 356名

評価ポイント平均値 4.21

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	176名
4. かなりそうと言える	110名
3. どちらとも言えない	51名
2. あまりそうとは言えない	14名
1. いいえ	3名
未 未記入	2名

合計 356名

評価ポイント平均値 4.25

教育改善のための学生アンケート

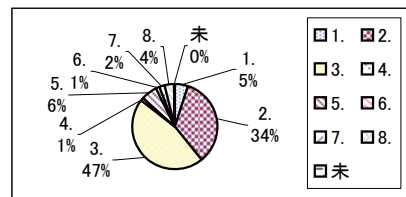
分野	科目
広域選択科目	社会と歴史 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	718	355	49.4%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	18名	2. 行政政策学類	121名
3. 経済経営学類	165名	4. 現代教養コース	4名
5. 共生システム理工学類	21名	6. 教育学部	5名
7. 行政社会学部	7名	8. 経済学部	13名
未 未記入	1名	合計	355名

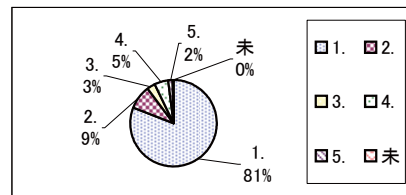


学年(入学してからの年数)

1. 1年	287名
2. 2年	32名
3. 3年	10名
4. 4年	19名
5. 5年以上	6名
未 未記入	1名

合計

355名



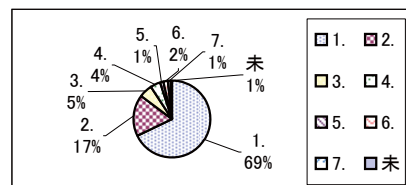
II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	241名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	62名
3. 単位がとり易そうだったから	19名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	15名
5. 友人や先輩に勧められたから	5名
6. クラス指定または必修だったから	7名
7. その他	4名
未 未記入	2名

合計

355名

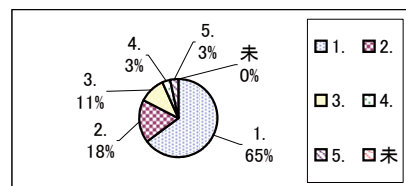


(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	230名
2. 89%~70%	63名
3. 69%~50%	38名
4. 49%~30%	12名
5. 29%以下	12名
未 未記入	0名

合計

355名

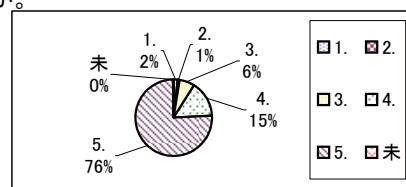


(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	6名
2. 2~3時間未満	3名
3. 1~2時間未満	23名
4. 30分~1時間未満	54名
5. 30分未満	268名
未 未記入	1名

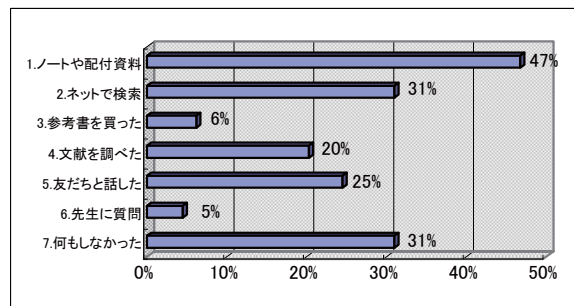
合計

355名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	166名
2. インターネットで検索した	110名
3. 参考書を買って調べた	22名
4. 図書館で文献を調べた	72名
5. 友だちと話して理解するようにした	87名
6. 先生に質問した	16名
7. 何もしなかった	110名

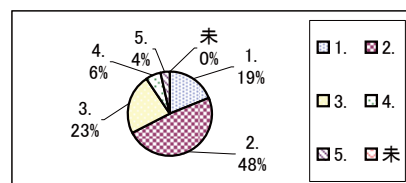


(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	67名
2. ある程度意欲的	173名
3. どちらとも言えない	81名
4. あまり意欲的でない	21名
5. まったく意欲的でない	13名
未 未記入	0名

合計

355名



分野	科目
広域選択科目	社会と歴史 合計

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	718	355	49.4%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	145名
4. かなりそうと言える	118名
3. どちらとも言えない	75名
2. あまりそうとは言えない	10名
1. いいえ	7名
未 未記入	0名

合計 355名

評価ポイント平均値 4.08

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	119名
4. かなりそうと言える	115名
3. どちらとも言えない	99名
2. あまりそうとは言えない	15名
1. いいえ	7名
未 未記入	0名

合計 355名

評価ポイント平均値 3.91

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	169名
4. かなりそうと言える	126名
3. どちらとも言えない	58名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 355名

評価ポイント平均値 4.30

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	195名
4. かなりそうと言える	107名
3. どちらとも言えない	43名
2. あまりそうとは言えない	8名
1. いいえ	2名
未 未記入	0名

合計 355名

評価ポイント平均値 4.37

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	106名
4. かなりそうと言える	89名
3. どちらとも言えない	101名
2. あまりそうとは言えない	21名
1. いいえ	7名
未 未記入	31名

合計 355名

評価ポイント平均値 3.82

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	121名
4. かなりそうと言える	127名
3. どちらとも言えない	88名
2. あまりそうとは言えない	13名
1. いいえ	5名
未 未記入	1名

合計 355名

評価ポイント平均値 3.98

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	142名
4. かなりそうと言える	130名
3. どちらとも言えない	68名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	5名
未 未記入	1名

合計 355名

評価ポイント平均値 4.12

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	97名
4. かなりそうと言える	107名
3. どちらとも言えない	128名
2. あまりそうとは言えない	17名
1. いいえ	6名
未 未記入	0名

合計 355名

評価ポイント平均値 3.77

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	105名
4. かなりそうと言える	107名
3. どちらとも言えない	121名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	6名
未 未記入	0名

合計 355名

評価ポイント平均値 3.81

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	105名
4. かなりそうと言える	141名
3. どちらとも言えない	88名
2. あまりそうとは言えない	13名
1. いいえ	8名
未 未記入	0名

合計 355名

評価ポイント平均値 3.91

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	155名
4. かなりそうと言える	134名
3. どちらとも言えない	46名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	5名
未 未記入	9名

合計 355名

評価ポイント平均値 4.24

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	159名
4. かなりそうと言える	127名
3. どちらとも言えない	57名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	5名
未 未記入	2名

合計 355名

評価ポイント平均値 4.22

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	175名
4. かなりそうと言える	87名
3. どちらとも言えない	58名
2. あまりそうとは言えない	21名
1. いいえ	12名
未 未記入	2名

合計 355名

評価ポイント平均値 4.11

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	175名
4. かなりそうと言える	89名
3. どちらとも言えない	67名
2. あまりそうとは言えない	15名
1. いいえ	7名
未 未記入	2名

合計 355名

評価ポイント平均値 4.16

教育改善のための学生アンケート

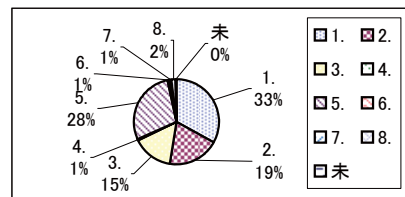
分野	科目
広域選択科目	自然と技術 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	840	591	70.4%

I.

(1) 学部

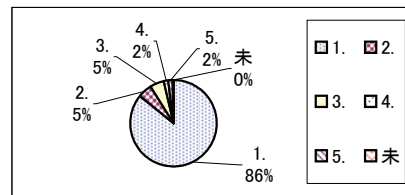
1. 人間発達文化学類	196名	2. 行政政策学類	115名
3. 経済経営学類	90名	4. 現代教養コース	3名
5. 共生システム理工学類	168名	6. 教育学部	4名
7. 行政社会学部	3名	8. 経済学部	11名
未 未記入	1名	合計	591名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	507名
2. 2年	31名
3. 3年	32名
4. 4年	9名
5. 5年以上	10名
未 未記入	2名

合計 591名

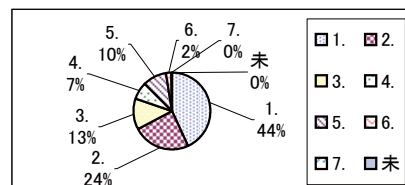


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉強面に関心があったから	254名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	144名
3. 単位がとり易そうだったから	77名
4. 受講し易い時間帯にあったから	42名
5. 友人や先輩に勧められたから	59名
6. クラス指定または必修だったから	13名
7. その他	2名
未 未記入	0名

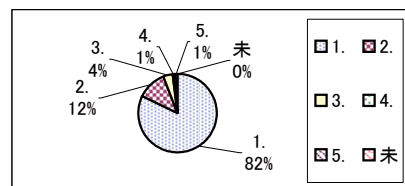
合計 591名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	486名
2. 89%~70%	71名
3. 69%~50%	22名
4. 49%~30%	6名
5. 29%以下	6名
未 未記入	0名

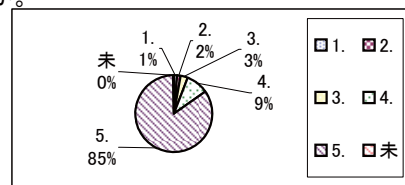
合計 591名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

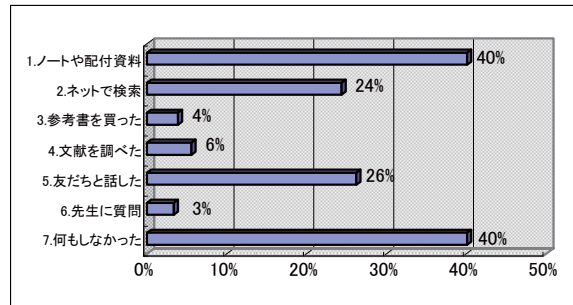
1. 3時間以上	8名
2. 2~3時間未満	9名
3. 1~2時間未満	18名
4. 30分~1時間未満	55名
5. 30分未満	500名
未 未記入	1名

合計 591名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

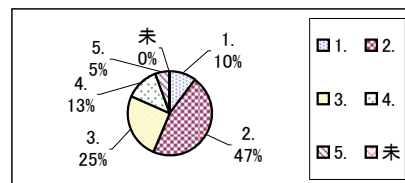
1. ノートや配付資料を復習した	237名
2. インターネットで検索した	144名
3. 参考書を買って調べた	23名
4. 図書館で文献を調べた	33名
5. 友だちと話して理解するようにした	155名
6. 先生に質問した	20名
7. 何もしなかった	237名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	60名
2. ある程度意欲的	274名
3. どちらとも言えない	148名
4. あまり意欲的でない	76名
5. まったく意欲的でない	32名
未 未記入	1名

合計 591名



分野	科目
広域選択科目	自然と技術 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	840	591	70.4%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	215名
4. かなりそうと言える	208名
3. どちらとも言えない	123名
2. あまりそうとは言えない	25名
1. いいえ	20名
未 未記入	0名

合計 591名

評価ポイント平均値 3.97

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	87名
4. かなりそうと言える	139名
3. どちらとも言えない	227名
2. あまりそうとは言えない	81名
1. いいえ	57名
未 未記入	0名

合計 591名

評価ポイント平均値 3.20

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	276名
4. かなりそうと言える	152名
3. どちらとも言えない	116名
2. あまりそうとは言えない	23名
1. いいえ	24名
未 未記入	0名

合計 591名

評価ポイント平均値 4.07

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	208名
4. かなりそうと言える	153名
3. どちらとも言えない	122名
2. あまりそうとは言えない	67名
1. いいえ	41名
未 未記入	0名

合計 591名

評価ポイント平均値 3.71

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	155名
4. かなりそうと言える	117名
3. どちらとも言えない	168名
2. あまりそうとは言えない	91名
1. いいえ	52名
未 未記入	8名

合計 591名

評価ポイント平均値 3.40

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	163名
4. かなりそうと言える	166名
3. どちらとも言えない	181名
2. あまりそうとは言えない	40名
1. いいえ	35名
未 未記入	6名

合計 591名

評価ポイント平均値 3.65

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	136名
4. かなりそうと言える	152名
3. どちらとも言えない	212名
2. あまりそうとは言えない	46名
1. いいえ	32名
未 未記入	13名

合計 591名

評価ポイント平均値 3.54

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	69名
4. かなりそうと言える	82名
3. どちらとも言えない	260名
2. あまりそうとは言えない	105名
1. いいえ	75名
未 未記入	0名

合計 591名

評価ポイント平均値 2.94

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	97名
4. かなりそうと言える	109名
3. どちらとも言えない	238名
2. あまりそうとは言えない	75名
1. いいえ	70名
未 未記入	2名

合計 591名

評価ポイント平均値 3.15

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	99名
4. かなりそうと言える	170名
3. どちらとも言えない	179名
2. あまりそうとは言えない	86名
1. いいえ	57名
未 未記入	0名

合計 591名

評価ポイント平均値 3.28

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	154名
4. かなりそうと言える	198名
3. どちらとも言えない	142名
2. あまりそうとは言えない	60名
1. いいえ	31名
未 未記入	6名

合計 591名

評価ポイント平均値 3.66

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	179名
4. かなりそうと言える	165名
3. どちらとも言えない	181名
2. あまりそうとは言えない	40名
1. いいえ	19名
未 未記入	7名

合計 591名

評価ポイント平均値 3.76

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	276名
4. かなりそうと言える	170名
3. どちらとも言えない	111名
2. あまりそうとは言えない	18名
1. いいえ	9名
未 未記入	7名

合計 591名

評価ポイント平均値 4.17

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	252名
4. かなりそうと言える	168名
3. どちらとも言えない	134名
2. あまりそうとは言えない	20名
1. いいえ	10名
未 未記入	7名

合計 591名

評価ポイント平均値 4.08

教育改善のための学生アンケート

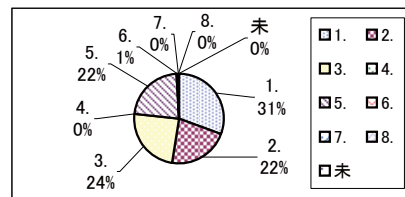
分野	科目
情報教育科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	740	572	77.3%

I.

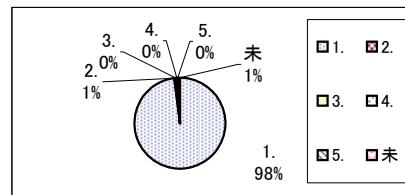
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	175名	2. 行政政策学類	126名
3. 経済経営学類	138名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	128名	6. 教育学部	3名
7. 行政社会学部	1名	8. 経済学部	0名
未 未記入	1名	合計	572名



学年(入学してからの年数)

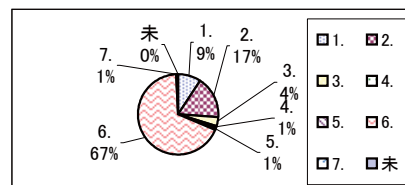
1. 1年	561名
2. 2年	3名
3. 3年	2名
4. 4年	2名
5. 5年以上	1名
未 未記入	3名
合計	572名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

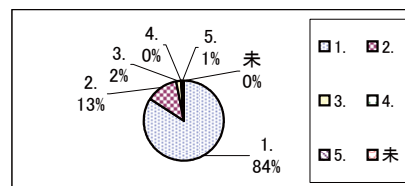
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	52名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	97名
3. 単位がとり易そうだったから	21名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	5名
5. 友人や先輩に勧められたから	5名
6. クラス指定または必修だったから	388名
7. その他	4名
未 未記入	0名
合計	572名



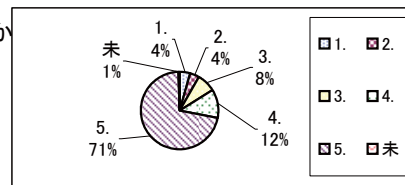
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	481名
2. 89%~70%	74名
3. 69%~50%	11名
4. 49%~30%	2名
5. 29%以下	4名
未 未記入	0名
合計	572名



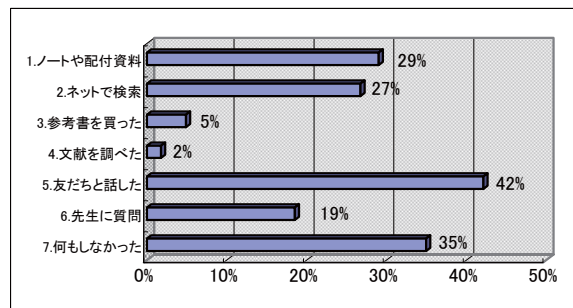
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか

1. 3時間以上	25名
2. 2~3時間未満	22名
3. 1~2時間未満	45名
4. 30分~1時間未満	69名
5. 30分未満	408名
未 未記入	3名
合計	572名



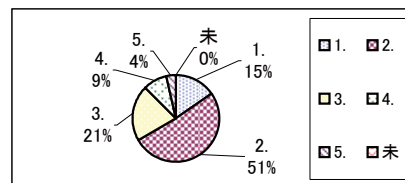
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	166名
2. インターネットで検索した	153名
3. 参考書を買って調べた	28名
4. 図書館で文献を調べた	10名
5. 友だちと話して理解するようにした	241名
6. 先生に質問した	106名
7. 何もしなかった	200名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	88名
2. ある程度意欲的	293名
3. どちらとも言えない	120名
4. あまり意欲的でない	50名
5. まったく意欲的でない	21名
未 未記入	0名
合計	572名



分野	科目
情報教育科目	合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	740	572	77.3%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	179名
4. かなりそうと言える	181名
3. どちらとも言えない	164名
2. あまりそうとは言えない	35名
1. いいえ	13名
未 未記入	0名

合計 572名

評価ポイント平均値 3.84

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	97名
4. かなりそうと言える	144名
3. どちらとも言えない	199名
2. あまりそうとは言えない	86名
1. いいえ	46名
未 未記入	0名

合計 572名

評価ポイント平均値 3.28

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	251名
4. かなりそうと言える	183名
3. どちらとも言えない	107名
2. あまりそうとは言えない	19名
1. いいえ	12名
未 未記入	0名

合計 572名

評価ポイント平均値 4.12

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	158名
4. かなりそうと言える	142名
3. どちらとも言えない	147名
2. あまりそうとは言えない	76名
1. いいえ	49名
未 未記入	0名

合計 572名

評価ポイント平均値 3.50

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	166名
4. かなりそうと言える	157名
3. どちらとも言えない	135名
2. あまりそうとは言えない	65名
1. いいえ	25名
未 未記入	24名

合計 572名

評価ポイント平均値 3.68

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	158名
4. かなりそうと言える	172名
3. どちらとも言えない	202名
2. あまりそうとは言えない	26名
1. いいえ	12名
未 未記入	2名

合計 572名

評価ポイント平均値 3.77

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	158名
4. かなりそうと言える	162名
3. どちらとも言えない	195名
2. あまりそうとは言えない	36名
1. いいえ	19名
未 未記入	2名

合計 572名

評価ポイント平均値 3.71

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	112名
4. かなりそうと言える	142名
3. どちらとも言えない	160名
2. あまりそうとは言えない	89名
1. いいえ	68名
未 未記入	1名

合計 572名

評価ポイント平均値 3.25

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	112名
4. かなりそうと言える	143名
3. どちらとも言えない	216名
2. あまりそうとは言えない	56名
1. いいえ	43名
未 未記入	2名

合計 572名

評価ポイント平均値 3.39

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	113名
4. かなりそうと言える	176名
3. どちらとも言えない	197名
2. あまりそうとは言えない	48名
1. いいえ	37名
未 未記入	1名

合計 572名

評価ポイント平均値 3.49

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	131名
4. かなりそうと言える	204名
3. どちらとも言えない	143名
2. あまりそうとは言えない	55名
1. いいえ	25名
未 未記入	14名

合計 572名

評価ポイント平均値 3.65

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	196名
4. かなりそうと言える	186名
3. どちらとも言えない	142名
2. あまりそうとは言えない	27名
1. いいえ	16名
未 未記入	5名

合計 572名

評価ポイント平均値 3.92

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	262名
4. かなりそうと言える	184名
3. どちらとも言えない	99名
2. あまりそうとは言えない	11名
1. いいえ	11名
未 未記入	5名

合計 572名

評価ポイント平均値 4.19

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	246名
4. かなりそうと言える	201名
3. どちらとも言えない	91名
2. あまりそうとは言えない	19名
1. いいえ	10名
未 未記入	5名

合計 572名

評価ポイント平均値 4.15

教育改善のための学生アンケート

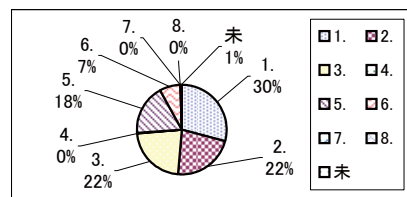
分野	科目
健康・運動科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1159	971	83.8%

I.

(1) 学部

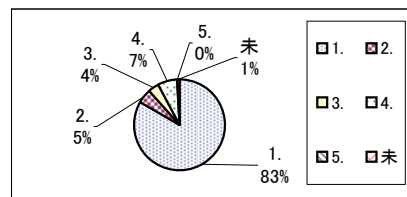
1. 人間発達文化学類	282名	2. 行政政策学類	216名
3. 経済経営学類	218名	4. 現代教養コース	2名
5. 共生システム理工学類	176名	6. 教育学部	71名
7. 行政社会学部	0名	8. 経済学部	0名
未 未記入	6名	合計	971名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	810名
2. 2年	47名
3. 3年	38名
4. 4年	67名
5. 5年以上	2名
未 未記入	7名

合計 971名

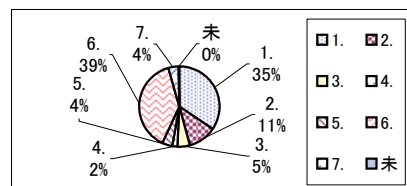


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面に関心があつたから	335名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	109名
3. 単位がとり易そうだったから	50名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	18名
5. 友人や先輩に勧められたから	41名
6. クラス指定または必修だったから	374名
7. その他	42名
未 未記入	2名

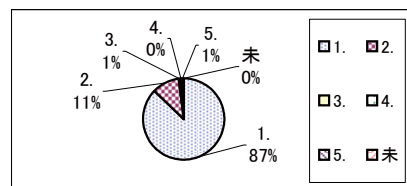
合計 971名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	847名
2. 89%~70%	105名
3. 69%~50%	8名
4. 49%~30%	4名
5. 29%以下	5名
未 未記入	2名

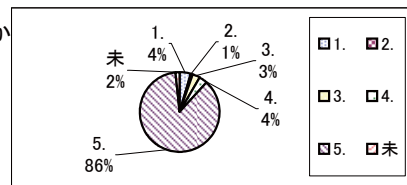
合計 971名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか

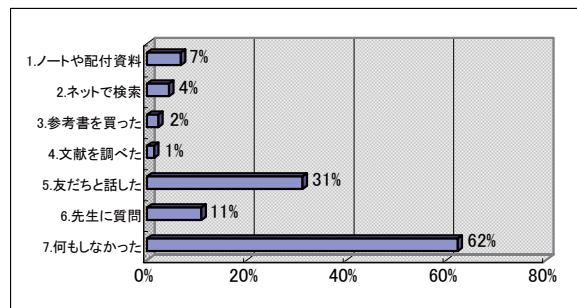
1. 3時間以上	42名
2. 2~3時間未満	9名
3. 1~2時間未満	29名
4. 30分~1時間未満	34名
5. 30分未満	840名
未 未記入	17名

合計 971名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

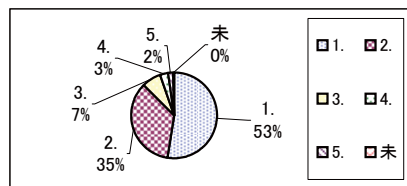
1. ノートや配付資料を復習した	66名
2. インターネットで検索した	43名
3. 参考書を買って調べた	22名
4. 図書館で文献を調べた	14名
5. 友だちと話して理解するようにした	303名
6. 先生に質問した	106名
7. 何もしなかった	605名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	509名
2. ある程度意欲的	340名
3. どちらとも言えない	71名
4. あまり意欲的でない	29名
5. まったく意欲的でない	18名
未 未記入	4名

合計 971名



分野	科目
健康・運動科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1159	971	83.8%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	664名
4. かなりそうと言える	215名
3. どちらとも言えない	74名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	7名
未 未記入	4名

合計 971名

評価ポイント平均値 4.57

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	509名
4. かなりそうと言える	281名
3. どちらとも言えない	130名
2. あまりそうとは言えない	29名
1. いいえ	20名
未 未記入	2名

合計 971名

評価ポイント平均値 4.27

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	537名
4. かなりそうと言える	250名
3. どちらとも言えない	148名
2. あまりそうとは言えない	24名
1. いいえ	8名
未 未記入	4名

合計 971名

評価ポイント平均値 4.33

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	514名
4. かなりそうと言える	227名
3. どちらとも言えない	158名
2. あまりそうとは言えない	47名
1. いいえ	23名
未 未記入	2名

合計 971名

評価ポイント平均値 4.20

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	228名
4. かなりそうと言える	110名
3. どちらとも言えない	123名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	21名
未 未記入	473名

合計 971名

評価ポイント平均値 4.02

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	486名
4. かなりそうと言える	252名
3. どちらとも言えない	196名
2. あまりそうとは言えない	14名
1. いいえ	9名
未 未記入	14名

合計 971名

評価ポイント平均値 4.25

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	363名
4. かなりそうと言える	150名
3. どちらとも言えない	270名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	28名
未 未記入	144名

合計 971名

評価ポイント平均値 3.97

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	462名
4. かなりそうと言える	238名
3. どちらとも言えない	197名
2. あまりそうとは言えない	48名
1. いいえ	20名
未 未記入	6名

合計 971名

評価ポイント平均値 4.11

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	393名
4. かなりそうと言える	197名
3. どちらとも言えない	265名
2. あまりそうとは言えない	48名
1. いいえ	30名
未 未記入	38名

合計 971名

評価ポイント平均値 3.94

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	525名
4. かなりそうと言える	260名
3. どちらとも言えない	144名
2. あまりそうとは言えない	18名
1. いいえ	14名
未 未記入	10名

合計 971名

評価ポイント平均値 4.32

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	561名
4. かなりそうと言える	280名
3. どちらとも言えない	82名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	8名
未 未記入	24名

合計 971名

評価ポイント平均値 4.45

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	616名
4. かなりそうと言える	220名
3. どちらとも言えない	98名
2. あまりそうとは言えない	14名
1. いいえ	6名
未 未記入	17名

合計 971名

評価ポイント平均値 4.49

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	629名
4. かなりそうと言える	195名
3. どちらとも言えない	100名
2. あまりそうとは言えない	22名
1. いいえ	7名
未 未記入	18名

合計 971名

評価ポイント平均値 4.49

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	601名
4. かなりそうと言える	220名
3. どちらとも言えない	117名
2. あまりそうとは言えない	14名
1. いいえ	4名
未 未記入	15名

合計 971名

評価ポイント平均値 4.46

教育改善のための学生アンケート

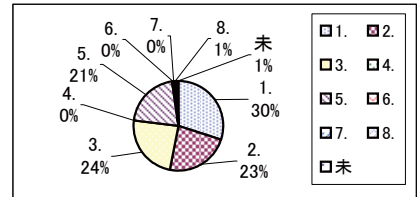
分野	科目
英語 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3907	3184	81.5%

I.

(1) 学部

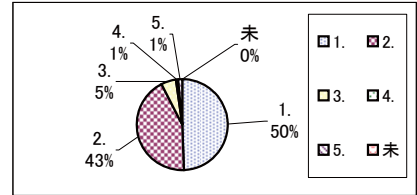
1. 人間発達文化学類	955名	2. 行政政策学類	737名
3. 経済経営学類	755名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	667名	6. 教育学部	13名
7. 行政社会学部	14名	8. 経済学部	25名
未 未記入	18名	合計	3184名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	1575名
2. 2年	1371名
3. 3年	164名
4. 4年	32名
5. 5年以上	42名
未 未記入	0名

合計 3184名

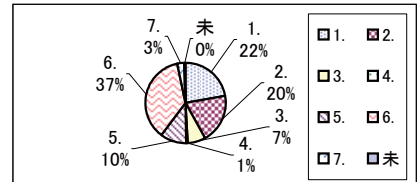


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉強面に関心があったから	711名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	621名
3. 単位がとり易そうだったから	230名
4. 受講し易い時間帯にあったから	19名
5. 友人や先輩に勧められたから	334名
6. クラス指定または必修だったから	1163名
7. その他	92名
未 未記入	14名

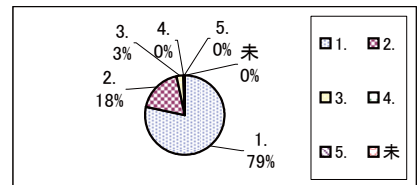
合計 3184名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	2497名
2. 89%~70%	584名
3. 69%~50%	83名
4. 49%~30%	7名
5. 29%以下	9名
未 未記入	4名

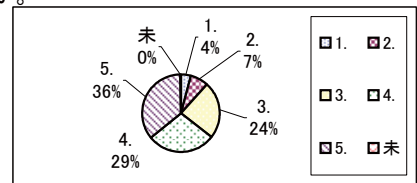
合計 3184名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

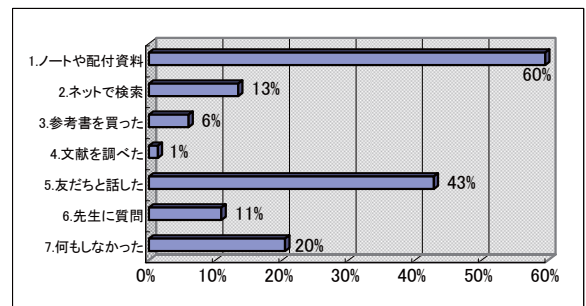
1. 3時間以上	133名
2. 2~3時間未満	237名
3. 1~2時間未満	758名
4. 30分~1時間未満	911名
5. 30分未満	1139名
未 未記入	6名

合計 3184名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

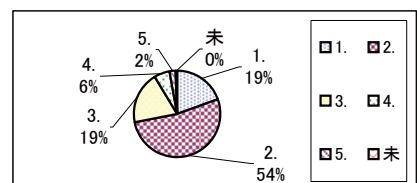
1. ノートや配付資料を復習した	1897名
2. インターネットで検索した	427名
3. 参考書を買って調べた	190名
4. 図書館で文献を調べた	43名
5. 友だちと話して理解するようにした	1363名
6. 先生に質問した	347名
7. 何もしなかった	652名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	615名
2. ある程度意欲的	1675名
3. どちらとも言えない	616名
4. あまり意欲的でない	193名
5. まったく意欲的でない	71名
未 未記入	14名

合計 3184名



分野	科目
英語 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3907	3184	81.5%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	1517名
4. かなりそうと言える	1068名
3. どちらとも言えない	475名
2. あまりそうとは言えない	86名
1. いいえ	36名
未 未記入	2名

合計 3184名

評価ポイント平均値 4.24

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	1338名
4. かなりそうと言える	911名
3. どちらとも言えない	626名
2. あまりそうとは言えない	217名
1. いいえ	90名
未 未記入	2名

合計 3184名

評価ポイント平均値 4.00

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	1495名
4. かなりそうと言える	1113名
3. どちらとも言えない	481名
2. あまりそうとは言えない	66名
1. いいえ	25名
未 未記入	4名

合計 3184名

評価ポイント平均値 4.25

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	1442名
4. かなりそうと言える	934名
3. どちらとも言えない	530名
2. あまりそうとは言えない	184名
1. いいえ	88名
未 未記入	6名

合計 3184名

評価ポイント平均値 4.09

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	984名
4. かなりそうと言える	860名
3. どちらとも言えない	675名
2. あまりそうとは言えない	158名
1. いいえ	51名
未 未記入	456名

合計 3184名

評価ポイント平均値 3.94

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	1275名
4. かなりそうと言える	1059名
3. どちらとも言えない	734名
2. あまりそうとは言えない	75名
1. いいえ	24名
未 未記入	17名

合計 3184名

評価ポイント平均値 4.10

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	1393名
4. かなりそうと言える	1089名
3. どちらとも言えない	562名
2. あまりそうとは言えない	95名
1. いいえ	35名
未 未記入	10名

合計 3184名

評価ポイント平均値 4.17

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	1135名
4. かなりそうと言える	998名
3. どちらとも言えない	762名
2. あまりそうとは言えない	205名
1. いいえ	79名
未 未記入	5名

合計 3184名

評価ポイント平均値 3.91

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	1033名
4. かなりそうと言える	958名
3. どちらとも言えない	942名
2. あまりそうとは言えない	165名
1. いいえ	69名
未 未記入	17名

合計 3184名

評価ポイント平均値 3.86

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	1123名
4. かなりそうと言える	1237名
3. どちらとも言えない	619名
2. あまりそうとは言えない	145名
1. いいえ	55名
未 未記入	5名

合計 3184名

評価ポイント平均値 4.02

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	1310名
4. かなりそうと言える	1193名
3. どちらとも言えない	463名
2. あまりそうとは言えない	128名
1. いいえ	43名
未 未記入	47名

合計 3184名

評価ポイント平均値 4.15

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	1702名
4. かなりそうと言える	973名
3. どちらとも言えない	377名
2. あまりそうとは言えない	79名
1. いいえ	23名
未 未記入	30名

合計 3184名

評価ポイント平均値 4.35

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	1919名
4. かなりそうと言える	873名
3. どちらとも言えない	284名
2. あまりそうとは言えない	62名
1. いいえ	15名
未 未記入	31名

合計 3184名

評価ポイント平均値 4.46

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	1824名
4. かなりそうと言える	901名
3. どちらとも言えない	338名
2. あまりそうとは言えない	77名
1. いいえ	11名
未 未記入	33名

合計 3184名

評価ポイント平均値 4.41

教育改善のための学生アンケート

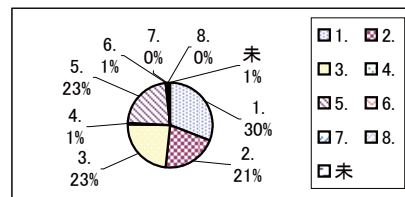
分野	科目
非英外国語	ドイツ語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	610	535	87.7%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	165名	2. 行政政策学類	112名
3. 経済経営学類	125名	4. 現代教養コース	3名
5. 共生システム理工学類	121名	6. 教育学部	3名
7. 行政社会学部	1名	8. 経済学部	1名
未 未記入	4名	合計	535名

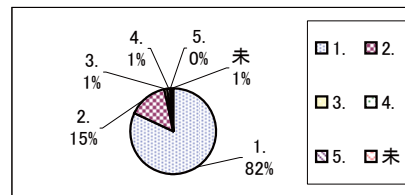


学年(入学してからの年数)

1. 1年	438名
2. 2年	79名
3. 3年	6名
4. 4年	6名
5. 5年以上	2名
未 未記入	4名

合計

535名



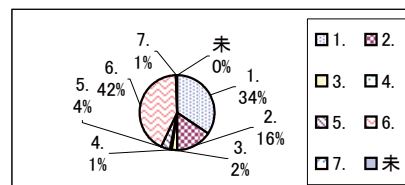
II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉強面に関心があつたから	185名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	83名
3. 単位がとり易そうだったから	12名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	4名
5. 友人や先輩に勧められたから	20名
6. クラス指定または必修だったから	228名
7. その他	3名
未 未記入	0名

合計

535名

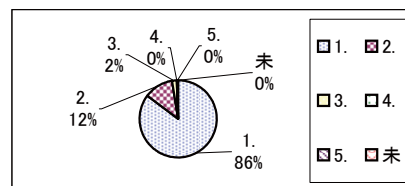


(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	456名
2. 89%~70%	66名
3. 69%~50%	10名
4. 49%~30%	1名
5. 29%以下	1名
未 未記入	1名

合計

535名

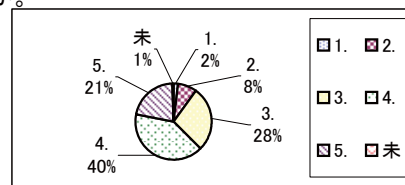


(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	10名
2. 2~3時間未満	43名
3. 1~2時間未満	148名
4. 30分~1時間未満	217名
5. 30分未満	114名
未 未記入	3名

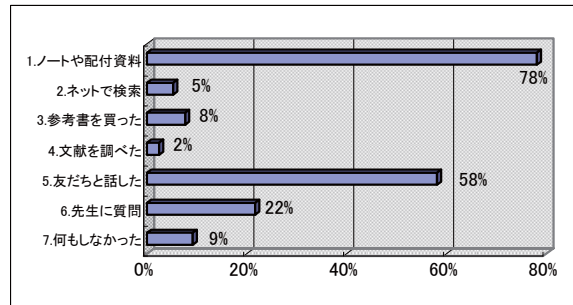
合計

535名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	418名
2. インターネットで検索した	28名
3. 参考書を買って調べた	41名
4. 図書館で文献を調べた	13名
5. 友だちと話して理解するようにした	311名
6. 先生に質問した	116名
7. 何もしなかった	49名

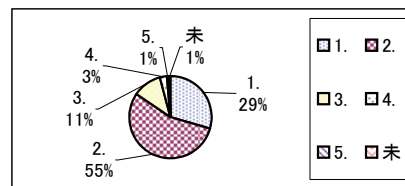


(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	157名
2. ある程度意欲的	295名
3. どちらとも言えない	60名
4. あまり意欲的でない	16名
5. まったく意欲的でない	4名
未 未記入	3名

合計

535名



分野	科目
非英外国語	ドイツ語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	610	535	87.7%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	285名
4. かなりそうと言える	164名
3. どちらとも言えない	73名
2. あまりそうとは言えない	8名
1. いいえ	5名
未 未記入	0名

合計 535名

評価ポイント平均値 4.34

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	231名
4. かなりそうと言える	152名
3. どちらとも言えない	118名
2. あまりそうとは言えない	30名
1. いいえ	4名
未 未記入	0名

合計 535名

評価ポイント平均値 4.08

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	271名
4. かなりそうと言える	172名
3. どちらとも言えない	80名
2. あまりそうとは言えない	11名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 535名

評価ポイント平均値 4.31

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	230名
4. かなりそうと言える	165名
3. どちらとも言えない	113名
2. あまりそうとは言えない	23名
1. いいえ	4名
未 未記入	0名

合計 535名

評価ポイント平均値 4.11

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	169名
4. かなりそうと言える	179名
3. どちらとも言えない	138名
2. あまりそうとは言えない	32名
1. いいえ	5名
未 未記入	12名

合計 535名

評価ポイント平均値 3.91

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	185名
4. かなりそうと言える	173名
3. どちらとも言えない	122名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	2名
未 未記入	44名

合計 535名

評価ポイント平均値 4.08

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	264名
4. かなりそうと言える	191名
3. どちらとも言えない	63名
2. あまりそうとは言えない	13名
1. いいえ	4名
未 未記入	0名

合計 535名

評価ポイント平均値 4.30

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	224名
4. かなりそうと言える	163名
3. どちらとも言えない	110名
2. あまりそうとは言えない	30名
1. いいえ	8名
未 未記入	0名

合計 535名

評価ポイント平均値 4.06

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	188名
4. かなりそうと言える	171名
3. どちらとも言えない	151名
2. あまりそうとは言えない	22名
1. いいえ	3名
未 未記入	0名

合計 535名

評価ポイント平均値 3.97

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	149名
4. かなりそうと言える	227名
3. どちらとも言えない	124名
2. あまりそうとは言えない	23名
1. いいえ	10名
未 未記入	2名

合計 535名

評価ポイント平均値 3.90

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	231名
4. かなりそうと言える	216名
3. どちらとも言えない	70名
2. あまりそうとは言えない	12名
1. いいえ	1名
未 未記入	5名

合計 535名

評価ポイント平均値 4.25

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	305名
4. かなりそうと言える	170名
3. どちらとも言えない	51名
2. あまりそうとは言えない	4名
1. いいえ	3名
未 未記入	2名

合計 535名

評価ポイント平均値 4.44

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	334名
4. かなりそうと言える	141名
3. どちらとも言えない	48名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	3名
未 未記入	2名

合計 535名

評価ポイント平均値 4.49

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	319名
4. かなりそうと言える	152名
3. どちらとも言えない	45名
2. あまりそうとは言えない	15名
1. いいえ	2名
未 未記入	2名

合計 535名

評価ポイント平均値 4.45

教育改善のための学生アンケート

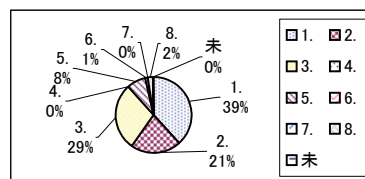
分野	科目
非英外国語	フランス語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	368	248	67.4%

I.

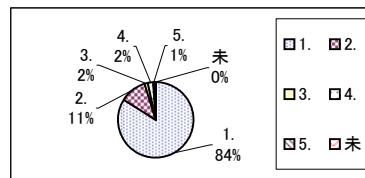
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	95名	2. 行政政策学類	53名
3. 経済経営学類	71名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	20名	6. 教育学部	3名
7. 行政社会学部	0名	8. 経済学部	5名
未 未記入	1名	合計	248名



学年(入学してからの年数)

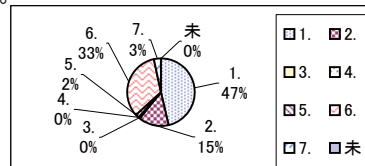
1. 1年	208名
2. 2年	28名
3. 3年	4名
4. 4年	5名
5. 5年以上	2名
未 未記入	1名
合計	248名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

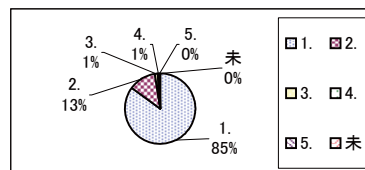
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	115名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	36名
3. 単位がとり易そうだったから	1名
4. 受講し易い時間帯にあったから	1名
5. 友人や先輩に勧められたから	4名
6. クラス指定または必修だったから	83名
7. その他	8名
未 未記入	0名
合計	248名



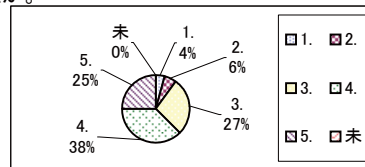
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	211名
2. 89%~70%	31名
3. 69%~50%	3名
4. 49%~30%	2名
5. 29%以下	1名
未 未記入	0名
合計	248名



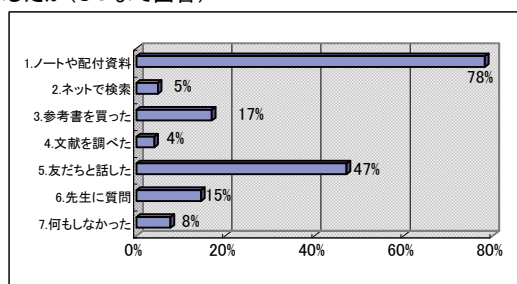
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	10名
2. 2~3時間未満	15名
3. 1~2時間未満	68名
4. 30分~1時間未満	93名
5. 30分未満	62名
未 未記入	0名
合計	248名



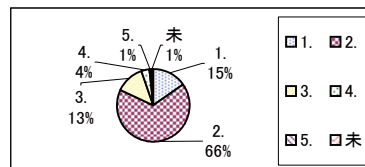
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	194名
2. インターネットで検索した	12名
3. 参考書を買って調べた	42名
4. 図書館で文献を調べた	10名
5. 友だちと話して理解するようにした	117名
6. 先生に質問した	36名
7. 何もしなかった	19名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	38名
2. ある程度意欲的	165名
3. どちらとも言えない	32名
4. あまり意欲的でない	9名
5. まったく意欲的でない	2名
未 未記入	2名
合計	248名



分野	科目
非英外国語	フランス語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	368	248	67.4%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	99名
4. かなりそうだとと言える	94名
3. どちらとも言えない	45名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	4名
未 未記入	0名

合計 248名

評価ポイント平均値 4.12

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	87名
4. かなりそうだとと言える	93名
3. どちらとも言えない	60名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 248名

評価ポイント平均値 4.04

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	109名
4. かなりそうだとと言える	95名
3. どちらとも言えない	40名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 248名

評価ポイント平均値 4.24

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	100名
4. かなりそうだとと言える	76名
3. どちらとも言えない	55名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	8名
未 未記入	0名

合計 248名

評価ポイント平均値 4.01

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	82名
4. かなりそうだとと言える	91名
3. どちらとも言えない	57名
2. あまりそうとは言えない	11名
1. いいえ	4名
未 未記入	3名

合計 248名

評価ポイント平均値 3.96

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	97名
4. かなりそうだとと言える	91名
3. どちらとも言えない	55名
2. あまりそうとは言えない	4名
1. いいえ	0名
未 未記入	1名

合計 248名

評価ポイント平均値 4.14

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	102名
4. かなりそうだとと言える	87名
3. どちらとも言えない	47名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	5名
未 未記入	0名

合計 248名

評価ポイント平均値 4.10

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	73名
4. かなりそうだとと言える	95名
3. どちらとも言えない	56名
2. あまりそうとは言えない	18名
1. いいえ	6名
未 未記入	0名

合計 248名

評価ポイント平均値 3.85

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	69名
4. かなりそうだとと言える	92名
3. どちらとも言えない	72名
2. あまりそうとは言えない	13名
1. いいえ	2名
未 未記入	0名

合計 248名

評価ポイント平均値 3.86

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	57名
4. かなりそうだとと言える	105名
3. どちらとも言えない	66名
2. あまりそうとは言えない	17名
1. いいえ	3名
未 未記入	0名

合計 248名

評価ポイント平均値 3.79

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	93名
4. かなりそうだとと言える	106名
3. どちらとも言えない	40名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	1名
未 未記入	1名

合計 248名

評価ポイント平均値 4.15

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	137名
4. かなりそうだとと言える	78名
3. どちらとも言えない	30名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 248名

評価ポイント平均値 4.40

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	149名
4. かなりそうだとと言える	76名
3. どちらとも言えない	19名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	2名
未 未記入	0名

合計 248名

評価ポイント平均値 4.48

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	157名
4. かなりそうだとと言える	71名
3. どちらとも言えない	19名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 248名

評価ポイント平均値 4.55

教育改善のための学生アンケート

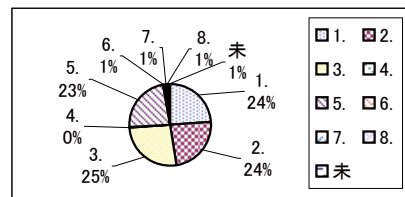
分野	科目
非英外国語	中国語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	729	676	92.7%

I.

(1) 学部

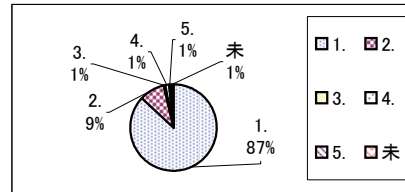
1. 人間発達文化学類	162名	2. 行政政策学類	159名
3. 経済経営学類	179名	4. 現代教養コース	1名
5. 共生システム理工学類	156名	6. 教育学部	6名
7. 行政社会学部	4名	8. 経済学部	4名
未 未記入	5名	合計	676名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	587名
2. 2年	64名
3. 3年	5名
4. 4年	8名
5. 5年以上	6名
未 未記入	6名

合計 676名

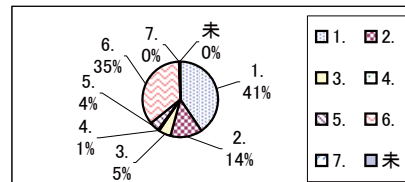


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	275名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	92名
3. 単位がとり易そうだったから	34名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	5名
5. 友人や先輩に勧められたから	28名
6. クラス指定または必修だったから	239名
7. その他	2名
未 未記入	1名

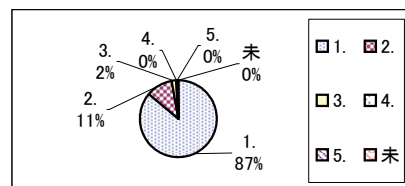
合計 676名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	582名
2. 89%~70%	75名
3. 69%~50%	13名
4. 49%~30%	2名
5. 29%以下	3名
未 未記入	1名

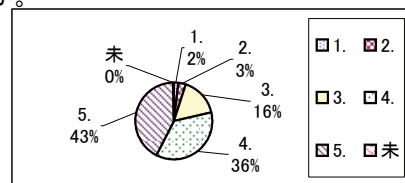
合計 676名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

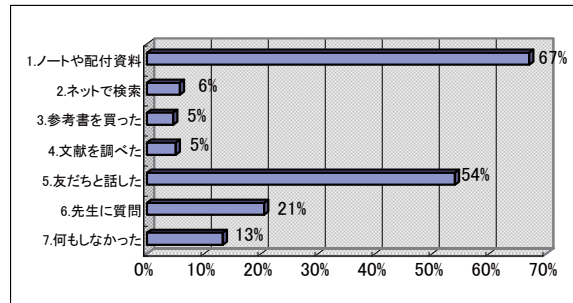
1. 3時間以上	13名
2. 2~3時間未満	20名
3. 1~2時間未満	111名
4. 30分~1時間未満	244名
5. 30分未満	286名
未 未記入	2名

合計 676名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

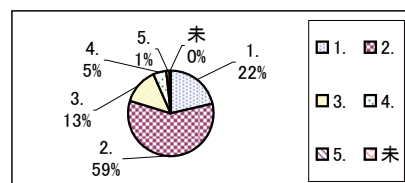
1. ノートや配付資料を復習した	453名
2. インターネットで検索した	39名
3. 参考書を買って調べた	31名
4. 図書館で文献を調べた	34名
5. 友だちと話して理解するようにした	365名
6. 先生に質問した	139名
7. 何もしなかった	90名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	144名
2. ある程度意欲的	395名
3. どちらとも言えない	91名
4. あまり意欲的でない	35名
5. まったく意欲的でない	8名
未 未記入	3名

合計 676名



分野	科目
非英外国語	中国語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	729	676	92.7%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	315名
4. かなりそうと言える	241名
3. どちらとも言えない	101名
2. あまりそうとは言えない	12名
1. いいえ	6名
未 未記入	1名

合計 676名

評価ポイント平均値 4.25

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	237名
4. かなりそうと言える	223名
3. どちらとも言えない	166名
2. あまりそうとは言えない	45名
1. いいえ	4名
未 未記入	1名

合計 676名

評価ポイント平均値 3.95

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	286名
4. かなりそうと言える	251名
3. どちらとも言えない	122名
2. あまりそうとは言えない	13名
1. いいえ	3名
未 未記入	1名

合計 676名

評価ポイント平均値 4.19

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	300名
4. かなりそうと言える	214名
3. どちらとも言えない	121名
2. あまりそうとは言えない	31名
1. いいえ	9名
未 未記入	1名

合計 676名

評価ポイント平均値 4.13

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	201名
4. かなりそうと言える	227名
3. どちらとも言えない	162名
2. あまりそうとは言えない	44名
1. いいえ	16名
未 未記入	26名

合計 676名

評価ポイント平均値 3.85

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	231名
4. かなりそうと言える	251名
3. どちらとも言えない	181名
2. あまりそうとは言えない	8名
1. いいえ	2名
未 未記入	3名

合計 676名

評価ポイント平均値 4.04

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	264名
4. かなりそうと言える	256名
3. どちらとも言えない	129名
2. あまりそうとは言えない	18名
1. いいえ	7名
未 未記入	2名

合計 676名

評価ポイント平均値 4.12

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	253名
4. かなりそうと言える	222名
3. どちらとも言えない	139名
2. あまりそうとは言えない	48名
1. いいえ	13名
未 未記入	1名

合計 676名

評価ポイント平均値 3.97

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	211名
4. かなりそうと言える	197名
3. どちらとも言えない	223名
2. あまりそうとは言えない	34名
1. いいえ	10名
未 未記入	1名

合計 676名

評価ポイント平均値 3.84

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	217名
4. かなりそうと言える	270名
3. どちらとも言えない	156名
2. あまりそうとは言えない	29名
1. いいえ	3名
未 未記入	1名

合計 676名

評価ポイント平均値 3.99

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	270名
4. かなりそうと言える	273名
3. どちらとも言えない	107名
2. あまりそうとは言えない	17名
1. いいえ	4名
未 未記入	5名

合計 676名

評価ポイント平均値 4.17

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	390名
4. かなりそうと言える	198名
3. どちらとも言えない	75名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	1名
未 未記入	5名

合計 676名

評価ポイント平均値 4.44

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	403名
4. かなりそうと言える	193名
3. どちらとも言えない	66名
2. あまりそうとは言えない	8名
1. いいえ	1名
未 未記入	5名

合計 676名

評価ポイント平均値 4.47

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	408名
4. かなりそうと言える	185名
3. どちらとも言えない	69名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	1名
未 未記入	6名

合計 676名

評価ポイント平均値 4.48

教育改善のための学生アンケート

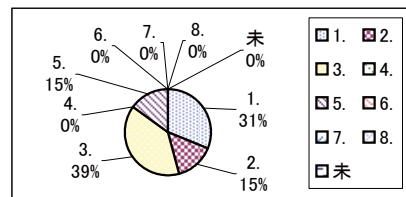
分野	科目
非英外国語	ロシア語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	76	74	97.4%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	23名	2. 行政政策学類	11名
3. 経済経営学類	29名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	11名	6. 教育学部	0名
7. 行政社会学部	0名	8. 経済学部	0名
未 未記入	0名	合計	74名

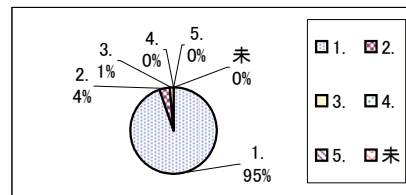


学年(入学してからの年数)

1. 1年	70名
2. 2年	3名
3. 3年	1名
4. 4年	0名
5. 5年以上	0名
未 未記入	0名

合計

74名



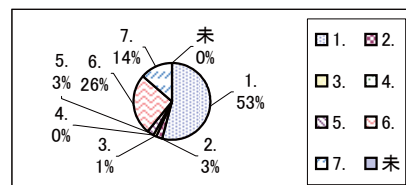
II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉強面に関心があつたから	40名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	2名
3. 単位がとり易そうだったから	1名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	0名
5. 友人や先輩に勧められたから	2名
6. クラス指定または必修だったから	19名
7. その他	10名
未 未記入	0名

合計

74名

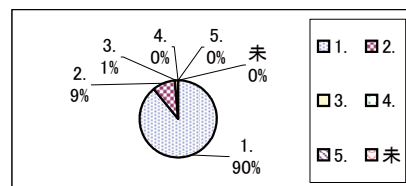


(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	66名
2. 89%~70%	7名
3. 69%~50%	1名
4. 49%~30%	0名
5. 29%以下	0名
未 未記入	0名

合計

74名

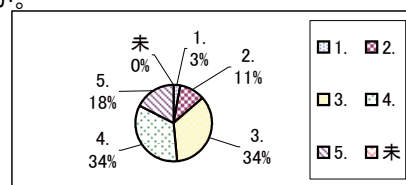


(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	2名
2. 2~3時間未満	8名
3. 1~2時間未満	26名
4. 30分~1時間未満	25名
5. 30分未満	13名
未 未記入	0名

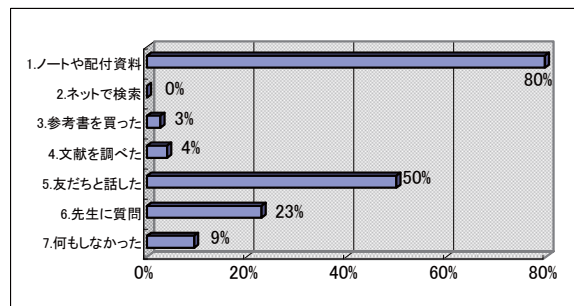
合計

74名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	59名
2. インターネットで検索した	0名
3. 参考書を買って調べた	2名
4. 図書館で文献を調べた	3名
5. 友だちと話して理解するようにした	37名
6. 先生に質問した	17名
7. 何もしなかった	7名

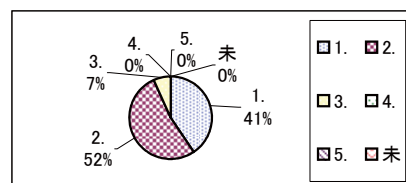


(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	30名
2. ある程度意欲的	39名
3. どちらとも言えない	5名
4. あまり意欲的でない	0名
5. まったく意欲的でない	0名
未 未記入	0名

合計

74名



分野	科目
非英外国語	ロシア語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	76	74	97.4%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	62名
4. かなりそうと言える	11名
3. どちらとも言えない	1名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.82

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	48名
4. かなりそうと言える	20名
3. どちらとも言えない	5名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.54

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	57名
4. かなりそうと言える	16名
3. どちらとも言えない	1名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.76

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	59名
4. かなりそうと言える	13名
3. どちらとも言えない	1名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.76

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	32名
4. かなりそうと言える	29名
3. どちらとも言えない	12名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.24

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	32名
4. かなりそうと言える	28名
3. どちらとも言えない	12名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	1名
未 未記入	1名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.23

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	47名
4. かなりそうと言える	24名
3. どちらとも言えない	3名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.59

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	48名
4. かなりそうと言える	18名
3. どちらとも言えない	8名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.54

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	49名
4. かなりそうと言える	15名
3. どちらとも言えない	10名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.53

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	36名
4. かなりそうと言える	27名
3. どちらとも言えない	11名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.34

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	46名
4. かなりそうと言える	24名
3. どちらとも言えない	3名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	1名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.59

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	63名
4. かなりそうと言える	10名
3. どちらとも言えない	0名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	1名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.86

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	60名
4. かなりそうと言える	12名
3. どちらとも言えない	1名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	1名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.81

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	57名
4. かなりそうと言える	14名
3. どちらとも言えない	2名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	1名

合計 74名
評価ポイント平均値 4.75

教育改善のための学生アンケート

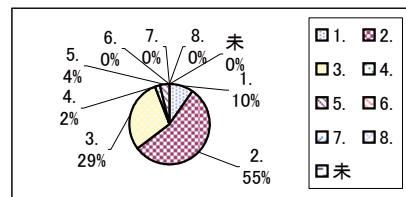
分野	科目
非英外国語	スペイン語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	68	51	75.0%

I.

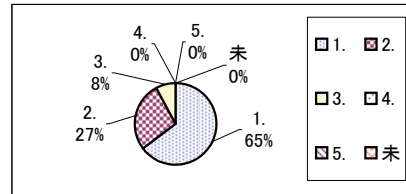
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	5名	2. 行政政策学類	28名
3. 経済経営学類	15名	4. 現代教養コース	1名
5. 共生システム理工学類	2名	6. 教育学部	0名
7. 行政社会学部	0名	8. 経済学部	0名
未 未記入	0名	合計	51名



学年(入学してからの年数)

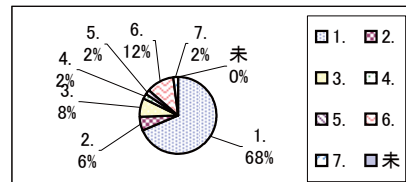
1. 1年	33名
2. 2年	14名
3. 3年	4名
4. 4年	0名
5. 5年以上	0名
未 未記入	0名
合計	51名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

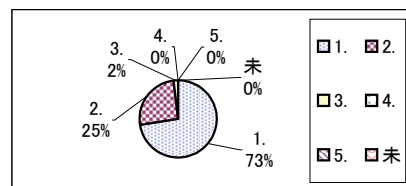
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉強面に関心があつたから	35名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	3名
3. 単位がとり易そうだったから	4名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	1名
5. 友人や先輩に勧められたから	1名
6. クラス指定または必修だったから	6名
7. その他	1名
未 未記入	0名
合計	51名



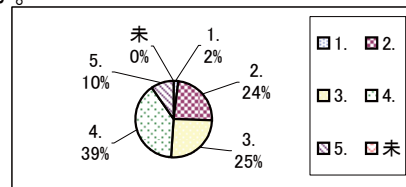
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	37名
2. 89%~70%	13名
3. 69%~50%	1名
4. 49%~30%	0名
5. 29%以下	0名
未 未記入	0名
合計	51名



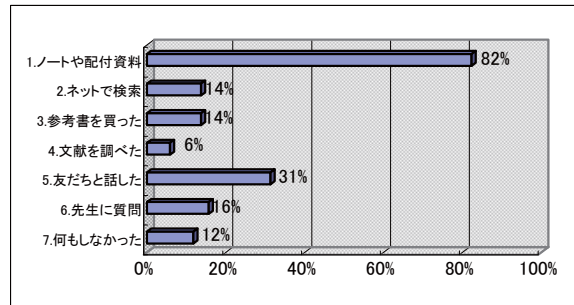
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	1名
2. 2~3時間未満	12名
3. 1~2時間未満	13名
4. 30分~1時間未満	20名
5. 30分未満	5名
未 未記入	0名
合計	51名



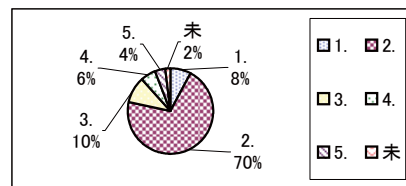
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	42名
2. インターネットで検索した	7名
3. 参考書を買って調べた	7名
4. 図書館で文献を調べた	3名
5. 友だちと話して理解するようにした	16名
6. 先生に質問した	8名
7. 何もしなかった	6名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	4名
2. ある程度意欲的	36名
3. どちらとも言えない	5名
4. あまり意欲的でない	3名
5. まったく意欲的でない	2名
未 未記入	1名
合計	51名



分野	科目
非英外国語	スペイン語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	68	51	75.0%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	15名
4. かなりそうと言える	17名
3. どちらとも言えない	17名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 51名
評価ポイント平均値 3.88

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	12名
4. かなりそうと言える	13名
3. どちらとも言えない	16名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	3名
未 未記入	0名

合計 51名
評価ポイント平均値 3.47

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	24名
4. かなりそうと言える	16名
3. どちらとも言えない	8名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 51名
評価ポイント平均値 4.20

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	19名
4. かなりそうと言える	14名
3. どちらとも言えない	14名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 51名
評価ポイント平均値 3.92

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	13名
4. かなりそうと言える	14名
3. どちらとも言えない	15名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	2名
未 未記入	2名

合計 51名
評価ポイント平均値 3.63

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	17名
4. かなりそうと言える	22名
3. どちらとも言えない	11名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 51名
評価ポイント平均値 4.06

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	16名
4. かなりそうと言える	16名
3. どちらとも言えない	11名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	2名
未 未記入	0名

合計 51名
評価ポイント平均値 3.75

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	9名
4. かなりそうと言える	16名
3. どちらとも言えない	13名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	7名
未 未記入	0名

合計 51名
評価ポイント平均値 3.27

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	18名
4. かなりそうと言える	8名
3. どちらとも言えない	20名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	1名
未 未記入	1名

合計 51名
評価ポイント平均値 3.78

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	9名
4. かなりそうと言える	16名
3. どちらとも言えない	14名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	3名
未 未記入	0名

合計 51名
評価ポイント平均値 3.37

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	14名
4. かなりそうと言える	15名
3. どちらとも言えない	15名
2. あまりそうとは言えない	4名
1. いいえ	2名
未 未記入	1名

合計 51名
評価ポイント平均値 3.70

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	26名
4. かなりそうと言える	21名
3. どちらとも言えない	4名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 51名
評価ポイント平均値 4.43

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	34名
4. かなりそうと言える	13名
3. どちらとも言えない	4名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 51名
評価ポイント平均値 4.59

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	31名
4. かなりそうと言える	15名
3. どちらとも言えない	5名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 51名
評価ポイント平均値 4.51

教育改善のための学生アンケート

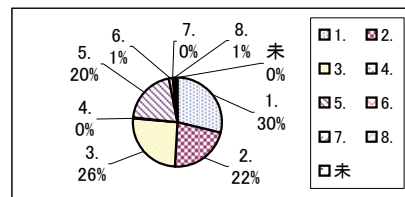
分野	科目
共通教育科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	12,973	9,750	75.2%

I.

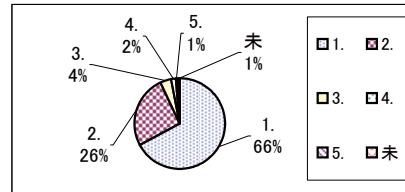
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	2817名	2. 行政政策学類	2146名
3. 経済経営学類	2494名	4. 現代教養コース	22名
5. 共生システム理工学類	1982名	6. 教育学部	122名
7. 行政社会学部	44名	8. 経済学部	78名
未 未記入	45名	合計	9750名



学年(入学してからの年数)

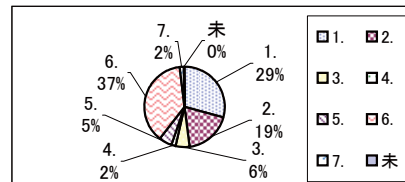
1. 1年	6554名
2. 2年	2509名
3. 3年	381名
4. 4年	176名
5. 5年以上	73名
未 未記入	57名
合計	9750名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

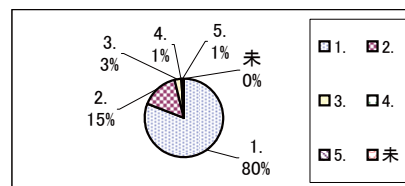
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	2856名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1834名
3. 単位がとり易そうだったから	549名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	154名
5. 友人や先輩に勧められたから	523名
6. クラス指定または必修だったから	3632名
7. その他	180名
未 未記入	22名
合計	9750名



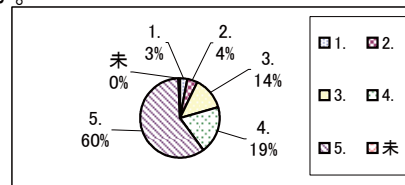
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	7875名
2. 89%~70%	1483名
3. 69%~50%	272名
4. 49%~30%	49名
5. 29%以下	56名
未 未記入	15名
合計	9750名



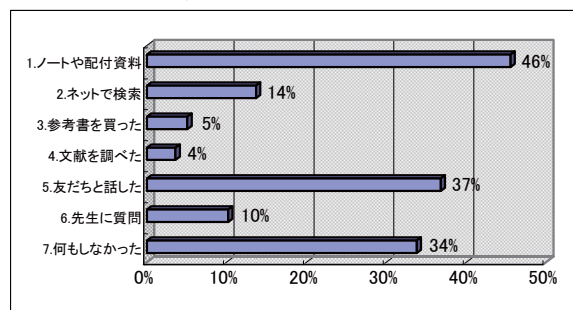
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	297名
2. 2~3時間未満	395名
3. 1~2時間未満	1322名
4. 30分~1時間未満	1889名
5. 30分未満	5803名
未 未記入	44名
合計	9750名



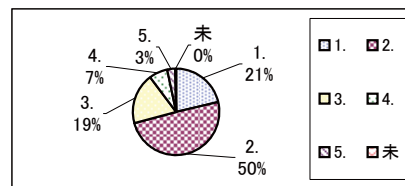
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	4442名
2. インターネットで検索した	1334名
3. 参考書を買って調べた	494名
4. 図書館で文献を調べた	350名
5. 友だちと話して理解するようにした	3590名
6. 先生に質問した	992名
7. 何もしなかった	3296名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	2076名
2. ある程度意欲的	4825名
3. どちらとも言えない	1860名
4. あまり意欲的でない	654名
5. まったく意欲的でない	302名
未 未記入	33名
合計	9750名



分野	科目
共通教育科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	12,973	9,750	75.2%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	4575名
4. かなりそうと言える	3166名
3. どちらとも言えない	1595名
2. あまりそうとは言えない	255名
1. いいえ	145名
未 未記入	14名

合計 9750名

評価ポイント平均値 4.21

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	3229名
4. かなりそうと言える	2686名
3. どちらとも言えない	2582名
2. あまりそうとは言えない	854名
1. いいえ	385名
未 未記入	14名

合計 9750名

評価ポイント平均値 3.77

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	4571名
4. かなりそうと言える	3235名
3. どちらとも言えない	1582名
2. あまりそうとは言えない	231名
1. いいえ	116名
未 未記入	15名

合計 9750名

評価ポイント平均値 4.22

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	4021名
4. かなりそうと言える	2806名
3. どちらとも言えない	1974名
2. あまりそうとは言えない	613名
1. いいえ	319名
未 未記入	17名

合計 9750名

評価ポイント平均値 3.99

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	2838名
4. かなりそうと言える	2536名
3. どちらとも言えない	2255名
2. あまりそうとは言えない	624名
1. いいえ	265名
未 未記入	1232名

合計 9750名

評価ポイント平均値 3.83

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	3534名
4. かなりそうと言える	3161名
3. どちらとも言えない	2548名
2. あまりそうとは言えない	262名
1. いいえ	138名
未 未記入	107名

合計 9750名

評価ポイント平均値 4.00

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	3622名
4. かなりそうと言える	2994名
3. どちらとも言えない	2377名
2. あまりそうとは言えない	346名
1. いいえ	202名
未 未記入	209名

合計 9750名

評価ポイント平均値 3.99

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	2949名
4. かなりそうと言える	2666名
3. どちらとも言えない	2865名
2. あまりそうとは言えない	829名
1. いいえ	415名
未 未記入	26名

合計 9750名

評価ポイント平均値 3.71

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	2785名
4. かなりそうと言える	2594名
3. どちらとも言えない	3219名
2. あまりそうとは言えない	680名
1. いいえ	395名
未 未記入	77名

合計 9750名

評価ポイント平均値 3.69

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	3083名
4. かなりそうと言える	3499名
3. どちらとも言えない	2280名
2. あまりそうとは言えない	565名
1. いいえ	296名
未 未記入	27名

合計 9750名

評価ポイント平均値 3.88

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	3651名
4. かなりそうと言える	3571名
3. どちらとも言えない	1692名
2. あまりそうとは言えない	441名
1. いいえ	208名
未 未記入	187名

合計 9750名

評価ポイント平均値 4.05

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	4636名
4. かなりそうと言える	2921名
3. どちらとも言えない	1611名
2. あまりそうとは言えない	330名
1. いいえ	140名
未 未記入	112名

合計 9750名

評価ポイント平均値 4.20

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	5293名
4. かなりそうと言える	2729名
3. どちらとも言えない	1249名
2. あまりそうとは言えない	255名
1. いいえ	111名
未 未記入	113名

合計 9750名

評価ポイント平均値 4.33

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	5085名
4. かなりそうと言える	2768名
3. どちらとも言えない	1403名
2. あまりそうとは言えない	274名
1. いいえ	103名
未 未記入	117名

合計 9750名

評価ポイント平均値 4.29

教育改善のための学生アンケート 簡易版

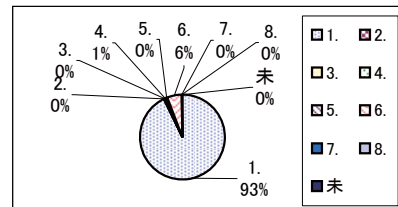
学類
人間発達文化学類 簡易版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1018	855	84.0%

I.

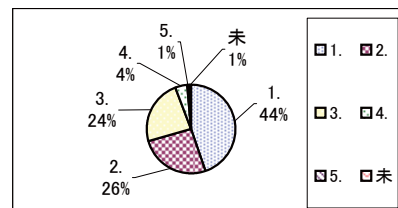
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	793名
2. 行政政策学類	2名
3. 経済経営学類	1名
4. 現代教養コース	6名
5. 共生システム理工学類	2名
6. 教育学部	49名
7. 行政社会学部	0名
8. 経済学部	1名
未 未記入	1名
合計	855名



(2) 学年(入学してからの年数)

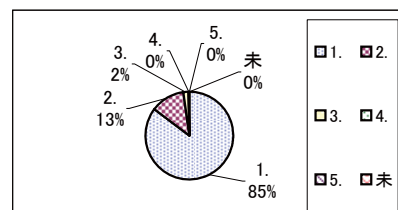
1. 1年	382名
2. 2年	221名
3. 3年	203名
4. 4年	38名
5. 5年以上	6名
未 未記入	5名
合計	855名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

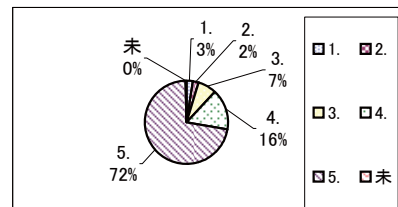
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	728名
2. 89%～70%	107名
3. 69%～50%	17名
4. 49%～30%	2名
5. 29%以下	0名
未 未記入	1名
合計	855名



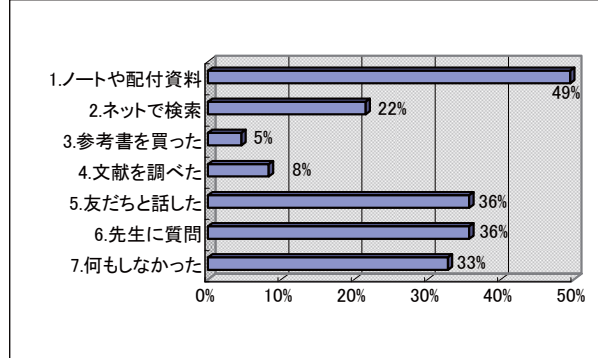
(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	22名
2. 2～3時間未満	18名
3. 1～2時間未満	61名
4. 30分～1時間未満	136名
5. 30分未満	616名
未 未記入	2名
合計	855名



(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	423名
2. インターネットで検索した	184名
3. 参考書を買って調べた	39名
4. 図書館で文献を調べた	71名
5. 友だちと話して理解するようにした	305名
6. 先生に質問した	49名
7. 何もしなかった	280名



学類
人間発達文化学類 簡易版 合計

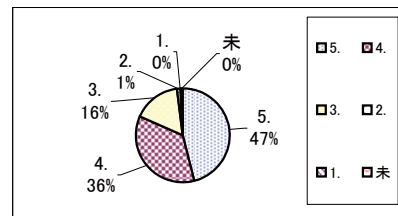
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1018	855	84.0%

Ⅲ. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

(観点:授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)

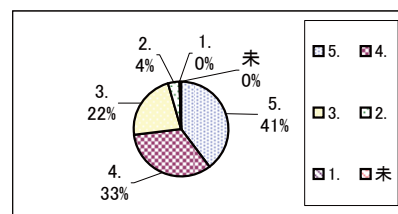
5. はい	394名
4. かなりそうと言える	304名
3. どちらとも言えない	140名
2. あまりそうとは言えない	10名
1. いいえ	3名
未 未記入	4名
合計	855名
評価ポイント平均値	4.26



(6) 教育の方法は適切でしたか。

(観点:わかりやすい説明, 話し方・声の大きさ, 質問への対応, 板書の仕方・視聴覚機器の活用, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)

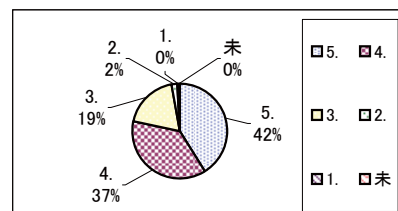
5. はい	339名
4. かなりそうと言える	285名
3. どちらとも言えない	192名
2. あまりそうとは言えない	34名
1. いいえ	2名
未 未記入	3名
合計	855名
評価ポイント平均値	4.09



(7) 教育の内容は適切でしたか。

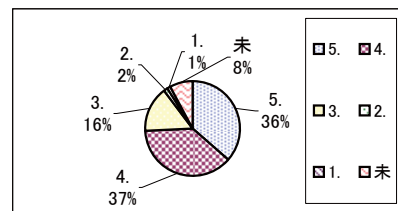
(観点:魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進度, シラバスに記述された目標の達成度)

5. はい	351名
4. かなりそうと言える	318名
3. どちらとも言えない	162名
2. あまりそうとは言えない	18名
1. いいえ	3名
未 未記入	3名
合計	855名
評価ポイント平均値	4.17



Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	312名
4. かなりそうと言える	321名
3. どちらとも言えない	133名
2. あまりそうとは言えない	14名
1. いいえ	8名
未 未記入	67名
合計	855名
評価ポイント平均値	4.16



教育改善のための学生アンケート

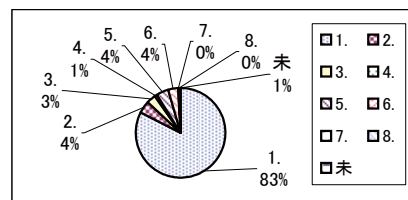
学類
人間発達文化学類 フル版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	7466	4501	60.3%

I.

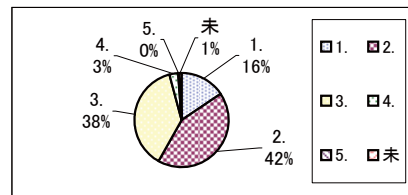
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	3718名	2. 行政政策学類	199名
3. 経済経営学類	150名	4. 現代教養コース	32名
5. 共生システム理工学類	202名	6. 教育学部	163名
7. 行政社会学部	10名	8. 経済学部	0名
未 未記入	27名	合計	4501名



学年(入学してからの年数)

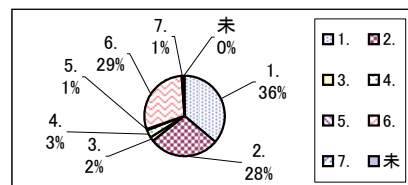
1. 1年	699名
2. 2年	1918名
3. 3年	1692名
4. 4年	136名
5. 5年以上	22名
未 未記入	34名
合計	4501名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

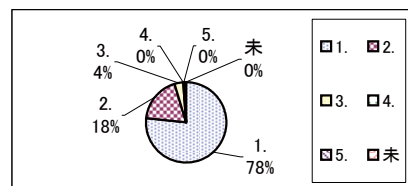
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	1631名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1272名
3. 単位がとり易そうだったから	72名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	139名
5. 友人や先輩に勧められたから	25名
6. クラス指定または必修だったから	1308名
7. その他	33名
未 未記入	21名
合計	4501名



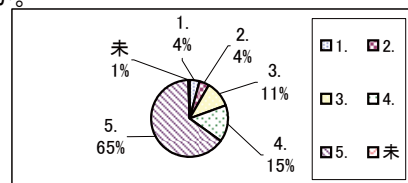
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	3454名
2. 89%~70%	832名
3. 69%~50%	161名
4. 49%~30%	21名
5. 29%以下	14名
未 未記入	19名
合計	4501名



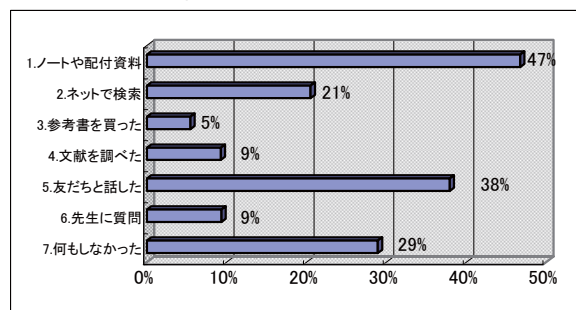
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	191名
2. 2~3時間未満	184名
3. 1~2時間未満	502名
4. 30分~1時間未満	695名
5. 30分未満	2904名
未 未記入	25名
合計	4501名



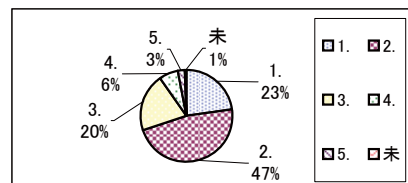
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	2105名
2. インターネットで検索した	923名
3. 参考書を買って調べた	246名
4. 図書館で文献を調べた	417名
5. 友だちと話して理解するようにした	1708名
6. 先生に質問した	420名
7. 何もしなかった	1302名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	1027名
2. ある程度意欲的	2126名
3. どちらとも言えない	914名
4. あまり意欲的でない	291名
5. まったく意欲的でない	116名
未 未記入	27名
合計	4501名



学類
人間発達文化学類 フル版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	7466	4501	60.3%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	2334名
4. かなりそうと言える	1481名
3. どちらとも言えない	572名
2. あまりそうとは言えない	73名
1. いいえ	31名
未 未記入	10名

合計 4501名

評価ポイント平均値 4.34

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	1633名
4. かなりそうと言える	1372名
3. どちらとも言えない	1096名
2. あまりそうとは言えない	288名
1. いいえ	101名
未 未記入	11名

合計 4501名

評価ポイント平均値 3.92

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	2228名
4. かなりそうと言える	1468名
3. どちらとも言えない	658名
2. あまりそうとは言えない	107名
1. いいえ	30名
未 未記入	10名

合計 4501名

評価ポイント平均値 4.28

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	1979名
4. かなりそうと言える	1366名
3. どちらとも言えない	819名
2. あまりそうとは言えない	211名
1. いいえ	111名
未 未記入	15名

合計 4501名

評価ポイント平均値 4.09

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	1411名
4. かなりそうと言える	1221名
3. どちらとも言えない	1021名
2. あまりそうとは言えない	302名
1. いいえ	125名
未 未記入	421名

合計 4501名

評価ポイント平均値 3.86

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	1646名
4. かなりそうと言える	1455名
3. どちらとも言えない	1165名
2. あまりそうとは言えない	116名
1. いいえ	53名
未 未記入	66名

合計 4501名

評価ポイント平均値 4.02

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	1753名
4. かなりそうと言える	1417名
3. どちらとも言えない	1036名
2. あまりそうとは言えない	157名
1. いいえ	53名
未 未記入	85名

合計 4501名

評価ポイント平均値 4.06

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	1381名
4. かなりそうと言える	1303名
3. どちらとも言えない	1331名
2. あまりそうとは言えない	338名
1. いいえ	133名
未 未記入	15名

合計 4501名

評価ポイント平均値 3.77

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	1409名
4. かなりそうと言える	1247名
3. どちらとも言えない	1381名
2. あまりそうとは言えない	278名
1. いいえ	145名
未 未記入	41名

合計 4501名

評価ポイント平均値 3.78

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	1456名
4. かなりそうと言える	1558名
3. どちらとも言えない	1119名
2. あまりそうとは言えない	249名
1. いいえ	99名
未 未記入	20名

合計 4501名

評価ポイント平均値 3.90

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	1721名
4. かなりそうと言える	1599名
3. どちらとも言えない	831名
2. あまりそうとは言えない	193名
1. いいえ	71名
未 未記入	86名

合計 4501名

評価ポイント平均値 4.07

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	2155名
4. かなりそうと言える	1271名
3. どちらとも言えない	736名
2. あまりそうとは言えない	183名
1. いいえ	80名
未 未記入	76名

合計 4501名

評価ポイント平均値 4.18

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	2238名
4. かなりそうと言える	1144名
3. どちらとも言えない	656名
2. あまりそうとは言えない	242名
1. いいえ	144名
未 未記入	77名

合計 4501名

評価ポイント平均値 4.15

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	2165名
4. かなりそうと言える	1158名
3. どちらとも言えない	702名
2. あまりそうとは言えない	248名
1. いいえ	150名
未 未記入	78名

合計 4501名

評価ポイント平均値 4.12

教育改善のための学生アンケート 簡易版

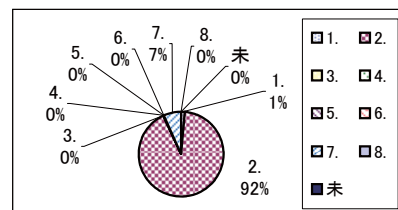
学類
行政政策学類 簡易版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	336	240	71.4%

I.

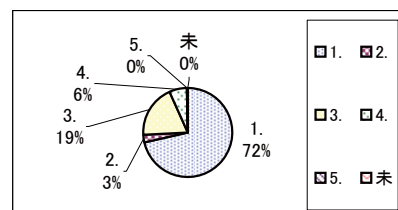
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	3名
2. 行政政策学類	220名
3. 経済経営学類	1名
4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	0名
6. 教育学部	0名
7. 行政社会学部	16名
8. 経済学部	0名
未 未記入	0名
合計	240名



(2) 学年(入学してからの年数)

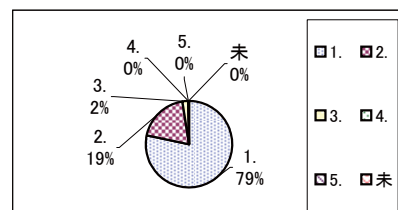
1. 1年	171名
2. 2年	7名
3. 3年	46名
4. 4年	15名
5. 5年以上	1名
未 未記入	0名
合計	240名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

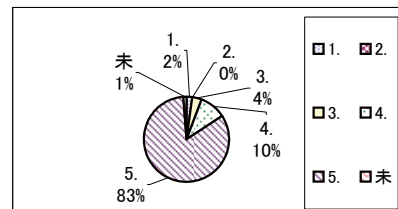
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	188名
2. 89%～70%	46名
3. 69%～50%	5名
4. 49%～30%	0名
5. 29%以下	0名
未 未記入	1名
合計	240名



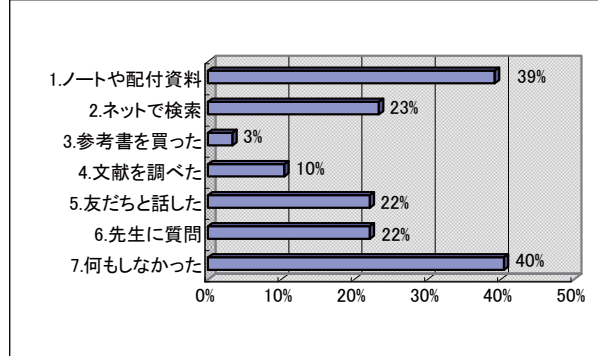
(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	5名
2. 2～3時間未満	0名
3. 1～2時間未満	9名
4. 30分～1時間未満	24名
5. 30分未満	199名
未 未記入	3名
合計	240名



(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	94名
2. インターネットで検索した	56名
3. 参考書を買って調べた	8名
4. 図書館で文献を調べた	25名
5. 友だちと話して理解するようにした	53名
6. 先生に質問した	6名
7. 何もしなかった	97名



学類
行政政策学類 簡易版 合計

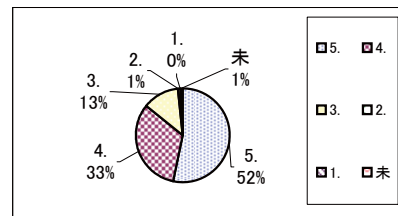
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	336	240	71.4%

Ⅲ. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

(観点:授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)

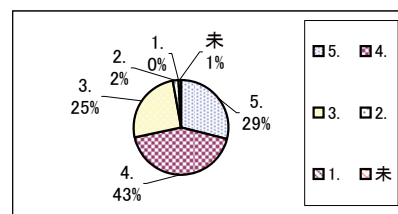
5. はい	128名
4. かなりそうと言える	78名
3. どちらとも言えない	30名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	0名
未 未記入	2名
合計	240名
評価ポイント平均値	4.39



(6) 教育の方法は適切でしたか。

(観点:わかりやすい説明, 話し方・声の大きさ, 質問への対応, 板書の仕方・視聴覚機器の活用, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)

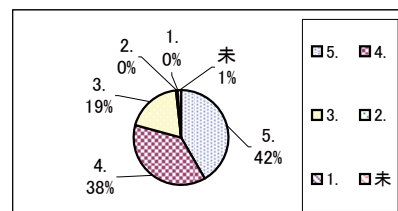
5. はい	69名
4. かなりそうと言える	103名
3. どちらとも言えない	61名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	0名
未 未記入	2名
合計	240名
評価ポイント平均値	3.99



(7) 教育の内容は適切でしたか。

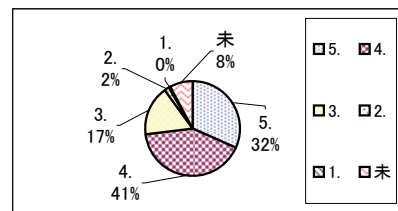
(観点:魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進度, シラバスに記述された目標の達成度)

5. はい	100名
4. かなりそうと言える	90名
3. どちらとも言えない	46名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	0名
未 未記入	3名
合計	240名
評価ポイント平均値	4.22



Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	76名
4. かなりそうと言える	99名
3. どちらとも言えない	41名
2. あまりそうとは言えない	4名
1. いいえ	1名
未 未記入	19名
合計	240名
評価ポイント平均値	4.11



教育改善のための学生アンケート

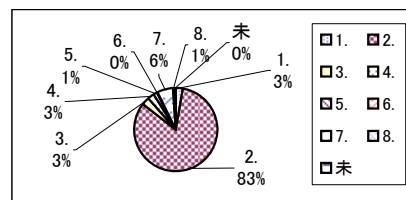
学類
行政政策学類 フル版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	4360	2188	50.2%

I.

(1) 学部

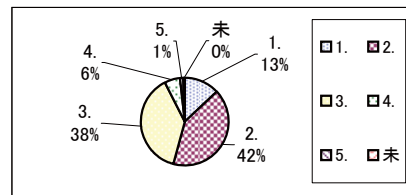
1. 人間発達文化学類	60名	2. 行政政策学類	1812名
3. 経済経営学類	65名	4. 現代教養コース	58名
5. 共生システム理工学類	31名	6. 教育学部	6名
7. 行政社会学部	130名	8. 経済学部	16名
未 未記入	10名	合計	2188名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	286名
2. 2年	901名
3. 3年	839名
4. 4年	126名
5. 5年以上	26名
未 未記入	10名

合計 2188名

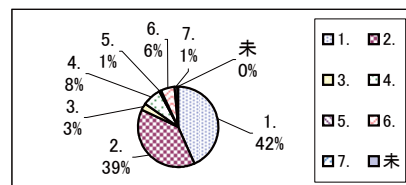


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	946名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	845名
3. 単位がとり易そうだったから	60名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	169名
5. 友人や先輩に勧められたから	14名
6. クラス指定または必修だったから	123名
7. その他	22名
未 未記入	9名

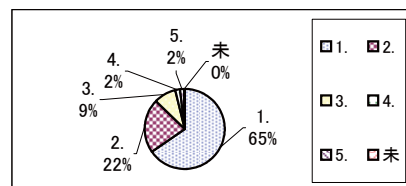
合計 2188名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1429名
2. 89%~70%	480名
3. 69%~50%	192名
4. 49%~30%	43名
5. 29%以下	40名
未 未記入	4名

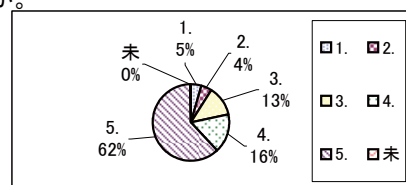
合計 2188名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

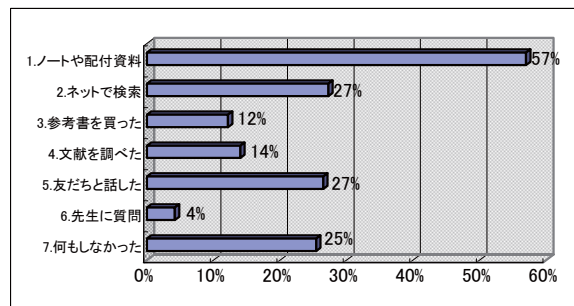
1. 3時間以上	99名
2. 2~3時間未満	96名
3. 1~2時間未満	277名
4. 30分~1時間未満	361名
5. 30分未満	1347名
未 未記入	8名

合計 2188名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

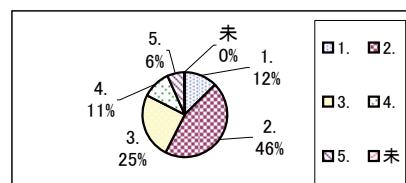
1. ノートや配付資料を復習した	1247名
2. インターネットで検索した	597名
3. 参考書を買って調べた	267名
4. 図書館で文献を調べた	307名
5. 友だちと話して理解するようにした	580名
6. 先生に質問した	92名
7. 何もしなかった	557名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	271名
2. ある程度意欲的	987名
3. どちらとも言えない	549名
4. あまり意欲的でない	236名
5. まったく意欲的でない	136名
未 未記入	9名

合計 2188名



学類
行政政策学類 フル版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	4360	2188	50.2%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、
評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	946名
4. かなりそうと言える	705名
3. どちらとも言えない	361名
2. あまりそうとは言えない	103名
1. いいえ	70名
未 未記入	3名

合計 2188名

評価ポイント平均値 4.08

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	570名
4. かなりそうと言える	642名
3. どちらとも言えない	599名
2. あまりそうとは言えない	214名
1. いいえ	159名
未 未記入	4名

合計 2188名

評価ポイント平均値 3.57

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	919名
4. かなりそうと言える	749名
3. どちらとも言えない	396名
2. あまりそうとは言えない	85名
1. いいえ	36名
未 未記入	3名

合計 2188名

評価ポイント平均値 4.11

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	808名
4. かなりそうと言える	643名
3. どちらとも言えない	386名
2. あまりそうとは言えない	172名
1. いいえ	175名
未 未記入	4名

合計 2188名

評価ポイント平均値 3.80

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	525名
4. かなりそうと言える	553名
3. どちらとも言えない	599名
2. あまりそうとは言えない	237名
1. いいえ	171名
未 未記入	103名

合計 2188名

評価ポイント平均値 3.49

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	670名
4. かなりそうと言える	699名
3. どちらとも言えない	645名
2. あまりそうとは言えない	83名
1. いいえ	70名
未 未記入	21名

合計 2188名

評価ポイント平均値 3.84

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	748名
4. かなりそうと言える	704名
3. どちらとも言えない	486名
2. あまりそうとは言えない	120名
1. いいえ	115名
未 未記入	15名

合計 2188名

評価ポイント平均値 3.85

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	452名
4. かなりそうと言える	593名
3. どちらとも言えない	725名
2. あまりそうとは言えない	225名
1. いいえ	185名
未 未記入	8名

合計 2188名

評価ポイント平均値 3.41

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	560名
4. かなりそうと言える	620名
3. どちらとも言えない	686名
2. あまりそうとは言えない	159名
1. いいえ	147名
未 未記入	16名

合計 2188名

評価ポイント平均値 3.59

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	433名
4. かなりそうと言える	742名
3. どちらとも言えない	570名
2. あまりそうとは言えない	226名
1. いいえ	213名
未 未記入	4名

合計 2188名

評価ポイント平均値 3.44

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	587名
4. かなりそうと言える	807名
3. どちらとも言えない	460名
2. あまりそうとは言えない	164名
1. いいえ	133名
未 未記入	37名

合計 2188名

評価ポイント平均値 3.72

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	826名
4. かなりそうと言える	718名
3. どちらとも言えない	410名
2. あまりそうとは言えない	133名
1. いいえ	64名
未 未記入	37名

合計 2188名

評価ポイント平均値 3.98

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	884名
4. かなりそうと言える	595名
3. どちらとも言えない	403名
2. あまりそうとは言えない	166名
1. いいえ	101名
未 未記入	39名

合計 2188名

評価ポイント平均値 3.93

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	861名
4. かなりそうと言える	589名
3. どちらとも言えない	464名
2. あまりそうとは言えない	160名
1. いいえ	76名
未 未記入	38名

合計 2188名

評価ポイント平均値 3.93

教育改善のための学生アンケート 簡易版

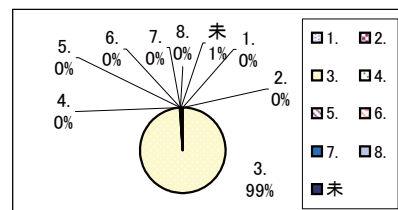
学類
経済経営学類 簡易版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	340	264	77.6%

I.

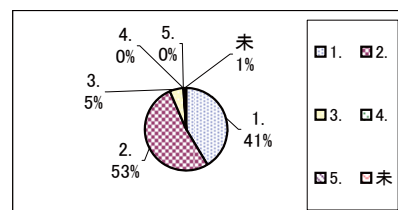
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	0名
2. 行政政策学類	0名
3. 経済経営学類	261名
4. 現代教養コース	1名
5. 共生システム理工学類	0名
6. 教育学部	0名
7. 行政社会学部	0名
8. 経済学部	0名
未 未記入	2名
合計	264名



(2) 学年(入学してからの年数)

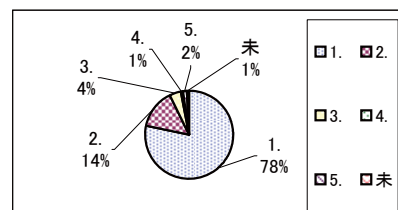
1. 1年	109名
2. 2年	138名
3. 3年	14名
4. 4年	0名
5. 5年以上	1名
未 未記入	2名
合計	264名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

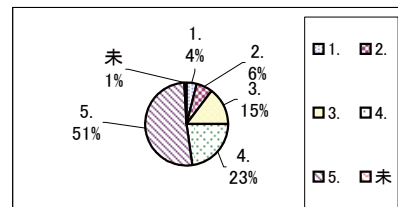
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	207名
2. 89%～70%	38名
3. 69%～50%	11名
4. 49%～30%	2名
5. 29%以下	4名
未 未記入	2名
合計	264名



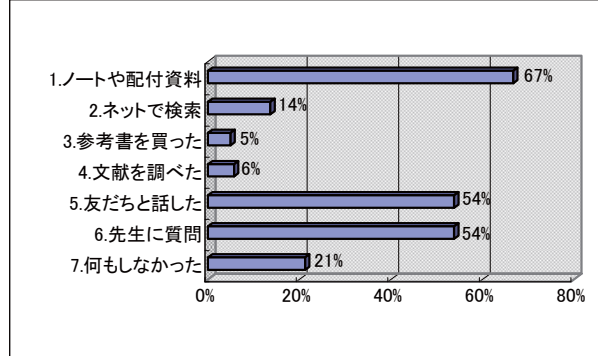
(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	10名
2. 2～3時間未満	17名
3. 1～2時間未満	39名
4. 30分～1時間未満	60名
5. 30分未満	136名
未 未記入	2名
合計	264名



(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	176名
2. インターネットで検索した	36名
3. 参考書を買って調べた	13名
4. 図書館で文献を調べた	15名
5. 友だちと話して理解するようにした	142名
6. 先生に質問した	18名
7. 何もしなかった	56名



学類
経済経営学類 簡易版 合計

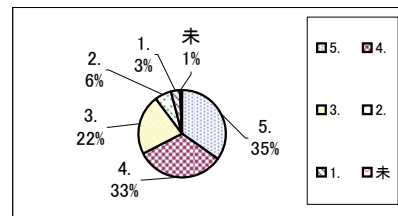
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	340	264	77.6%

Ⅲ. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

(観点:授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)

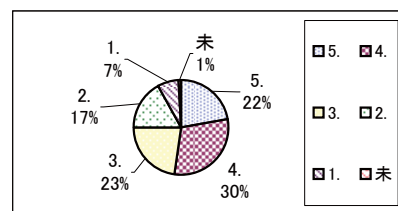
5. はい	92名
4. かなりそうと言える	86名
3. どちらとも言えない	59名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	9名
未 未記入	2名
合計	264名
評価ポイント平均値	3.90



(6) 教育の方法は適切でしたか。

(観点:わかりやすい説明, 話し方・声の大きさ, 質問への対応, 板書の仕方・視聴覚機器の活用, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)

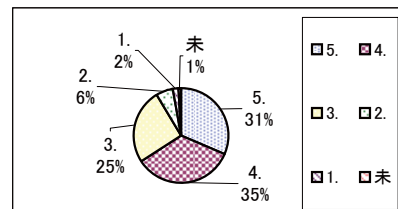
5. はい	59名
4. かなりそうと言える	79名
3. どちらとも言えない	60名
2. あまりそうとは言えない	45名
1. いいえ	19名
未 未記入	2名
合計	264名
評価ポイント平均値	3.44



(7) 教育の内容は適切でしたか。

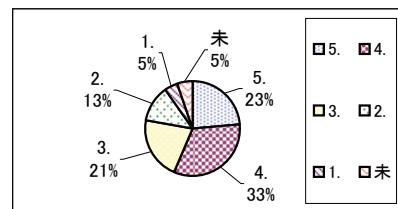
(観点:魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進度, シラバスに記述された目標の達成度)

5. はい	83名
4. かなりそうと言える	91名
3. どちらとも言えない	67名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	5名
未 未記入	2名
合計	264名
評価ポイント平均値	3.88



Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	62名
4. かなりそうと言える	87名
3. どちらとも言えない	56名
2. あまりそうとは言えない	33名
1. いいえ	12名
未 未記入	14名
合計	264名
評価ポイント平均値	3.62



教育改善のための学生アンケート

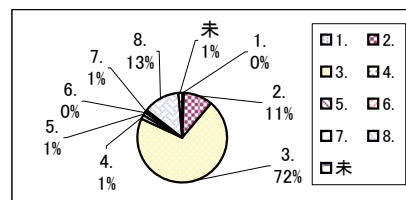
学類
経済経営学類 フル版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	5419	2597	47.9%

I.

(1) 学部

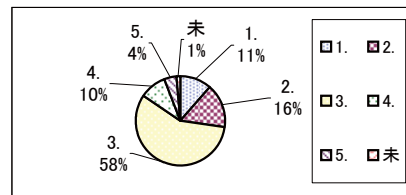
1. 人間発達文化学類	12名	2. 行政政策学類	274名
3. 経済経営学類	1843名	4. 現代教養コース	32名
5. 共生システム理工学類	35名	6. 教育学部	2名
7. 行政社会学部	25名	8. 経済学部	340名
未 未記入	34名	合計	2597名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	295名
2. 2年	415名
3. 3年	1480名
4. 4年	255名
5. 5年以上	116名
未 未記入	36名

合計 2597名

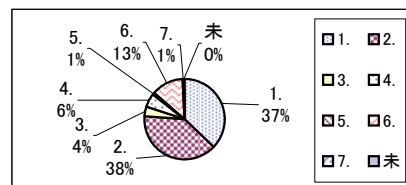


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	966名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1008名
3. 単位がとり易そうだったから	101名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	149名
5. 友人や先輩に勧められたから	21名
6. クラス指定または必修だったから	332名
7. その他	13名
未 未記入	7名

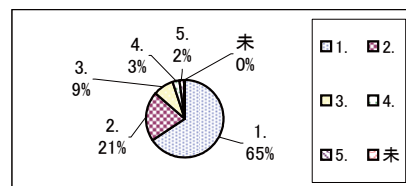
合計 2597名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1699名
2. 89%~70%	545名
3. 69%~50%	221名
4. 49%~30%	72名
5. 29%以下	56名
未 未記入	4名

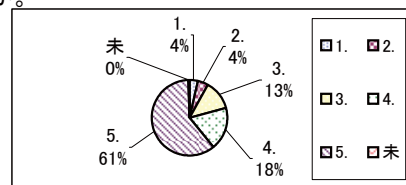
合計 2597名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

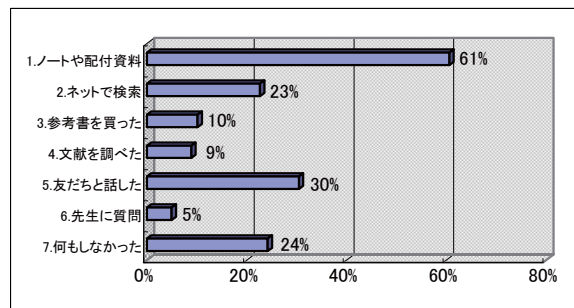
1. 3時間以上	96名
2. 2~3時間未満	116名
3. 1~2時間未満	329名
4. 30分~1時間未満	477名
5. 30分未満	1567名
未 未記入	12名

合計 2597名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

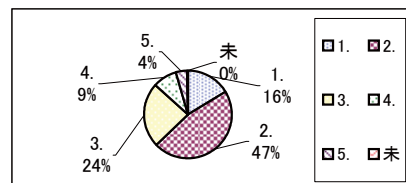
1. ノートや配付資料を復習した	1575名
2. インターネットで検索した	589名
3. 参考書を買って調べた	264名
4. 図書館で文献を調べた	231名
5. 友だちと話して理解するようにした	791名
6. 先生に質問した	129名
7. 何もしなかった	629名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	428名
2. ある程度意欲的	1204名
3. どちらとも言えない	621名
4. あまり意欲的でない	227名
5. まったく意欲的でない	109名
未 未記入	8名

合計 2597名



学類
経済経営学類 フル版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	5419	2597	47.9%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、
評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	1164名
4. かなりそうと言える	823名
3. どちらとも言えない	482名
2. あまりそうとは言えない	89名
1. いいえ	37名
未 未記入	2名

合計 2597名

評価ポイント平均値 4.15

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	815名
4. かなりそうと言える	827名
3. どちらとも言えない	731名
2. あまりそうとは言えない	156名
1. いいえ	64名
未 未記入	4名

合計 2597名

評価ポイント平均値 3.84

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	1203名
4. かなりそうと言える	851名
3. どちらとも言えない	430名
2. あまりそうとは言えない	81名
1. いいえ	30名
未 未記入	2名

合計 2597名

評価ポイント平均値 4.20

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	1051名
4. かなりそうと言える	789名
3. どちらとも言えない	536名
2. あまりそうとは言えない	153名
1. いいえ	65名
未 未記入	3名

合計 2597名

評価ポイント平均値 4.01

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	840名
4. かなりそうと言える	727名
3. どちらとも言えない	652名
2. あまりそうとは言えない	207名
1. いいえ	99名
未 未記入	72名

合計 2597名

評価ポイント平均値 3.79

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	936名
4. かなりそうと言える	847名
3. どちらとも言えない	685名
2. あまりそうとは言えない	70名
1. いいえ	39名
未 未記入	20名

合計 2597名

評価ポイント平均値 4.00

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	907名
4. かなりそうと言える	847名
3. どちらとも言えない	662名
2. あまりそうとは言えない	109名
1. いいえ	45名
未 未記入	27名

合計 2597名

評価ポイント平均値 3.96

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	723名
4. かなりそうと言える	791名
3. どちらとも言えない	788名
2. あまりそうとは言えない	215名
1. いいえ	76名
未 未記入	4名

合計 2597名

評価ポイント平均値 3.72

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	736名
4. かなりそうと言える	741名
3. どちらとも言えない	842名
2. あまりそうとは言えない	181名
1. いいえ	85名
未 未記入	12名

合計 2597名

評価ポイント平均値 3.72

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	713名
4. かなりそうと言える	869名
3. どちらとも言えない	692名
2. あまりそうとは言えない	214名
1. いいえ	104名
未 未記入	5名

合計 2597名

評価ポイント平均値 3.72

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	827名
4. かなりそうと言える	958名
3. どちらとも言えない	561名
2. あまりそうとは言えない	131名
1. いいえ	51名
未 未記入	69名

合計 2597名

評価ポイント平均値 3.94

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	1065名
4. かなりそうと言える	822名
3. どちらとも言えない	505名
2. あまりそうとは言えない	103名
1. いいえ	39名
未 未記入	63名

合計 2597名

評価ポイント平均値 4.09

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	1065名
4. かなりそうと言える	688名
3. どちらとも言えない	491名
2. あまりそうとは言えない	187名
1. いいえ	102名
未 未記入	64名

合計 2597名

評価ポイント平均値 3.96

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	1027名
4. かなりそうと言える	712名
3. どちらとも言えない	562名
2. あまりそうとは言えない	141名
1. いいえ	87名
未 未記入	68名

合計 2597名

評価ポイント平均値 3.97

教育改善のための学生アンケート

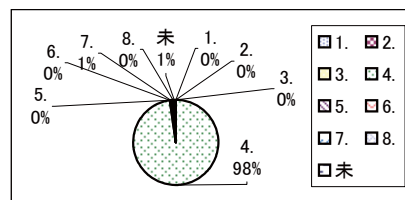
学類
現代教養コース フル版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	1459	840	57.6%

I.

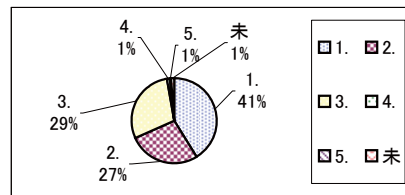
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	0名	2. 行政政策学類	0名
3. 経済経営学類	0名	4. 現代教養コース	821名
5. 共生システム理工学類	0名	6. 教育学部	0名
7. 行政社会学部	7名	8. 経済学部	4名
未 未記入	8名	合計	840名



学年(入学してからの年数)

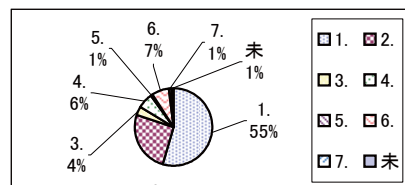
1. 1年	345名
2. 2年	229名
3. 3年	242名
4. 4年	10名
5. 5年以上	5名
未 未記入	9名
合計	840名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

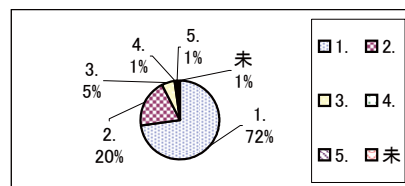
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	458名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	214名
3. 単位がとり易そうだったから	30名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	54名
5. 友人や先輩に勧められたから	7名
6. クラス指定または必修だったから	61名
7. その他	9名
未 未記入	7名
合計	840名



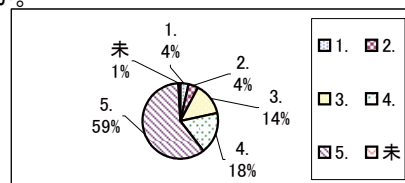
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	611名
2. 89%~70%	165名
3. 69%~50%	45名
4. 49%~30%	7名
5. 29%以下	5名
未 未記入	7名
合計	840名



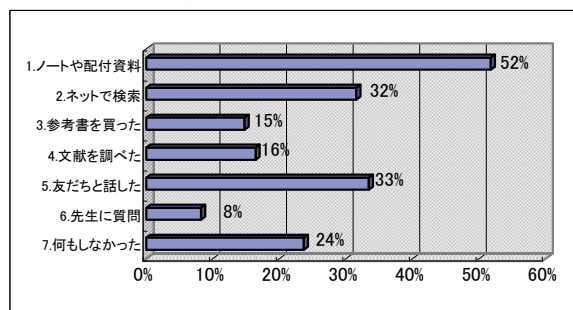
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	30名
2. 2~3時間未満	36名
3. 1~2時間未満	115名
4. 30分~1時間未満	150名
5. 30分未満	501名
未 未記入	8名
合計	840名



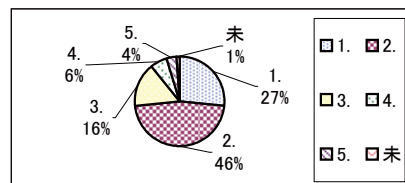
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	435名
2. インターネットで検索した	265名
3. 参考書を買って調べた	124名
4. 図書館で文献を調べた	138名
5. 友だちと話して理解するようにした	281名
6. 先生に質問した	69名
7. 何もしなかった	199名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	224名
2. ある程度意欲的	393名
3. どちらとも言えない	133名
4. あまり意欲的でない	50名
5. まったく意欲的でない	30名
未 未記入	10名
合計	840名



学類
現代教養コース フル版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	1459	840	57.6%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、
評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	394名
4. かなりそうと言える	242名
3. どちらとも言えない	156名
2. あまりそうとは言えない	25名
1. いいえ	15名
未 未記入	8名

合計 840名
評価ポイント平均値 4.17

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	226名
4. かなりそうと言える	233名
3. どちらとも言えない	244名
2. あまりそうとは言えない	94名
1. いいえ	35名
未 未記入	8名

合計 840名
評価ポイント平均値 3.63

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	394名
4. かなりそうと言える	239名
3. どちらとも言えない	157名
2. あまりそうとは言えない	30名
1. いいえ	12名
未 未記入	8名

合計 840名
評価ポイント平均値 4.17

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	323名
4. かなりそうと言える	204名
3. どちらとも言えない	199名
2. あまりそうとは言えない	67名
1. いいえ	37名
未 未記入	10名

合計 840名
評価ポイント平均値 3.85

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	215名
4. かなりそうと言える	194名
3. どちらとも言えない	225名
2. あまりそうとは言えない	73名
1. いいえ	34名
未 未記入	99名

合計 840名
評価ポイント平均値 3.65

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	308名
4. かなりそうと言える	246名
3. どちらとも言えない	219名
2. あまりそうとは言えない	37名
1. いいえ	13名
未 未記入	17名

合計 840名
評価ポイント平均値 3.97

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	307名
4. かなりそうと言える	246名
3. どちらとも言えない	197名
2. あまりそうとは言えない	39名
1. いいえ	17名
未 未記入	34名

合計 840名
評価ポイント平均値 3.98

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	213名
4. かなりそうと言える	212名
3. どちらとも言えない	268名
2. あまりそうとは言えない	92名
1. いいえ	42名
未 未記入	13名

合計 840名
評価ポイント平均値 3.56

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	200名
4. かなりそうと言える	215名
3. どちらとも言えない	271名
2. あまりそうとは言えない	85名
1. いいえ	53名
未 未記入	16名

合計 840名
評価ポイント平均値 3.51

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	216名
4. かなりそうと言える	258名
3. どちらとも言えない	231名
2. あまりそうとは言えない	81名
1. いいえ	41名
未 未記入	13名

合計 840名
評価ポイント平均値 3.64

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	288名
4. かなりそうと言える	270名
3. どちらとも言えない	174名
2. あまりそうとは言えない	46名
1. いいえ	18名
未 未記入	44名

合計 840名
評価ポイント平均値 3.96

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	398名
4. かなりそうと言える	223名
3. どちらとも言えない	125名
2. あまりそうとは言えない	39名
1. いいえ	13名
未 未記入	42名

合計 840名
評価ポイント平均値 4.20

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	397名
4. かなりそうと言える	192名
3. どちらとも言えない	130名
2. あまりそうとは言えない	42名
1. いいえ	37名
未 未記入	42名

合計 840名
評価ポイント平均値 4.09

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	401名
4. かなりそうと言える	176名
3. どちらとも言えない	157名
2. あまりそうとは言えない	30名
1. いいえ	32名
未 未記入	44名

合計 840名
評価ポイント平均値 4.11

教育改善のための学生アンケート 簡易版

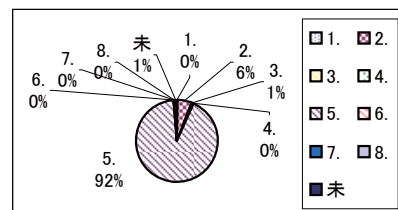
学類
共生システム理工学類 簡易版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	742	394	53.1%

I.

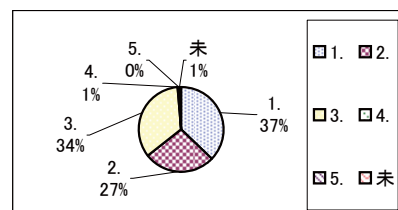
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	1名
2. 行政政策学類	22名
3. 経済経営学類	2名
4. 現代教養コース	1名
5. 共生システム理工学類	363名
6. 教育学部	1名
7. 行政社会学部	0名
8. 経済学部	1名
未 未記入	3名
合計	394名



(2) 学年(入学してからの年数)

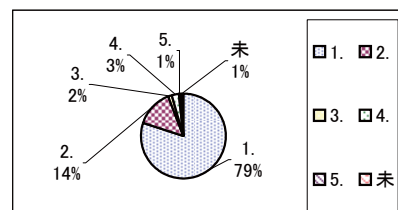
1. 1年	147名
2. 2年	107名
3. 3年	135名
4. 4年	2名
5. 5年以上	0名
未 未記入	3名
合計	394名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

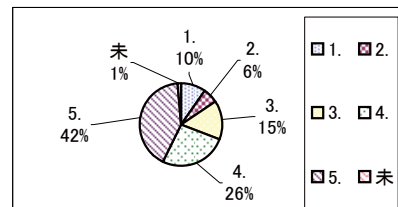
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	315名
2. 89%～70%	56名
3. 69%～50%	6名
4. 49%～30%	10名
5. 29%以下	4名
未 未記入	3名
合計	394名



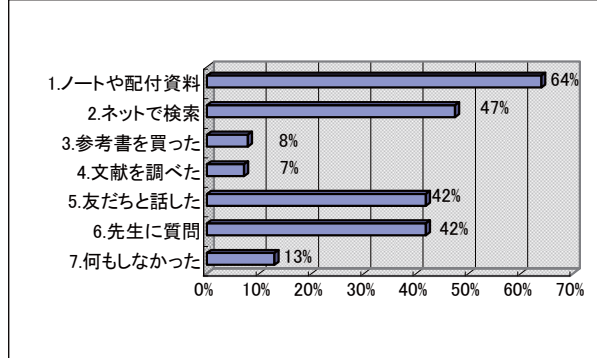
(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	38名
2. 2～3時間未満	23名
3. 1～2時間未満	60名
4. 30分～1時間未満	104名
5. 30分未満	164名
未 未記入	5名
合計	394名



(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	252名
2. インターネットで検索した	187名
3. 参考書を買って調べた	31名
4. 図書館で文献を調べた	28名
5. 友だちと話して理解するようにした	165名
6. 先生に質問した	48名
7. 何もしなかった	51名



学類
共生システム理工学類 簡易版 合計

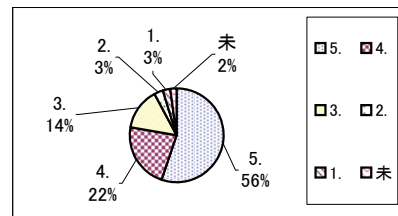
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	742	394	53.1%

Ⅲ. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

(観点:授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)

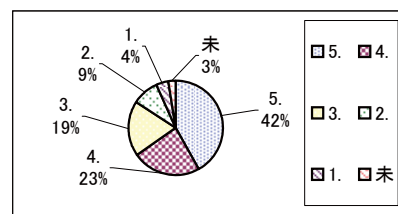
5. はい	218名
4. かなりそうと言える	88名
3. どちらとも言えない	57名
2. あまりそうとは言えない	12名
1. いいえ	10名
未 未記入	9名
合計	394名
評価ポイント平均値	4.28



(6) 教育の方法は適切でしたか。

(観点:わかりやすい説明, 話し方・声の大きさ, 質問への対応, 板書の仕方・視聴覚機器の活用, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)

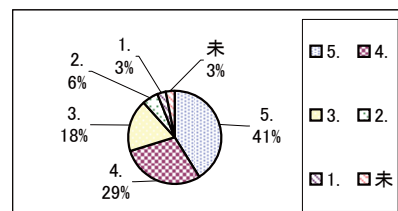
5. はい	165名
4. かなりそうと言える	92名
3. どちらとも言えない	75名
2. あまりそうとは言えない	36名
1. いいえ	16名
未 未記入	10名
合計	394名
評価ポイント平均値	3.92



(7) 教育の内容は適切でしたか。

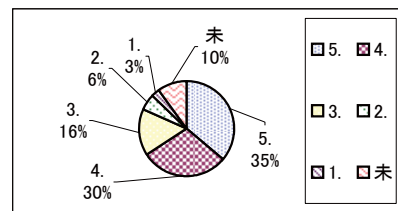
(観点:魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進度, シラバスに記述された目標の達成度)

5. はい	162名
4. かなりそうと言える	115名
3. どちらとも言えない	71名
2. あまりそうとは言えない	22名
1. いいえ	12名
未 未記入	12名
合計	394名
評価ポイント平均値	4.03



Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	142名
4. かなりそうと言える	117名
3. どちらとも言えない	63名
2. あまりそうとは言えない	22名
1. いいえ	11名
未 未記入	39名
合計	394名
評価ポイント平均値	4.01



教育改善のための学生アンケート

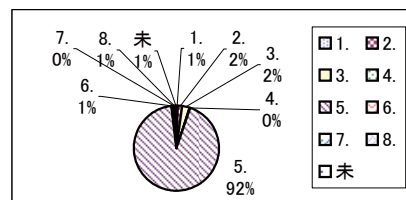
学類
共生システム理工学類 フル版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	4254	3185	74.9%

I.

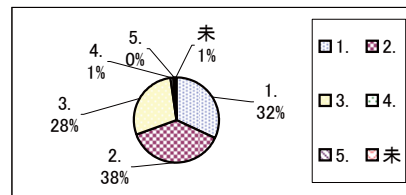
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	22名	2. 行政政策学類	52名
3. 経済経営学類	87名	4. 現代教養コース	5名
5. 共生システム理工学類	2956名	6. 教育学部	27名
7. 行政社会学部	1名	8. 経済学部	16名
未 未記入	19名	合計	3185名



学年(入学してからの年数)

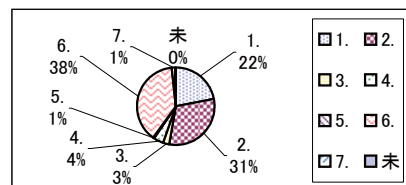
1. 1年	1017名
2. 2年	1198名
3. 3年	902名
4. 4年	32名
5. 5年以上	15名
未 未記入	21名
合計	3185名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

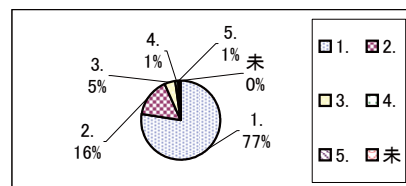
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	701名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	976名
3. 単位がとり易そうだったから	85名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	133名
5. 友人や先輩に勧められたから	16名
6. クラス指定または必修だったから	1224名
7. その他	37名
未 未記入	13名
合計	3185名



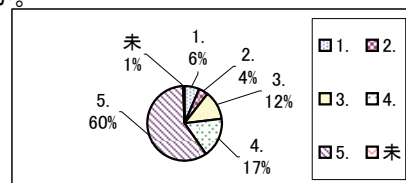
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	2464名
2. 89%~70%	506名
3. 69%~50%	145名
4. 49%~30%	36名
5. 29%以下	20名
未 未記入	14名
合計	3185名



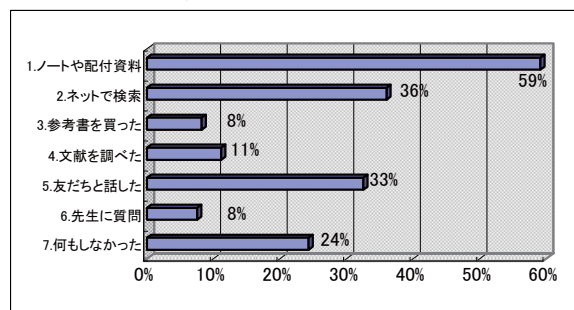
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	207名
2. 2~3時間未満	132名
3. 1~2時間未満	393名
4. 30分~1時間未満	550名
5. 30分未満	1883名
未 未記入	20名
合計	3185名



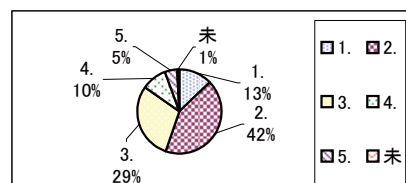
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	1884名
2. インターネットで検索した	1147名
3. 参考書を買って調べた	262名
4. 図書館で文献を調べた	355名
5. 友だちと話して理解するようにした	1036名
6. 先生に質問した	240名
7. 何もなかった	774名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	409名
2. ある程度意欲的	1356名
3. どちらとも言えない	931名
4. あまり意欲的でない	309名
5. まったく意欲的でない	152名
未 未記入	28名
合計	3185名



学類
共生システム理工学類 フル版 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	4254	3185	74.9%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、
評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	1004名
4. かなりそうと言える	1062名
3. どちらとも言えない	815名
2. あまりそうとは言えない	174名
1. いいえ	114名
未 未記入	16名

合計 3185名

評価ポイント平均値 3.84

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	651名
4. かなりそうと言える	887名
3. どちらとも言えない	1089名
2. あまりそうとは言えない	344名
1. いいえ	199名
未 未記入	15名

合計 3185名

評価ポイント平均値 3.46

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	1104名
4. かなりそうと言える	1107名
3. どちらとも言えない	699名
2. あまりそうとは言えない	161名
1. いいえ	98名
未 未記入	16名

合計 3185名

評価ポイント平均値 3.93

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	830名
4. かなりそうと言える	872名
3. どちらとも言えない	923名
2. あまりそうとは言えない	334名
1. いいえ	210名
未 未記入	16名

合計 3185名

評価ポイント平均値 3.56

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	695名
4. かなりそうと言える	828名
3. どちらとも言えない	943名
2. あまりそうとは言えない	396名
1. いいえ	220名
未 未記入	103名

合計 3185名

評価ポイント平均値 3.45

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	734名
4. かなりそうと言える	942名
3. どちらとも言えない	1229名
2. あまりそうとは言えない	133名
1. いいえ	106名
未 未記入	41名

合計 3185名

評価ポイント平均値 3.66

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	740名
4. かなりそうと言える	898名
3. どちらとも言えない	1143名
2. あまりそうとは言えない	202名
1. いいえ	146名
未 未記入	56名

合計 3185名

評価ポイント平均値 3.60

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	576名
4. かなりそうと言える	835名
3. どちらとも言えない	1114名
2. あまりそうとは言えない	404名
1. いいえ	238名
未 未記入	18名

合計 3185名

評価ポイント平均値 3.35

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	618名
4. かなりそうと言える	820名
3. どちらとも言えない	1217名
2. あまりそうとは言えない	299名
1. いいえ	198名
未 未記入	33名

合計 3185名

評価ポイント平均値 3.43

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	496名
4. かなりそうと言える	977名
3. どちらとも言えない	1092名
2. あまりそうとは言えない	370名
1. いいえ	233名
未 未記入	17名

合計 3185名

評価ポイント平均値 3.36

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	689名
4. かなりそうと言える	1105名
3. どちらとも言えない	934名
2. あまりそうとは言えない	251名
1. いいえ	137名
未 未記入	69名

合計 3185名

評価ポイント平均値 3.63

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	1064名
4. かなりそうと言える	983名
3. どちらとも言えない	759名
2. あまりそうとは言えない	211名
1. いいえ	103名
未 未記入	65名

合計 3185名

評価ポイント平均値 3.86

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	1322名
4. かなりそうと言える	920名
3. どちらとも言えない	619名
2. あまりそうとは言えない	153名
1. いいえ	106名
未 未記入	65名

合計 3185名

評価ポイント平均値 4.03

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	1283名
4. かなりそうと言える	939名
3. どちらとも言えない	663名
2. あまりそうとは言えない	139名
1. いいえ	96名
未 未記入	65名

合計 3185名

評価ポイント平均値 4.02

教育改善のための学生アンケート 簡易版

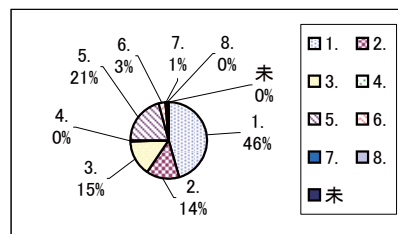
学類
専門教育科目 簡易版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	2436	1753	72.0%

I.

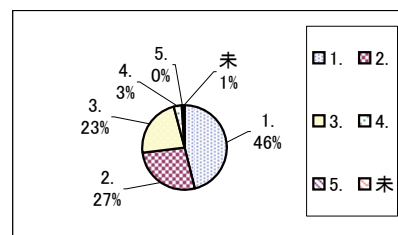
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	797名
2. 行政政策学類	244名
3. 経済経営学類	265名
4. 現代教養コース	8名
5. 共生システム理工学類	365名
6. 教育学部	50名
7. 行政社会学部	16名
8. 経済学部	2名
未 未記入	6名
合計	1753名



(2) 学年(入学してからの年数)

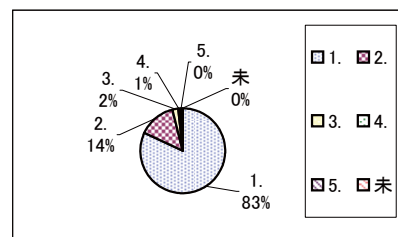
1. 1年	809名
2. 2年	473名
3. 3年	398名
4. 4年	55名
5. 5年以上	8名
未 未記入	10名
合計	1753名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

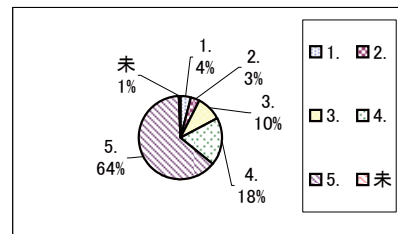
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1438名
2. 89%～70%	247名
3. 69%～50%	39名
4. 49%～30%	14名
5. 29%以下	8名
未 未記入	7名
合計	1753名



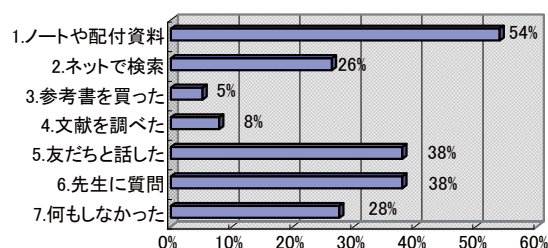
(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	75名
2. 2～3時間未満	58名
3. 1～2時間未満	169名
4. 30分～1時間未満	324名
5. 30分未満	1115名
未 未記入	12名
合計	1753名



(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	945名
2. インターネットで検索した	463名
3. 参考書を買って調べた	91名
4. 図書館で文献を調べた	139名
5. 友だちと話して理解するようにした	665名
6. 先生に質問した	121名
7. 何もなかった	484名



学類
専門教育科目 簡易版合計

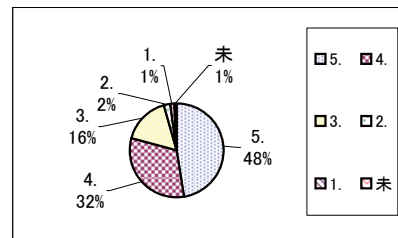
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	2436	1753	72.0%

Ⅲ. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

(観点:授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)

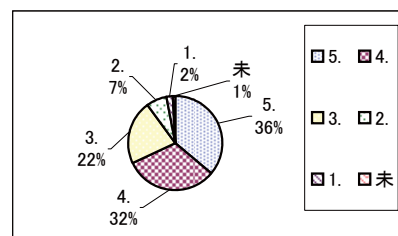
5. はい	832名
4. かなりそうと言える	556名
3. どちらとも言えない	286名
2. あまりそうとは言えない	40名
1. いいえ	22名
未 未記入	17名
合計	1753名
評価ポイント平均値	4.23



(6) 教育の方法は適切でしたか。

(観点:わかりやすい説明, 話し方・声の大きさ, 質問への対応, 板書の仕方・視聴覚機器の活用, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)

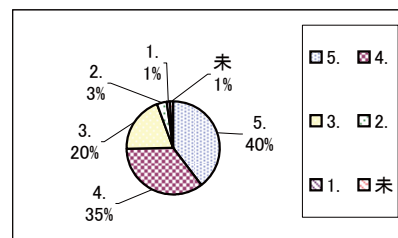
5. はい	632名
4. かなりそうと言える	559名
3. どちらとも言えない	388名
2. あまりそうとは言えない	120名
1. いいえ	37名
未 未記入	17名
合計	1753名
評価ポイント平均値	3.94



(7) 教育の内容は適切でしたか。

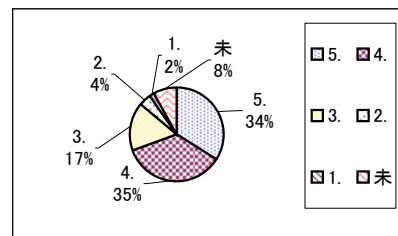
(観点:魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進度, シラバスに記述された目標の達成度)

5. はい	696名
4. かなりそうと言える	614名
3. どちらとも言えない	346名
2. あまりそうとは言えない	57名
1. いいえ	20名
未 未記入	20名
合計	1753名
評価ポイント平均値	4.10



Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	592名
4. かなりそうと言える	624名
3. どちらとも言えない	293名
2. あまりそうとは言えない	73名
1. いいえ	32名
未 未記入	139名
合計	1753名
評価ポイント平均値	4.04



教育改善のための学生アンケート

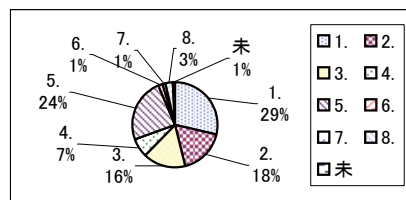
学類
専門教育科目 フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	22958	13311	58.0%

I.

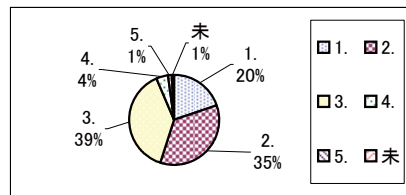
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	3812名	2. 行政政策学類	2337名
3. 経済経営学類	2145名	4. 現代教養コース	948名
5. 共生システム理工学類	3224名	6. 教育学部	198名
7. 行政社会学部	173名	8. 経済学部	376名
未 未記入	98名	合計	13311名



学年(入学してからの年数)

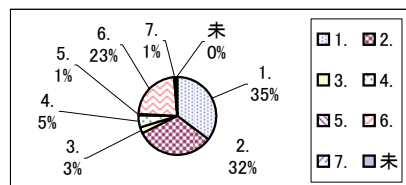
1. 1年	2642名
2. 2年	4661名
3. 3年	5155名
4. 4年	559名
5. 5年以上	184名
未 未記入	110名
合計	13311名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

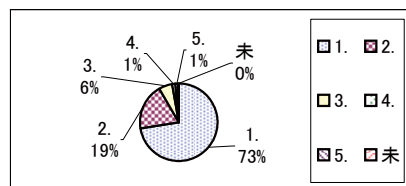
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	4702名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	4315名
3. 単位がとり易そうだったから	348名
4. 受講し易い時間帯にあったから	644名
5. 友人や先輩に勧められたから	83名
6. クラス指定または必修だったから	3048名
7. その他	114名
未 未記入	57名
合計	13311名



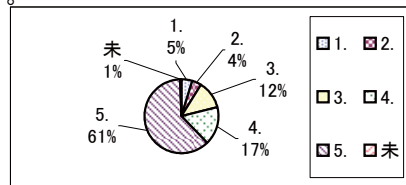
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	9657名
2. 89%~70%	2528名
3. 69%~50%	764名
4. 49%~30%	179名
5. 29%以下	135名
未 未記入	48名
合計	13311名



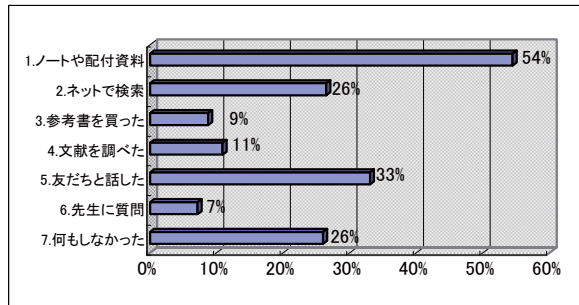
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	623名
2. 2~3時間未満	564名
3. 1~2時間未満	1616名
4. 30分~1時間未満	2233名
5. 30分未満	8202名
未 未記入	73名
合計	13311名



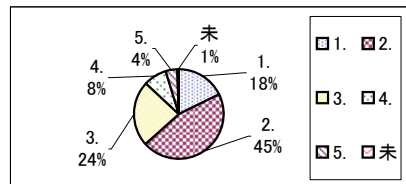
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	7246名
2. インターネットで検索した	3521名
3. 参考書を買って調べた	1163名
4. 図書館で文献を調べた	1448名
5. 友だちと話して理解するようにした	4396名
6. 先生に質問した	950名
7. 何もしなかった	3461名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	2359名
2. ある程度意欲的	6066名
3. どちらとも言えない	3148名
4. あまり意欲的でない	1113名
5. まったく意欲的でない	543名
未 未記入	82名
合計	13311名



学類
専門教育科目 フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	22958	13311	58.0%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、
評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	5842名
4. かなりそうと言える	4313名
3. どちらとも言えない	2386名
2. あまりそうとは言えない	464名
1. いいえ	267名
未 未記入	39名

合計 13311名

評価ポイント平均値 4.13

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	3895名
4. かなりそうと言える	3961名
3. どちらとも言えない	3759名
2. あまりそうとは言えない	1096名
1. いいえ	558名
未 未記入	42名

合計 13311名

評価ポイント平均値 3.72

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	5848名
4. かなりそうと言える	4414名
3. どちらとも言えない	2340名
2. あまりそうとは言えない	464名
1. いいえ	206名
未 未記入	39名

合計 13311名

評価ポイント平均値 4.15

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	4991名
4. かなりそうと言える	3874名
3. どちらとも言えない	2863名
2. あまりそうとは言えない	937名
1. いいえ	598名
未 未記入	48名

合計 13311名

評価ポイント平均値 3.88

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	3686名
4. かなりそうと言える	3523名
3. どちらとも言えない	3440名
2. あまりそうとは言えない	1215名
1. いいえ	649名
未 未記入	798名

合計 13311名

評価ポイント平均値 3.67

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	4294名
4. かなりそうと言える	4189名
3. どちらとも言えない	3943名
2. あまりそうとは言えない	439名
1. いいえ	281名
未 未記入	165名

合計 13311名

評価ポイント平均値 3.90

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	4455名
4. かなりそうと言える	4112名
3. どちらとも言えない	3524名
2. あまりそうとは言えない	627名
1. いいえ	376名
未 未記入	217名

合計 13311名

評価ポイント平均値 3.89

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	3345名
4. かなりそうと言える	3734名
3. どちらとも言えない	4226名
2. あまりそうとは言えない	1274名
1. いいえ	674名
未 未記入	58名

合計 13311名

評価ポイント平均値 3.59

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	3523名
4. かなりそうと言える	3643名
3. どちらとも言えない	4397名
2. あまりそうとは言えない	1002名
1. いいえ	628名
未 未記入	118名

合計 13311名

評価ポイント平均値 3.64

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	3314名
4. かなりそうと言える	4404名
3. どちらとも言えない	3704名
2. あまりそうとは言えない	1140名
1. いいえ	690名
未 未記入	59名

合計 13311名

評価ポイント平均値 3.64

Ⅳ 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	4112名
4. かなりそうと言える	4739名
3. どちらとも言えない	2960名
2. あまりそうとは言えない	785名
1. いいえ	410名
未 未記入	305名

合計 13311名

評価ポイント平均値 3.87

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	5508名
4. かなりそうと言える	4017名
3. どちらとも言えない	2535名
2. あまりそうとは言えない	669名
1. いいえ	299名
未 未記入	283名

合計 13311名

評価ポイント平均値 4.06

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	5906名
4. かなりそうと言える	3539名
3. どちらとも言えない	2299名
2. あまりそうとは言えない	790名
1. いいえ	490名
未 未記入	287名

合計 13311名

評価ポイント平均値 4.04

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	5737名
4. かなりそうと言える	3574名
3. どちらとも言えない	2548名
2. あまりそうとは言えない	718名
1. いいえ	441名
未 未記入	293名

合計 13311名

評価ポイント平均値 4.03

平成19年7月実施 教育改善のための学生アンケート相関係数表

簡易版

人間発達文化学類 教育学部専門科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.632	1.000		
(7)内容	0.575	0.674	1.000	
IV総合満足度	0.282	0.351	0.343	1.000

行政政策学類 行政社会学部専門科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.495	1.000		
(7)内容	0.575	0.491	1.000	
IV総合満足度	0.338	0.267	0.418	1.000

経済経営学類 経済学部相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.750	1.000		
(7)内容	0.681	0.647	1.000	
IV総合満足度	0.550	0.547	0.565	1.000

現代教養コース科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢				
(6)方法				
(7)内容				
IV総合満足度				

共生システム理工学類専門科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.822	1.000		
(7)内容	0.766	0.706	1.000	
IV総合満足度	0.495	0.482	0.425	1.000

フル版

共通領域 共通教育科目相関係数

	III. この授業及び教員の評価										IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)ノウハウ	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	IV総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.597	1.000												
(9)授業準備	0.580	0.517	1.000											
(10)話し方	0.531	0.594	0.587	1.000										
(11)板書	0.255	0.274	0.284	0.290	1.000									
(12)ノウハウ	0.451	0.458	0.519	0.482	0.297	1.000								
(13)教科書	0.415	0.438	0.460	0.431	0.346	0.509	1.000							
(14)進め方	0.499	0.662	0.488	0.581	0.286	0.499	0.517	1.000						
(15)時間外学習	0.450	0.547	0.459	0.503	0.277	0.473	0.490	0.633	1.000					
(16)授業理解度	0.486	0.559	0.490	0.578	0.311	0.486	0.472	0.654	0.549	1.000				
IV総合満足度	0.455	0.498	0.414	0.475	0.232	0.387	0.377	0.513	0.427	0.559	1.000			
(18)学習雰囲気	0.432	0.450	0.421	0.426	0.243	0.387	0.367	0.450	0.419	0.439	0.569	1.000		
(19)設備	0.366	0.332	0.397	0.349	0.194	0.347	0.316	0.343	0.331	0.354	0.474	0.697	1.000	
(20)受講者数	0.336	0.328	0.357	0.323	0.187	0.339	0.305	0.329	0.317	0.333	0.458	0.670	0.810	1.000

人間発達文化学類 教育学部専門科目相関係数

	III. この授業及び教員の評価										IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)ノウハウ	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	IV総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.571	1.000												
(9)授業準備	0.621	0.587	1.000											
(10)話し方	0.529	0.642	0.622	1.000										
(11)板書	0.275	0.356	0.316	0.420	1.000									
(12)ノウハウ	0.474	0.479	0.529	0.526	0.375	1.000								
(13)教科書	0.455	0.467	0.500	0.497	0.362	0.568	1.000							
(14)進め方	0.540	0.703	0.544	0.618	0.367	0.529	0.556	1.000						
(15)時間外学習	0.482	0.595	0.500	0.561	0.351	0.516	0.536	0.694	1.000					
(16)授業理解度	0.536	0.606	0.520	0.590	0.359	0.511	0.531	0.705	0.615	1.000				
IV総合満足度	0.469	0.546	0.466	0.508	0.291	0.409	0.428	0.557	0.480	0.597	1.000			
(18)学習雰囲気	0.407	0.406	0.411	0.417	0.250	0.356	0.368	0.423	0.407	0.394	0.583	1.000		
(19)設備	0.332	0.286	0.342	0.320	0.231	0.305	0.297	0.304	0.319	0.285	0.473	0.743	1.000	
(20)受講者数	0.319	0.285	0.330	0.316	0.243	0.312	0.292	0.299	0.324	0.281	0.462	0.749	0.874	1.000

行政政策学類 行政社会学部専門科目相関係数

	Ⅲ. この授業及び教員の評価										Ⅳ. 総合満足度	Ⅴ. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)ﾄﾗﾅｽ	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	Ⅳ総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.665	1.000												
(9)授業準備	0.617	0.570	1.000											
(10)話し方	0.677	0.717	0.589	1.000										
(11)板書	0.407	0.480	0.395	0.503	1.000									
(12)ﾄﾗﾅｽ	0.512	0.525	0.531	0.529	0.424	1.000								
(13)教科書	0.591	0.630	0.555	0.603	0.410	0.623	1.000							
(14)進め方	0.562	0.735	0.471	0.636	0.433	0.531	0.660	1.000						
(15)時間外学習	0.559	0.659	0.485	0.568	0.379	0.517	0.638	0.725	1.000					
(16)授業理解度	0.557	0.658	0.449	0.638	0.439	0.514	0.612	0.718	0.623	1.000				
Ⅳ総合満足度	0.535	0.613	0.425	0.604	0.402	0.453	0.552	0.579	0.533	0.654	1.000			
(18)学習雰囲気	0.485	0.489	0.449	0.485	0.316	0.401	0.475	0.446	0.445	0.449	0.523	1.000		
(19)設備	0.338	0.375	0.376	0.344	0.234	0.321	0.353	0.337	0.341	0.320	0.386	0.724	1.000	
(20)受講者数	0.321	0.349	0.367	0.314	0.229	0.305	0.340	0.330	0.324	0.315	0.378	0.716	0.851	1.000

経済経営学類 経済学部相関係数

	Ⅲ. この授業及び教員の評価										Ⅳ. 総合満足度	Ⅴ. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)ﾄﾗﾅｽ	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	Ⅳ総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.587	1.000												
(9)授業準備	0.613	0.554	1.000											
(10)話し方	0.571	0.624	0.620	1.000										
(11)板書	0.404	0.433	0.446	0.505	1.000									
(12)ﾄﾗﾅｽ	0.480	0.468	0.547	0.483	0.451	1.000								
(13)教科書	0.501	0.515	0.544	0.487	0.413	0.619	1.000							
(14)進め方	0.531	0.677	0.512	0.586	0.439	0.518	0.559	1.000						
(15)時間外学習	0.511	0.606	0.500	0.536	0.398	0.496	0.530	0.674	1.000					
(16)授業理解度	0.516	0.576	0.471	0.563	0.450	0.499	0.521	0.703	0.626	1.000				
Ⅳ総合満足度	0.458	0.467	0.425	0.475	0.354	0.424	0.431	0.509	0.439	0.558	1.000			
(18)学習雰囲気	0.392	0.356	0.396	0.380	0.266	0.352	0.349	0.357	0.368	0.342	0.561	1.000		
(19)設備	0.282	0.291	0.319	0.298	0.234	0.333	0.294	0.299	0.297	0.283	0.471	0.761	1.000	
(20)受講者数	0.280	0.285	0.323	0.285	0.241	0.320	0.291	0.311	0.308	0.285	0.465	0.753	0.870	1.000

現代教養コース科目相関係数

	Ⅲ. この授業及び教員の評価										Ⅳ. 総合満足度	Ⅴ. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)ﾄﾗﾅｽ	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	Ⅳ総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.657	1.000												
(9)授業準備	0.602	0.566	1.000											
(10)話し方	0.596	0.637	0.650	1.000										
(11)板書	0.328	0.334	0.345	0.382	1.000									
(12)ﾄﾗﾅｽ	0.498	0.503	0.545	0.451	0.341	1.000								
(13)教科書	0.434	0.422	0.500	0.448	0.466	0.537	1.000							
(14)進め方	0.551	0.702	0.518	0.607	0.370	0.535	0.558	1.000						
(15)時間外学習	0.504	0.614	0.528	0.523	0.389	0.531	0.546	0.727	1.000					
(16)授業理解度	0.542	0.653	0.532	0.572	0.370	0.504	0.500	0.723	0.666	1.000				
Ⅳ総合満足度	0.359	0.381	0.341	0.371	0.196	0.303	0.291	0.438	0.388	0.405	1.000			
(18)学習雰囲気	0.370	0.309	0.346	0.333	0.139	0.310	0.257	0.327	0.307	0.305	0.644	1.000		
(19)設備	0.228	0.204	0.269	0.208	0.096	0.213	0.220	0.239	0.239	0.211	0.549	0.787	1.000	
(20)受講者数	0.255	0.225	0.268	0.248	0.116	0.224	0.229	0.263	0.257	0.228	0.568	0.790	0.890	1.000

共生システム理工学類専門科目相関係数

	Ⅲ. この授業及び教員の評価										Ⅳ. 総合満足度	Ⅴ. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)ﾄﾗﾅｽ	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	Ⅳ総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.694	1.000												
(9)授業準備	0.641	0.600	1.000											
(10)話し方	0.632	0.687	0.633	1.000										
(11)板書	0.337	0.417	0.455	0.504	1.000									
(12)ﾄﾗﾅｽ	0.510	0.498	0.583	0.519	0.449	1.000								
(13)教科書	0.524	0.518	0.555	0.521	0.411	0.641	1.000							
(14)進め方	0.588	0.708	0.561	0.643	0.474	0.536	0.580	1.000						
(15)時間外学習	0.576	0.623	0.575	0.576	0.423	0.553	0.557	0.679	1.000					
(16)授業理解度	0.513	0.605	0.540	0.577	0.493	0.504	0.510	0.682	0.613	1.000				
Ⅳ総合満足度	0.475	0.542	0.486	0.504	0.373	0.428	0.435	0.557	0.487	0.607	1.000			
(18)学習雰囲気	0.427	0.455	0.441	0.441	0.306	0.398	0.387	0.443	0.401	0.438	0.587	1.000		
(19)設備	0.328	0.354	0.385	0.354	0.309	0.355	0.354	0.351	0.336	0.371	0.521	0.718	1.000	
(20)受講者数	0.347	0.367	0.397	0.359	0.303	0.368	0.366	0.361	0.347	0.378	0.519	0.737	0.893	1.000



「教育改善のための学生アンケート」集計結果

平成20年1月実施 教育改善のための 学生アンケート 後期開講科目実施状況

平成19年度後期 教育改善のための学生アンケート実施状況 分類毎)

共通領域・共通教育科目

分野	科目	分類 コード	科目数	件数			人数（受講者1桁科目を含む）			人数（受講者1桁科目を除く）			備考		
				対象数	実施数	実施率	受講者数 (延べ 人)	回答者数 (延べ 人)	回答率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	1桁・受講者	1桁・回答者	
総合科目			5	5	4	80.0%	841	491	58.4%	841	491	58.4%	無し	無し	
広域選択科目	人間と文化		8	8	7	87.5%	1,588	925	58.2%	1,588	925	58.2%	無し	無し	
	社会と歴史		6	6	5	83.3%	1,133	545	48.1%	1,133	545	48.1%	無し	無し	
	自然と技術		6	6	4	66.7%	727	356	49.0%	727	356	49.0%	無し	無し	
			4	4	2	50.0%	288	95	33.0%	288	95	33.0%	無し	無し	
情報教育科目			4	4	2	50.0%	288	95	33.0%	288	95	33.0%	無し	無し	
健康・運動科目	健康・運動科学実習		21	21	20	95.2%	968	873	90.2%	967	873	90.3%	1科目1名	無し	
	スポーツ実習		4	4	4	100.0%	108	69	63.9%	108	69	63.9%	無し	1科目9名	
英語	英語AⅠ・AⅡ		48	48	45	93.8%	1,969	1,561	79.3%	1,952	1,549	79.4%	2科目17名	3科目21名	
	英語BⅠ・BⅡ		44	44	40	90.9%	1,770	1,388	78.4%	1,743	1,374	78.8%	6科目27名	3科目14名	
	英語Ⅱ		1	1	1	100.0%	16	13	81.3%	16	13	81.3%	無し	無し	
	英語Ⅳ		1	1	1	100.0%	48	44	91.7%	48	44	91.7%	無し	無し	
	英語Ⅵ		1	1	1	100.0%	6	6	100.0%	0	0	0.0%	1科目6名	1科目6名	
			18	18	15	83.3%	595	522	87.7%	583	519	89.0%	3科目12名	1科目3名	
非英外国語	ドイツ語		18	18	15	83.3%	595	522	87.7%	583	519	89.0%	3科目12名	1科目3名	
	フランス語		15	15	7	46.7%	376	187	49.7%	363	182	50.1%	3科目13名	1科目5名	
	中国語		22	22	19	86.4%	753	656	87.1%	732	647	88.4%	3科目21名	1科目9名	
	ロシア語		6	6	6	100.0%	154	149	96.8%	142	139	97.9%	2科目12名	2科目10名	
	スペイン語		4	4	1	25.0%	65	32	49.2%	63	32	50.8%	1科目12名	無し	
	日本語	日本語		2	2	2	100.0%	45	42	93.3%	45	42	93.3%	無し	無し
		日本事情Ⅳ		1	1	1	100.0%	11	9	81.8%	11	9	81.8%	無し	1科目9名
計			217	217	185	85.3%	11,461	7,963	69.5%	11,350	7,904	69.6%	22科目121名	14科目86名	

の範囲の科目群で集計した。ただし、日本語は担当者が特定されるため集計しない。スペイン語は1科目のみ実施のため集計しない。

4学類 3学部専門教育科目

分野	科目	分類コード	科目数	件数			人数(受講者1桁科目を含む)			人数(受講者1桁科目を除く)			備考	
				対象数	実施数	実施率	受講者数(延べ)	回答者数(延べ)	回答率	受講者数(延べ数)	回答者数(延べ数)	回答率	1桁・受講者	1桁・回答者
人間発達文化学類・教育学部専門科目		簡易版	6	6	6	100.0%	453	366	80.8%	453	366	80.8%	無し	無し
		フル版	152	152	115	75.7%	6,507	3,906	60.0%	6,507	3,906	60.0%	無し	7科目51名
行政政策学類・行政社会学部専門科目		簡易版	4	4	3	75.0%	510	280	54.9%	510	280	54.9%	無し	無し
		フル版	45	45	31	68.9%	3,320	1,387	41.8%	3,303	1,368	41.4%	3科目17名	3科目17名
経済経営学類・経済学部専門科目		簡易版	5	5	5	100.0%	597	434	72.7%	597	435	72.9%	無し	無し
		フル版	74	74	51	68.9%	5,214	1,963	37.6%	5,150	1,924	37.4%	11科目64名	12科目63名
現代教養コース		簡易版	1	1	1	100.0%	58	42	72.4%	58	42	72.4%	無し	無し
		フル版	35	35	26	74.3%	1,343	812	60.5%	1,325	799	60.3%	3科目18名	2科目13名
共生システム理工学類専門科目		簡易版	9	9	8	88.9%	784	447	57.0%	784	447	57.0%	無し	無し
		フル版	58	58	53	91.4%	3,004	2,070	68.9%	2,987	2,058	68.9%	5科目17名	5科目22名
計			389	389	299	76.9%	21,790	11,707	53.7%	21,674	11,625	53.6%	22科目116名	29科目166名

の範囲の科目群で集計した。ただし、現代教養コース簡易版は1科目のみ実施のため集計しない。

授業コード番号					
---------	--	--	--	--	--

教育改善のための学生アンケート 簡易版

2008年1月実施
福島大学FDプロジェクト

◆このアンケートは、本学の教育改善のため、学生みなさんにご協力をいただいて実施するものです。
◆このアンケートの集計結果の取り扱いについては、次のとおりです。
①各科目の集計結果は、それぞれの授業担当教員にフィードバックされます。
②共通科目は各科目グループに分類し、科目グループ単位の集計結果を報告書において公表します。
③専門科目は各学部・学類ごとに集計し、その集計結果を報告書において公表します。
④報告書は福島大学ホームページにて公開しています。

I. (1) 学籍番号の最初の5桁を記入してください
(統計処理上、所属と学年を把握するためです)。

(1)					
-----	--	--	--	--	--

II. この授業についてのあなた自身の取り組みについておたずねします。
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。
1. 90%以上 2. 89~70% 3. 69~50% 4. 49~30% 5. 29%以下

(2)	
-----	--

(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。
1. 3時間以上 2. 2~3時間未満 3. 1~2時間未満
4. 30分~1時間未満 5. 30分未満

(3)	
-----	--

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。
1. ノートや配付資料を復習した 2. インターネットで検索した 3. 参考書を買って調べた
4. 図書館で文献を調べた 5. 友達と話し理解するようにした
6. 先生に質問した 7. 何もしなかった

(4)			
-----	--	--	--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント(数字)記入してください。】
5: はい, 4: かなりそうだとと言える, 3: どちらとも言えない, 2: あまりそうとは言えない, 1: いいえ

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか(観点: 授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)。

(5)	(5 択式)	(理由)

(6) 教育の方法は適切でしたか(観点: わかりやすい説明, 話し方・声の大きさ, 質問への対応, 板書の仕方・視聴覚機器の活用, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)。

(6)	(5 択式)	(理由)

(7) 授業の内容は適切でしたか(観点: 魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進捗, シラバスに記述された目標の達成度等)。

(7)	(5 択式)	(理由)

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

IV.	
-----	--

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

--

教育改善のための学生アンケート

2008年1月実施
福島大学FDプロジェクト

- ☐ 該当する番号を□に記入してください。
- ☐ 自由記載欄には思っていることを率直に述べてください。

- I. (1)学籍番号の最初の5桁を記入してください
(統計処理上、所属と学年を把握するためです)。

(1)					
-----	--	--	--	--	--

- II. この授業についてのあなた自身の取り組みについておたずねします。

- (2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 勉学面で関心があったから | 2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから |
| 3. 単位がとり易そうだったから | 4. 受講し易い時間帯にあったから |
| 5. 友人や先輩に勧められたから | 6. クラス指定または必修だったから |
| 7. その他() | |

(2)	
-----	--

- (3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上 2. 89～70% 3. 69～50% 4. 49～30% 5. 29%以下

(3)	
-----	--

- (4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上 2. 2～3時間未満 3. 1～2時間未満
4. 30分～1時間未満 5. 30分未満

(4)	
-----	--

- (5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した 2. インターネットで検索した 3. 参考書を買って調べた
4. 図書館で文献を調べた 5. 友だちと話して理解するようにした
6. 先生に質問した 7. 何もしなかった

(5)			
-----	--	--	--

- (6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的 2. ある程度意欲的 3. どちらともいえない
4. あまり意欲的でない 5. まったく意欲的でない

(6)	
-----	--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント(数字)を□に記入してください。】

5: はい, 4: かなりそうだとと言える, 3: どちらとも言えない, 2: あまりそうとは言えない, 1: いいえ

- III. この授業及び担当教員に関して、次の項目について評価をし、評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。(担当教員が複数の場合は総合的に判断してお答えください。)

- (7) 授業への熱意が感じられた。

(7)	
-----	--

- (8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

(8)	
-----	--

- (9) 授業の準備がしっかりなされていた。

(9)	
-----	--

- (10) 聞き取り易い話し方だった。

(10)	
------	--

- (11) 板書・OHPなどは見やすかった。(使用していない授業の場合は空欄にしてください。)

(11)	
------	--

- (12) シラバスの記述は適切であった。

(12)	
------	--

- (13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

(13)	
------	--

- (14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

(14)	
------	--

- (15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

(15)	
------	--

- (16) 授業の内容はよく理解できた。

(16)	
------	--

- (17)その他、この授業に関して、①授業の良かった点、②授業で改善すべき点、③印象に残った点、④疑問点、⑤自らの学習を振り返って感じたこと、⑥この Semester での自らの勉学目標とこの授業の位置づけ及びその目標達成度、⑦これからの自分の学習展望など、今感じていることを自由に書いてください。

--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント（数字）を□に記入してください。
5：はい、4：かなりそうだとと言える、3：どちらとも言えない、2：あまりそうとは言えない、1：いいえ

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。評価ポイント 5～1 のいずれかの数字でお答えください。

IV.	
-----	--

V. 教育環境について評価をし、評価ポイント 5～1 のいずれかの数字でお答えください。

(18)授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

(18)	
------	--

(19)授業の場の大きさや設備等は適切であった。

(19)	
------	--

(20)受講者数は適切であった。

(20)	
------	--

その他、教育環境について改善すべき点があれば、(17)の自由記述欄に書いてください。

VI. 授業科目担当教員からの自由設問欄

VI.	(5 択式)
-----	--------

(担当教員から独自の質問事項が提示されたときは、この欄に回答してください。)

(記述式)

--

◆このアンケートは、本学の教育改善のため、学生のみなさんにご協力をいただいて実施するものです。

◆このアンケートの集計結果の取り扱いについては、次のとおりです。

- ①各科目の集計結果は、それぞれの授業担当教員にフィードバックされます。
- ②共通科目は各科目グループに分類し、科目グループ単位の集計結果を報告書において公表します。
- ③専門科目は各学部・学類ごとに集計し、その集計結果を報告書において公表します。
- ④報告書は福島大学ホームページにて公開しています。

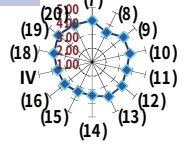
平成 20 年 1 月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況 (後期 通年) 共通領域 共通教育科目

科目群毎の学生アンケート実施率		総合科目	人間と文化	社会と歴史	自然と技術	情報教育	健康・運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)	5	8	6	6	4	25	95	18	15	22	6	4	3	217
	学生アンケート実施科目数(b)	4	7	5	4	2	24	88	15	7	19	6	1	3	185
	学生アンケート実施率(b/a %)	80.0%	87.5%	83.3%	66.7%	50.0%	96.0%	92.6%	83.3%	46.7%	86.4%	100.0%	25.0%	100.0%	85.3%
人数	学生アンケート受講者数(c)	841	1,588	1,133	727	288	1,075	3,759	583	363	732	142	63	56	11,350
	学生アンケート回答者数(d)	491	925	545	356	95	942	2,980	519	182	647	139	32	51	7,904
	学生アンケート回答率(d/c %)	58.4%	58.2%	48.1%	49.0%	33.0%	87.6%	79.3%	89.0%	50.1%	88.4%	97.9%	50.8%	91.1%	69.6%

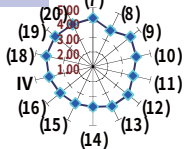
教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値 科目群毎

	番号	設 問	総合科目	人間と文化	社会と歴史	自然と技術	情報教育	健康・運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
授業及び担当教官	(7)	授業への熱意が感じられた	4.04	4.29	4.22	4.23	3.84	4.64	4.33	4.42	4.60	4.29	4.79			4.34
	(8)	学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた	3.42	3.71	3.44	3.59	3.32	4.31	4.15	4.03	4.22	3.94	4.43			3.97
	(9)	授業の準備がしっかりなされていた	3.94	4.25	4.36	4.52	3.97	4.37	4.33	4.42	4.42	4.26	4.73			4.32
	(10)	聞き取りやすい話し方だった	3.83	4.01	4.07	4.24	3.58	4.38	4.25	4.15	4.41	4.12	4.53			4.18
	(11)	板書・HPなどが見やすかった	3.59	3.79	3.69	4.11	3.52	4.14	4.06	3.97	4.27	3.83	4.04			3.95
	(12)	シラバスの記述は適切であった	3.79	4.05	3.94	4.05	3.74	4.26	4.21	4.14	4.26	4.09	4.38			4.13
	(13)	教科書・参考書・資料などは適切であった	3.79	3.98	4.03	3.78	3.82	4.02	4.26	4.24	4.25	4.14	4.55			4.12
	(14)	学生の理解度や達成度を見ながら進められた	3.43	3.71	3.35	3.35	3.47	4.18	4.07	4.12	4.08	4.01	4.36			3.91
	(15)	時間外学習の情報提供・指示が十分であった	3.39	3.76	3.68	3.57	3.32	3.95	4.03	4.05	4.12	3.99	4.25			3.90
	(16)	授業の内容はよく理解できた	3.57	3.86	3.69	3.54	3.54	4.37	4.13	3.99	3.90	3.97	4.22			4.00
総合	IV	総合的にみてこの授業に満足しましたか	3.60	4.06	3.96	3.96	3.62	4.45	4.30	4.29	4.22	4.19	4.48			4.19
教育環境	(18)	授業の場では学習する雰囲気は保たれた	3.86	4.26	4.20	3.85	4.14	4.47	4.41	4.51	4.58	4.47	4.70			4.34
	(19)	授業の場の大きさや設備は適切であった	4.15	4.29	4.23	4.18	4.41	4.52	4.53	4.53	4.59	4.53	4.72			4.44
	(20)	受講者数は適切であった	4.01	4.19	4.16	3.94	4.37	4.41	4.50	4.52	4.65	4.50	4.69			4.38

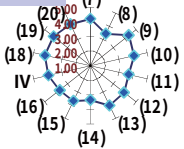
総合科目



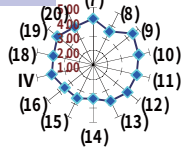
人間と文化



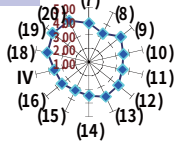
社会と歴史



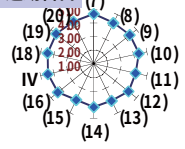
自然と技術



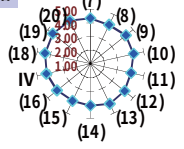
情報教育



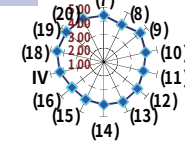
健康・運動科目



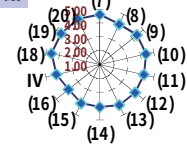
英語



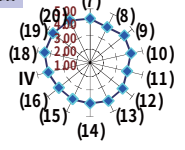
ドイツ語



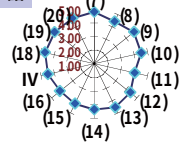
フランス語



中国語

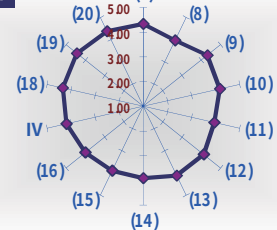


ロシア語



※評価ポイント
5 強く思う
4 やや思う
3 どちらとも言えない
2 あまりそう思わない
1 まったくそう思わない
※ 日本語はクラスが特定されるので公表から外す。

合計

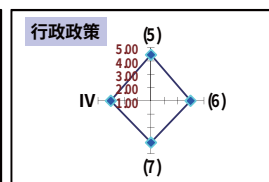
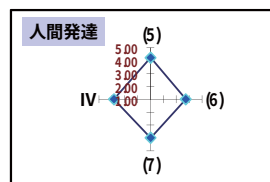


平成20年1月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況 (後期・通年)専門教育科目)

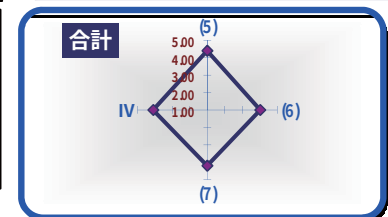
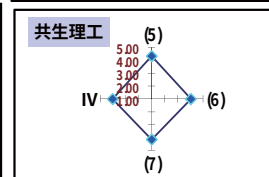
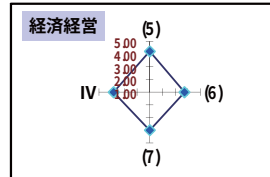
学類毎の学生アンケート実施率		簡易版]						フル版]						総計]					
		人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計	人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計	人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)	6	4	5	1	9	25	152	45	74	35	58	364	158	49	79	36	67	389
	学生アンケート実施科目数(b)	6	3	5	1	8	23	115	31	51	26	53	276	121	34	56	27	61	299
	学生アンケート実施率(b/a :%)	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	88.9%	92.0%	75.7%	68.9%	68.9%	74.3%	91.4%	75.8%	76.6%	69.4%	70.9%	75.0%	91.0%	76.9%
人数	学生アンケート受講者数(c)	453	510	597	58	784	2,402	6,507	3,303	5,150	1,325	2,987	19,272	6,960	3,813	5,747	1,383	3,771	21,674
	学生アンケート回答者数(d)	366	280	435	42	447	1,570	3,906	1,368	1,924	799	2,058	10,055	4,272	1,648	2,359	841	2,505	11,625
	学生アンケート回答率(d/c :%)	80.8%	54.9%	72.9%	72.4%	57.0%	65.4%	60.0%	41.4%	37.4%	60.3%	68.9%	52.2%	61.4%	43.2%	41.0%	60.8%	66.4%	53.6%

教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値 学類毎)

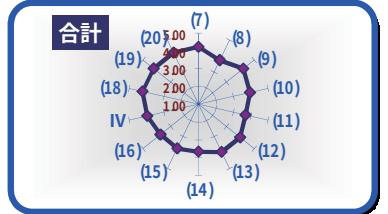
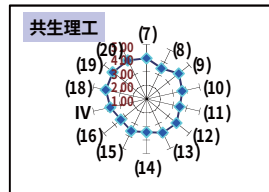
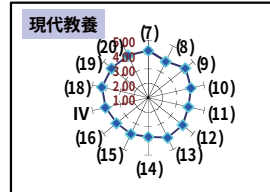
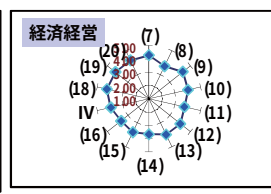
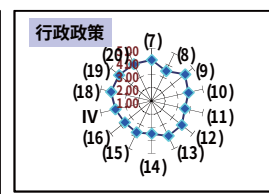
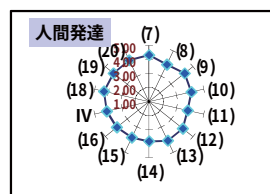
学類毎の学生アンケート実施率		人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計
授業担当及び官	(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか	4.22	4.48	4.56		4.34	4.40
	(6) 教育の方法は適切でしたか	3.73	3.99	4.32		4.06	4.04
	(7) 教育の内容は適切でしたか	3.99	4.16	4.47		4.15	4.20
総合	IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか	3.85	4.04	4.43		4.05	4.11



※評価ポイント
 5 強く思う
 4 やや思う
 3 どちらとも言えない
 2 あまり思わない
 1 まったく思わない
 ※簡易版の現代教養コースは1科目のみのため外す。



学類毎の学生アンケート実施率		人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計
授業及び担当教官	(7) 授業への熱意が感じられた	4.33	4.15	4.28	4.29	4.01	4.23
	(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた	3.94	3.55	3.71	3.80	3.52	3.75
	(9) 授業の準備がしっかりなされていた	4.25	4.27	4.26	4.30	4.03	4.21
	(10) 聞き取りやすい話し方だった	4.10	3.89	4.02	4.05	3.69	3.97
	(11) 板書・HPなどは見やすかった	3.82	3.60	3.74	3.87	3.49	3.71
	(12) シラバスの記述は適切であった	4.08	3.94	4.02	4.06	3.80	3.99
	(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった	4.08	3.96	3.98	4.09	3.73	3.98
	(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた	3.83	3.50	3.67	3.73	3.43	3.66
	(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった	3.84	3.65	3.78	3.81	3.59	3.75
	(16) 授業の内容はよく理解できた	3.94	3.61	3.67	3.85	3.41	3.73
総合	IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか	4.10	3.84	3.94	4.07	3.72	3.95
教育環境	(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた	4.30	4.18	4.25	4.33	4.07	4.23
	(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった	4.25	4.18	4.23	4.29	4.18	4.22
	(20) 受講者数は適切であった	4.28	4.13	4.21	4.27	4.17	4.22



教育改善のための学生アンケート

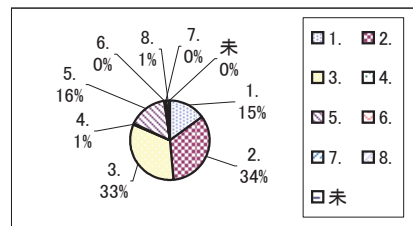
分野	科目
総合科目	総合科目

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	841	491	58.4%

I.

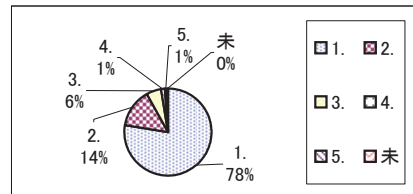
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	73名	2. 行政政策学類	165名
3. 経済経営学類	161名	4. 現代教養コース	3名
5. 共生システム理工学類	78名	6. 教育学部	2名
7. 行政社会学部	2名	8. 経済学部	5名
未 未記入・無効	2名	合計	491名



学年(入学してからの年数)

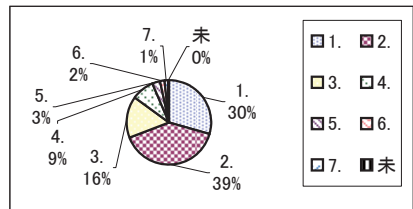
1. 1年	381名
2. 2年	70名
3. 3年	28名
4. 4年	7名
5. 5年以上	3名
未 未記入・無効	2名
合計	491名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

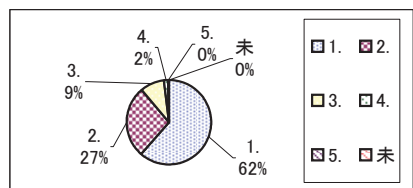
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	145名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	194名
3. 単位がとり易そうだったから	78名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	42名
5. 友人や先輩に勧められたから	16名
6. クラス指定または必修だったから	8名
7. その他	7名
未 未記入・無効	1名
合計	491名



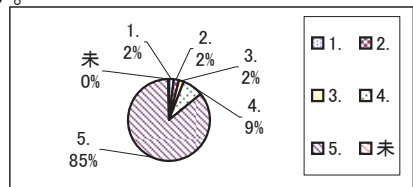
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	302名
2. 89%~70%	134名
3. 69%~50%	45名
4. 49%~30%	9名
5. 29%以下	1名
未 未記入・無効	0名
合計	491名



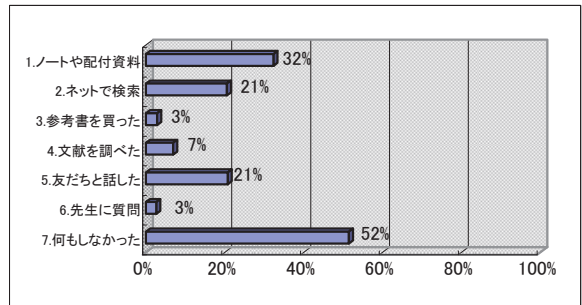
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	9名
2. 2~3時間未満	10名
3. 1~2時間未満	9名
4. 30分~1時間未満	42名
5. 30分未満	419名
未 未記入・無効	2名
合計	491名



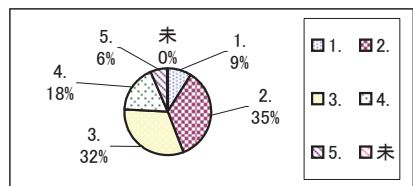
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	159名
2. インターネットで検索した	101名
3. 参考書を買って調べた	14名
4. 図書館で文献を調べた	34名
5. 友だちと話して理解するようにした	102名
6. 先生に質問した	13名
7. 何もしなかった	253名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	43名
2. ある程度意欲的	174名
3. どちらとも言えない	156名
4. あまり意欲的でない	86名
5. まったく意欲的でない	31名
未 未記入・無効	1名
合計	491名



分野	科目
総合科目	総合科目

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	841	491	58.4%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目について評価をし、
評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	192名
4. かなりそうと言える	168名
3. どちらとも言えない	102名
2. あまりそうとは言えない	18名
1. いいえ	11名
未 未記入・無効	0名

合計 491名

評価ポイント平均値 4.04

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	91名
4. かなりそうと言える	125名
3. どちらとも言えない	192名
2. あまりそうとは言えない	63名
1. いいえ	20名
未 未記入・無効	0名

合計 491名

評価ポイント平均値 3.42

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	187名
4. かなりそうと言える	147名
3. どちらとも言えない	113名
2. あまりそうとは言えない	27名
1. いいえ	17名
未 未記入・無効	0名

合計 491名

評価ポイント平均値 3.94

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	145名
4. かなりそうと言える	169名
3. どちらとも言えない	133名
2. あまりそうとは言えない	32名
1. いいえ	11名
未 未記入・無効	1名

合計 491名

評価ポイント平均値 3.83

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	97名
4. かなりそうと言える	138名
3. どちらとも言えない	163名
2. あまりそうとは言えない	41名
1. いいえ	12名
未 未記入・無効	40名

合計 491名

評価ポイント平均値 3.59

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	144名
4. かなりそうと言える	159名
3. どちらとも言えない	137名
2. あまりそうとは言えない	32名
1. いいえ	15名
未 未記入・無効	4名

合計 491名

評価ポイント平均値 3.79

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	136名
4. かなりそうと言える	154名
3. どちらとも言えない	161名
2. あまりそうとは言えない	30名
1. いいえ	6名
未 未記入・無効	4名

合計 491名

評価ポイント平均値 3.79

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	92名
4. かなりそうと言える	119名
3. どちらとも言えない	208名
2. あまりそうとは言えない	54名
1. いいえ	18名
未 未記入・無効	0名

合計 491名

評価ポイント平均値 3.43

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	92名
4. かなりそうと言える	124名
3. どちらとも言えない	186名
2. あまりそうとは言えない	58名
1. いいえ	29名
未 未記入・無効	2名

合計 491名

評価ポイント平均値 3.39

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	97名
4. かなりそうと言える	173名
3. どちらとも言えない	154名
2. あまりそうとは言えない	48名
1. いいえ	19名
未 未記入・無効	0名

合計 491名

評価ポイント平均値 3.57

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	98名
4. かなりそうと言える	170名
3. どちらとも言えない	145名
2. あまりそうとは言えない	42名
1. いいえ	20名
未 未記入・無効	16名

合計 491名

評価ポイント平均値 3.60

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	162名
4. かなりそうと言える	152名
3. どちらとも言えない	117名
2. あまりそうとは言えない	34名
1. いいえ	14名
未 未記入・無効	12名

合計 491名

評価ポイント平均値 3.86

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	222名
4. かなりそうと言える	137名
3. どちらとも言えない	98名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	6名
未 未記入・無効	12名

合計 491名

評価ポイント平均値 4.15

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	187名
4. かなりそうと言える	153名
3. どちらとも言えない	103名
2. あまりそうとは言えない	26名
1. いいえ	9名
未 未記入・無効	13名

合計 491名

評価ポイント平均値 4.01

教育改善のための学生アンケート

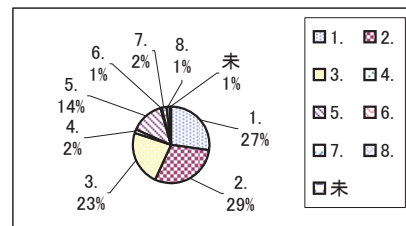
分野	科目
広域選択科目	人間と文化

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	1588	925	58.2%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	253名	2. 行政政策学類	275名
3. 経済経営学類	213名	4. 現代教養コース	14名
5. 共生システム理工学類	128名	6. 教育学部	7名
7. 行政社会学部	17名	8. 経済学部	13名
未 未記入・無効	5名	合計	925名

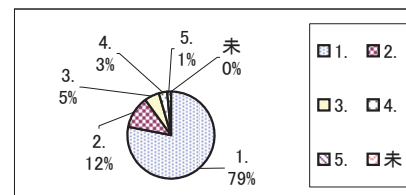


学年(入学してからの年数)

1. 1年	722名
2. 2年	111名
3. 3年	50名
4. 4年	28名
5. 5年以上	13名
未 未記入・無効	1名

合計

925名



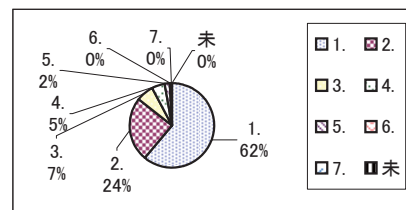
II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	566名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	225名
3. 単位がとり易そうだったから	61名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	47名
5. 友人や先輩に勧められたから	19名
6. クラス指定または必修だったから	4名
7. その他	3名
未 未記入・無効	0名

合計

925名

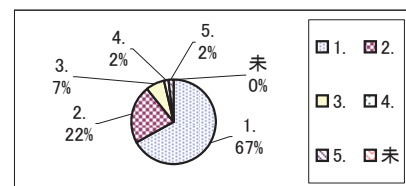


(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	619名
2. 89%~70%	206名
3. 69%~50%	66名
4. 49%~30%	16名
5. 29%以下	17名
未 未記入・無効	1名

合計

925名

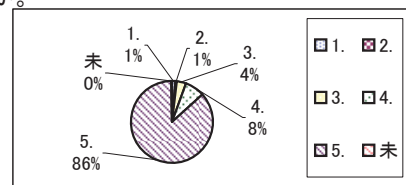


(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	12名
2. 2~3時間未満	7名
3. 1~2時間未満	33名
4. 30分~1時間未満	71名
5. 30分未満	800名
未 未記入・無効	2名

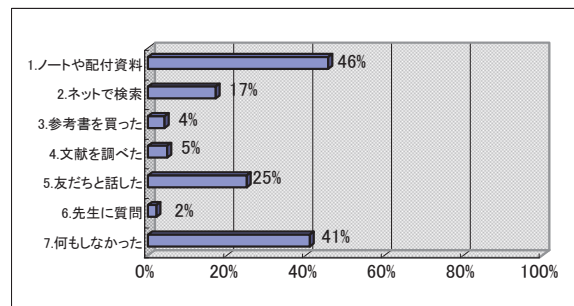
合計

925名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	423名
2. インターネットで検索した	159名
3. 参考書を買って調べた	39名
4. 図書館で文献を調べた	45名
5. 友だちと話して理解するようにした	232名
6. 先生に質問した	20名
7. 何もしなかった	380名

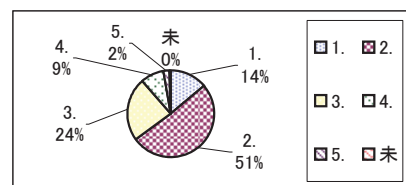


(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	128名
2. ある程度意欲的	473名
3. どちらとも言えない	219名
4. あまり意欲的でない	80名
5. まったく意欲的でない	21名
未 未記入・無効	4名

合計

925名



分野	科目
広域選択科目	人間と文化

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	1588	925	58.2%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目について評価をし、
評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	469名
4. かなりそうと言える	294名
3. どちらとも言えない	135名
2. あまりそうとは言えない	18名
1. いいえ	9名
未 未記入・無効	0名

合計 925名

評価ポイント平均値 4.29

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	264名
4. かなりそうと言える	267名
3. どちらとも言えない	287名
2. あまりそうとは言えない	80名
1. いいえ	27名
未 未記入・無効	0名

合計 925名

評価ポイント平均値 3.71

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	451名
4. かなりそうと言える	295名
3. どちらとも言えない	146名
2. あまりそうとは言えない	24名
1. いいえ	9名
未 未記入・無効	0名

合計 925名

評価ポイント平均値 4.25

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	380名
4. かなりそうと言える	271名
3. どちらとも言えない	198名
2. あまりそうとは言えない	55名
1. いいえ	21名
未 未記入・無効	0名

合計 925名

評価ポイント平均値 4.01

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	300名
4. かなりそうと言える	260名
3. どちらとも言えない	226名
2. あまりそうとは言えない	89名
1. いいえ	28名
未 未記入・無効	22名

合計 925名

評価ポイント平均値 3.79

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	358名
4. かなりそうと言える	312名
3. どちらとも言えない	208名
2. あまりそうとは言えない	25名
1. いいえ	18名
未 未記入・無効	4名

合計 925名

評価ポイント平均値 4.05

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	336名
4. かなりそうと言える	296名
3. どちらとも言えない	231名
2. あまりそうとは言えない	38名
1. いいえ	17名
未 未記入・無効	7名

合計 925名

評価ポイント平均値 3.98

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	241名
4. かなりそうと言える	262名
3. どちらとも言えない	353名
2. あまりそうとは言えない	55名
1. いいえ	14名
未 未記入・無効	0名

合計 925名

評価ポイント平均値 3.71

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	283名
4. かなりそうと言える	239名
3. どちらとも言えない	315名
2. あまりそうとは言えない	62名
1. いいえ	21名
未 未記入・無効	5名

合計 925名

評価ポイント平均値 3.76

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	257名
4. かなりそうと言える	365名
3. どちらとも言えない	231名
2. あまりそうとは言えない	50名
1. いいえ	19名
未 未記入・無効	3名

合計 925名

評価ポイント平均値 3.86

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	344名
4. かなりそうと言える	344名
3. どちらとも言えない	168名
2. あまりそうとは言えない	41名
1. いいえ	12名
未 未記入・無効	16名

合計 925名

評価ポイント平均値 4.06

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	465名
4. かなりそうと言える	270名
3. どちらとも言えない	149名
2. あまりそうとは言えない	24名
1. いいえ	9名
未 未記入・無効	8名

合計 925名

評価ポイント平均値 4.26

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	499名
4. かなりそうと言える	245名
3. どちらとも言えない	126名
2. あまりそうとは言えない	34名
1. いいえ	13名
未 未記入・無効	8名

合計 925名

評価ポイント平均値 4.29

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	452名
4. かなりそうと言える	256名
3. どちらとも言えない	151名
2. あまりそうとは言えない	41名
1. いいえ	16名
未 未記入・無効	9名

合計 925名

評価ポイント平均値 4.19

教育改善のための学生アンケート

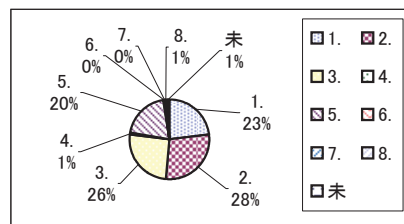
分野	科目
広域選択科目	社会と歴史

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	1133	545	48.1%

I.

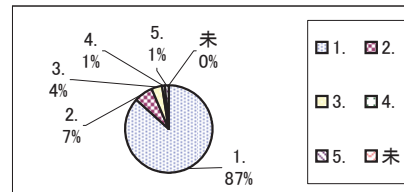
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	125名	2. 行政政策学類	155名
3. 経済経営学類	140名	4. 現代教養コース	4名
5. 共生システム理工学類	108名	6. 教育学部	2名
7. 行政社会学部	2名	8. 経済学部	5名
未 未記入・無効	4名	合計	545名



学年(入学してからの年数)

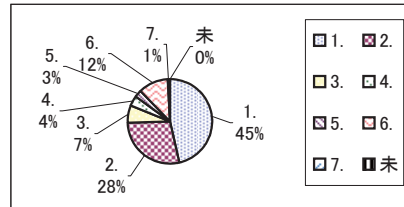
1. 1年	473名
2. 2年	37名
3. 3年	22名
4. 4年	6名
5. 5年以上	7名
未 未記入・無効	0名
合計	545名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

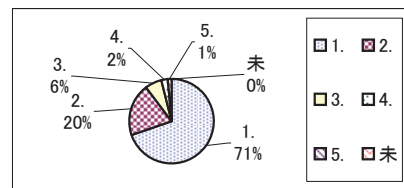
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	253名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	152名
3. 単位がとり易そうだったから	37名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	22名
5. 友人や先輩に勧められたから	14名
6. クラス指定または必修だったから	63名
7. その他	4名
未 未記入・無効	0名
合計	545名



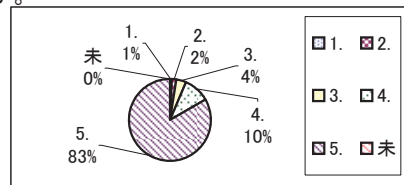
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	380名
2. 89%~70%	109名
3. 69%~50%	35名
4. 49%~30%	13名
5. 29%以下	8名
未 未記入・無効	0名
合計	545名



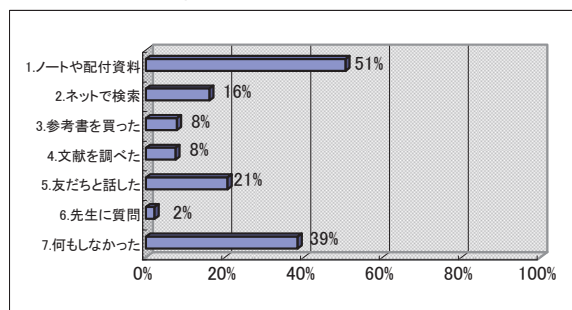
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	4名
2. 2~3時間未満	9名
3. 1~2時間未満	22名
4. 30分~1時間未満	56名
5. 30分未満	454名
未 未記入・無効	0名
合計	545名



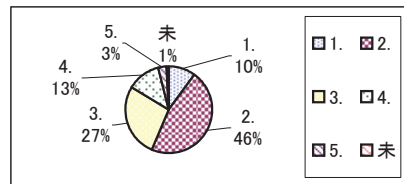
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	276名
2. インターネットで検索した	88名
3. 参考書を買って調べた	43名
4. 図書館で文献を調べた	41名
5. 友だちと話して理解するようにした	113名
6. 先生に質問した	12名
7. 何もしなかった	210名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	55名
2. ある程度意欲的	253名
3. どちらとも言えない	147名
4. あまり意欲的でない	69名
5. まったく意欲的でない	17名
未 未記入・無効	4名
合計	545名



分野	科目
広域選択科目	社会と歴史

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	1133	545	48.1%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目について評価をし、
評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	234名
4. かなりそうと言える	209名
3. どちらとも言えない	93名
2. あまりそうとは言えない	8名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	0名

合計 545名

評価ポイント平均値 4.22

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	99名
4. かなりそうと言える	133名
3. どちらとも言えない	240名
2. あまりそうとは言えない	53名
1. いいえ	19名
未 未記入・無効	1名

合計 545名

評価ポイント平均値 3.44

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	285名
4. かなりそうと言える	184名
3. どちらとも言えない	67名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	2名
未 未記入・無効	0名

合計 545名

評価ポイント平均値 4.36

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	221名
4. かなりそうと言える	176名
3. どちらとも言えない	118名
2. あまりそうとは言えない	24名
1. いいえ	6名
未 未記入・無効	0名

合計 545名

評価ポイント平均値 4.07

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	140名
4. かなりそうと言える	139名
3. どちらとも言えない	169名
2. あまりそうとは言えない	43名
1. いいえ	13名
未 未記入・無効	41名

合計 545名

評価ポイント平均値 3.69

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	175名
4. かなりそうと言える	183名
3. どちらとも言えない	167名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	7名
未 未記入・無効	4名

合計 545名

評価ポイント平均値 3.94

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	206名
4. かなりそうと言える	187名
3. どちらとも言えない	116名
2. あまりそうとは言えない	29名
1. いいえ	6名
未 未記入・無効	1名

合計 545名

評価ポイント平均値 4.03

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	81名
4. かなりそうと言える	131名
3. どちらとも言えない	250名
2. あまりそうとは言えない	62名
1. いいえ	21名
未 未記入・無効	0名

合計 545名

評価ポイント平均値 3.35

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	143名
4. かなりそうと言える	158名
3. どちらとも言えない	188名
2. あまりそうとは言えない	35名
1. いいえ	20名
未 未記入・無効	1名

合計 545名

評価ポイント平均値 3.68

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	110名
4. かなりそうと言える	216名
3. どちらとも言えない	172名
2. あまりそうとは言えない	36名
1. いいえ	11名
未 未記入・無効	0名

合計 545名

評価ポイント平均値 3.69

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	154名
4. かなりそうと言える	228名
3. どちらとも言えない	125名
2. あまりそうとは言えない	14名
1. いいえ	8名
未 未記入・無効	16名

合計 545名

評価ポイント平均値 3.96

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	232名
4. かなりそうと言える	194名
3. どちらとも言えない	90名
2. あまりそうとは言えない	14名
1. いいえ	2名
未 未記入・無効	13名

合計 545名

評価ポイント平均値 4.20

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	261名
4. かなりそうと言える	161名
3. どちらとも言えない	84名
2. あまりそうとは言えない	23名
1. いいえ	3名
未 未記入・無効	13名

合計 545名

評価ポイント平均値 4.23

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	235名
4. かなりそうと言える	177名
3. どちらとも言えない	94名
2. あまりそうとは言えない	23名
1. いいえ	3名
未 未記入・無効	13名

合計 545名

評価ポイント平均値 4.16

教育改善のための学生アンケート

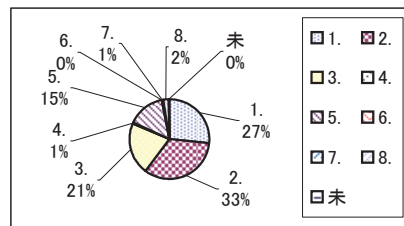
分野	科目
広域選択科目	自然と技術

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	727	356	49.0%

I.

(1) 学部

1. 人間発達文化学類	95名	2. 行政政策学類	120名
3. 経済経営学類	75名	4. 現代教養コース	2名
5. 共生システム理工学類	53名	6. 教育学部	0名
7. 行政社会学部	2名	8. 経済学部	8名
未 未記入・無効	1名	合計	356名

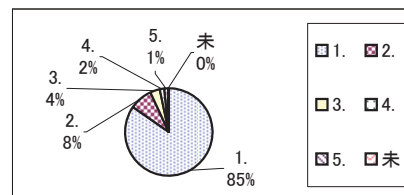


学年(入学してからの年数)

1. 1年	302名
2. 2年	29名
3. 3年	13名
4. 4年	6名
5. 5年以上	5名
未 未記入・無効	1名

合計

356名



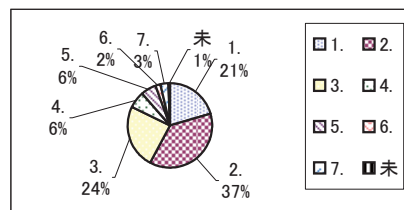
II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	73名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	133名
3. 単位がとり易そうだったから	87名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	22名
5. 友人や先輩に勧められたから	21名
6. クラス指定または必修だったから	7名
7. その他	11名
未 未記入・無効	2名

合計

356名

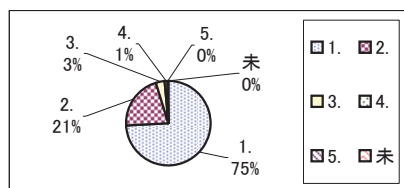


(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	264名
2. 89%~70%	75名
3. 69%~50%	12名
4. 49%~30%	4名
5. 29%以下	0名
未 未記入・無効	1名

合計

356名

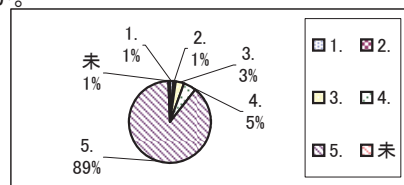


(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	5名
2. 2~3時間未満	3名
3. 1~2時間未満	12名
4. 30分~1時間未満	18名
5. 30分未満	316名
未 未記入・無効	2名

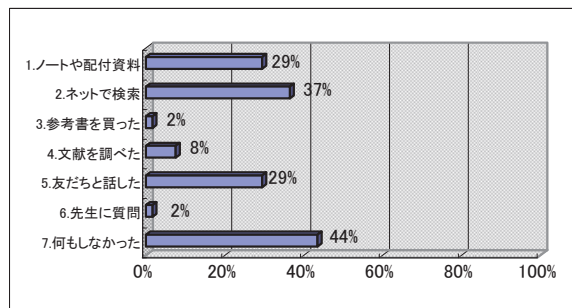
合計

356名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	105名
2. インターネットで検索した	130名
3. 参考書を買って調べた	6名
4. 図書館で文献を調べた	27名
5. 友だちと話して理解するようにした	105名
6. 先生に質問した	6名
7. 何もしなかった	155名

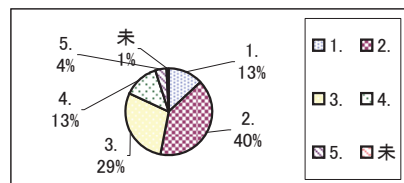


(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	46名
2. ある程度意欲的	143名
3. どちらとも言えない	103名
4. あまり意欲的でない	46名
5. まったく意欲的でない	15名
未 未記入・無効	3名

合計

356名



分野	科目
広域選択科目	自然と技術

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	727	356	49.0%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目について評価をし、
評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	153名
4. かなりそうと言える	138名
3. どちらとも言えない	57名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	1名

合計 356名

評価ポイント平均値 4.23

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	73名
4. かなりそうと言える	115名
3. どちらとも言えない	123名
2. あまりそうとは言えない	35名
1. いいえ	9名
未 未記入・無効	1名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.59

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	221名
4. かなりそうと言える	101名
3. どちらとも言えない	29名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	1名

合計 356名

評価ポイント平均値 4.52

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	172名
4. かなりそうと言える	110名
3. どちらとも言えない	62名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	2名
未 未記入・無効	1名

合計 356名

評価ポイント平均値 4.24

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	145名
4. かなりそうと言える	124名
3. どちらとも言えない	63名
2. あまりそうとは言えない	12名
1. いいえ	7名
未 未記入・無効	5名

合計 356名

評価ポイント平均値 4.11

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	137名
4. かなりそうと言える	111名
3. どちらとも言えない	93名
2. あまりそうとは言えない	10名
1. いいえ	2名
未 未記入・無効	3名

合計 356名

評価ポイント平均値 4.05

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	101名
4. かなりそうと言える	102名
3. どちらとも言えない	123名
2. あまりそうとは言えない	10名
1. いいえ	11名
未 未記入・無効	9名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.78

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	65名
4. かなりそうと言える	86名
3. どちらとも言えない	135名
2. あまりそうとは言えない	48名
1. いいえ	21名
未 未記入・無効	1名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.35

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	89名
4. かなりそうと言える	92名
3. どちらとも言えない	118名
2. あまりそうとは言えない	42名
1. いいえ	13名
未 未記入・無効	2名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.57

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	72名
4. かなりそうと言える	113名
3. どちらとも言えない	118名
2. あまりそうとは言えない	38名
1. いいえ	14名
未 未記入・無効	1名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.54

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	116名
4. かなりそうと言える	128名
3. どちらとも言えない	75名
2. あまりそうとは言えない	19名
1. いいえ	6名
未 未記入・無効	12名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.96

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	113名
4. かなりそうと言える	115名
3. どちらとも言えない	84名
2. あまりそうとは言えない	23名
1. いいえ	12名
未 未記入・無効	9名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.85

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	169名
4. かなりそうと言える	101名
3. どちらとも言えない	58名
2. あまりそうとは言えない	10名
1. いいえ	9名
未 未記入・無効	9名

合計 356名

評価ポイント平均値 4.18

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	133名
4. かなりそうと言える	109名
3. どちらとも言えない	68名
2. あまりそうとは言えない	26名
1. いいえ	11名
未 未記入・無効	9名

合計 356名

評価ポイント平均値 3.94

教育改善のための学生アンケート

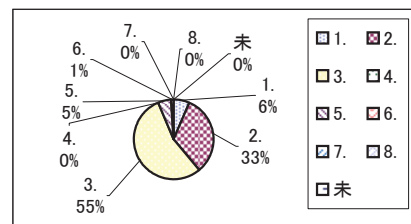
分野	科目
情報教育科学	情報教育科学

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	288	95	33.0%

I.

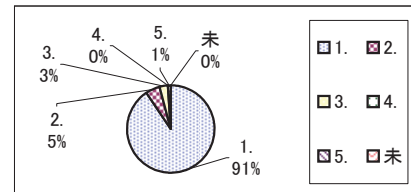
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	6名	2. 行政政策学類	31名
3. 経済経営学類	52名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	5名	6. 教育学部	1名
7. 行政社会学部	0名	8. 経済学部	0名
未 未記入・無効	0名	合計	95名



学年(入学してからの年数)

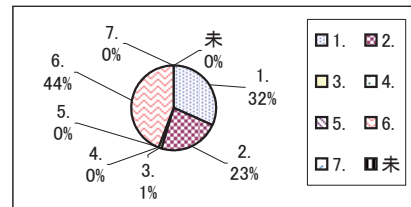
1. 1年	86名
2. 2年	5名
3. 3年	3名
4. 4年	0名
5. 5年以上	1名
未 未記入・無効	0名
合計	95名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

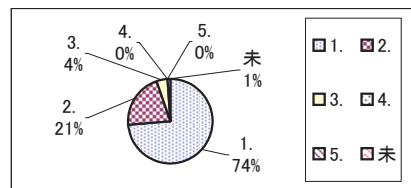
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	30名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	22名
3. 単位がとり易そうだったから	1名
4. 受講し易い時間帯にあったから	0名
5. 友人や先輩に勧められたから	0名
6. クラス指定または必修だったから	42名
7. その他	0名
未 未記入・無効	0名
合計	95名



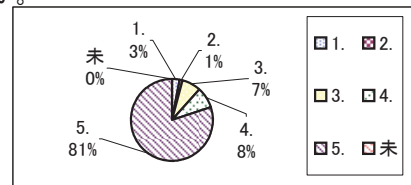
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	70名
2. 89%~70%	20名
3. 69%~50%	4名
4. 49%~30%	0名
5. 29%以下	0名
未 未記入・無効	1名
合計	95名



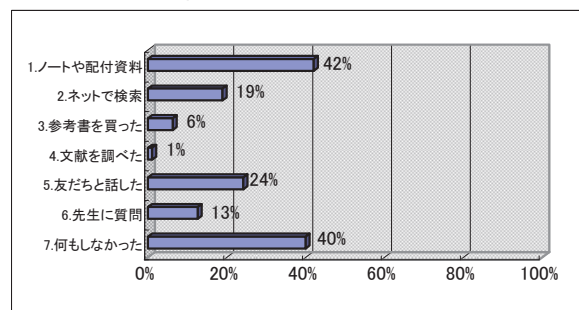
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	3名
2. 2~3時間未満	1名
3. 1~2時間未満	7名
4. 30分~1時間未満	8名
5. 30分未満	76名
未 未記入・無効	0名
合計	95名



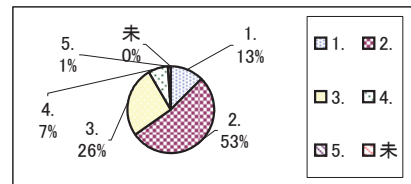
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	40名
2. インターネットで検索した	18名
3. 参考書を買って調べた	6名
4. 図書館で文献を調べた	1名
5. 友だちと話して理解するようにした	23名
6. 先生に質問した	12名
7. 何もしなかった	38名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	12名
2. ある程度意欲的	50名
3. どちらとも言えない	25名
4. あまり意欲的でない	7名
5. まったく意欲的でない	1名
未 未記入・無効	0名
合計	95名



分野	科目
情報教育科学	情報教育科学

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	288	95	33.0%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目について評価をし、
評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	18名
4. かなりそうと言える	48名
3. どちらとも言えない	26名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	0名

合計 95名

評価ポイント平均値 3.84

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	11名
4. かなりそうと言える	24名
3. どちらとも言えない	45名
2. あまりそうとは言えない	14名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	0名

合計 95名

評価ポイント平均値 3.32

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	33名
4. かなりそうと言える	33名
3. どちらとも言えない	22名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	0名

合計 95名

評価ポイント平均値 3.97

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	19名
4. かなりそうと言える	34名
3. どちらとも言えない	26名
2. あまりそうとは言えない	15名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	0名

合計 95名

評価ポイント平均値 3.58

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	20名
4. かなりそうと言える	34名
3. どちらとも言えない	21名
2. あまりそうとは言えない	10名
1. いいえ	8名
未 未記入・無効	2名

合計 95名

評価ポイント平均値 3.52

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	19名
4. かなりそうと言える	38名
3. どちらとも言えない	26名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	2名
未 未記入・無効	5名

合計 95名

評価ポイント平均値 3.74

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	23名
4. かなりそうと言える	39名
3. どちらとも言えない	27名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	0名

合計 95名

評価ポイント平均値 3.82

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	17名
4. かなりそうと言える	26名
3. どちらとも言えない	39名
2. あまりそうとは言えない	11名
1. いいえ	2名
未 未記入・無効	0名

合計 95名

評価ポイント平均値 3.47

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	11名
4. かなりそうと言える	29名
3. どちらとも言えない	37名
2. あまりそうとは言えない	15名
1. いいえ	3名
未 未記入・無効	0名

合計 95名

評価ポイント平均値 3.32

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	11名
4. かなりそうと言える	39名
3. どちらとも言えない	36名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	2名
未 未記入・無効	1名

合計 95名

評価ポイント平均値 3.54

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	15名
4. かなりそうと言える	39名
3. どちらとも言えない	25名
2. あまりそうとは言えない	11名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	4名

合計 95名

評価ポイント平均値 3.62

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	43名
4. かなりそうと言える	27名
3. どちらとも言えない	19名
2. あまりそうとは言えない	4名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	1名

合計 95名

評価ポイント平均値 4.14

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	56名
4. かなりそうと言える	25名
3. どちらとも言えない	9名
2. あまりそうとは言えない	4名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	1名

合計 95名

評価ポイント平均値 4.41

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	51名
4. かなりそうと言える	26名
3. どちらとも言えない	15名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	2名

合計 95名

評価ポイント平均値 4.37

教育改善のための学生アンケート

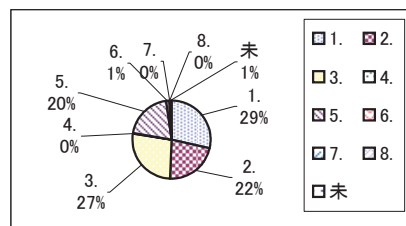
分野	科目
健康・運動科目	健康・運動科目

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	1,075	942	87.6%

I.

(1) 学部

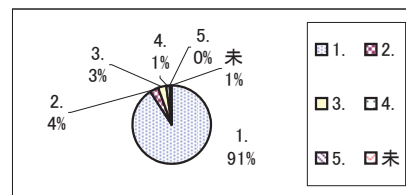
1. 人間発達文化学類	270名	2. 行政政策学類	205名
3. 経済経営学類	256名	4. 現代教養コース	1名
5. 共生システム理工学類	188名	6. 教育学部	13名
7. 行政社会学部	1名	8. 経済学部	1名
未 未記入・無効	7名	合計	942名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	855名
2. 2年	35名
3. 3年	31名
4. 4年	12名
5. 5年以上	3名
未 未記入・無効	6名

合計 942名

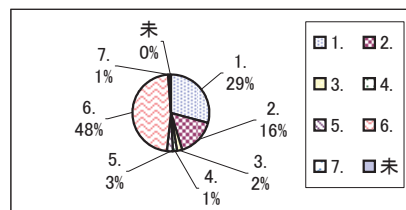


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	275名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	151名
3. 単位がとり易そうだったから	22名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	14名
5. 友人や先輩に勧められたから	26名
6. クラス指定または必修だったから	443名
7. その他	8名
未 未記入・無効	3名

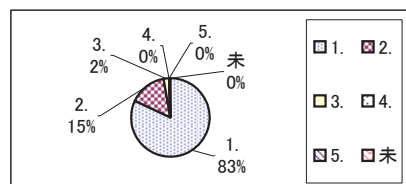
合計 942名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	773名
2. 89%~70%	144名
3. 69%~50%	20名
4. 49%~30%	1名
5. 29%以下	2名
未 未記入・無効	2名

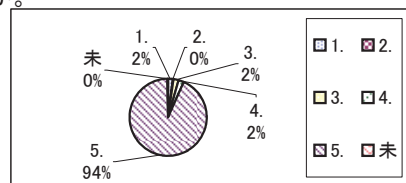
合計 942名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

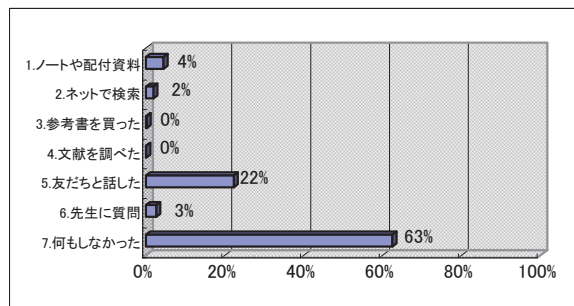
1. 3時間以上	19名
2. 2~3時間未満	3名
3. 1~2時間未満	21名
4. 30分~1時間未満	20名
5. 30分未満	876名
未 未記入・無効	3名

合計 942名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

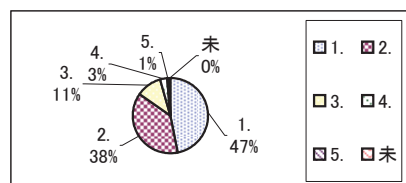
1. ノートや配付資料を復習した	42名
2. インターネットで検索した	18名
3. 参考書を買って調べた	2名
4. 図書館で文献を調べた	1名
5. 友だちと話し理解するようにした	210名
6. 先生に質問した	25名
7. 何もしなかった	589名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	441名
2. ある程度意欲的	357名
3. どちらとも言えない	102名
4. あまり意欲的でない	30名
5. まったく意欲的でない	8名
未 未記入・無効	4名

合計 942名



分野	科目
健康・運動科目	健康・運動科目

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	1,075	942	87.6%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	681名
4. かなりそうと言える	197名
3. どちらとも言えない	54名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	4名
未 未記入・無効	1名

合計 942名

評価ポイント平均値 4.64

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	502名
4. かなりそうと言える	273名
3. どちらとも言えない	131名
2. あまりそうとは言えない	22名
1. いいえ	13名
未 未記入・無効	1名

合計 942名

評価ポイント平均値 4.31

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	526名
4. かなりそうと言える	270名
3. どちらとも言えない	122名
2. あまりそうとは言えない	14名
1. いいえ	9名
未 未記入・無効	1名

合計 942名

評価ポイント平均値 4.37

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	545名
4. かなりそうと言える	248名
3. どちらとも言えない	112名
2. あまりそうとは言えない	25名
1. いいえ	9名
未 未記入・無効	3名

合計 942名

評価ポイント平均値 4.38

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	269名
4. かなりそうと言える	161名
3. どちらとも言えない	130名
2. あまりそうとは言えない	17名
1. いいえ	8名
未 未記入・無効	357名

合計 942名

評価ポイント平均値 4.14

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	454名
4. かなりそうと言える	277名
3. どちらとも言えない	185名
2. あまりそうとは言えない	11名
1. いいえ	3名
未 未記入・無効	12名

合計 942名

評価ポイント平均値 4.26

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	358名
4. かなりそうと言える	188名
3. どちらとも言えない	264名
2. あまりそうとは言えない	13名
1. いいえ	18名
未 未記入・無効	101名

合計 942名

評価ポイント平均値 4.02

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	450名
4. かなりそうと言える	256名
3. どちらとも言えない	196名
2. あまりそうとは言えない	25名
1. いいえ	12名
未 未記入・無効	3名

合計 942名

評価ポイント平均値 4.18

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	371名
4. かなりそうと言える	221名
3. どちらとも言えない	263名
2. あまりそうとは言えない	38名
1. いいえ	26名
未 未記入・無効	23名

合計 942名

評価ポイント平均値 3.95

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	523名
4. かなりそうと言える	270名
3. どちらとも言えない	128名
2. あまりそうとは言えない	13名
1. いいえ	7名
未 未記入・無効	1名

合計 942名

評価ポイント平均値 4.37

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	561名
4. かなりそうと言える	248名
3. どちらとも言えない	93名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	7名
未 未記入・無効	17名

合計 942名

評価ポイント平均値 4.45

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	571名
4. かなりそうと言える	252名
3. どちらとも言えない	82名
2. あまりそうとは言えない	15名
1. いいえ	8名
未 未記入・無効	14名

合計 942名

評価ポイント平均値 4.47

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	617名
4. かなりそうと言える	207名
3. どちらとも言えない	82名
2. あまりそうとは言えない	20名
1. いいえ	4名
未 未記入・無効	12名

合計 942名

評価ポイント平均値 4.52

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	566名
4. かなりそうと言える	220名
3. どちらとも言えない	111名
2. あまりそうとは言えない	24名
1. いいえ	8名
未 未記入・無効	13名

合計 942名

評価ポイント平均値 4.41

教育改善のための学生アンケート

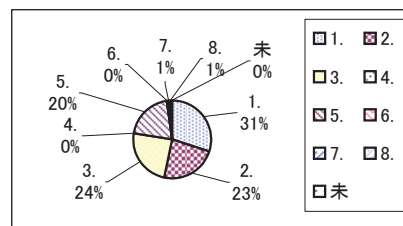
分野	科目
英語	英語

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	3759	2980	79.3%

I.

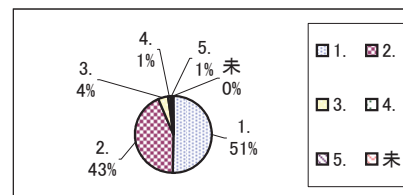
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	895名	2. 行政政策学類	696名
3. 経済経営学類	716名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	609名	6. 教育学部	11名
7. 行政社会学部	16名	8. 経済学部	23名
未 未記入・無効	14名	合計	2980名



学年(入学してからの年数)

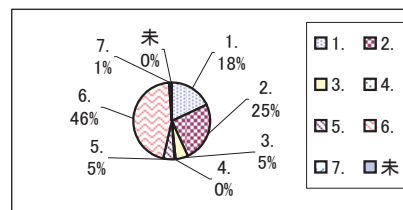
1. 1年	1498名
2. 2年	1291名
3. 3年	121名
4. 4年	35名
5. 5年以上	28名
未 未記入・無効	7名
合計	2980名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

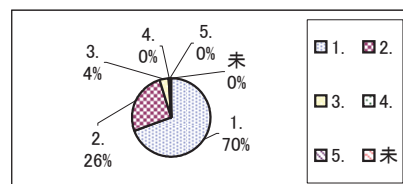
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	539名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	740名
3. 単位がとり易そうだったから	163名
4. 受講し易い時間帯にあったから	14名
5. 友人や先輩に勧められたから	141名
6. クラス指定または必修だったから	1348名
7. その他	29名
未 未記入・無効	6名
合計	2980名



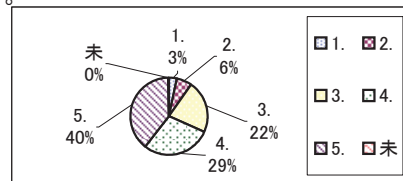
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	2066名
2. 89%～70%	771名
3. 69%～50%	112名
4. 49%～30%	14名
5. 29%以下	8名
未 未記入・無効	9名
合計	2980名



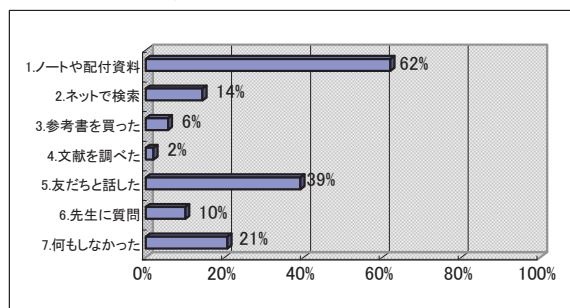
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	103名
2. 2～3時間未満	189名
3. 1～2時間未満	650名
4. 30分～1時間未満	860名
5. 30分未満	1169名
未 未記入・無効	9名
合計	2980名



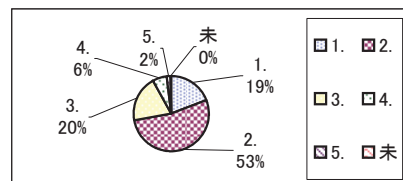
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	1849名
2. インターネットで検索した	429名
3. 参考書を買って調べた	169名
4. 図書館で文献を調べた	59名
5. 友達と話し理解するようにした	1169名
6. 先生に質問した	299名
7. 何もしなかった	617名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	570名
2. ある程度意欲的	1580名
3. どちらとも言えない	588名
4. あまり意欲的でない	188名
5. まったく意欲的でない	46名
未 未記入・無効	8名
合計	2980名



分野	科目
英語	英語

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	3759	2980	79.3%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	1540名
4. かなりそうと言える	982名
3. どちらとも言えない	369名
2. あまりそうとは言えない	59名
1. いいえ	28名
未 未記入・無効	2名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.33

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	1400名
4. かなりそうと言える	881名
3. どちらとも言えない	505名
2. あまりそうとは言えない	137名
1. いいえ	55名
未 未記入・無効	2名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.15

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	1538名
4. かなりそうと言える	978名
3. どちらとも言えない	398名
2. あまりそうとは言えない	46名
1. いいえ	18名
未 未記入・無効	2名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.33

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	1525名
4. かなりそうと言える	873名
3. どちらとも言えない	411名
2. あまりそうとは言えない	125名
1. いいえ	44名
未 未記入・無効	2名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.25

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	1076名
4. かなりそうと言える	868名
3. どちらとも言えない	616名
2. あまりそうとは言えない	112名
1. いいえ	28名
未 未記入・無効	280名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.06

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	1338名
4. かなりそうと言える	972名
3. どちらとも言えない	586名
2. あまりそうとは言えない	39名
1. いいえ	18名
未 未記入・無効	27名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.21

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	1423名
4. かなりそうと言える	1007名
3. どちらとも言えない	461名
2. あまりそうとは言えない	66名
1. いいえ	19名
未 未記入・無効	4名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.26

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	1208名
4. かなりそうと言える	975名
3. どちらとも言えない	629名
2. あまりそうとは言えない	115名
1. いいえ	48名
未 未記入・無効	5名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.07

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	1154名
4. かなりそうと言える	924名
3. どちらとも言えない	744名
2. あまりそうとは言えない	108名
1. いいえ	39名
未 未記入・無効	11名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.03

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	1178名
4. かなりそうと言える	1172名
3. どちらとも言えない	501名
2. あまりそうとは言えない	87名
1. いいえ	34名
未 未記入・無効	8名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.13

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	1443名
4. かなりそうと言える	1043名
3. どちらとも言えない	355名
2. あまりそうとは言えない	59名
1. いいえ	27名
未 未記入・無効	53名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.30

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	1723名
4. かなりそうと言える	818名
3. どちらとも言えない	302名
2. あまりそうとは言えない	65名
1. いいえ	26名
未 未記入・無効	46名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.41

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	1898名
4. かなりそうと言える	752名
3. どちらとも言えない	241名
2. あまりそうとは言えない	31名
1. いいえ	12名
未 未記入・無効	46名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.53

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	1859名
4. かなりそうと言える	737名
3. どちらとも言えない	285名
2. あまりそうとは言えない	39名
1. いいえ	12名
未 未記入・無効	48名

合計 2980名

評価ポイント平均値 4.50

教育改善のための学生アンケート

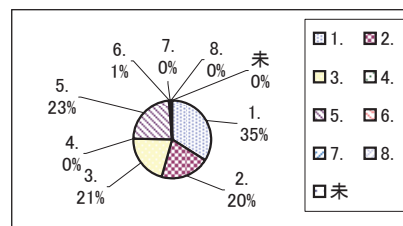
分野	科目
外国語	ドイツ語

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	583	519	89.0%

I.

(1) 学部

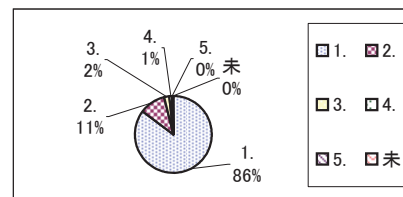
1. 人間発達文化学類	176名	2. 行政政策学類	106名
3. 経済経営学類	109名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	121名	6. 教育学部	3名
7. 行政社会学部	1名	8. 経済学部	2名
未 未記入・無効	1名	合計	519名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	443名
2. 2年	56名
3. 3年	11名
4. 4年	6名
5. 5年以上	2名
未 未記入・無効	1名

合計 519名

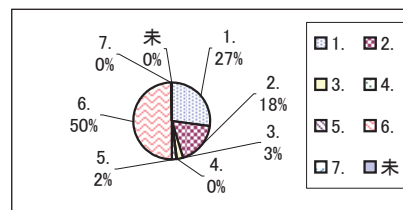


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉強面に関心があったから	142名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	93名
3. 単位がとり易そうだったから	13名
4. 受講し易い時間帯にあったから	2名
5. 友人や先輩に勧められたから	10名
6. クラス指定または必修だったから	258名
7. その他	1名
未 未記入・無効	0名

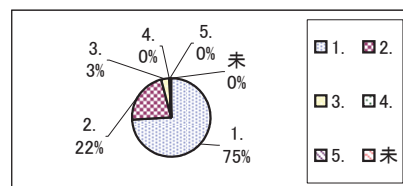
合計 519名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	385名
2. 89%~70%	112名
3. 69%~50%	17名
4. 49%~30%	2名
5. 29%以下	2名
未 未記入・無効	1名

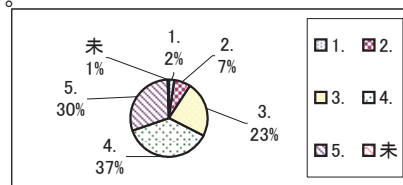
合計 519名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

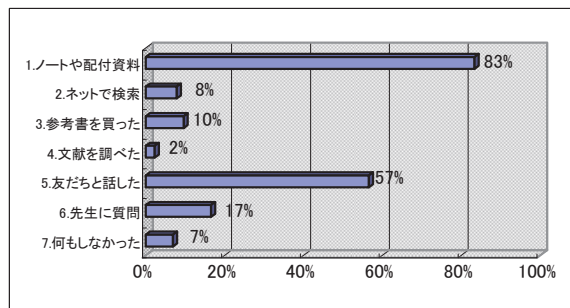
1. 3時間以上	12名
2. 2~3時間未満	35名
3. 1~2時間未満	121名
4. 30分~1時間未満	194名
5. 30分未満	154名
未 未記入・無効	3名

合計 519名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

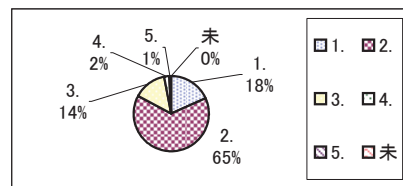
1. ノートや配付資料を復習した	433名
2. インターネットで検索した	41名
3. 参考書を買って調べた	50名
4. 図書館で文献を調べた	12名
5. 友だちと話して理解するようにした	294名
6. 先生に質問した	86名
7. 何もしなかった	36名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	95名
2. ある程度意欲的	335名
3. どちらとも言えない	73名
4. あまり意欲的でない	12名
5. まったく意欲的でない	4名
未 未記入・無効	0名

合計 519名



分野	科目
外国語	ドイツ語

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	583	519	89.0%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	307名
4. かなりそうと言える	137名
3. どちらとも言えない	64名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	5名
未 未記入・無効	0名

合計 519名

評価ポイント平均値 4.42

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	225名
4. かなりそうと言える	140名
3. どちらとも言えない	107名
2. あまりそうとは言えない	36名
1. いいえ	11名
未 未記入・無効	0名

合計 519名

評価ポイント平均値 4.03

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	288名
4. かなりそうと言える	167名
3. どちらとも言えない	59名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	0名

合計 519名

評価ポイント平均値 4.42

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	248名
4. かなりそうと言える	139名
3. どちらとも言えない	100名
2. あまりそうとは言えない	27名
1. いいえ	5名
未 未記入・無効	0名

合計 519名

評価ポイント平均値 4.15

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	186名
4. かなりそうと言える	164名
3. どちらとも言えない	117名
2. あまりそうとは言えない	33名
1. いいえ	6名
未 未記入・無効	13名

合計 519名

評価ポイント平均値 3.97

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	210名
4. かなりそうと言える	153名
3. どちらとも言えない	124名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	25名

合計 519名

評価ポイント平均値 4.14

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	252名
4. かなりそうと言える	161名
3. どちらとも言えない	88名
2. あまりそうとは言えない	13名
1. いいえ	5名
未 未記入・無効	0名

合計 519名

評価ポイント平均値 4.24

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	221名
4. かなりそうと言える	168名
3. どちらとも言えない	105名
2. あまりそうとは言えない	21名
1. いいえ	4名
未 未記入・無効	0名

合計 519名

評価ポイント平均値 4.12

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	206名
4. かなりそうと言える	162名
3. どちらとも言えない	126名
2. あまりそうとは言えない	20名
1. いいえ	4名
未 未記入・無効	1名

合計 519名

評価ポイント平均値 4.05

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	154名
4. かなりそうと言える	234名
3. どちらとも言えない	109名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	6名
未 未記入・無効	0名

合計 519名

評価ポイント平均値 3.99

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	242名
4. かなりそうと言える	188名
3. どちらとも言えない	80名
2. あまりそうとは言えない	4名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	4名

合計 519名

評価ポイント平均値 4.29

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	324名
4. かなりそうと言える	142名
3. どちらとも言えない	42名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	3名

合計 519名

評価ポイント平均値 4.51

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	331名
4. かなりそうと言える	136名
3. どちらとも言えない	41名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	2名
未 未記入・無効	3名

合計 519名

評価ポイント平均値 4.53

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	331名
4. かなりそうと言える	133名
3. どちらとも言えない	43名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	2名
未 未記入・無効	4名

合計 519名

評価ポイント平均値 4.52

教育改善のための学生アンケート

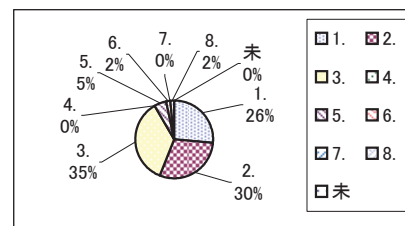
分野	科目
外国語	フランス語

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	363	182	50.1%

I.

(1) 学部

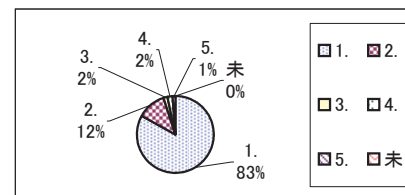
1. 人間発達文化学類	48名	2. 行政政策学類	54名
3. 経済経営学類	65名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	9名	6. 教育学部	3名
7. 行政社会学部	0名	8. 経済学部	3名
未 未記入・無効	0名	合計	182名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	151名
2. 2年	22名
3. 3年	3名
4. 4年	4名
5. 5年以上	2名
未 未記入・無効	0名

合計 182名

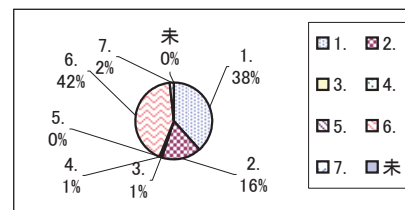


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面に関心があったから	70名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	30名
3. 単位がとり易そうだったから	1名
4. 受講し易い時間帯にあったから	1名
5. 友人や先輩に勧められたから	0名
6. クラス指定または必修だったから	77名
7. その他	3名
未 未記入・無効	0名

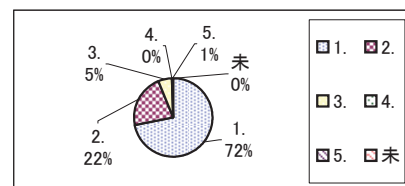
合計 182名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	131名
2. 89%～70%	40名
3. 69%～50%	10名
4. 49%～30%	0名
5. 29%以下	1名
未 未記入・無効	0名

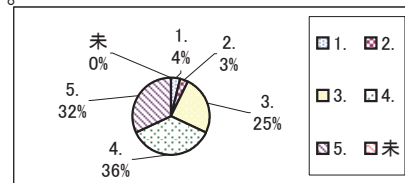
合計 182名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

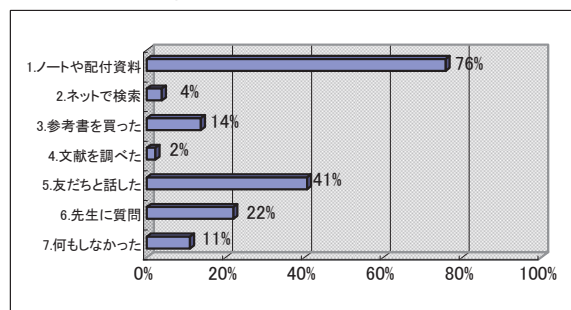
1. 3時間以上	7名
2. 2～3時間未満	6名
3. 1～2時間未満	45名
4. 30分～1時間未満	66名
5. 30分未満	58名
未 未記入・無効	0名

合計 182名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

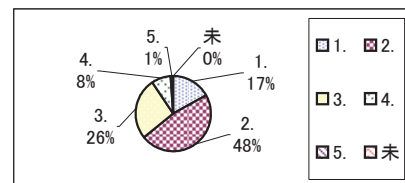
1. ノートや配付資料を復習した	138名
2. インターネットで検索した	7名
3. 参考書を買って調べた	25名
4. 図書館で文献を調べた	4名
5. 友達と話し理解するようにした	74名
6. 先生に質問した	40名
7. 何もしなかった	20名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	31名
2. ある程度意欲的	86名
3. どちらとも言えない	48名
4. あまり意欲的でない	15名
5. まったく意欲的でない	2名
未 未記入・無効	0名

合計 182名



分野	科目
外国語	フランス語

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	363	182	50.1%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	119名
4. かなりそうと言える	54名
3. どちらとも言えない	9名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	0名

合計 182名

評価ポイント平均値 4.60

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	80名
4. かなりそうと言える	67名
3. どちらとも言えない	31名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	0名

合計 182名

評価ポイント平均値 4.22

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	93名
4. かなりそうと言える	74名
3. どちらとも言えない	14名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	0名

合計 182名

評価ポイント平均値 4.42

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	98名
4. かなりそうと言える	63名
3. どちらとも言えない	19名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	0名

合計 182名

評価ポイント平均値 4.41

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	82名
4. かなりそうと言える	65名
3. どちらとも言えない	30名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	3名

合計 182名

評価ポイント平均値 4.27

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	76名
4. かなりそうと言える	77名
3. どちらとも言えない	27名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	1名

合計 182名

評価ポイント平均値 4.26

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	77名
4. かなりそうと言える	75名
3. どちらとも言えない	29名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	0名

合計 182名

評価ポイント平均値 4.25

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	72名
4. かなりそうと言える	62名
3. どちらとも言えない	38名
2. あまりそうとは言えない	10名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	0名

合計 182名

評価ポイント平均値 4.08

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	70名
4. かなりそうと言える	70名
3. どちらとも言えない	37名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	2名
未 未記入・無効	0名

合計 182名

評価ポイント平均値 4.12

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	48名
4. かなりそうと言える	78名
3. どちらとも言えない	46名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	0名

合計 182名

評価ポイント平均値 3.90

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	68名
4. かなりそうと言える	82名
3. どちらとも言えない	27名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	4名

合計 182名

評価ポイント平均値 4.22

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	117名
4. かなりそうと言える	49名
3. どちらとも言えない	11名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	4名

合計 182名

評価ポイント平均値 4.58

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	119名
4. かなりそうと言える	47名
3. どちらとも言えない	10名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	4名

合計 182名

評価ポイント平均値 4.59

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	123名
4. かなりそうと言える	48名
3. どちらとも言えない	7名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	4名

合計 182名

評価ポイント平均値 4.65

教育改善のための学生アンケート

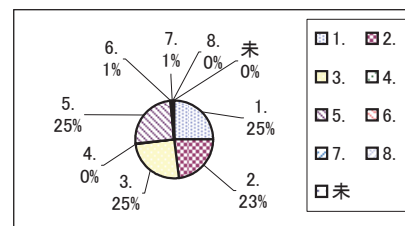
分野	科目
外国語	中国語

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	732	647	88.4%

I.

(1) 学部

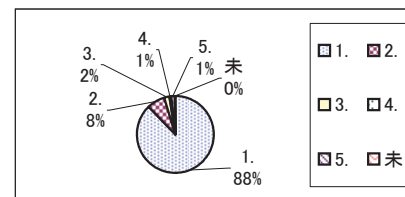
1. 人間発達文化学類	162名	2. 行政政策学類	149名
3. 経済経営学類	161名	4. 現代教養コース	2名
5. 共生システム理工学類	162名	6. 教育学部	4名
7. 行政社会学部	4名	8. 経済学部	2名
未 未記入・無効	1名	合計	647名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	568名
2. 2年	49名
3. 3年	14名
4. 4年	6名
5. 5年以上	9名
未 未記入・無効	1名

合計 647名

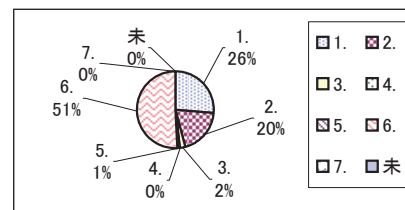


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉強面に関心があったから	170名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	127名
3. 単位がとり易そうだったから	14名
4. 受講し易い時間帯にあったから	1名
5. 友人や先輩に勧められたから	6名
6. クラス指定または必修だったから	329名
7. その他	0名
未 未記入・無効	0名

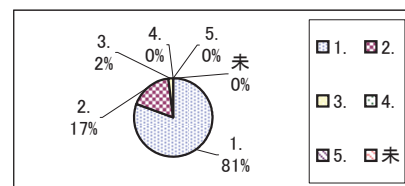
合計 647名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	521名
2. 89%~70%	113名
3. 69%~50%	13名
4. 49%~30%	0名
5. 29%以下	0名
未 未記入・無効	0名

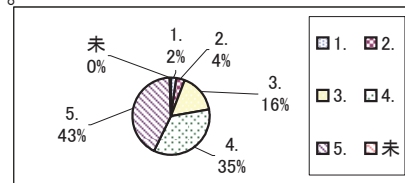
合計 647名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

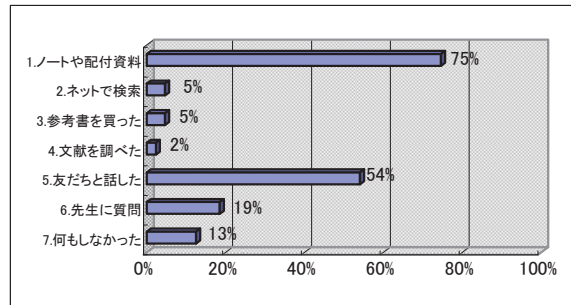
1. 3時間以上	14名
2. 2~3時間未満	24名
3. 1~2時間未満	106名
4. 30分~1時間未満	227名
5. 30分未満	273名
未 未記入・無効	3名

合計 647名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

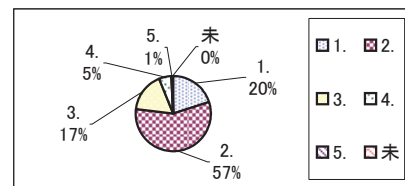
1. ノートや配付資料を復習した	483名
2. インターネットで検索した	30名
3. 参考書を買って調べた	30名
4. 図書館で文献を調べた	15名
5. 友達と話し理解するようにした	350名
6. 先生に質問した	120名
7. 何もしなかった	81名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	130名
2. ある程度意欲的	368名
3. どちらとも言えない	110名
4. あまり意欲的でない	33名
5. まったく意欲的でない	5名
未 未記入・無効	1名

合計 647名



分野	科目
外国語	中国語

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	732	647	88.4%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	322名
4. かなりそうと言える	219名
3. どちらとも言えない	83名
2. あまりそうとは言えない	17名
1. いいえ	6名
未 未記入・無効	0名

合計 647名

評価ポイント平均値 4.29

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	227名
4. かなりそうと言える	217名
3. どちらとも言えない	153名
2. あまりそうとは言えない	39名
1. いいえ	11名
未 未記入・無効	0名

合計 647名

評価ポイント平均値 3.94

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	314名
4. かなりそうと言える	212名
3. どちらとも言えない	95名
2. あまりそうとは言えない	21名
1. いいえ	4名
未 未記入・無効	1名

合計 647名

評価ポイント平均値 4.26

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	273名
4. かなりそうと言える	227名
3. どちらとも言えない	113名
2. あまりそうとは言えない	21名
1. いいえ	13名
未 未記入・無効	0名

合計 647名

評価ポイント平均値 4.12

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	190名
4. かなりそうと言える	216名
3. どちらとも言えない	174名
2. あまりそうとは言えない	39名
1. いいえ	16名
未 未記入・無効	12名

合計 647名

評価ポイント平均値 3.83

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	245名
4. かなりそうと言える	223名
3. どちらとも言えない	162名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	5名
未 未記入・無効	6名

合計 647名

評価ポイント平均値 4.09

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	281名
4. かなりそうと言える	212名
3. どちらとも言えない	128名
2. あまりそうとは言えない	15名
1. いいえ	11名
未 未記入・無効	0名

合計 647名

評価ポイント平均値 4.14

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	251名
4. かなりそうと言える	216名
3. どちらとも言えない	132名
2. あまりそうとは言えない	31名
1. いいえ	16名
未 未記入・無効	1名

合計 647名

評価ポイント平均値 4.01

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	235名
4. かなりそうと言える	211名
3. どちらとも言えない	171名
2. あまりそうとは言えない	18名
1. いいえ	11名
未 未記入・無効	1名

合計 647名

評価ポイント平均値 3.99

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	203名
4. かなりそうと言える	272名
3. どちらとも言えない	133名
2. あまりそうとは言えない	24名
1. いいえ	13名
未 未記入・無効	2名

合計 647名

評価ポイント平均値 3.97

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	262名
4. かなりそうと言える	268名
3. どちらとも言えない	90名
2. あまりそうとは言えない	13名
1. いいえ	8名
未 未記入・無効	6名

合計 647名

評価ポイント平均値 4.19

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	388名
4. かなりそうと言える	179名
3. どちらとも言えない	67名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	3名
未 未記入・無効	4名

合計 647名

評価ポイント平均値 4.47

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	414名
4. かなりそうと言える	160名
3. どちらとも言えない	63名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	3名
未 未記入・無効	5名

合計 647名

評価ポイント平均値 4.53

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	403名
4. かなりそうと言える	167名
3. どちらとも言えない	67名
2. あまりそうとは言えない	4名
1. いいえ	2名
未 未記入・無効	4名

合計 647名

評価ポイント平均値 4.50

教育改善のための学生アンケート

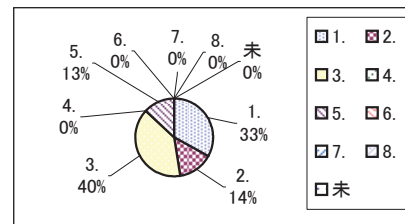
分野	科目
外国語	ロシア語

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	142	139	97.9%

I.

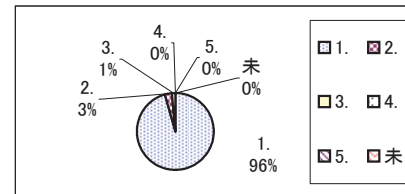
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	46名	2. 行政政策学類	20名
3. 経済経営学類	55名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	18名	6. 教育学部	0名
7. 行政社会学部	0名	8. 経済学部	0名
未 未記入・無効	0名	合計	139名



学年(入学してからの年数)

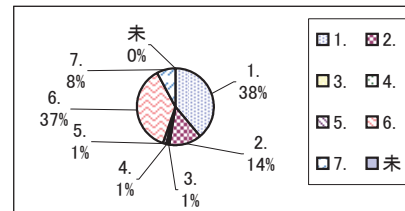
1. 1年	133名
2. 2年	4名
3. 3年	2名
4. 4年	0名
5. 5年以上	0名
未 未記入・無効	0名
合計	139名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

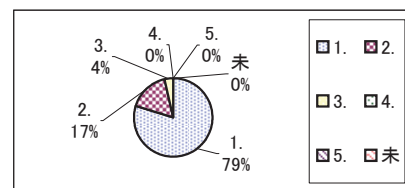
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があつたから	54名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	19名
3. 単位がとり易そうだったから	1名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	1名
5. 友人や先輩に勧められたから	2名
6. クラス指定または必修だったから	51名
7. その他	11名
未 未記入・無効	0名
合計	139名



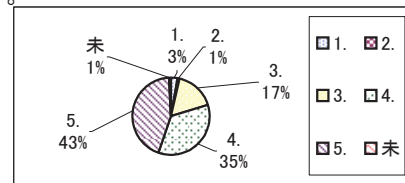
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	111名
2. 89%～70%	23名
3. 69%～50%	5名
4. 49%～30%	0名
5. 29%以下	0名
未 未記入・無効	0名
合計	139名



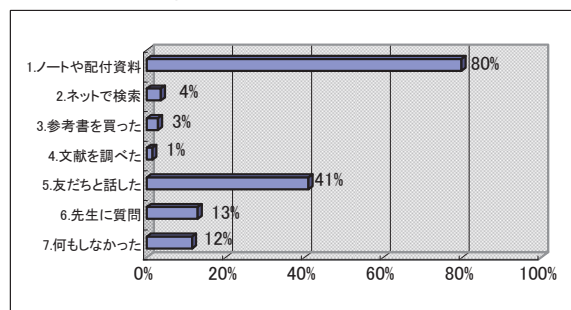
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	4名
2. 2～3時間未満	1名
3. 1～2時間未満	23名
4. 30分～1時間未満	49名
5. 30分未満	61名
未 未記入・無効	1名
合計	139名



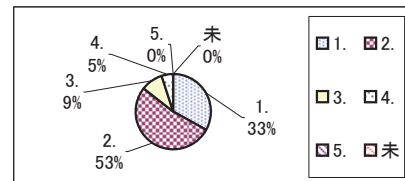
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	111名
2. インターネットで検索した	5名
3. 参考書を買って調べた	4名
4. 図書館で文献を調べた	2名
5. 友だちと話して理解するようにした	57名
6. 先生に質問した	18名
7. 何もしなかった	16名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	46名
2. ある程度意欲的	73名
3. どちらとも言えない	13名
4. あまり意欲的でない	7名
5. まったく意欲的でない	0名
未 未記入・無効	0名
合計	139名



分野	科目
外国語	ロシア語

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	142	139	97.9%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	110名
4. かなりそうと言える	29名
3. どちらとも言えない	0名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	0名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.79

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	80名
4. かなりそうと言える	40名
3. どちらとも言えない	18名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	0名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.43

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	106名
4. かなりそうと言える	28名
3. どちらとも言えない	5名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	0名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.73

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	89名
4. かなりそうと言える	37名
3. どちらとも言えない	11名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	0名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.53

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	53名
4. かなりそうと言える	47名
3. どちらとも言えない	31名
2. あまりそうとは言えない	4名
1. いいえ	3名
未 未記入・無効	1名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.04

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	78名
4. かなりそうと言える	39名
3. どちらとも言えない	19名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	2名
未 未記入・無効	1名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.38

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	91名
4. かなりそうと言える	36名
3. どちらとも言えない	10名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	0名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.55

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	74名
4. かなりそうと言える	46名
3. どちらとも言えない	15名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	0名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.36

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	72名
4. かなりそうと言える	36名
3. どちらとも言えない	24名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	1名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.25

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	62名
4. かなりそうと言える	50名
3. どちらとも言えない	23名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	0名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.22

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	82名
4. かなりそうと言える	38名
3. どちらとも言えない	14名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	1名
未 未記入・無効	4名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.48

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	106名
4. かなりそうと言える	23名
3. どちらとも言えない	6名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	2名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.70

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	107名
4. かなりそうと言える	23名
3. どちらとも言えない	5名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	2名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.72

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	102名
4. かなりそうと言える	28名
3. どちらとも言えない	7名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入・無効	2名

合計 139名

評価ポイント平均値 4.69

教育改善のための学生アンケート

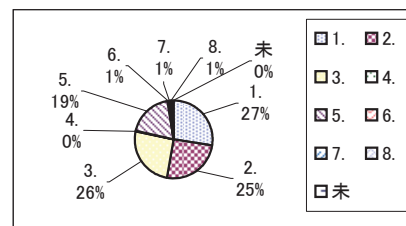
分野	科目
共通教育科目	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	—	—	11,294	7,853	69.5%

I.

(1) 学部

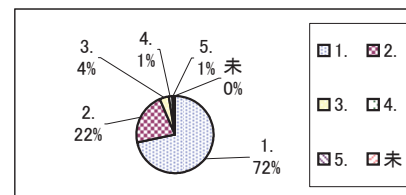
1. 人間発達文化学類	2152名	2. 行政政策学類	1993名
3. 経済経営学類	2010名	4. 現代教養コース	26名
5. 共生システム理工学類	1481名	6. 教育学部	47名
7. 行政社会学部	45名	8. 経済学部	62名
未 未記入・無効	37名	合計	7853名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	5638名
2. 2年	1711名
3. 3年	299名
4. 4年	111名
5. 5年以上	75名
未 未記入・無効	19名

合計 7853名

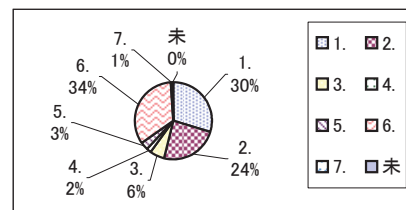


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	2331名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1894名
3. 単位がとり易そうだったから	478名
4. 受講し易い時間帯にあったから	166名
5. 友人や先輩に勧められたから	255名
6. クラス指定または必修だったから	2639名
7. その他	77名
未 未記入・無効	13名

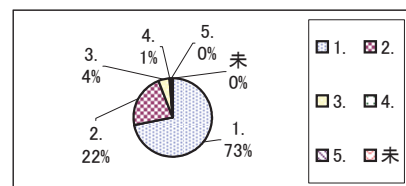
合計 7853名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	5643名
2. 89%~70%	1755名
3. 69%~50%	341名
4. 49%~30%	59名
5. 29%以下	39名
未 未記入・無効	16名

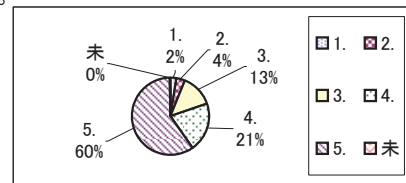
合計 7853名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のくらい予習・復習しましたか。

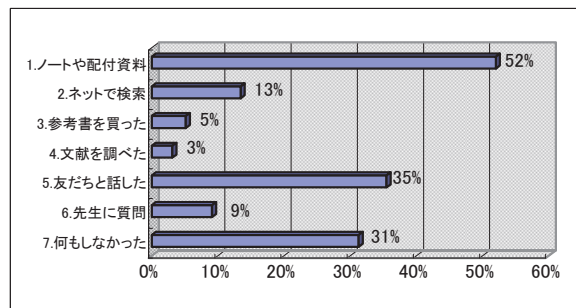
1. 3時間以上	193名
2. 2~3時間未満	291名
3. 1~2時間未満	1054名
4. 30分~1時間未満	1626名
5. 30分未満	4663名
未 未記入・無効	26名

合計 7853名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

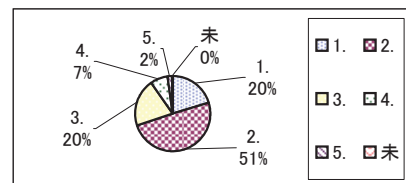
1. ノートや配付資料を復習した	4085名
2. インターネットで検索した	1057名
3. 参考書を買って調べた	406名
4. 図書館で文献を調べた	246名
5. 友だちと話して理解するようにした	2787名
6. 先生に質問した	717名
7. 何もしなかった	2456名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	1599名
2. ある程度意欲的	3909名
3. どちらとも言えない	1592名
4. あまり意欲的でない	576名
5. まったく意欲的でない	151名
未 未記入・無効	26名

合計 7853名



分野	科目
共通教育科目	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	—	—	11,294	7,853	69.5%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	4153名
4. かなりそうだとと言える	2480名
3. どちらとも言えない	1005名
2. あまりそうとは言えない	141名
1. いいえ	69名
未 未記入・無効	5名

合計 7853名

評価ポイント平均値 4.34

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	3057名
4. かなりそうだとと言える	2284名
3. どちらとも言えない	1846名
2. あまりそうとは言えない	489名
1. いいえ	171名
未 未記入・無効	6名

合計 7853名

評価ポイント平均値 3.96

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	4050名
4. かなりそうだとと言える	2498名
3. どちらとも言えない	1082名
2. あまりそうとは言えない	157名
1. いいえ	60名
未 未記入・無効	6名

合計 7853名

評価ポイント平均値 4.32

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	3723名
4. かなりそうだとと言える	2352名
3. どちらとも言えない	1314名
2. あまりそうとは言えない	343名
1. いいえ	113名
未 未記入・無効	8名

合計 7853名

評価ポイント平均値 4.18

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	2565名
4. かなりそうだとと言える	2219名
3. どちらとも言えない	1753名
2. あまりそうとは言えない	409名
1. いいえ	129名
未 未記入・無効	778名

合計 7853名

評価ポイント平均値 3.94

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	3245名
4. かなりそうだとと言える	2555名
3. どちらとも言えない	1742名
2. あまりそうとは言えない	145名
1. いいえ	73名
未 未記入・無効	93名

合計 7853名

評価ポイント平均値 4.13

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	3291名
4. かなりそうだとと言える	2464名
3. どちらとも言えない	1649名
2. あまりそうとは言えない	224名
1. いいえ	98名
未 未記入・無効	127名

合計 7853名

評価ポイント平均値 4.12

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	2779名
4. かなりそうだとと言える	2349名
3. どちらとも言えない	2110名
2. あまりそうとは言えない	441名
1. いいえ	163名
未 未記入・無効	11名

合計 7853名

評価ポイント平均値 3.91

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	2732名
4. かなりそうだとと言える	2271名
3. どちらとも言えない	2221名
2. あまりそうとは言えない	408名
1. いいえ	172名
未 未記入・無効	49名

合計 7853名

評価ポイント平均値 3.89

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	2720名
4. かなりそうだとと言える	2986名
3. どちらとも言えない	1662名
2. あまりそうとは言えない	336名
1. いいえ	132名
未 未記入・無効	17名

合計 7853名

評価ポイント平均値 4.00

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	3391名
4. かなりそうだとと言える	2782名
3. どちらとも言えない	1211名
2. あまりそうとは言えない	222名
1. いいえ	94名
未 未記入・無効	153名

合計 7853名

評価ポイント平均値 4.19

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	4261名
4. かなりそうだとと言える	2229名
3. どちらとも言えない	975名
2. あまりそうとは言えない	194名
1. いいえ	77名
未 未記入・無効	117名

合計 7853名

評価ポイント平均値 4.34

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	4711名
4. かなりそうだとと言える	2001名
3. どちらとも言えない	823名
2. あまりそうとは言えない	150名
1. いいえ	52名
未 未記入・無効	116名

合計 7853名

評価ポイント平均値 4.44

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	4459名
4. かなりそうだとと言える	2060名
3. どちらとも言えない	957名
2. あまりそうとは言えない	192名
1. いいえ	63名
未 未記入・無効	122名

合計 7853名

評価ポイント平均値 4.38

教育改善のための学生アンケート 簡易版

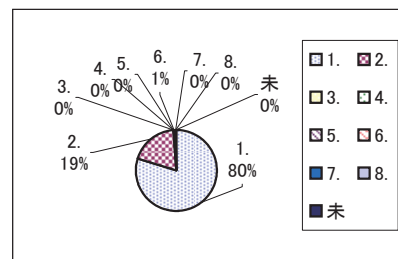
学類
人間発達文化学類

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	453	366	80.8%

I.

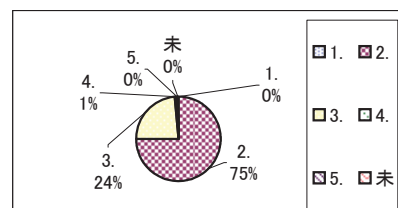
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	292名
2. 行政政策学類	70名
3. 経済経営学類	0名
4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	0名
6. 教育学部	3名
7. 行政社会学部	0名
8. 経済学部	0名
未 未記入	1名
合計	366名



(2) 学年(入学してからの年数)

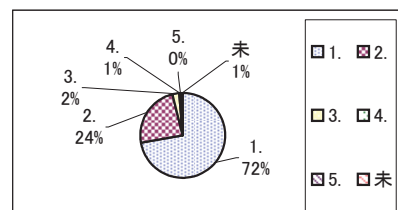
1. 1年	0名
2. 2年	274名
3. 3年	87名
4. 4年	3名
5. 5年以上	1名
未 未記入	1名
合計	366名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

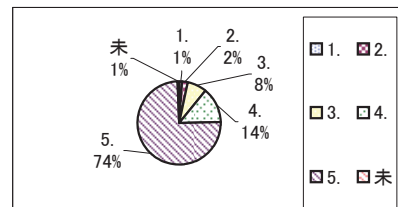
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	264名
2. 89%～70%	88名
3. 69%～50%	9名
4. 49%～30%	2名
5. 29%以下	1名
未 未記入	2名
合計	366名



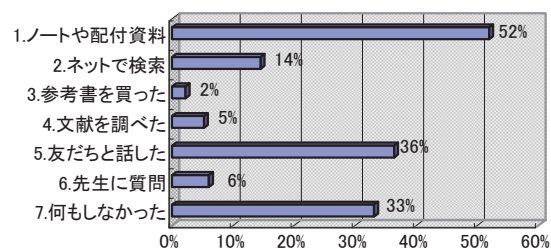
(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	4名
2. 2～3時間未満	8名
3. 1～2時間未満	28名
4. 30分～1時間未満	50名
5. 30分未満	274名
未 未記入	2名
合計	366名



(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	190名
2. インターネットで検索した	53名
3. 参考書を買って調べた	8名
4. 図書館で文献を調べた	19名
5. 友だちと話して理解するようにした	133名
6. 先生に質問した	22名
7. 何もなかった	121名



学類
人間発達文化学類

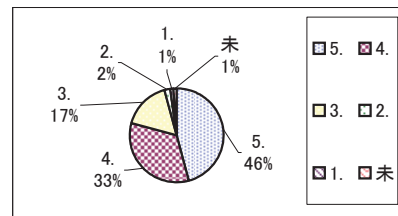
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	453	366	80.8%

Ⅲ. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

(観点:授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)

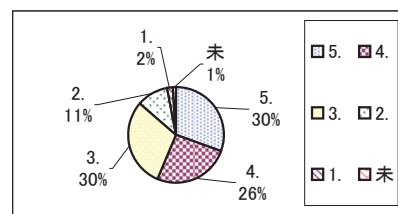
5. はい	168名
4. かなりそうと言える	122名
3. どちらとも言えない	61名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	4名
未 未記入	4名
合計	366名
評価ポイント平均値	4.22



(6) 教育の方法は適切でしたか。

(観点:わかりやすい説明, 話し方・声の大きさ, 質問への対応, 板書の仕方・視聴覚機器の活用, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)

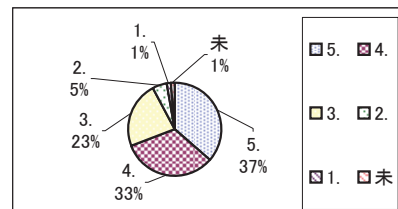
5. はい	112名
4. かなりそうと言える	94名
3. どちらとも言えない	110名
2. あまりそうとは言えない	39名
1. いいえ	7名
未 未記入	4名
合計	366名
評価ポイント平均値	3.73



(7) 教育の内容は適切でしたか。

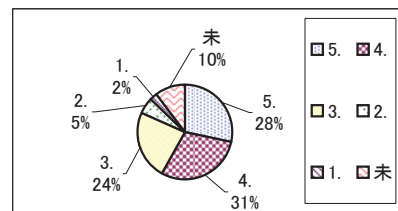
(観点:魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進度, シラバスに記述された目標の達成度)

5. はい	133名
4. かなりそうと言える	120名
3. どちらとも言えない	85名
2. あまりそうとは言えない	18名
1. いいえ	5名
未 未記入	5名
合計	366名
評価ポイント平均値	3.99



Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	104名
4. かなりそうと言える	108名
3. どちらとも言えない	87名
2. あまりそうとは言えない	20名
1. いいえ	9名
未 未記入	38名
合計	366名
評価ポイント平均値	3.85



教育改善のための学生アンケート

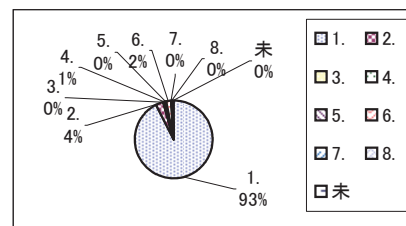
学類
人間発達文化学類

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	6,507	3,906	60.0%

I.

(1) 学部

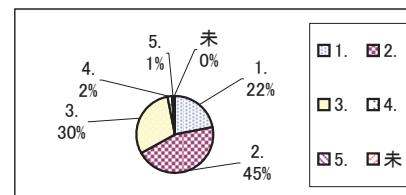
1. 人間発達文化学類	3610名	2. 行政政策学類	122名
3. 経済経営学類	13名	4. 現代教養コース	23名
5. 共生システム理工学類	14名	6. 教育学部	85名
7. 行政社会学部	8名	8. 経済学部	14名
未 未記入・無効	17名	合計	3906名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	862名
2. 2年	1749名
3. 3年	1174名
4. 4年	80名
5. 5年以上	34名
未 未記入・無効	7名

合計 3906名

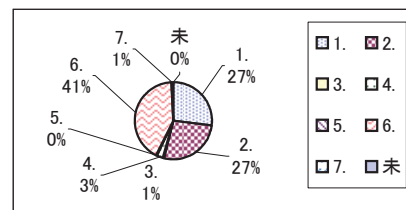


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	1054名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1047名
3. 単位がとり易そうだったから	25名
4. 受講し易い時間帯にあったから	99名
5. 友人や先輩に勧められたから	17名
6. クラス指定または必修だったから	1628名
7. その他	31名
未 未記入・無効	5名

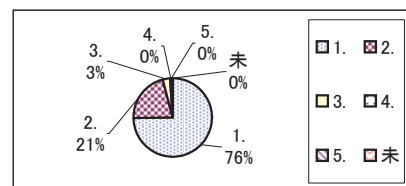
合計 3906名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	2921名
2. 89%~70%	820名
3. 69%~50%	126名
4. 49%~30%	13名
5. 29%以下	12名
未 未記入・無効	14名

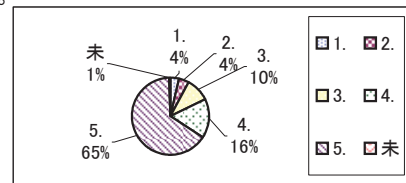
合計 3906名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のくらい予習・復習しましたか。

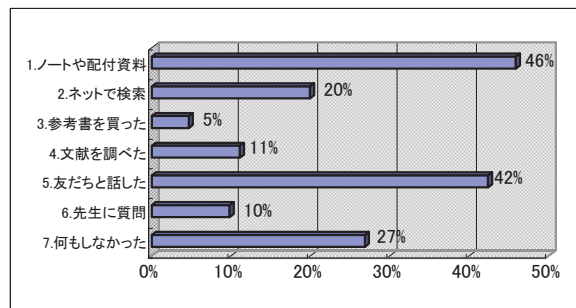
1. 3時間以上	145名
2. 2~3時間未満	154名
3. 1~2時間未満	400名
4. 30分~1時間未満	632名
5. 30分未満	2550名
未 未記入・無効	25名

合計 3906名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

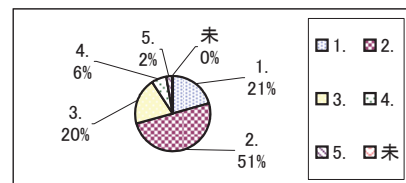
1. ノートや配付資料を復習した	1791名
2. インターネットで検索した	779名
3. 参考書を買って調べた	183名
4. 図書館で文献を調べた	434名
5. 友だちと話して理解するようにした	1654名
6. 先生に質問した	384名
7. 何もしなかった	1049名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	798名
2. ある程度意欲的	1965名
3. どちらとも言えない	789名
4. あまり意欲的でない	249名
5. まったく意欲的でない	93名
未 未記入・無効	12名

合計 3906名



学類
人間発達文化学類

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	6,507	3,906	60.0%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	2034名
4. かなりそうだとと言える	1241名
3. どちらとも言えない	532名
2. あまりそうとは言えない	69名
1. いいえ	25名
未 未記入・無効	5名

合計 3906名
評価ポイント平均値 4.33

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	1430名
4. かなりそうだとと言える	1215名
3. どちらとも言えない	923名
2. あまりそうとは言えない	266名
1. いいえ	67名
未 未記入・無効	5名

合計 3906名
評価ポイント平均値 3.94

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	1937名
4. かなりそうだとと言える	1170名
3. どちらとも言えない	643名
2. あまりそうとは言えない	115名
1. いいえ	34名
未 未記入・無効	7名

合計 3906名
評価ポイント平均値 4.25

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	1713名
4. かなりそうだとと言える	1168名
3. どちらとも言えない	767名
2. あまりそうとは言えない	195名
1. いいえ	58名
未 未記入・無効	5名

合計 3906名
評価ポイント平均値 4.10

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	1110名
4. かなりそうだとと言える	1003名
3. どちらとも言えない	957名
2. あまりそうとは言えない	252名
1. いいえ	83名
未 未記入・無効	501名

合計 3906名
評価ポイント平均値 3.82

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	1522名
4. かなりそうだとと言える	1270名
3. どちらとも言えない	961名
2. あまりそうとは言えない	77名
1. いいえ	33名
未 未記入・無効	43名

合計 3906名
評価ポイント平均値 4.08

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	1563名
4. かなりそうだとと言える	1262名
3. どちらとも言えない	828名
2. あまりそうとは言えない	157名
1. いいえ	32名
未 未記入・無効	64名

合計 3906名
評価ポイント平均値 4.08

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	1256名
4. かなりそうだとと言える	1150名
3. どちらとも言えない	1139名
2. あまりそうとは言えない	260名
1. いいえ	90名
未 未記入・無効	11名

合計 3906名
評価ポイント平均値 3.83

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	1273名
4. かなりそうだとと言える	1128名
3. どちらとも言えない	1172名
2. あまりそうとは言えない	211名
1. いいえ	94名
未 未記入・無効	28名

合計 3906名
評価ポイント平均値 3.84

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	1240名
4. かなりそうだとと言える	1507名
3. どちらとも言えない	881名
2. あまりそうとは言えない	204名
1. いいえ	63名
未 未記入・無効	11名

合計 3906名
評価ポイント平均値 3.94

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	1501名
4. かなりそうだとと言える	1436名
3. どちらとも言えない	704名
2. あまりそうとは言えない	163名
1. いいえ	35名
未 未記入・無効	67名

合計 3906名
評価ポイント平均値 4.10

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	2047名
4. かなりそうだとと言える	1124名
3. どちらとも言えない	537名
2. あまりそうとは言えない	121名
1. いいえ	33名
未 未記入・無効	44名

合計 3906名
評価ポイント平均値 4.30

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	2062名
4. かなりそうだとと言える	1015名
3. どちらとも言えない	537名
2. あまりそうとは言えない	163名
1. いいえ	84名
未 未記入・無効	45名

合計 3906名
評価ポイント平均値 4.25

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	2078名
4. かなりそうだとと言える	1023名
3. どちらとも言えない	576名
2. あまりそうとは言えない	136名
1. いいえ	48名
未 未記入・無効	45名

合計 3906名
評価ポイント平均値 4.28

教育改善のための学生アンケート 簡易版

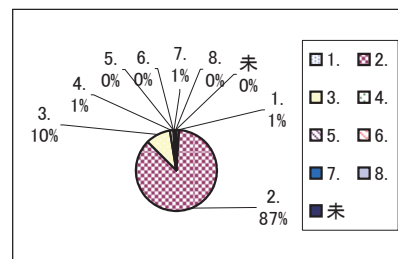
学類
行政政策学類

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	510	280	54.9%

I.

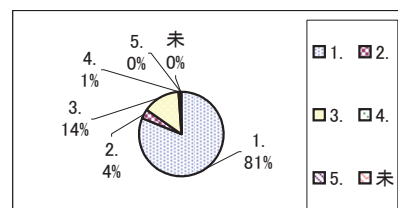
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	3名
2. 行政政策学類	242名
3. 経済経営学類	28名
4. 現代教養コース	4名
5. 共生システム理工学類	0名
6. 教育学部	0名
7. 行政社会学部	2名
8. 経済学部	0名
未 未記入	1名
合計	280名



(2) 学年(入学してからの年数)

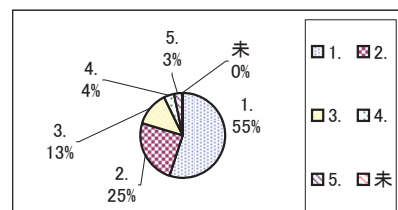
1. 1年	227名
2. 2年	10名
3. 3年	40名
4. 4年	2名
5. 5年以上	0名
未 未記入	1名
合計	280名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

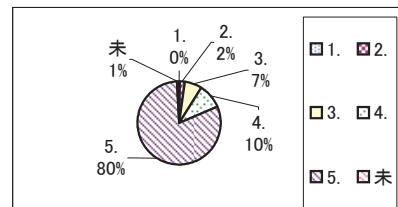
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	154名
2. 89%～70%	69名
3. 69%～50%	37名
4. 49%～30%	11名
5. 29%以下	8名
未 未記入	1名
合計	280名



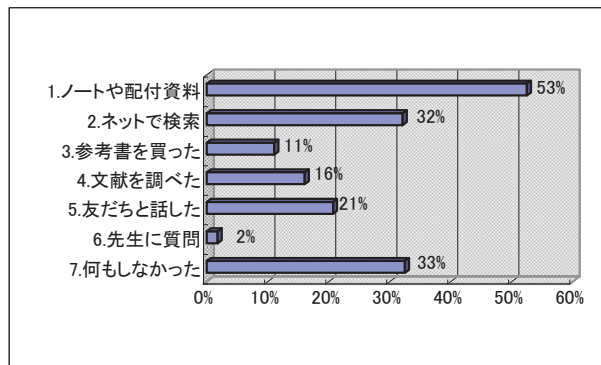
(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	1名
2. 2～3時間未満	5名
3. 1～2時間未満	19名
4. 30分～1時間未満	27名
5. 30分未満	226名
未 未記入	2名
合計	280名



(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	147名
2. インターネットで検索した	90名
3. 参考書を買って調べた	31名
4. 図書館で文献を調べた	45名
5. 友だちと話して理解するようにした	58名
6. 先生に質問した	5名
7. 何もしなかった	91名



学類
行政政策学類

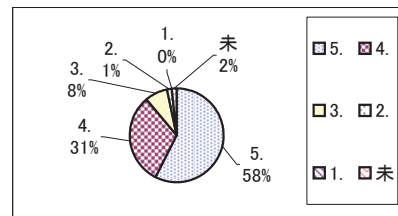
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	510	280	54.9%

Ⅲ. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

(観点:授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)

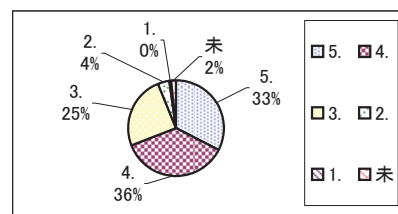
5. はい	161名
4. かなりそうと言える	88名
3. どちらとも言えない	22名
2. あまりそうとは言えない	4名
1. いいえ	0名
未 未記入	5名
合計	280名
評価ポイント平均値	4.48



(6) 教育の方法は適切でしたか。

(観点:わかりやすい説明, 話し方・声の大きさ, 質問への対応, 板書の仕方・視聴覚機器の活用, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)

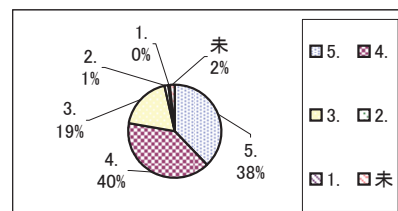
5. はい	91名
4. かなりそうと言える	103名
3. どちらとも言えない	69名
2. あまりそうとは言えない	11名
1. いいえ	1名
未 未記入	5名
合計	280名
評価ポイント平均値	3.99



(7) 教育の内容は適切でしたか。

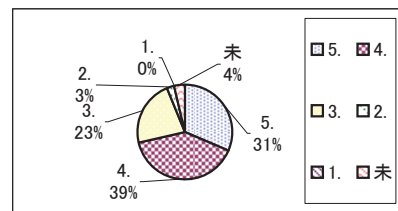
(観点:魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進度, シラバスに記述された目標の達成度)

5. はい	106名
4. かなりそうと言える	112名
3. どちらとも言えない	52名
2. あまりそうとは言えない	4名
1. いいえ	1名
未 未記入	5名
合計	280名
評価ポイント平均値	4.16



Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	88名
4. かなりそうと言える	112名
3. どちらとも言えない	63名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	0名
未 未記入	10名
合計	280名
評価ポイント平均値	4.04



教育改善のための学生アンケート

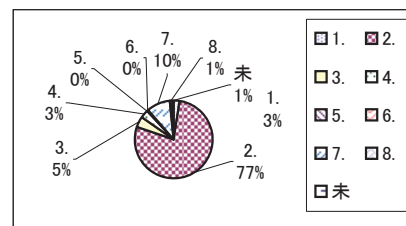
学類
行政政策学類

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	3,303	1,368	41.4%

I.

(1) 学部

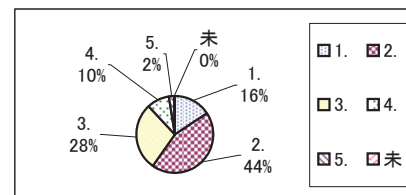
1. 人間発達文化学類	35名	2. 行政政策学類	1063名
3. 経済経営学類	62名	4. 現代教養コース	44名
5. 共生システム理工学類	2名	6. 教育学部	6名
7. 行政社会学部	135名	8. 経済学部	14名
未 未記入・無効	7名	合計	1368名



学年(入学してからの年数)

1. 1年	215名
2. 2年	603名
3. 3年	387名
4. 4年	130名
5. 5年以上	30名
未 未記入・無効	3名

合計 1368名

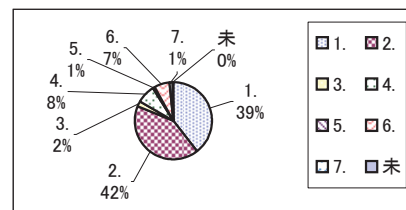


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	538名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	570名
3. 単位がとり易そうだったから	31名
4. 受講し易い時間帯にあったから	109名
5. 友人や先輩に勧められたから	9名
6. クラス指定または必修だったから	89名
7. その他	18名
未 未記入・無効	4名

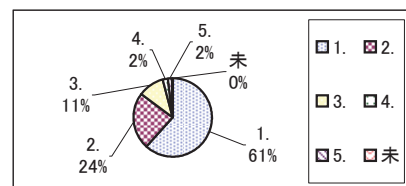
合計 1368名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	842名
2. 89%~70%	326名
3. 69%~50%	144名
4. 49%~30%	30名
5. 29%以下	21名
未 未記入・無効	5名

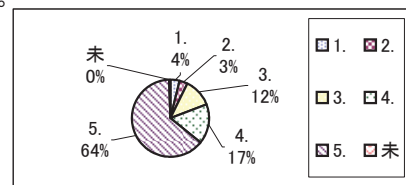
合計 1368名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のくらい予習・復習しましたか。

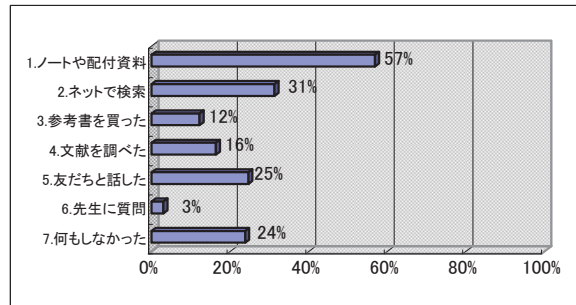
1. 3時間以上	55名
2. 2~3時間未満	44名
3. 1~2時間未満	165名
4. 30分~1時間未満	226名
5. 30分未満	872名
未 未記入・無効	6名

合計 1368名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

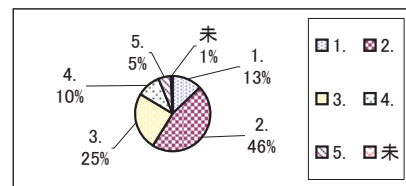
1. ノートや配付資料を復習した	778名
2. インターネットで検索した	428名
3. 参考書を買って調べた	167名
4. 図書館で文献を調べた	224名
5. 友だちと話して理解するようにした	337名
6. 先生に質問した	41名
7. 何もしなかった	326名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	176名
2. ある程度意欲的	631名
3. どちらとも言えない	336名
4. あまり意欲的でない	142名
5. まったく意欲的でない	73名
未 未記入・無効	10名

合計 1368名



学類
行政政策学類

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	3,303	1,368	41.4%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	609名
4. かなりそうだとと言える	462名
3. どちらとも言えない	210名
2. あまりそうとは言えない	52名
1. いいえ	32名
未 未記入・無効	3名

合計 1368名

評価ポイント平均値 4.15

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	331名
4. かなりそうだとと言える	401名
3. どちらとも言えない	413名
2. あまりそうとは言えない	126名
1. いいえ	93名
未 未記入・無効	4名

合計 1368名

評価ポイント平均値 3.55

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	672名
4. かなりそうだとと言える	469名
3. どちらとも言えない	170名
2. あまりそうとは言えない	28名
1. いいえ	26名
未 未記入・無効	3名

合計 1368名

評価ポイント平均値 4.27

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	547名
4. かなりそうだとと言える	397名
3. どちらとも言えない	234名
2. あまりそうとは言えない	93名
1. いいえ	94名
未 未記入・無効	3名

合計 1368名

評価ポイント平均値 3.89

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	350名
4. かなりそうだとと言える	370名
3. どちらとも言えない	351名
2. あまりそうとは言えない	152名
1. いいえ	70名
未 未記入・無効	75名

合計 1368名

評価ポイント平均値 3.60

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	447名
4. かなりそうだとと言える	461名
3. どちらとも言えない	373名
2. あまりそうとは言えない	43名
1. いいえ	25名
未 未記入・無効	19名

合計 1368名

評価ポイント平均値 3.94

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	480名
4. かなりそうだとと言える	451名
3. どちらとも言えない	337名
2. あまりそうとは言えない	44名
1. いいえ	38名
未 未記入・無効	18名

合計 1368名

評価ポイント平均値 3.96

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	316名
4. かなりそうだとと言える	363名
3. どちらとも言えない	460名
2. あまりそうとは言えない	130名
1. いいえ	94名
未 未記入・無効	5名

合計 1368名

評価ポイント平均値 3.50

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	373名
4. かなりそうだとと言える	371名
3. どちらとも言えない	448名
2. あまりそうとは言えない	101名
1. いいえ	65名
未 未記入・無効	10名

合計 1368名

評価ポイント平均値 3.65

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	304名
4. かなりそうだとと言える	478名
3. どちらとも言えない	397名
2. あまりそうとは言えない	111名
1. いいえ	71名
未 未記入・無効	7名

合計 1368名

評価ポイント平均値 3.61

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	426名
4. かなりそうだとと言える	477名
3. どちらとも言えない	288名
2. あまりそうとは言えない	84名
1. いいえ	62名
未 未記入・無効	31名

合計 1368名

評価ポイント平均値 3.84

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	635名
4. かなりそうだとと言える	404名
3. どちらとも言えない	220名
2. あまりそうとは言えない	50名
1. いいえ	26名
未 未記入・無効	33名

合計 1368名

評価ポイント平均値 4.18

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	652名
4. かなりそうだとと言える	398名
3. どちらとも言えない	193名
2. あまりそうとは言えない	60名
1. いいえ	32名
未 未記入・無効	33名

合計 1368名

評価ポイント平均値 4.18

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	615名
4. かなりそうだとと言える	391名
3. どちらとも言えない	240名
2. あまりそうとは言えない	51名
1. いいえ	35名
未 未記入・無効	36名

合計 1368名

評価ポイント平均値 4.13

教育改善のための学生アンケート 簡易版

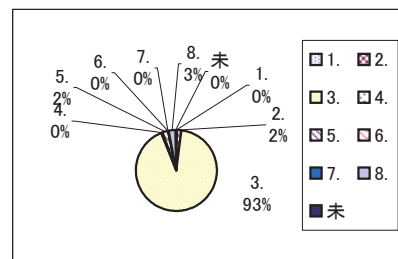
学類
経済経営学類

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	597	435	72.9%

I.

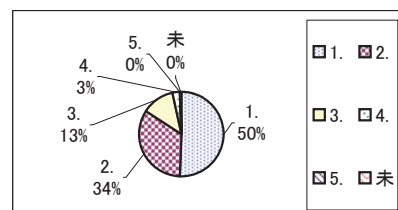
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	1名
2. 行政政策学類	8名
3. 経済経営学類	400名
4. 現代教養コース	2名
5. 共生システム理工学類	10名
6. 教育学部	0名
7. 行政社会学部	1名
8. 経済学部	12名
未 未記入	1名
合計	435名



(2) 学年(入学してからの年数)

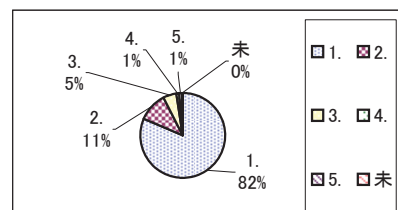
1. 1年	220名
2. 2年	146名
3. 3年	55名
4. 4年	11名
5. 5年以上	2名
未 未記入	1名
合計	435名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

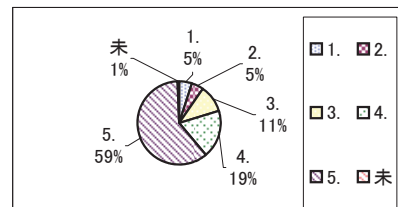
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	354名
2. 89%～70%	48名
3. 69%～50%	22名
4. 49%～30%	5名
5. 29%以下	5名
未 未記入	1名
合計	435名



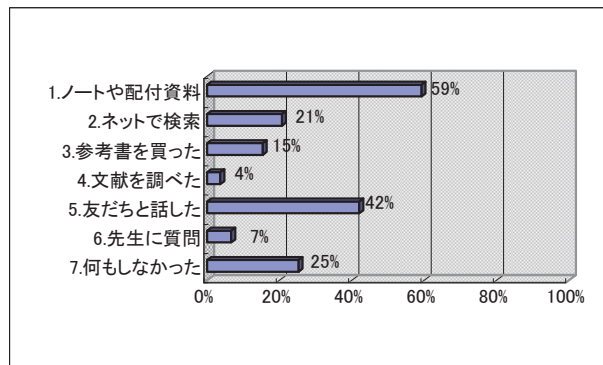
(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	22名
2. 2～3時間未満	20名
3. 1～2時間未満	46名
4. 30分～1時間未満	81名
5. 30分未満	263名
未 未記入	3名
合計	435名



(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	258名
2. インターネットで検索した	90名
3. 参考書を買って調べた	67名
4. 図書館で文献を調べた	16名
5. 友だちと話して理解するようにした	183名
6. 先生に質問した	29名
7. 何もしなかった	110名



学類
経済経営学類

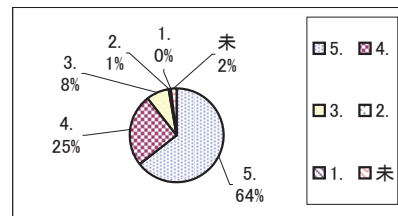
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	597	435	72.9%

Ⅲ. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

(観点:授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)

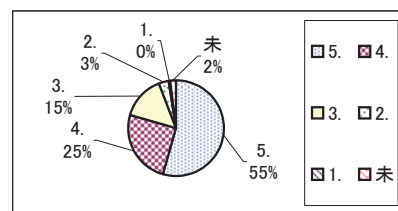
5. はい	280名
4. かなりそうと言える	109名
3. どちらとも言えない	34名
2. あまりそうとは言えない	4名
1. いいえ	0名
未 未記入	8名
合計	435名
評価ポイント平均値	4.56



(6) 教育の方法は適切でしたか。

(観点:わかりやすい説明, 話し方・声の大きさ, 質問への対応, 板書の仕方・視聴覚機器の活用, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)

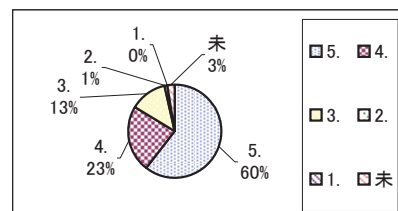
5. はい	237名
4. かなりそうと言える	108名
3. どちらとも言えない	65名
2. あまりそうとは言えない	14名
1. いいえ	2名
未 未記入	9名
合計	435名
評価ポイント平均値	4.32



(7) 教育の内容は適切でしたか。

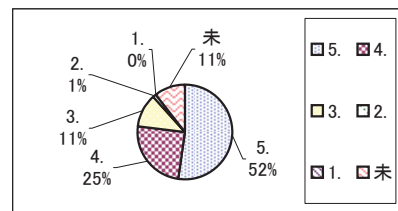
(観点:魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進度, シラバスに記述された目標の達成度)

5. はい	264名
4. かなりそうと言える	100名
3. どちらとも言えない	55名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	0名
未 未記入	11名
合計	435名
評価ポイント平均値	4.47



Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	227名
4. かなりそうと言える	108名
3. どちらとも言えない	49名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	0名
未 未記入	46名
合計	435名
評価ポイント平均値	4.43



教育改善のための学生アンケート

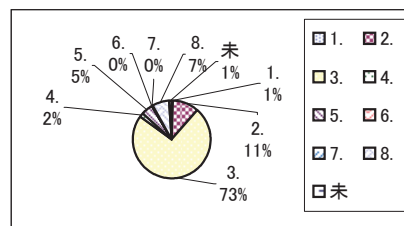
学類
経済経営学類

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	5,150	1,924	37.4%

I.

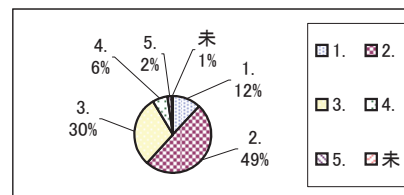
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	11名	2. 行政政策学類	208名
3. 経済経営学類	1414名	4. 現代教養コース	37名
5. 共生システム理工学類	88名	6. 教育学部	3名
7. 行政社会学部	7名	8. 経済学部	132名
未 未記入・無効	24名	合計	1924名



学年(入学してからの年数)

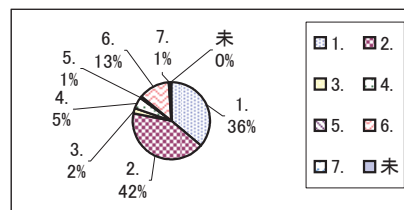
1. 1年	229名
2. 2年	958名
3. 3年	572名
4. 4年	120名
5. 5年以上	35名
未 未記入・無効	10名
合計	1924名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

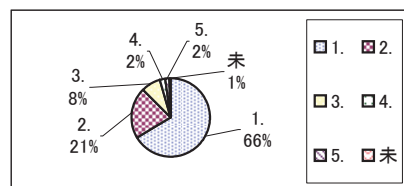
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	694名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	809名
3. 単位がとり易そうだったから	44名
4. 受講し易い時間帯にあったから	87名
5. 友人や先輩に勧められたから	15名
6. クラス指定または必修だったから	255名
7. その他	14名
未 未記入・無効	6名
合計	1924名



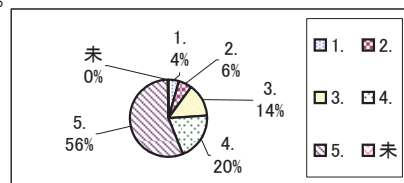
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1278名
2. 89%~70%	408名
3. 69%~50%	150名
4. 49%~30%	44名
5. 29%以下	33名
未 未記入・無効	11名
合計	1924名



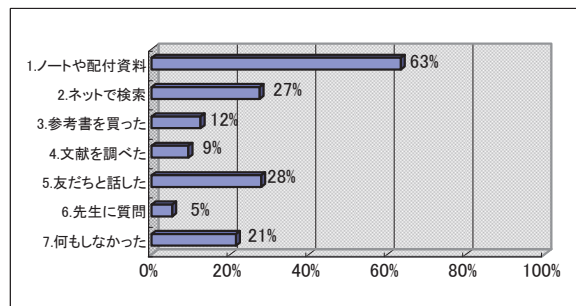
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	84名
2. 2~3時間未満	109名
3. 1~2時間未満	265名
4. 30分~1時間未満	385名
5. 30分未満	1075名
未 未記入・無効	6名
合計	1924名



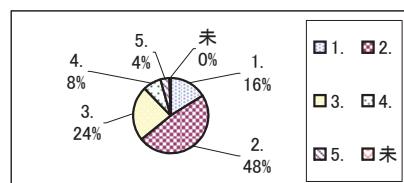
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	1221名
2. インターネットで検索した	529名
3. 参考書を買って調べた	240名
4. 図書館で文献を調べた	180名
5. 友だちと話して理解するようにした	537名
6. 先生に質問した	101名
7. 何もしなかった	413名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	310名
2. ある程度意欲的	924名
3. どちらとも言えない	454名
4. あまり意欲的でない	153名
5. まったく意欲的でない	74名
未 未記入・無効	9名
合計	1924名



学類
経済経営学類

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	5,150	1,924	37.4%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、
評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	928名
4. かなりそうだとと言える	651名
3. どちらとも言えない	300名
2. あまりそうとは言えない	25名
1. いいえ	16名
未 未記入・無効	4名

合計 1924名

評価ポイント平均値 4.28

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	532名
4. かなりそうだとと言える	571名
3. どちらとも言えない	599名
2. あまりそうとは言えない	168名
1. いいえ	50名
未 未記入・無効	4名

合計 1924名

評価ポイント平均値 3.71

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	937名
4. かなりそうだとと言える	631名
3. どちらとも言えない	285名
2. あまりそうとは言えない	46名
1. いいえ	21名
未 未記入・無効	4名

合計 1924名

評価ポイント平均値 4.26

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	780名
4. かなりそうだとと言える	590名
3. どちらとも言えない	389名
2. あまりそうとは言えない	121名
1. いいえ	39名
未 未記入・無効	5名

合計 1924名

評価ポイント平均値 4.02

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	566名
4. かなりそうだとと言える	538名
3. どちらとも言えない	474名
2. あまりそうとは言えない	184名
1. いいえ	69名
未 未記入・無効	93名

合計 1924名

評価ポイント平均値 3.74

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	718名
4. かなりそうだとと言える	613名
3. どちらとも言えない	484名
2. あまりそうとは言えない	52名
1. いいえ	33名
未 未記入・無効	24名

合計 1924名

評価ポイント平均値 4.02

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	720名
4. かなりそうだとと言える	581名
3. どちらとも言えない	498名
2. あまりそうとは言えない	71名
1. いいえ	37名
未 未記入・無効	17名

合計 1924名

評価ポイント平均値 3.98

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	503名
4. かなりそうだとと言える	561名
3. どちらとも言えない	628名
2. あまりそうとは言えない	168名
1. いいえ	59名
未 未記入・無効	5名

合計 1924名

評価ポイント平均値 3.67

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	583名
4. かなりそうだとと言える	564名
3. どちらとも言えない	579名
2. あまりそうとは言えない	137名
1. いいえ	47名
未 未記入・無効	14名

合計 1924名

評価ポイント平均値 3.78

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	477名
4. かなりそうだとと言える	645名
3. どちらとも言えない	557名
2. あまりそうとは言えない	168名
1. いいえ	69名
未 未記入・無効	8名

合計 1924名

評価ポイント平均値 3.67

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	612名
4. かなりそうだとと言える	720名
3. どちらとも言えない	416名
2. あまりそうとは言えない	97名
1. いいえ	37名
未 未記入・無効	42名

合計 1924名

評価ポイント平均値 3.94

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	928名
4. かなりそうだとと言える	576名
3. どちらとも言えない	299名
2. あまりそうとは言えない	49名
1. いいえ	22名
未 未記入・無効	50名

合計 1924名

評価ポイント平均値 4.25

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	945名
4. かなりそうだとと言える	541名
3. どちらとも言えない	295名
2. あまりそうとは言えない	56名
1. いいえ	37名
未 未記入・無効	50名

合計 1924名

評価ポイント平均値 4.23

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	931名
4. かなりそうだとと言える	551名
3. どちらとも言えない	279名
2. あまりそうとは言えない	75名
1. いいえ	37名
未 未記入・無効	51名

合計 1924名

評価ポイント平均値 4.21

教育改善のための学生アンケート

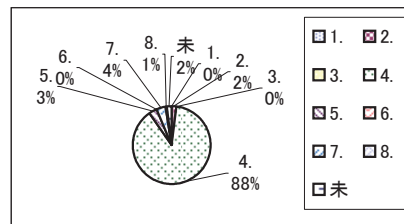
学類
現代教養コース

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	1,325	799	60.3%

I.

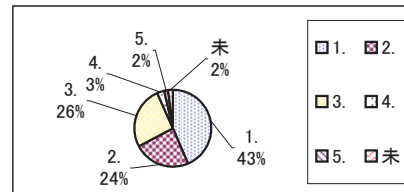
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	0名	2. 行政政策学類	16名
3. 経済経営学類	0名	4. 現代教養コース	706名
5. 共生システム理工学類	25名	6. 教育学部	2名
7. 行政社会学部	31名	8. 経済学部	4名
未 未記入・無効	15名	合計	799名



学年(入学してからの年数)

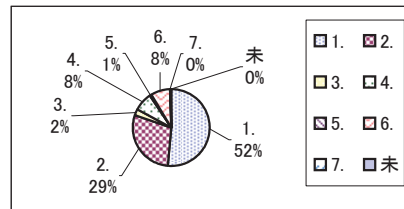
1. 1年	349名
2. 2年	189名
3. 3年	207名
4. 4年	26名
5. 5年以上	13名
未 未記入・無効	15名
合計	799名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

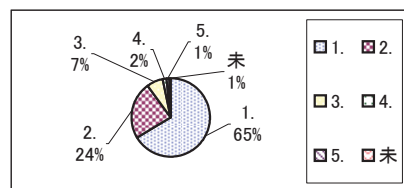
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	410名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	232名
3. 単位がとり易そうだったから	19名
4. 受講し易い時間帯にあったから	63名
5. 友人や先輩に勧められたから	7名
6. クラス指定または必修だったから	64名
7. その他	1名
未 未記入・無効	3名
合計	799名



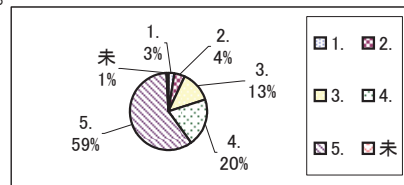
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	530名
2. 89%~70%	188名
3. 69%~50%	54名
4. 49%~30%	13名
5. 29%以下	10名
未 未記入・無効	4名
合計	799名



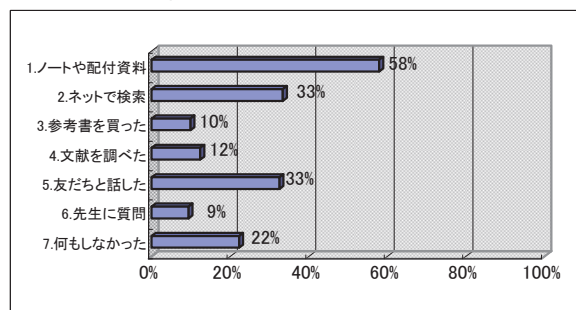
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	20名
2. 2~3時間未満	35名
3. 1~2時間未満	104名
4. 30分~1時間未満	161名
5. 30分未満	472名
未 未記入・無効	7名
合計	799名



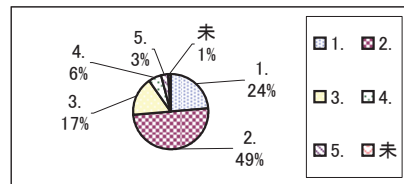
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	463名
2. インターネットで検索した	267名
3. 参考書を買って調べた	79名
4. 図書館で文献を調べた	99名
5. 友だちと話して理解するようにした	260名
6. 先生に質問した	75名
7. 何もしなかった	178名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	189名
2. ある程度意欲的	400名
3. どちらとも言えない	132名
4. あまり意欲的でない	45名
5. まったく意欲的でない	24名
未 未記入・無効	9名
合計	799名



学類
現代教養コース

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	1,325	799	60.3%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	407名
4. かなりそうと言える	247名
3. どちらとも言えない	118名
2. あまりそうとは言えない	15名
1. いいえ	9名
未 未記入・無効	3名

合計 799名

評価ポイント平均値 4.29

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	253名
4. かなりそうと言える	220名
3. どちらとも言えない	249名
2. あまりそうとは言えない	54名
1. いいえ	18名
未 未記入・無効	5名

合計 799名

評価ポイント平均値 3.80

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	414名
4. かなりそうと言える	237名
3. どちらとも言えない	121名
2. あまりそうとは言えない	15名
1. いいえ	8名
未 未記入・無効	4名

合計 799名

評価ポイント平均値 4.30

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	325名
4. かなりそうと言える	255名
3. どちらとも言えない	155名
2. あまりそうとは言えない	46名
1. いいえ	14名
未 未記入・無効	4名

合計 799名

評価ポイント平均値 4.05

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	259名
4. かなりそうと言える	218名
3. どちらとも言えない	209名
2. あまりそうとは言えない	49名
1. いいえ	17名
未 未記入・無効	47名

合計 799名

評価ポイント平均値 3.87

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	310名
4. かなりそうと言える	248名
3. どちらとも言えない	202名
2. あまりそうとは言えない	21名
1. いいえ	6名
未 未記入・無効	12名

合計 799名

評価ポイント平均値 4.06

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	313名
4. かなりそうと言える	259名
3. どちらとも言えない	185名
2. あまりそうとは言えない	20名
1. いいえ	5名
未 未記入・無効	17名

合計 799名

評価ポイント平均値 4.09

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	224名
4. かなりそうと言える	232名
3. どちらとも言えない	263名
2. あまりそうとは言えない	50名
1. いいえ	24名
未 未記入・無効	6名

合計 799名

評価ポイント平均値 3.73

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	245名
4. かなりそうと言える	223名
3. どちらとも言えない	257名
2. あまりそうとは言えない	38名
1. いいえ	20名
未 未記入・無効	16名

合計 799名

評価ポイント平均値 3.81

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	232名
4. かなりそうと言える	285名
3. どちらとも言えない	223名
2. あまりそうとは言えない	34名
1. いいえ	21名
未 未記入・無効	4名

合計 799名

評価ポイント平均値 3.85

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	301名
4. かなりそうと言える	272名
3. どちらとも言えない	143名
2. あまりそうとは言えない	34名
1. いいえ	11名
未 未記入・無効	38名

合計 799名

評価ポイント平均値 4.07

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	418名
4. かなりそうと言える	219名
3. どちらとも言えない	102名
2. あまりそうとは言えない	22名
1. いいえ	7名
未 未記入・無効	31名

合計 799名

評価ポイント平均値 4.33

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	414名
4. かなりそうと言える	216名
3. どちらとも言えない	101名
2. あまりそうとは言えない	24名
1. いいえ	14名
未 未記入・無効	30名

合計 799名

評価ポイント平均値 4.29

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	405名
4. かなりそうと言える	211名
3. どちらとも言えない	121名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	15名
未 未記入・無効	31名

合計 799名

評価ポイント平均値 4.27

教育改善のための学生アンケート 簡易版

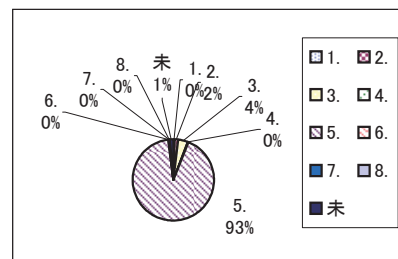
学類
共生システム理工学類

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	784	447	57.0%

I.

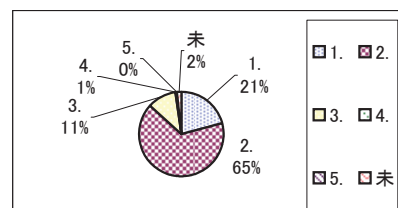
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	2名
2. 行政政策学類	7名
3. 経済経営学類	17名
4. 現代教養コース	1名
5. 共生システム理工学類	411名
6. 教育学部	1名
7. 行政社会学部	0名
8. 経済学部	2名
未 未記入	6名
合計	447名



(2) 学年(入学してからの年数)

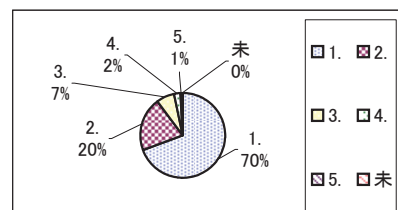
1. 1年	93名
2. 2年	294名
3. 3年	50名
4. 4年	3名
5. 5年以上	0名
未 未記入	7名
合計	447名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

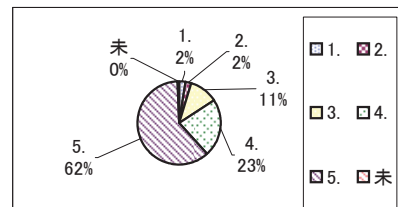
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	310名
2. 89%～70%	91名
3. 69%～50%	31名
4. 49%～30%	11名
5. 29%以下	3名
未 未記入	1名
合計	447名



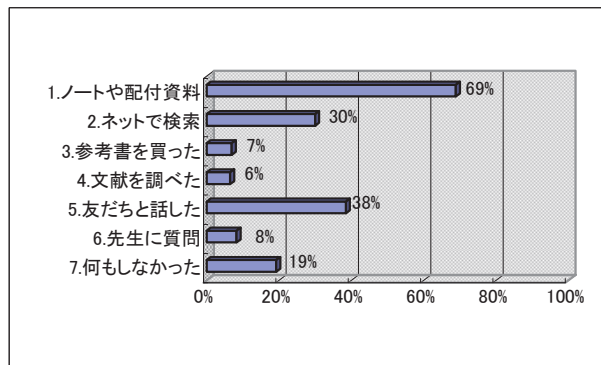
(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	11名
2. 2～3時間未満	10名
3. 1～2時間未満	50名
4. 30分～1時間未満	100名
5. 30分未満	274名
未 未記入	2名
合計	447名



(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	308名
2. インターネットで検索した	134名
3. 参考書を買って調べた	31名
4. 図書館で文献を調べた	29名
5. 友だちと話して理解するようにした	172名
6. 先生に質問した	37名
7. 何もしなかった	86名



学類
共生システム理工学類

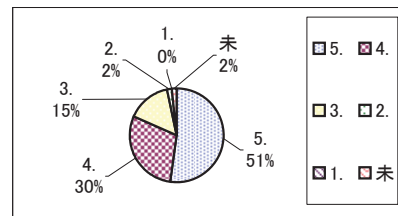
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	784	447	57.0%

Ⅲ. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

(観点:授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)

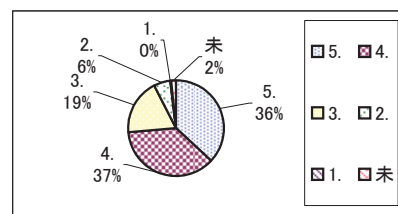
5. はい	233名
4. かなりそうと言える	132名
3. どちらとも言えない	67名
2. あまりそうとは言えない	8名
1. いいえ	0名
未 未記入	7名
合計	447名
評価ポイント平均値	4.34



(6) 教育の方法は適切でしたか。

(観点:わかりやすい説明, 話し方・声の大きさ, 質問への対応, 板書の仕方・視聴覚機器の活用, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)

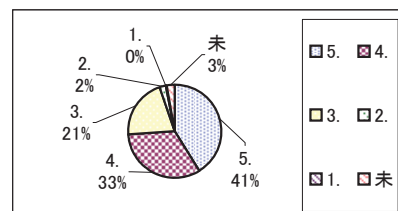
5. はい	165名
4. かなりそうと言える	164名
3. どちらとも言えない	84名
2. あまりそうとは言えない	25名
1. いいえ	2名
未 未記入	7名
合計	447名
評価ポイント平均値	4.06



(7) 教育の内容は適切でしたか。

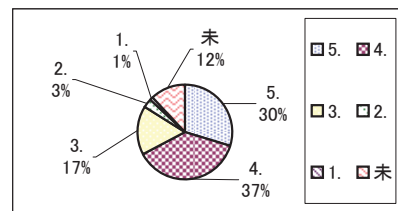
(観点:魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進度, シラバスに記述された目標の達成度)

5. はい	184名
4. かなりそうと言える	146名
3. どちらとも言えない	94名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	2名
未 未記入	12名
合計	447名
評価ポイント平均値	4.15



Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	133名
4. かなりそうと言える	168名
3. どちらとも言えない	74名
2. あまりそうとは言えない	14名
1. いいえ	4名
未 未記入	54名
合計	447名
評価ポイント平均値	4.05



教育改善のための学生アンケート

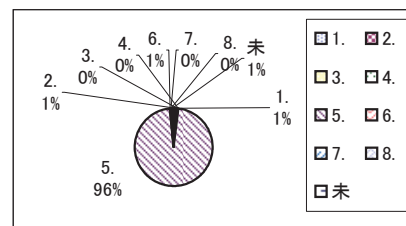
学類
共生システム理工学類

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	2,987	2,058	68.9%

I.

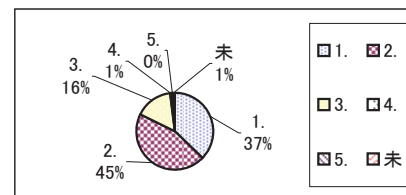
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	19名	2. 行政政策学類	14名
3. 経済経営学類	7名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	1983名	6. 教育学部	13名
7. 行政社会学部	0名	8. 経済学部	2名
未 未記入・無効	20名	合計	2058名



学年(入学してからの年数)

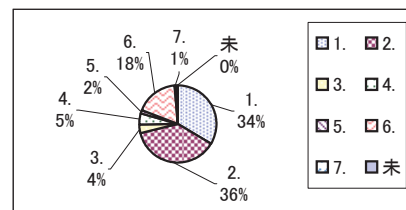
1. 1年	767名
2. 2年	926名
3. 3年	327名
4. 4年	15名
5. 5年以上	3名
未 未記入・無効	20名
合計	2058名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

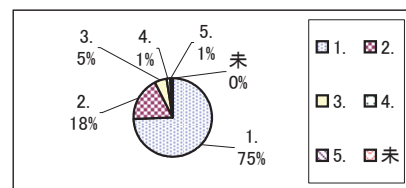
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	693名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	770名
3. 単位がとり易そうだったから	74名
4. 受講し易い時間帯にあったから	97名
5. 友人や先輩に勧められたから	32名
6. クラス指定または必修だったから	362名
7. その他	21名
未 未記入・無効	9名
合計	2058名



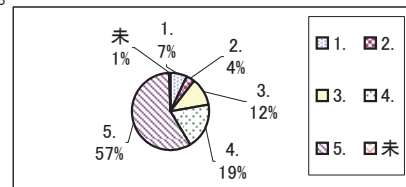
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1531名
2. 89%~70%	373名
3. 69%~50%	101名
4. 49%~30%	28名
5. 29%以下	17名
未 未記入・無効	8名
合計	2058名



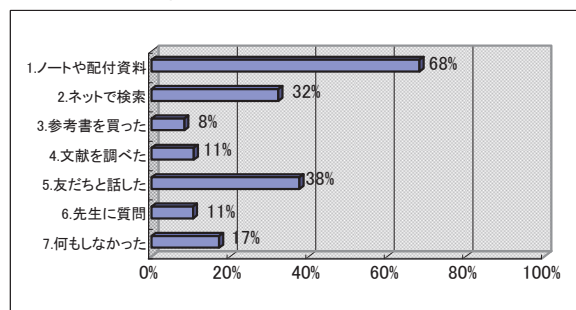
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	141名
2. 2~3時間未満	76名
3. 1~2時間未満	238名
4. 30分~1時間未満	394名
5. 30分未満	1197名
未 未記入・無効	12名
合計	2058名



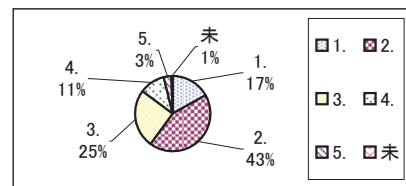
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	1404名
2. インターネットで検索した	664名
3. 参考書を買って調べた	172名
4. 図書館で文献を調べた	221名
5. 友だちと話して理解するようにした	775名
6. 先生に質問した	217名
7. 何もしなかった	354名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	346名
2. ある程度意欲的	888名
3. どちらとも言えない	523名
4. あまり意欲的でない	219名
5. まったく意欲的でない	68名
未 未記入・無効	14名
合計	2058名



学類
共生システム理工学類

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	-	-	2,987	2,058	68.9%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、
評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	735名
4. かなりそうだとと言える	743名
3. どちらとも言えない	462名
2. あまりそうとは言えない	69名
1. いいえ	40名
未 未記入・無効	9名

合計 2058名

評価ポイント平均値 4.01

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	462名
4. かなりそうだとと言える	590名
3. どちらとも言えない	665名
2. あまりそうとは言えない	209名
1. いいえ	123名
未 未記入・無効	9名

合計 2058名

評価ポイント平均値 3.52

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	831名
4. かなりそうだとと言える	651名
3. どちらとも言えない	420名
2. あまりそうとは言えない	83名
1. いいえ	64名
未 未記入・無効	9名

合計 2058名

評価ポイント平均値 4.03

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	625名
4. かなりそうだとと言える	596名
3. どちらとも言えない	520名
2. あまりそうとは言えない	180名
1. いいえ	127名
未 未記入・無効	10名

合計 2058名

評価ポイント平均値 3.69

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	504名
4. かなりそうだとと言える	567名
3. どちらとも言えない	503名
2. あまりそうとは言えない	251名
1. いいえ	170名
未 未記入・無効	63名

合計 2058名

評価ポイント平均値 3.49

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	616名
4. かなりそうだとと言える	596名
3. どちらとも言えない	675名
2. あまりそうとは言えない	81名
1. いいえ	59名
未 未記入・無効	31名

合計 2058名

評価ポイント平均値 3.80

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	601名
4. かなりそうだとと言える	595名
3. どちらとも言えない	615名
2. あまりそうとは言えない	138名
1. いいえ	84名
未 未記入・無効	25名

合計 2058名

評価ポイント平均値 3.73

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	427名
4. かなりそうだとと言える	562名
3. どちらとも言えない	666名
2. あまりそうとは言えない	237名
1. いいえ	153名
未 未記入・無効	13名

合計 2058名

評価ポイント平均値 3.43

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	502名
4. かなりそうだとと言える	568名
3. どちらとも言えない	720名
2. あまりそうとは言えない	140名
1. いいえ	111名
未 未記入・無効	17名

合計 2058名

評価ポイント平均値 3.59

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	390名
4. かなりそうだとと言える	645名
3. どちらとも言えない	606名
2. あまりそうとは言えない	228名
1. いいえ	176名
未 未記入・無効	13名

合計 2058名

評価ポイント平均値 3.41

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	539名
4. かなりそうだとと言える	729名
3. どちらとも言えない	497名
2. あまりそうとは言えない	158名
1. いいえ	94名
未 未記入・無効	41名

合計 2058名

評価ポイント平均値 3.72

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	839名
4. かなりそうだとと言える	654名
3. どちらとも言えない	390名
2. あまりそうとは言えない	78名
1. いいえ	51名
未 未記入・無効	46名

合計 2058名

評価ポイント平均値 4.07

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	952名
4. かなりそうだとと言える	614名
3. どちらとも言えない	337名
2. あまりそうとは言えない	69名
1. いいえ	40名
未 未記入・無効	46名

合計 2058名

評価ポイント平均値 4.18

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	915名
4. かなりそうだとと言える	647名
3. どちらとも言えない	355名
2. あまりそうとは言えない	56名
1. いいえ	38名
未 未記入・無効	47名

合計 2058名

評価ポイント平均値 4.17

教育改善のための学生アンケート 簡易版

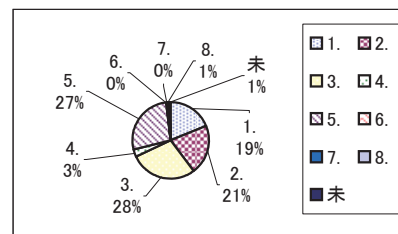
学類
専門教育科目

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	—	—	2,402	1,570	65.4%

I.

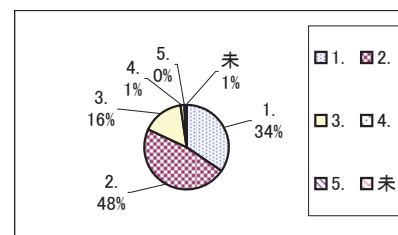
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	298
2. 行政政策学類	327名
3. 経済経営学類	445名
4. 現代教養コース	47名
5. 共生システム理工学類	421名
6. 教育学部	4名
7. 行政社会学部	5名
8. 経済学部	14名
未 未記入	9名
合計	1570名



(2) 学年(入学してからの年数)

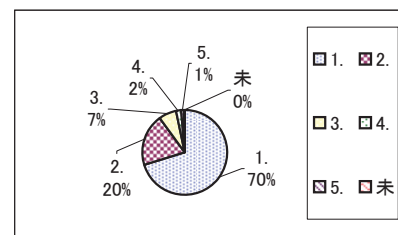
1. 1年	540
2. 2年	745
3. 3年	251
4. 4年	20
5. 5年以上	4
未 未記入	10
合計	1570名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

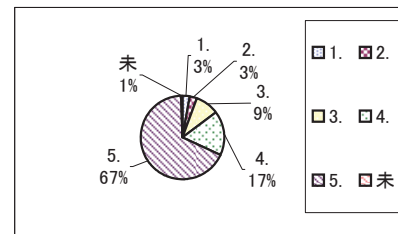
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1102
2. 89%～70%	312
3. 69%～50%	105
4. 49%～30%	29
5. 29%以下	17
未 未記入	5
合計	1570名



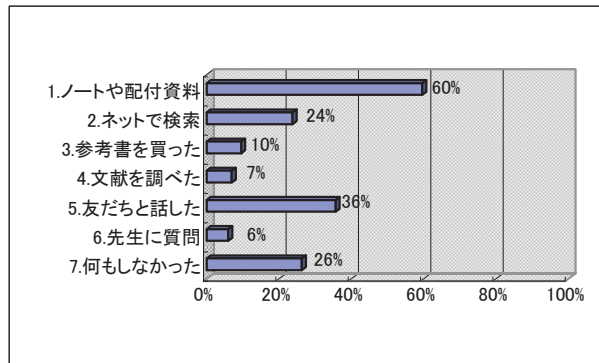
(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	42
2. 2～3時間未満	44
3. 1～2時間未満	147
4. 30分～1時間未満	269
5. 30分未満	1058
未 未記入	10
合計	1570名



(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	936
2. インターネットで検索した	373
3. 参考書を買って調べた	150
4. 図書館で文献を調べた	109
5. 友だちと話して理解するようにした	560
6. 先生に質問した	94
7. 何もなかった	413



学類
専門教育科目

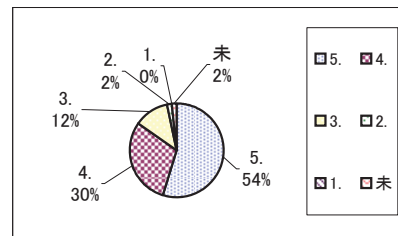
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	—	—	2,402	1,570	65.4%

Ⅲ. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

(観点:授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)

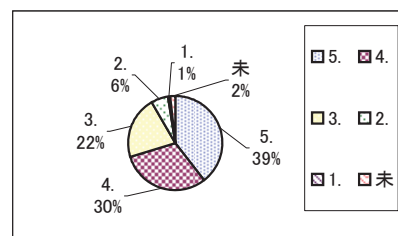
5. はい	860
4. かなりそうと言える	472
3. どちらとも言えない	186
2. あまりそうとは言えない	24
1. いいえ	4
未 未記入	24
合計	1570名
評価ポイント平均値	4.40



(6) 教育の方法は適切でしたか。

(観点:わかりやすい説明, 話し方・声の大きさ, 質問への対応, 板書の仕方・視聴覚機器の活用, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)

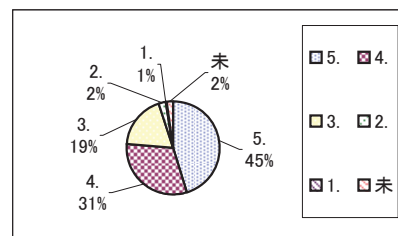
5. はい	621
4. かなりそうと言える	481
3. どちらとも言えない	338
2. あまりそうとは言えない	92
1. いいえ	13
未 未記入	25
合計	1570名
評価ポイント平均値	4.04



(7) 教育の内容は適切でしたか。

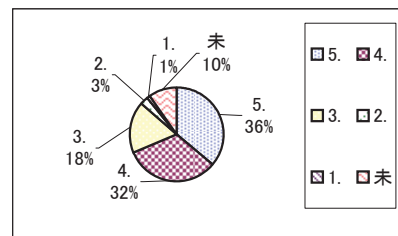
(観点:魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進度, シラバスに記述された目標の達成度)

5. はい	709
4. かなりそうと言える	491
3. どちらとも言えない	293
2. あまりそうとは言えない	36
1. いいえ	8
未 未記入	33
合計	1570名
評価ポイント平均値	4.21



Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	567
4. かなりそうと言える	510
3. どちらとも言えない	278
2. あまりそうとは言えない	46
1. いいえ	15
未 未記入	154
合計	1570名
評価ポイント平均値	4.11



教育改善のための学生アンケート

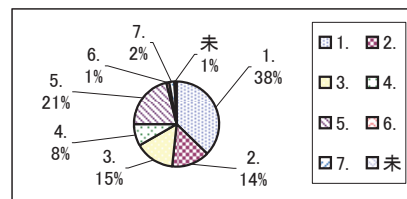
学類
専門教育科目

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	—	—	19,272	10,055	52.2%

I.

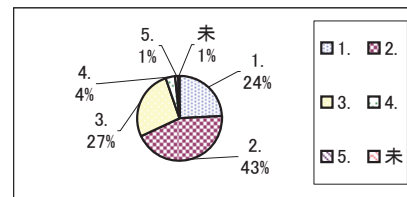
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	3675名	2. 行政政策学類	1423名
3. 経済経営学類	1496名	4. 現代教養コース	810名
5. 共生システム理工学類	2112名	6. 教育学部	109名
7. 行政社会学部	181名	8. 経済学部	166名
未 未記入	83名	合計	10055名



学年(入学してからの年数)

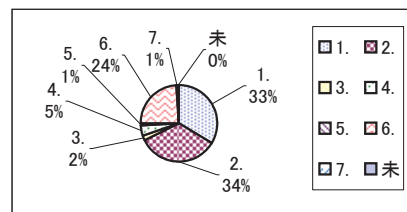
1. 1年	2422名
2. 2年	4425名
3. 3年	2667名
4. 4年	371名
5. 5年以上	115名
未 未記入	55名
合計	10055名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

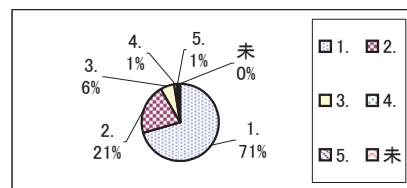
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面に関心があったから	3389名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	3428名
3. 単位がとり易そうだったから	193名
4. 受講し易い時間帯にあったから	455名
5. 友人や先輩に勧められたから	80名
6. クラス指定または必修だったから	2398名
7. その他	85名
未 未記入	27名
合計	10055名



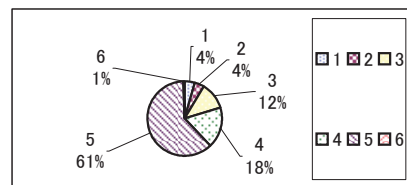
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	7102名
2. 89%~70%	2115名
3. 69%~50%	575名
4. 49%~30%	128名
5. 29%以下	93名
未 未記入	42名
合計	10055名



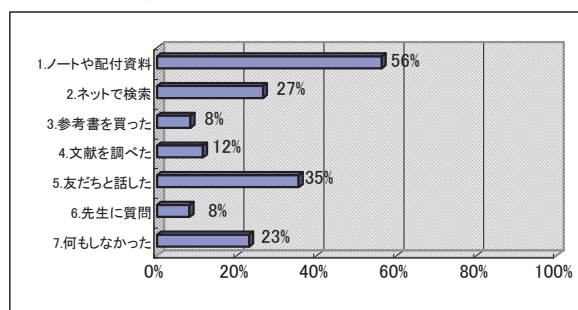
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	445名
2. 2~3時間未満	418名
3. 1~2時間未満	1172名
4. 30分~1時間未満	1798名
5. 30分未満	6166名
未 未記入	56名
合計	10055名



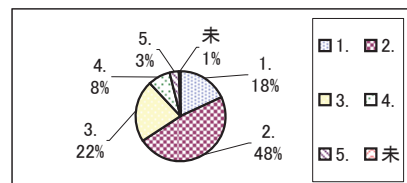
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	5657名
2. インターネットで検索した	2667名
3. 参考書を買って調べた	841名
4. 図書館で文献を調べた	1158名
5. 友だちと話して理解するようにした	3563名
6. 先生に質問した	818名
7. 何もしなかった	2320名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	1819名
2. ある程度意欲的	4808名
3. どちらとも言えない	2234名
4. あまり意欲的でない	808名
5. まったく意欲的でない	332名
未 未記入	54名
合計	10055名



学類
専門教育科目

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
合計	—	—	19,272	10,055	52.2%

Ⅲ. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	4713名
4. かなりそうと言える	3344名
3. どちらとも言えない	1622名
2. あまりそうとは言えない	230名
1. いいえ	122名
未 未記入・無効	24名

合計 10055名
評価ポイント平均値 4.23

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	3008名
4. かなりそうと言える	2997名
3. どちらとも言えない	2849名
2. あまりそうとは言えない	823名
1. いいえ	351名
未 未記入・無効	27名

合計 10055名
評価ポイント平均値 3.75

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	4791名
4. かなりそうと言える	3158名
3. どちらとも言えない	1639名
2. あまりそうとは言えない	287名
1. いいえ	153名
未 未記入・無効	27名

合計 10055名
評価ポイント平均値 4.21

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	3990名
4. かなりそうと言える	3006名
3. どちらとも言えない	2065名
2. あまりそうとは言えない	635名
1. いいえ	332名
未 未記入・無効	27名

合計 10055名
評価ポイント平均値 3.97

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	2789名
4. かなりそうと言える	2696名
3. どちらとも言えない	2494名
2. あまりそうとは言えない	888名
1. いいえ	409名
未 未記入・無効	779名

合計 10055名
評価ポイント平均値 3.71

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	3613名
4. かなりそうと言える	3188名
3. どちらとも言えない	2695名
2. あまりそうとは言えない	274名
1. いいえ	156名
未 未記入・無効	129名

合計 10055名
評価ポイント平均値 3.99

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	3677名
4. かなりそうと言える	3148名
3. どちらとも言えない	2463名
2. あまりそうとは言えない	430名
1. いいえ	196名
未 未記入・無効	141名

合計 10055名
評価ポイント平均値 3.98

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	2726名
4. かなりそうと言える	2868名
3. どちらとも言えない	3156名
2. あまりそうとは言えない	845名
1. いいえ	420名
未 未記入・無効	40名

合計 10055名
評価ポイント平均値 3.66

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

5. はい	2976名
4. かなりそうと言える	2854名
3. どちらとも言えない	3176名
2. あまりそうとは言えない	627名
1. いいえ	337名
未 未記入・無効	85名

合計 10055名
評価ポイント平均値 3.75

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	2643名
4. かなりそうと言える	3560名
3. どちらとも言えない	2664名
2. あまりそうとは言えない	745名
1. いいえ	400名
未 未記入・無効	43名

合計 10055名
評価ポイント平均値 3.73

Ⅳ. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	3379名
4. かなりそうと言える	3634名
3. どちらとも言えない	2048名
2. あまりそうとは言えない	536名
1. いいえ	239名
未 未記入・無効	219名

合計 10055名
評価ポイント平均値 3.95

Ⅴ. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(18) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	4867名
4. かなりそうと言える	2977名
3. どちらとも言えない	1548名
2. あまりそうとは言えない	320名
1. いいえ	139名
未 未記入・無効	204名

合計 10055名
評価ポイント平均値 4.23

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	5025名
4. かなりそうと言える	2784名
3. どちらとも言えない	1463名
2. あまりそうとは言えない	372名
1. いいえ	207名
未 未記入・無効	204名

合計 10055名
評価ポイント平均値 4.22

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	4944名
4. かなりそうと言える	2823名
3. どちらとも言えない	1571名
2. あまりそうとは言えない	334名
1. いいえ	173名
未 未記入・無効	210名

合計 10055名
評価ポイント平均値 4.22

平成20年1月実施 教育改善のための学生アンケート」相関係数表

簡易版

人間発達文化学類 教育各部専門科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.643	1.000		
(7)内容	0.623	0.639	1.000	
IV総合満足度	0.274	0.319	0.282	1.000

行政政策学類 行政社会学部専門科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.691	1.000		
(7)内容	0.684	0.745	1.000	
IV総合	0.319	0.424	0.455	1.000

経済経営学類 経済学部相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.756	1.000		
(7)内容	0.760	0.805	1.000	
IV総合満足度	0.412	0.424	0.434	1.000

現代教養コース科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.665	1.000		
(7)内容	0.515	0.543	1.000	
IV総合	0.245	0.051	-0.197	1.000

共生システム理工専門科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.772	1.000		
(7)内容	0.697	0.671	1.000	
IV総合満足度	0.425	0.416	0.427	1.000

フル版

共通領域 共通教育科目相関係数

	III. この授業及び教員の評価										IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)ノウハウ	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	IV総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.623	1.000												
(9)授業準備	0.590	0.525	1.000											
(10)話し方	0.581	0.602	0.602	1.000										
(11)板書	0.278	0.274	0.273	0.324	1.000									
(12)ノウハウ	0.460	0.433	0.496	0.471	0.296	1.000								
(13)教科書	0.430	0.429	0.460	0.439	0.325	0.495	1.000							
(14)進め方	0.516	0.665	0.494	0.541	0.271	0.471	0.507	1.000						
(15)時間外学習	0.470	0.529	0.495	0.490	0.247	0.455	0.476	0.622	1.000					
(16)授業理解度	0.492	0.552	0.477	0.532	0.291	0.468	0.462	0.645	0.533	1.000				
IV総合満足度	0.452	0.482	0.410	0.452	0.227	0.387	0.383	0.491	0.403	0.541	1.000			
(18)学習雰囲気	0.403	0.398	0.396	0.399	0.197	0.355	0.361	0.394	0.375	0.413	0.581	1.000		
(19)設備	0.333	0.312	0.363	0.338	0.189	0.331	0.319	0.332	0.320	0.354	0.502	0.739	1.000	
(20)受講者数	0.321	0.311	0.342	0.318	0.180	0.322	0.316	0.329	0.313	0.325	0.482	0.710	0.841	1.000

人間発達文化学類 教育各部専門科目相関係数

	III. この授業及び教員の評価										IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)ノウハウ	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	IV総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.589	1.000												
(9)授業準備	0.651	0.559	1.000											
(10)話し方	0.570	0.626	0.616	1.000										
(11)板書	0.163	0.275	0.189	0.318	1.000									
(12)ノウハウ	0.492	0.458	0.528	0.511	0.283	1.000								
(13)教科書	0.444	0.446	0.491	0.459	0.283	0.533	1.000							
(14)進め方	0.535	0.667	0.533	0.580	0.283	0.492	0.548	1.000						
(15)時間外学習	0.521	0.575	0.510	0.539	0.262	0.511	0.512	0.661	1.000					
(16)授業理解度	0.534	0.578	0.542	0.571	0.281	0.495	0.518	0.683	0.608	1.000				
IV総合満足度	0.481	0.501	0.466	0.465	0.196	0.399	0.406	0.524	0.452	0.583	1.000			
(18)学習雰囲気	0.429	0.416	0.411	0.430	0.204	0.374	0.346	0.413	0.397	0.412	0.550	1.000		
(19)設備	0.304	0.280	0.319	0.339	0.169	0.297	0.296	0.302	0.308	0.327	0.426	0.692	1.000	
(20)受講者数	0.327	0.316	0.347	0.360	0.174	0.309	0.304	0.327	0.319	0.348	0.459	0.698	0.818	1.000

行政政策学 行政社会学部専門科目関係係数

	Ⅲ. この授業及び教員の評価										Ⅳ. 総合満足度	Ⅴ. 教育環境評価		
	(7) 熱意	(8) コミュニケーション	(9) 授業準備	(10) 話し方	(11) 板書	(12) シラバス	(13) 教科書	(14) 進め方	(15) 時間外学習	(16) 授業理解度	Ⅳ総合満足度	(18) 学習雰囲気	(19) 設備	(20) 受講者数
(7) 熱意	1.000													
(8) コミュニケーション	0.661	1.000												
(9) 授業準備	0.625	0.542	1.000											
(10) 話し方	0.685	0.688	0.642	1.000										
(11) 板書	0.447	0.502	0.396	0.509	1.000									
(12) シラバス	0.491	0.497	0.546	0.502	0.398	1.000								
(13) 教科書	0.543	0.559	0.585	0.573	0.441	0.628	1.000							
(14) 進め方	0.629	0.764	0.522	0.668	0.492	0.545	0.610	1.000						
(15) 時間外学習	0.583	0.665	0.536	0.583	0.445	0.566	0.596	0.728	1.000					
(16) 授業理解度	0.585	0.667	0.543	0.651	0.468	0.510	0.558	0.706	0.627	1.000				
Ⅳ総合満足度	0.580	0.617	0.506	0.626	0.419	0.457	0.495	0.637	0.552	0.657	1.000			
(18) 学習雰囲気	0.418	0.394	0.468	0.391	0.317	0.384	0.408	0.397	0.397	0.410	0.622	1.000		
(19) 設備	0.321	0.301	0.413	0.301	0.249	0.307	0.345	0.307	0.320	0.310	0.526	0.805	1.000	
(20) 受講者数	0.320	0.299	0.400	0.287	0.225	0.336	0.350	0.325	0.335	0.319	0.523	0.787	0.868	1.000

経済経営学 経済学部関係係数

	Ⅲ. この授業及び教員の評価										Ⅳ. 総合満足度	Ⅴ. 教育環境評価		
	(7) 熱意	(8) コミュニケーション	(9) 授業準備	(10) 話し方	(11) 板書	(12) シラバス	(13) 教科書	(14) 進め方	(15) 時間外学習	(16) 授業理解度	Ⅳ総合満足度	(18) 学習雰囲気	(19) 設備	(20) 受講者数
(7) 熱意	1.000													
(8) コミュニケーション	0.595	1.000												
(9) 授業準備	0.611	0.575	1.000											
(10) 話し方	0.504	0.571	0.568	1.000										
(11) 板書	0.334	0.364	0.361	0.381	1.000									
(12) シラバス	0.467	0.469	0.543	0.425	0.384	1.000								
(13) 教科書	0.503	0.538	0.571	0.504	0.382	0.623	1.000							
(14) 進め方	0.526	0.683	0.535	0.550	0.416	0.507	0.623	1.000						
(15) 時間外学習	0.544	0.606	0.557	0.504	0.355	0.480	0.546	0.680	1.000					
(16) 授業理解度	0.494	0.591	0.520	0.542	0.397	0.498	0.598	0.712	0.628	1.000				
Ⅳ総合満足度	0.453	0.515	0.455	0.460	0.338	0.417	0.519	0.560	0.510	0.602	1.000			
(18) 学習雰囲気	0.368	0.337	0.389	0.361	0.250	0.332	0.379	0.352	0.339	0.371	0.548	1.000		
(19) 設備	0.294	0.248	0.322	0.258	0.207	0.264	0.322	0.287	0.305	0.298	0.454	0.794	1.000	
(20) 受講者数	0.281	0.237	0.310	0.255	0.216	0.253	0.317	0.300	0.296	0.319	0.451	0.768	0.902	1.000

現代教養コース科目関係係数

	Ⅲ. この授業及び教員の評価										Ⅳ. 総合満足度	Ⅴ. 教育環境評価		
	(7) 熱意	(8) コミュニケーション	(9) 授業準備	(10) 話し方	(11) 板書	(12) シラバス	(13) 教科書	(14) 進め方	(15) 時間外学習	(16) 授業理解度	Ⅳ総合満足度	(18) 学習雰囲気	(19) 設備	(20) 受講者数
(7) 熱意	1.000													
(8) コミュニケーション	0.603	1.000												
(9) 授業準備	0.635	0.545	1.000											
(10) 話し方	0.632	0.629	0.602	1.000										
(11) 板書	0.309	0.339	0.355	0.459	1.000									
(12) シラバス	0.511	0.455	0.521	0.462	0.375	1.000								
(13) 教科書	0.464	0.438	0.502	0.485	0.413	0.537	1.000							
(14) 進め方	0.559	0.695	0.517	0.617	0.361	0.552	0.580	1.000						
(15) 時間外学習	0.528	0.568	0.498	0.560	0.412	0.517	0.563	0.645	1.000					
(16) 授業理解度	0.541	0.567	0.491	0.577	0.384	0.459	0.485	0.631	0.517	1.000				
Ⅳ総合満足度	0.413	0.391	0.365	0.423	0.313	0.335	0.422	0.430	0.426	0.463	1.000			
(18) 学習雰囲気	0.429	0.357	0.418	0.455	0.290	0.377	0.397	0.378	0.414	0.371	0.678	1.000		
(19) 設備	0.428	0.338	0.401	0.417	0.264	0.366	0.412	0.365	0.419	0.321	0.645	0.860	1.000	
(20) 受講者数	0.408	0.357	0.386	0.408	0.280	0.380	0.399	0.385	0.422	0.339	0.636	0.839	0.911	1.000

共生システム理工専門科目関係係数

	Ⅲ. この授業及び教員の評価										Ⅳ. 総合満足度	Ⅴ. 教育環境評価		
	(7) 熱意	(8) コミュニケーション	(9) 授業準備	(10) 話し方	(11) 板書	(12) シラバス	(13) 教科書	(14) 進め方	(15) 時間外学習	(16) 授業理解度	Ⅳ総合満足度	(18) 学習雰囲気	(19) 設備	(20) 受講者数
(7) 熱意	1.000													
(8) コミュニケーション	0.645	1.000												
(9) 授業準備	0.646	0.641	1.000											
(10) 話し方	0.594	0.709	0.668	1.000										
(11) 板書	0.425	0.552	0.514	0.586	1.000									
(12) シラバス	0.567	0.579	0.615	0.584	0.497	1.000								
(13) 教科書	0.550	0.571	0.581	0.600	0.529	0.650	1.000							
(14) 進め方	0.572	0.751	0.605	0.654	0.549	0.628	0.662	1.000						
(15) 時間外学習	0.572	0.648	0.604	0.611	0.508	0.613	0.621	0.735	1.000					
(16) 授業理解度	0.524	0.664	0.585	0.647	0.543	0.610	0.624	0.755	0.653	1.000				
Ⅳ総合満足度	0.488	0.562	0.513	0.568	0.458	0.496	0.488	0.571	0.518	0.618	1.000			
(18) 学習雰囲気	0.438	0.430	0.459	0.437	0.320	0.414	0.384	0.403	0.386	0.379	0.632	1.000		
(19) 設備	0.386	0.372	0.427	0.396	0.308	0.406	0.371	0.350	0.360	0.352	0.578	0.799	1.000	
(20) 受講者数	0.392	0.373	0.406	0.371	0.297	0.389	0.360	0.347	0.355	0.347	0.570	0.792	0.873	1.000



福島大学FDプロジェクト要項

○福島大学FDプロジェクト要項

制定 平成13年5月8日

改正 平成14年3月19日 平成16年4月1日 平成16年9月21日
平成17年4月1日 平成18年3月31日 平成19年3月30日

(趣旨)

第1条 この要項は、福島大学（以下「本学」という。）の教育水準の向上を図り、かつ本学の目的及び社会的使命を達成するため、本学の教育内容及び教授方法の改善（以下「FD」という。）を推進するため、必要な事項を定めるものとする。

(FDプロジェクト)

第2条 教育研究評議会の議に基づき、本学に、FDプロジェクト（以下「プロジェクト」という。）を置く。

2 プロジェクトは次の各号に掲げる事項を処理する。

- 一 教授方法改善等のための調査及び研究に関する事項
- 二 教授方法改善等の目標決定及び改善方法に関する事項
- 三 教授方法改善等のための企画及び実施に関する事項
- 四 教授方法改善等のための学生による授業評価に関する事項
- 五 その他教授方法改善等に関する事項

(組織)

第3条 プロジェクトは、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- 一 副学長のうち学長が指名した者（以下「副学長」という。）
- 二 各学類の教員 各2名 計8名
- 三 総合教育研究センターFD部門の専任教員 1名

2 前項第2号の教員は、当該学類教員会議において選出し、学長が任命する。

(メンバーの任期)

第4条 前条第1項第2号のメンバーの任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠のメンバーの任期は、前任者の任期の残余の期間とする。

(責任者)

第5条 プロジェクトに責任者を置き、第3条第1項第1号の委員のうち学長が指名した者をもって充てる。

2 責任者に事故あるときは、あらかじめ責任者の指名した者がその職務を代行する。

(ワーキングチーム)

第6条 プロジェクトは、FDの内容等により、必要かつ適当な員数のFDワーキングチーム（以下「ワーキング」という。）を編成することができる。

2 ワーキングのメンバーは、プロジェクトの依頼に基づいて当該学類の長が推薦し、当該学類教員会議の了承を得ることとする。

(FD報告書の作成)

第7条 プロジェクトは、FD報告書を作成し、教育研究評議会に提出する。

(事務)

第8条 プロジェクトに関する事務は、教務部門教務支援グループにおいて処理する。

附 則

この要項は、平成13年5月8日から施行する。

附 則

この要項は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この要項は、平成16年10月1日から施行する。
- 2 この要項の施行の日の前日に現に委員である者は、この要項により選出されたものとみなし、その任期はなお従前の例による。

附 則

- 1 この要項は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この要項の施行後、共生システム理工学類から新たに選出される第3条第1項第2号の委員のうち1人の任期は、第4条の規定にかかわらず平成18年3月31日までとする。

附 則

この要項は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成19年4月1日から施行する。



福島大学 FD プロジェクトメンバー

平成19年度 FDプロジェクトメンバー名簿

所属部局等	委 員 名
副学長（教育）	森 田 道 雄
副学長（学務）	中 井 勝 己
F D 部 門 専 任	板 橋 孝 幸
人間発達文化学類	中 村 恵 子
人間発達文化学類	金 谷 昌 治
行 政 政 策 学 類	坂 本 恵
行 政 政 策 学 類	中 山 庸 子
経 済 経 営 学 類	高 田 裕 憲
経 済 経 営 学 類	佐 野 敦 至
共生システム理工学類	石 田 葉 月
共生システム理工学類	董 彦 文



あとがき

福島大学 FD プロジェクトメンバー

学務担当副学長 中井 勝己

今年度から、教員の研修が大学院及び学士課程で「義務化」され、各大学院研究科、各大学学部で FD がどのように取り組まれているかが問われるようになりました。その点で、本学での FD の取り組みも、ますます重要になってきています。

今年度の FD 活動を振り返ってみると、昨年度に引き続き、森田副学長、板橋 FD 部門専任教員、FD プロジェクトメンバーの精力的な活動に負うところが大きかった一年であったように思われる。

まず最初に、授業公開も昨年度と同様に 4 学類すべてで、総計 9 回実施されました。昨年度の反省から開催日時の工夫がはかられたものの、結果的には同様の課題が残ってしまったことは残念でした。ただ、総じて、授業公開に快く協力いただいた先生方と、各授業公開をセッティングしてくださった FD プロジェクトメンバーの尽力に心より感謝いたします。

また、各セメスター末で実施している「学生授業アンケート」に対して、FD プロジェクトで大幅な改善案を提案したが、各学類教員会議で様々な異論が続出し、次年度に再提案することになりました。さまざまな意見をどのように調整していくのかは容易ではありませんが、教員会議での活発な議論は FD 活動を意識していただくよい機会になったとも思われます。

今年度 FD 活動の特筆すべき成果は、「学習ガイドブック」の完成です。昨年度からワーキンググループで継続して検討されてきた「学習ガイドブック」が遂に発刊にこぎつけました。他大学のものとはひと味ちがう「福島大学オリジナル版」が追求されたことに喝采を送りたい。

福島大学における教育改善の一環としての FD 活動が始まり数年が経ち、毎年着実な成果を上げてきていますが、他方で、まだまだ教職員全員が、意識的に取り組むものとはなっていないのも事実です。この種の課題は、いかにして教育改善に取り組む人の意識改革を図ることにありますが、容易なことではありません。その意味で、FD プロジェクトの存在と活動が、福島大学の教育改善に欠かせないものであり、これまでの活動に敬意を表するとともに、次年度の活動にも期待したい。

平成19年度（2007年度）
福島大学FDプロジェクト活動報告書
～教育改善の追及～

平成20年3月発行
編集：福島大学FDプロジェクト
発行：福島大学